

医薬品集

第13-6版

地域医療支援病院オープンシステム

徳山医師会病院

平成 27 年 9 月

目次

1 中枢神経系用薬	1	2 末梢神経系用薬	23
1-1 全身麻酔剤.....	1	2-1 局所麻酔剤.....	23
1-2 催眠鎮静剤.....	2	2-2 骨格筋弛緩剤.....	25
2-1 ベンゾジアゼピン系.....	2	2-1 中枢性骨格筋弛緩剤.....	25
2-2 バルビツール酸系.....	3	2-2 末梢性筋弛緩剤.....	25
2-3 その他.....	4	2-3 麻酔用筋弛緩剤.....	25
1-3 抗てんかん剤.....	5	2-3 自律神経剤.....	26
1-4 解熱鎮痛消炎剤.....	6	2-4 鎮けい剤.....	27
4-1 サリチル酸系.....	6	4-1 抗パーキンソン剤.....	27
4-2 アニリン系.....	7	4-2 コリン遮断薬.....	31
4-3 フェニール酢酸.....	7	3 感覚器官用薬	32
4-4 プロピオン酸系.....	8	3-1 眼科用剤.....	32
4-5 ピラゾロン系.....	8	1-1 散瞳剤.....	32
4-6 ピラノ酢酸系.....	9	1-2 縮瞳剤.....	32
4-7 オキシカム系.....	9	1-3 眼科用副腎皮質ホルモン剤.....	32
4-8 コキシブ系.....	9	1-4 眼科用抗生物質製剤.....	33
4-9 非酸性.....	9	1-5 眼科用化学療法剤.....	33
4-10 配合剤.....	10	1-6 白内障治療薬.....	33
4-11 片頭痛治療剤.....	10	1-7 緑内障治療薬.....	34
4-12 非麻薬性オピオイド鎮痛薬.....	11	1-8 その他の点眼剤.....	35
4-13 その他.....	11	1-9 眼科用 内服・注射.....	37
1-5 鎮うん剤.....	12	3-2 耳鼻科用剤.....	37
1-6 精神神経用剤.....	13	4 アレルギー用薬	39
6-1 フェノチアジン系.....	13	4-1 抗ヒスタミン剤.....	39
6-2 ブチロフェノン系.....	13	4-2 抗アレルギー剤.....	39
6-3 ベンゾジアゼピン系.....	14	4-3 抗リウマチ剤.....	40
6-4 非定型抗精神病薬.....	15	4-4 その他のアレルギー用薬.....	41
6-5 抗うつ薬.....	16	5 循環器官作用薬	43
6-6 その他.....	17	5-1 強心剤.....	43
1-7 総合感冒剤.....	18	1-1 ジギタリス剤.....	43
1-8 脳循環・代謝調整薬.....	19	1-2 キサンチン系.....	43
8-1 脳圧降下薬.....	19	1-3 その他.....	44
8-2 脳循環改善剤.....	19	5-2 不整脈用剤.....	45
8-3 脳代謝改善剤.....	20	2-1 (I a群).....	45
1-9 その他の中枢神経系用薬.....	20		

2-2	(I b 群)	45	6-5	吸入用剤	70
2-3	(I c 群)	46			
2-4	(II 群) β -ブロッカー	46	7	消化器官用薬	72
2-5	(III 群)	46	7-1	歯科口腔用剤	72
2-6	(IV 群) Ca 拮抗剤	47	7-2	消化性潰瘍用剤	72
2-7	その他	47	2-1	副交感神経抑制薬	72
5-3	血圧降下剤	47	2-2	H ₂ ブロッカー	73
3-1	ヒドララジン類・レセルピン類	47	2-3	プロトンポンプ・インヒビター	73
3-2	自律神経抑制剤	47	2-4	その他の潰瘍治療薬	76
3-3	Ca 拮抗薬	50	7-3	健胃消化剤	78
3-4	ACE 阻害薬	53	3-1	総合消化酵素剤	78
3-5	アンジオテンシン II (A II) 受容体拮抗薬 (ARB)	53	3-2	その他	78
3-6	合剤	54	7-4	制酸剤	79
3-7	直接的レニン阻害剤	56	7-5	利胆剤	79
5-4	利尿剤	56	7-6	下剤浣腸剤	79
4-1	サイアザイド系	56	7-7	止しゃ剤・整腸剤	81
4-2	ループ系利尿薬	56	7-8	その他の消化器官用薬	82
4-3	抗アルドステロン薬	57			
4-4	その他	57	8	ホルモン剤	84
5-5	血管収縮剤	58	8-1	甲状腺ホルモン剤	84
5-6	血管拡張剤	60	1-1	甲状腺剤	84
6-1	虚血性心疾患	60	1-2	抗甲状腺剤	84
6-2	末梢血管拡張剤	62	1-3	副甲状腺ホルモン剤	84
6-3	循環系ホルモン剤	64	8-2	副腎皮質ホルモン剤	85
5-7	高脂血症治療剤	64	2-1	経口用	85
5-8	その他の循環器官用剤	65	2-2	注射用	86
			8-3	その他のホルモン剤	88
6	呼吸器官用薬	66	9	泌尿生殖器官・肛門用薬	89
6-1	呼吸促進剤	66	9-1	泌尿生殖器官用剤	89
6-2	鎮咳剤	66	1-1	頻尿・過活動膀胱治療薬	89
2-1	中枢性鎮咳剤	66	1-2	排尿障害治療薬	90
2-2	配合剤	67	9-2	痔疾用剤	91
6-3	去痰剤	67			
6-4	気管支拡張剤	68	10	外皮用薬	93
4-1	β 受容体刺激剤	68	10-1	消炎・止痒作用剤	93
4-2	気管支拡張剤	69	1-1	副腎皮質ホルモン剤	93
4-3	その他	69			

1-2	副腎皮質ホルモン・抗菌薬配合剤	94	12-3	解毒剤	109
1-3	止痒剤	95	12-4	痛風治療剤	110
1-4	抗ヒスタミン剤	95	12-5	酵素製剤	110
1-5	非ステロイド性消炎鎮痛剤	95	12-6	糖尿病用剤	111
1-6	アトピー性皮膚炎治療剤	96	6-1	経口血糖降下剤	111
1-7	その他	96	1-1	スルフォニルウレア系製剤	111
10-2	化膿性疾患用剤	96	1-2	速効型インスリン分泌促進薬	111
2-1	抗生物質	96	1-3	ビグアナイド系製剤	112
2-2	その他	97	1-4	α -グルコシダーゼ阻害薬	112
10-3	抗ウイルス剤	97	1-5	チアゾリジン系製剤	113
10-4	抗真菌外用剤	98	1-6	DPP-4 阻害薬	113
10-5	皮膚軟化剤（鱗屑・亀裂治療薬）	98	1-7	配合剤	113
10-6	皮膚欠損（びらん・潰瘍）治療薬	99	1-8	その他の糖尿病薬	114
10-7	その他の外用薬	100	6-2	インスリン製剤	114
10-8	湿布剤	100	12-7	膵炎治療剤	114
11	ビタミン剤	102	12-8	骨・カルシウム代謝薬	115
11-1	ビタミンB1剤	102	8-1	カルシトニン製剤	115
11-2	ビタミンB2剤	102	8-2	ビスホスホネート製剤	115
11-3	ビタミンB12剤	102	8-3	副甲状腺ホルモン	116
11-4	その他のビタミンB剤	103	8-4	SERM	117
11-5	ビタミンB複合剤	103	12-9	その他の代謝性医薬品	117
11-6	ビタミンC剤	103	13	輸液および関連製剤	120
11-7	ビタミンD剤	104	13-1	輸液補給	120
11-8	ビタミンK剤	104	1-1	糖液	120
11-9	複合ビタミン剤	105	1-2	脂肪酸	120
12	代謝性医薬品	106	1-3	アミノ酸製剤	120
12-1	無機質剤	106	1-4	その他	122
1-1	カルシウム剤	106	13-2	体液および体液成分製剤	122
1-2	ナトリウム剤	106	2-1	血漿製剤	122
1-3	カリウム剤	107	2-2	血漿代用剤	123
1-4	高カリウム血症治療剤	107	2-3	電解質製剤	123
1-5	高リン血症治療剤	108	14	血液用薬	128
1-6	鉄剤	108	14-1	止血剤	128
1-7	高カロリー輸液用微量元素	108	14-2	抗凝血薬	129
12-2	肝臓疾患用剤	108	2-1	抗凝固薬	129

2-2	抗血小板薬	131
14-3	その他の血液・体液用薬	133
15	抗悪性腫瘍剤	135
15-1	代謝拮抗剤	135
15-2	腫瘍用剤	135
15-3	その他	136
16	抗生物質	138
16-1	ペニシリン系	138
1-1	合成ペニシリン類 注射用製剤	138
1-2	経口製剤	138
16-2	セフェム系	139
2-1	注射用製剤（第1世代）	139
2-2	注射用製剤（第2世代）	140
2-3	注射用製剤（第3世代）	140
2-4	経口用製剤（第1世代）	141
2-5	経口用製剤（第2世代）	142
2-6	経口用製剤（第3世代）	142
2-7	その他のβラクタム系	143
7-1	カルバペネム系抗生剤	143
7-2	経口用ペネム系	144
7-3	その他	144
16-3	アミノグリコシド系	145
16-4	テトラサイクリン系	145
16-5	マクロライド系	146
16-6	ホスホマイシン系	147
16-7	リンコマイシン系	147
16-8	ニューキノロン・キノロン系	147
16-9	その他の抗生物質	149
9-1	抗MRSA薬	149
9-2	ヘリコバクター・ピロリ除菌薬	150
17	化学療法剤	151
17-1	抗結核剤	151
17-2	抗真菌剤	152
17-3	抗ウイルス薬	154

17-4	その他の化学療法剤	154
17-5	抗インフルエンザウイルス薬	155
17-6	抗原虫剤	156
18	血清トキソイド・ワクチン類	157
19	診断用薬・X線造影剤	159
19-1	診断用薬	159
19-2	X線造影剤	160
19-3	MR I 用造影剤	162
19-4	造影補助剤	162
19-5	放射性医薬品	163
19-6	ヨウ素製剤	166
19-7	診断補助剤	166
20	漢方製剤	167
20-1	ツムラ	167
21	麻薬	170
22	殺菌消毒剤	174
23	解説	176

-ア-	
アイトロール錠 20mg	60
亜鉛華軟膏	96
アイファガン点眼液 0.1%5mL	34
アイミクス配合錠 LD	56
アーガメイト 20%ゼリー 25g	107
アキネトン錠 1mg	27
アクチット輸液	125
アクトシン軟膏 3%	99
アクトス錠 15	113
アクリノール 0.1%液	174
アザクタム注射用 1g	144
アザルフィジン E N 錠 500mg	41
アジルバ錠 40mg	54
アスタットクリーム 1%	98
アストミン錠 10mg	66
アズノールうがい液 4%	72
アズノール軟膏 0.033%	99
アスパラ-C A 錠 200	106
アスパラカリウム散 50%	107
アスパラカリウム錠 300mg	107
アスパラギン酸カリウム注	107
アスピリン	6
アスベリン錠 20	66
アズレン点眼液 0.02%	35
アズロキサ顆粒 2.5%	77
アダラート C R 錠 20mg	50
アダラート C R 錠 40mg	50
アダラート L 錠 10mg	50
アダラートカプセル 5mg	50
アタラックス-P 注射液 (25mg/mL)	17
アタラックス錠 10mg	17
アーチスト錠 1.25mg	49
アーチスト錠 2.5mg	49
アーチスト錠 10mg	49
アデノスキャン注 60mg	166

アデホスコーワ顆粒 10%	117
アデラビン 9 号注 1mL	108
アテレック錠 10	51
アーテン錠 2mg	27
アドエア 250 ディスカス 60 吸入用	70
アドエア 500 ディスカス 60 吸入用	70
アドソルビン原末	81
アドナ錠 10mg	128
アドナ錠 30mg	128
アドナ注 (静注用) 50mg	128
アドフィードパップ 40mg	100
アトロピン硫酸塩注 0.5mg	31
(硫酸アトロピン)	
アナペイン注 2mg/mL	24
アネキセート注射液 0.5mg	109
アブレース錠 100mg	76
アボプロン注 0.5mg	47
アボルブカプセル 0.5mg	91
アマーシ錠 2.5mg	11
アマリール 1mg 錠	111
アマリール 3mg 錠	111
アマンタジン塩酸塩細粒 10%	20
アマンタジン塩酸塩錠 50mg	20
アミカシン硫酸塩注射液 200mg	145
アミグランド輸液	121
アミティーザカプセル 24 μ g	80
アミノレバン E N 配合散	122
アミノレバン点滴静注	121
アミパレン輸液	120
アムロジピン O D 錠 2.5mg「テハ」	51
アムロジピン錠 5mg「KN」	51
アモバン錠 7.5	4
アラセナー-A 軟膏 3%	97
アリセプト D 錠 3mg	21
アリセプト D 錠 5mg	21
アリセプト D 錠 10mg	21

アリナミンF糖衣錠[25mg]	102
アリミデックス錠 1mg	135
アルサルミン細粒 90%	76
アルダクトンA 25mg	57
アルツディスポ関節注 25mg	117
アルファロールカプセル 0.25 μ g	104
アルファロールカプセル 0.5 μ g	104
アルファロールカプセル 1.0 μ g	104
アルブミン-25%静注	122
アルロイドG内用液 5%	76
アレジオン錠 20	39
アレビアチン散 10%	5
アレビアチン錠 100mg	5
アレビアチン注 250mg	5
アレロックOD錠 5	39
アローゼン顆粒	79
★アロチノロール塩酸塩錠 5mg「DSP」	49
アロチノロール塩酸塩錠 10mg「DSP」	49
アロンアルファA「三共」	100
アンカロン錠 100	46
アンチレクス静注 10mg	159
アンテベートクリーム 0.05%	93
アンテベートローション 0.05%	93
アンテベート軟膏 0.05%	93
アンヒバ坐剤小児用 100mg	7
アンヒバ坐剤小児用 200mg	7
アンブラーグ錠 100mg	132
アンブロキシール塩酸塩錠 15mg	67
アンペック坐剤 10mg	170
アンペック坐剤 20mg	170
イオパミロン注 300	160
イオパミロン注 300 シリンジ	160
イオパミロン注 370 シリンジ	160
イグザレルト錠 10mg	130
イグザレルト錠 15mg	130
イクセロンパッチ 4.5mg	22

イクセロンパッチ 9mg	22
イクセロンパッチ 13.5mg	22
イクセロンパッチ 18mg	22
イーケプラ錠 500mg	6
イサロン錠 100mg	76
イスコチン錠 100mg	151
イソジンガーゲル液 7%	72
イソジンゲル 10%	97
イソジン液 10%	174
イソビスト注 240	160
イソビスト注 300	160
イドメシンコーワゲル 1%	95
イトリゾールカプセル 50	153
イナビル吸入粉末剤 20mg	155
★イノレット 30R	114
イーフェンバツカル錠 50 μ g	173
★イーフェンバツカル錠 200 μ g	173
イムノブラダー膀胱注用 80mg	137
イルベタン錠 100mg	54
インクレミンシロップ	108
インジゴカルミン注 20mg	159
インタール点眼液 2%	35
インタール点鼻液 2%	37
インダスト点滴静注用 0.5g	143
インデラル錠 10mg	48
インデラル注射液 2mg	48
イントラリボス輸液 20%	120
ヴィーン3G輸液	125
ヴィーンD輸液	124
ヴィーンF輸液	124
献血ヴェノグロブリンIH5%静 2.5%/50mL	157
(ヴェノグロブリンIH5%静 2.5%/50mL)	
ウブレチド錠 5mg	26
ウラリット配合錠	110
ウルソデオキシコール酸錠 100mg「テバ」	79
ウルソ錠 50mg	79

ウルソ錠 100mg	79
ウルティプロ吸入用カプセル	71
ウレパールローション 10%	98
ウロキナーゼ注「フジ」60,000	129
ウログラフィン注 60%	161
ウロマチックS 泌尿器科用灌流液 3%	91
エイゾプト懸濁性点眼液 1%	34
エカード配合錠HD	55
液化亜酸化窒素 (笑気ガス)	1
エクア錠 50mg	113
エクセグラン錠 100mg	5
エクセラゼ配合錠	78
エコリシン眼軟膏	33
エコリシン点眼液	33
エコ消エタ消毒液	174
SM配合散	78
SG配合顆粒	8
エースコール錠 2mg	53
SPトローチ 0.25mg「明治」	72
エスポー皮下用 6000 シリンジ	133
エスラックス静注 50mg	25
エックスフォージ配合錠	55
ATP腸溶錠 20mg「第一三共」	117
エディロールカプセル 0.75μg	104
エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5mg	53
エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg	53
エパデールS600	132
エバミール錠 1.0	2
エビスタ錠 60mg	117
エビプロスタット配合錠DB	90
エビリファイ錠 3mg	15
エピレナートシロップ 5%	5
エフェドリン「ナガサ」注射液 40mg	69
エフオーワイ 100[注射用]	115
エフオーワイ 500[注射用]	115

エブトール 250mg 錠	151
エフピーOD錠 2.5	30
エブランチルカプセル 15mg	91
エホチール注 10mg	58
MSコンチン錠 10mg	171
MSコンチン錠 30mg	171
MSコンチン錠 60mg	171
MS温シップ「タイハウ」	100
MS冷シップ「タカミツ」	100
レーケフレックス顆粒	141
エリキユース錠 2.5mg	130
★エリキユース錠 5mg	130
エルカルチンFF錠 250mg	117
エルシトニン注 20S ディスポ	115
エルネオパ輸液 1号・2号	127
エレメンミック注	108
10%塩化ナトリウム注	106
塩化タリウム(201Tl)注NMP	164
塩化ナトリウム	105
塩酸バンコマイシン散 0.5「MEEK」	149
塩酸モルヒネ塩酸塩注射液 10mg (モルヒネ塩酸塩注射液)	170
エンシュア・H	122
エンシュア・リキッド	122
エンピナース・P錠 18000	110
オイグルコン錠 1.25mg	111
オイラックスHクリーム	95
オイラックスクリーム 10%	95
オキシコンチン錠 5mg	171
オキシコンチン錠 10mg	171
オキシドール	174
オキノーム散 2.5mg	171
オーグメンチン配合錠 250RS	138
オスバン消毒液 10%	174
オーツカMV注	105
オビソート注射用 0.1g	26

オブソ内服液 5mg.....	170
オブチレイ 240 注シリンジ 100mL.....	161
オブチレイ 320 注シリンジ 75mL.....	161
オブチレイ 320 注シリンジ 100mL.....	161
オブランゼ錠 10.....	74
オブランゼ錠 20.....	74
オペガードMA眼灌流液.....	36
オムニパーク 240 注 10mL.....	160
オムニパーク 300 注シリンジ 100mL.....	160
オムニパーク 300 注シリンジ 150mL.....	160
オメプラール注用 20.....	73
オリブ油.....	98
オリベス点滴用 1 %.....	45
オルメテック錠 10mg.....	54
オルメテック錠 20mg.....	54
オンブレス吸入用カプセル 150 μg.....	71

-カ-

ガスコンドロップ内用液 2%.....	162
ガスコン錠 40mg.....	82
ガスター散 10%.....	73
ガスター注射液 20mg.....	73
ガストローム顆粒 66.7%.....	76
ガストログラフィン経口・注腸用.....	161
ガスモチン錠 5mg.....	82
ガスロンN・OD錠 4mg.....	77
カソデックス錠 80mg.....	135
カタクロット注射液 40mg.....	21
カタボンHi注 600mg.....	44
ガチフロ点眼液 0.3%.....	33
ガナトン錠 50mg.....	82
カナマイシンカプセル 250mg.....	145
カバサル錠 1.0mg.....	29
ガバペン錠 200mg.....	6
カピステン筋注 50mg.....	8
カマゲ.....	79

(重質酸化マグネシウム)

カリユニ点眼液 0.005%.....	33
カリクレイン錠 10 単位.....	64
カルタンOD錠 500mg.....	108
カルデナリン錠 1mg.....	47
カルデナリン錠 2mg.....	47
カルブロック錠 8mg.....	51
カルブロック錠 16mg.....	51
カルボカイン注 1%.....	23
カルボカイン注 2%.....	23
カルボシステイン錠 250mg「テハ」.....	68
カロナール細粒 20%.....	7
カロナール錠 200.....	7
カロリールゼリー40.496%.....	109
カンデサルタン錠 4mg「あすか」.....	54
カンデサルタン錠 8mg「あすか」.....	54
キサラタン点眼液 0.005%.....	34
キシリトール注 20%「フソー」.....	120
キシロカイン 2%〔静注用〕.....	45
キシロカインゼリー2%.....	23
キシロカインビスカス 2%.....	23
キシロカインポンプスプレー8%.....	23
キシロカイン液「4%」.....	23
キシロカイン注ポリアンプ 1%.....	23
キシロカイン注射液「0.5%」エピレシ.....	24
キシロカイン注射液「1%」エピレシ.....	24
キネダック錠 50mg.....	114
キャベジンUコーワ錠 25mg.....	77
強カネオミノファーゲンシーP静注 20mL.....	41
強カネオミノファーゲンシー静注シリンジ 40mL.....	41
強カポステリザン(軟膏).....	92
キョーリンAP2 配合顆粒.....	10
キリット注 5%.....	120
キンダベート軟膏 0.05%.....	93
クエン酸ガリウム(67Ga)注NMP.....	163
グラクティブ錠 25mg.....	113

グラクティブ錠 50mg	113
グラケーカプセル 15mg	104
クラビット点滴静注バッグ 500mg	147
グラマリール錠 25mg	20
クラリス錠 200mg	146
クラリチン錠 10mg	40
グランダキシム錠 50	26
クリアナール錠 200mg	68
グリセオール注	19
グリセリンB C液	175
グリチロン配合錠	41
グリミクロン錠 40mg	111
グルカゴンGノボ注射用 1mg	159
グルファスト錠 10mg	111
グルベス配合錠	113
クレストール錠 2.5mg	64
★グレースビット錠 50mg	148
★クレナフィン爪外用液 10%	98
クレメジン細粒	109
クロマイーP軟膏	97
ケイキサレートドライシロップ	107
ケイキサレート散	107
KCL注 20mEqキット「テルモ」	107
ケイツーN静注 10mg	104
ゲーベッククリーム 1%	99
ケタスカプセル 10mg	19
ケタラル静注用 200mg	173
ケフラールカプセル 250mg	141
ケラチナミンコーワクリーム 20%	98
ケンエーG浣腸液 50%	79
献血ヴェノグロブリン I H5%静 2.5%/50mL	157
(ヴェノグロブリン I H5%静 2.5%/50mL)	
ゲンタシン軟膏 0.1%	96
コアベータ静注用 12.5mg	46
コディオ配合錠EX	55
コデインリン酸塩散 1%	67

コデインリン酸塩散 10%	67, 173
コートリル錠 10mg	85
コナン錠 10mg	53
コニール錠 4	50
コバシル錠 4mg	53
コムタン錠 100mg	30
コメリアンコーワ錠 50	61
コランチル配合顆粒	72
コンスタン0.4mg錠	13
コントミン筋注 10mg	13
コントミン糖衣錠 12.5mg	13

-サ-

サアミオン錠 5mg	19
★ザイザル錠 5mg	40
ザイティガ錠 250mg	135
サイトテック錠 200	77
ザイボックス注射液 600mg	149
サイレース錠 1mg	2
ザイロリック錠 100	110
サインバルタカプセル 20mg	17
サーカネッテン配合錠	91
サブビタン静注	105
サムスカ錠 7.5mg	58
ザラカム配合点眼液	35
サリベートエアゾール	72
ザルコニン液 0.05	174
サワシリン錠 250	139
酸化マグネシウム「NP」原末	79
(カマグ)	
サンコバ点眼液 0.02%	35
ザンタック錠 150	73
サンピロ点眼液 1%	32
サンリズムカプセル 25mg	46
サンリズムカプセル 50mg	46
ジェイゾロフト錠 25mg	17

ジェニナック錠 200mg	147
ジギラノゲン注 0.4mg	43
シグマート錠 5mg	61
シグマート注 12mg	61
ジクロード点眼液 0.1%	34
ジゴシン錠 0.125mg	43
ジスロマック SR 成人用ドライシロップ 2g	146
ジスロマック錠 250mg	146
シナール配合錠	103
ジフルカンカプセル 100mg	152
ジプレキサ錠 2.5mg	15
シプロキサ注 300mg	148
シベノール錠 100mg	45
シムビコートタービュヘイラー	70
ジルテック錠 10	39
シロスタゾール錠 100mg「日医工」	132
重質酸化マグネシウム (カマグ)	79
重曹	79
笑気ガス (液化亜酸化窒素)	1
シングレア錠 10mg	40, 69
シンメトレル錠 50mg	20
新レシカルボン坐剤 (レシカルボン坐剤)	80
人工涙液マイティア点眼液 (マイティア点眼液)	36
スタレボ配合錠 L100mg	30
スチックゼノール A	95
ステーブラ錠 0.1mg	89
ステリクロン B エタノール液 0.5	175
ストレプトマイシン注射用 1g (硫酸ストレプトマイシン注射用 1g)	145
ストロカイン錠 5mg	82
スピール膏 M	98
スピリーバ吸入用カプセル 18 µg	71

スポンゼル	128
スルペラゾンキット静注用 1g	144
スローケー錠 600mg	107
スロンノン H I 注 10mg/2mL	63
生食注シリンジ	123
大塚生食注	123
大塚生食注 2 ポート	123
精製ツベルクリン (ツベルクリン)	159
★セイブル錠 50mg	112
セイブル錠 75mg	112
ゼチーア錠 10mg	65
セパミット R 細粒 2%	50
セファドール錠 25mg	12
セファメジン α 注射用 1g	139
セファメジン α 点滴用キット 1g	139
セフォチアム塩酸塩静注用 1g	139
セフゾンカプセル 100mg	142
セフタジジム静注用 1g	141
セフトリアキソンナトリウム静注用 1g	141
セフメタゾン静注用 1g	140
セボフレン吸入麻酔液	1
セララ錠 25mg	57
セルシン錠 2mg	14
セルシン錠 5mg	14
セルシン注射液 10mg	14
セルタッチパップ 70	101
セルテクト錠 30	39
セルニルトン錠	90
セレキノン錠 100mg	82
セレコックス錠 100mg	9
セレジスト O D 錠 5mg	21
セレスタミン配合錠	39
セレネース錠 0.75mg	13
セレネース錠 1.5mg	13
セレネース注 5mg	13

セロクエル錠 25mg	15
セロクラール錠 20mg	20
セロトーン静注液 10mg	83
センノサイド錠 12mg「サリ」	80
ゾシン静注用 4.5	138
ゾシン配合点滴静注用バッグ 4.5	138
ゾビラックス眼軟膏 3%	33
ゾビラックス点滴静注用 250	154
ソフラチュール貼付剤 10cm	97
ゾーミッグRM錠 2.5mg	10
ゾラデックス 3.6mg デポ	136
★ゾラデックス LA10.8mg デポ	136
ソランタール錠 100mg	9
ソリター-T 1号輸液	126
ソリター-T 3号G輸液	126
ソリター-T 3号輸液	125
ソリタックス-H輸液	125
ソル・コーテフ静注用 250mg	86
ソル・コーテフ注射用 100mg	86
ソル・メドロール静注用 125mg	87
ソル・メドロール静注用 40mg	87
ソル・メドロール静注用 500mg	87
ソルダクトン静注用 100mg	57
ゾレドロン酸点滴静注 4mg/100mL バッグ「テバ」	116
-ター	
ダイアート錠 30mg	57
ダイアート錠 60mg	57
ダイアモックス錠 250mg	37
ダイアモックス注射用 500mg	37
タケキャブ錠 20mg	76
タゴシッド 200mg[注射用]	149
タチオン点眼用 2%	34
タッチロンテープ 20	101
タッチロンパップ 30	101
ダットスキャン静注	165

タナトリル錠 2.5	53
タナトリル錠 5	53
タフマックE配合カプセル	78
タフマックE配合顆粒	78
タミフルカプセル 75	155
ダラシンS注射液 600mg	147
タリオン錠 10mg	40
タリビット眼軟膏 0.3%	33
タリビッド耳科用液 0.3%	38
タリビット点眼液 0.3%	33
タンナルビン	81
チアトンカプセル 10mg	31
チエナム点滴静注用キット 0.5g	143
チモプトール点眼液 0.5%	34
調剤用パンビタン末	105
(パンビタン末)	
注射用プロビトール 500	115
(プロビトール注 500)	
チラージンS錠 25 µg	84
チラージンS錠 50 µg	84
沈降破傷風トキソイド	157
(破傷風トキソイド)	
ツムラ	167
ディスコビスク 1.0 眼粘弾剤	36
低分子デキストラン糖注	123
ディレグラ配合錠	42
テオドールドライシロップ 20%	69
テオドール錠 100mg	69
テオドール錠 200mg	69
デカドロン錠 0.5mg	85
デキサート注射液 1.65mg	86
デキサルチン口腔用軟膏 1mg/g	72
テクネMAAキット	165
テクネ MDP 注射液 (740MBq)	164
テクネシンチ注-1 OM	164
テグレトール錠 100mg	5

テグレトール錠 200mg	5
テゴー5 1 消毒液 10%	175
デジレル錠 25	16
テタノブリンー I H 静注 250 単位	157
デトキソール静注液 2g	109
テトラミド錠 10mg	16
テノーミン錠 25	49
デパケンR錠 200mg	5
デパス錠 0. 5mg	14
テプレノンカプセル 50	77
テプレノン細粒 10%	77
デプロメール錠 25	17
デュロテップMTパッチ 2. 1mg	172
デュロテップMTパッチ 4. 2mg	172
デュロテップMTパッチ 8. 4mg	172
テラ・コートリル軟膏	94
テラジアパスタ 5%	99
テラマイシン軟膏	96
★テリボン皮下注 56. 5 μ g	116
テルネリン錠 1mg	25
デルマトール	99
デルモベート軟膏 0. 05%	94
テレミンソフト坐薬 10mg	80
点滴静注用バンコマイシン 0. 5「MEEK」	149
ドグマチール細粒 10%	18, 77
ドグマチール錠 50mg	18, 77
ドネペジル塩酸塩OD錠 5mg「NP」	21
ドパコール配合錠 L50	27
ドパコール配合錠 L100	27
ドパストン静注 25mg	27
トビエース錠 4mg	89
ドプスOD錠 100mg	29
ドブトレックスキット点滴静注用 200mg	44
ドブトレックスキット点滴静注用 600mg	44
トフラニール錠 10mg	16
ドプラム注射液 400mg	66

ドラール錠 15	3
トラゼンタ錠 5mg	113
トラネキサム酸注 1000mg/10mL「日新」	128
トラベルミン配合錠	12
トラマールOD錠 25	11
トラムセット配合錠	10
トランコロン錠 7. 5mg	82
トランサミン錠 250mg	128
トリクロリールシロップ 10%	4
トリノシンS注射液 20mg	117
トリプタノール錠 10mg	16
トルソプト点眼液 1%	34
ドルミカム注射液 10mg	2
トレーランG液 50g	159
トリーバフレックスタッチ	114
トレリーフOD錠 25mg	30
ドロレプタン注射液 25mg	1
トロンビン液モチダソフトボトル 1 万	128
トロンビン細粒 1 万単位[経口用]	128

-ナ-

ナウゼリン坐剤 30	82
ナウゼリン錠 10	82
ナトリックス錠 1	57
ナパゲルンローション 3%	95
ナロキソン塩酸塩静注 0. 2mg	109
ニセルゴリン錠 5mg「サワイ」	19
ニトロールRカプセル 20mg	60
ニトロール注 5mg	60
ニトロダームTT S 25mg	60
ニトロペン舌下錠 0. 3mg	60
ニバジール錠 4mg	50
ニフェジピンCR錠 20mg	50
ニフェジピンCR錠 40mg	50
ニフラン点眼液 0. 1%	35
ニフレック配合内用剤	163

乳酸カルシウム	106
ニュープロパッチ 4.5mg	29
ニュープロパッチ 9mg	29
ニュープロパッチ 13.5mg	29
ニューロタン錠 25mg	53
ニューロタン錠 50mg	53
ニューロライト注射液 第一	165
ネオアミュー輸液	121
ネオーラル 25mg カプセル	118
ネオーラル 50mg カプセル	118
ネオキシテープ 73.5mg	90
ネオシネジンコーワ 5%点眼液	32
ネオシネジンコーワ注 1mg	59
ネオダルムゾル	162
ネオドパストン配合錠 L100	27
ネオビタカイン注シリンジ 2mL	10
ネオビタカイン注シリンジ 5mL	10
ネオフィリン注 250mg	43
ネオメドロールE E軟膏	32
ネオラミン・スリービー液	103
ネキシウムカプセル 20mg	74
ネグミンシュガー軟膏	99
ネシーナ錠 25mg	113
ネスプ注射液 60 μ g/プラシリンジ	134
ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1%	93
ネリプロクト坐剤	92
ネリプロクト軟膏	92
ノイエル細粒 40%	77
ノイキノ錠 10mg	65
ノイトロジン注 100 μ g	133
ノイロトロピン錠 4 単位	12
ノイロトロピン注射液 3.6 単位	12
ノウリアスト錠 20mg	30
ノバミン錠 5mg	18
ノボラピッド 30 ミックス注	114
ノボラピッド注フレックスペン	114

ノボリンR注フレックスペン	114
ノルアドリナリン注 1mg	59
ノルバスクOD錠 5mg	51
ノルバスクOD錠 10mg	51
ノルバデックス錠 20mg	136
-ハー	
バイアスピリン錠 100mg	131
ハイカリック輸液 1号・2号・3号	127
バイカロン錠 25mg	57
ハイペン錠 200mg	9
ハイポアルコール液 2%	175
ハイボン錠 20mg	102
パキシル錠 10mg	16
白色ワセリン	100
バクタ配合錠	154
バクトロバン鼻腔用軟膏 2%	97
破傷風トキソイド	157
（沈降破傷風トキソイド）	
パタノール点眼液 0.1%	35
ハッカ水	100
バップフォー錠 10	90
パナルジン錠 100mg	131
パナン錠 100mg	142
パニマイシン注射液 100mg	145
バファリン配合錠 A81	131
ハベカシン注射液 100mg	145
バムスター S100	162
バリエース発泡顆粒	163
パリエット錠 10mg	75
バリトゲン HD	162
バリトゲン消泡内用液 2%	163
バリトップP	162
パルクス注 10 μ g	63
バルコーゼ顆粒 75%	80
バルサルタン錠 40mg「サント」	54

バルサルタン錠 80mg「サト」	54
ハルシオン 0.25mg 錠	3
バルトレックス錠 500	154
ハルナールD錠 0.1mg	90
ハルナールD錠 0.2mg	90
バルプロ酸ナトリウムシロップ 5%	5
パーロデル錠 2.5mg	27
パンスポリンT錠 200	142
パンスポリン静注用 1g バッグ S	139
パントール注射液 500mg	103
パントシン散 20%	65
パントシン錠 200	65
パンビタン末〔調剤用〕 (調剤用パンビタン末)	105
ハンプ注射用 1000	44
★ヒアルロン酸 Na 関節注 25mg シリンジ「テバ」	117
ヒアレイン点眼液 0.1%	35
ピーエイ配合錠	19
PL 配合顆粒	18
ピオフェルミン錠剤	81
ピオフェルミン配合散	81
ピカルタミド錠 80mg「NK」	135
ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「CHOS」	80
ピ・シフロール錠 0.5mg	28
ビーソフテンローション 0.3%	100
ビスルボン吸入液 0.2%	70
ビスルボン錠 4mg	67
ビスルボン注 4mg	67
ビタミンC注 10% P B	103
ビタメジン静注用	103
ビタメジン配合カプセル B25	103
ヒビテン液〔5%〕	175
ビーフリード輸液	121
ピペラシリンナトリウム注射用 1g	138
ピペラシリンナトリウム注射用 2g	138
ビーマス配合錠	80

ピモベンダン錠 1.25mg「TE」	44
ヒューマリンR注 100 単位/mL	114
ピューラックス	175
ヒルドイドソフト軟膏 0.3%	100
ヒーロン 0.85 眼粘弾剤 1%	36
ヒーロンV 0.6 眼粘弾剤 2.3%	36
ファーストシン静注用 1g バッグ S	140
ファスティック錠 30	111
ファスティック錠 90	111
ファモチジンOD錠 10mg「テバ」	73
ファモチジンOD錠 20mg「テバ」	73
ファモチジン静注 20mg「日新」	73
ファロム錠 200mg	144
ファンガード点滴用 50mg	153
フィジオ 140 輸液	124
フィブラストスプレー 500	99
フェキシフェナジン錠 60mg「SANIK」	40
フェジン静注 40mg	108
フェノバル散 10%	3
フェノバル注射液 100mg	3
フェブリク錠 10mg	110
フェブリク錠 20mg	110
フェロ・グラデュメット錠 105mg	108
フェロベリン配合錠	81
フェロミア錠 50mg	108
フェンタニル注射液 0.1mg	172
フォイパン錠 100	114
フォサマック錠 35mg	115
フォリアミン錠	103
フォルテオ皮下注キット 600 μ g	84, 116
フサン 50〔注射用〕	115
フスコデ配合シロップ	67
フスコデ配合錠	67
ブスコパン錠 10mg	31
ブスコパン注 20mg	31
ブドウ糖注射液	120

ブラザキサカプセル 110mg	130
フラジール内服錠 250mg	156
ブラダロン錠 200mg	89
プラバスタチンNa 錠 10mg「サワイ」	64
フラビタン眼軟膏 0.1%	35
フラビタン錠 5mg	102
フラビタン点眼液 0.05%	35
プラビックス錠 25mg	132
プラビックス錠 75mg	132
フランドルテープ 40mg	60
プランルカスト錠 225mg	40
ブリディオオン静注 200mg	110
フリバス OD 錠 25mg	90
プリビナ液 0.05%	37
プリンペラン錠 5	83
プリンペラン注射液 10mg	83
フルイトラン錠 2mg	56
フルカリック輸液 1号・2号・3号	127
フルコートF軟膏	94
フルコートクリーム 0.025%	93
フルコートスプレー0.007%	93
プルゼニド錠 12mg	80
フルタイド 200 ディスカス	70
フルマリンキット静注用 1g	140
フルメトロン点眼液 0.02 %	32
フルメトロン点眼液 0.1%	32
プレタールOD錠 100mg	132
プレドニゾロン錠 1mg	85
プレドニン 10mg[水溶性]	86
プレドニン錠 5mg	85
プレドパ注 200	44
プレビブロック注 100mg	46
プレミネント配合錠 LD	54
プロクトセディル軟膏	92
プログラフカプセル 1mg	119
プロサイリン錠 20	62

プロジフ静注液 100	152
プロジフ静注液 200	152
プロスタール錠 25	91
プロスタルモン・F 注射液 2000	88
プロスタンディン注射用 20 μ g	62
プロタノールL 注 0.2mg	47
プロタノールS 錠 15mg	47
プロチンシロップ 3.3%	67
プロテカジン OD 錠 10	73
プロトピック軟膏 0.1%	96
プロナーゼMS	163
プロビトール 500	115
（注射用プロビトール 500）	
プロヘパール配合錠	109
プロポフォール注「マルイシ」1%	1
プロマックD錠 75	78
フロモックス小児用細粒 100mg	142
フロモックス錠 100mg	142
フロリードDクリーム 1%	98
フロリードゲル経口用 2%	152
フロリネフ錠 0.1mg	85
プロレナール錠 5 μ g	62
ベイスンOD錠 0.2	112
ベイスンOD錠 0.3	112
ヘキザック水W[0.05%]	175
ベゲタミン-B配合錠	18
ベサコリン散 5%	26
ベザリップ錠 200mg	65
ベシケアOD錠 2.5mg	89
ベシケアOD錠 5mg	89
★ベタニス錠 50mg	89
ベナパスタ軟膏 4%	95
ベネット錠 17.5mg	116
ベネトリン吸入液 0.5%	70
ベネトリン錠 2mg	68
ベノキシール点眼液 0.4%	36

ヘパフラッシュ 10 単位/mL シリンジ 10mL	129
ヘパリン Na 注 5 千単位/5mL 「モチダ」	129
ヘブスブリン- I H [静注用]	158
ペルサンチン錠 25mg	61
ペルサンチン錠 100mg	61
ペルジピン錠 10mg	52
ペルジピン注射液 2mg	51
ペルジピン注射液 10mg	51
ベルソムラ錠 15mg	4
ヘルベッサー R カプセル 100mg	52
ヘルベッサー錠 30mg	52
ヘルベッサー注射用 10	52
ペルマックス錠 250 μ g	28
ベンザリン錠 5	2
ペンタジン注射液 15	11
ペントシリン静注用 1g パッケージ	138
ペンレステープ 18mg	24
ホクナリンテープ 1mg	68
ホクナリンテープ 2mg	68
ホクナリンドライシロップ 0.1%	68
ホスミシン S 静注用 1g	147
ホスミシン S 静注用 2g	147
ホスミシン錠 500mg	147
ボスミン外用液 0.1%	59
ボスミン注 1mg	59
ポタコール R 輸液	124
★ボトックス注用 50 単位	25
ポノテオ錠 50mg	116
ポラキス錠 2	90
ポラキス錠 3	90
ポラザ G 坐剤	92
ポララミン錠 2mg	39
ポリフル細粒 83.3%	81
ポリフル錠 500mg	81
ボルタレン S R カプセル 37.5mg	8
ボルタレンゲル 1%	95

ボルタレンサポ 12.5mg	7
ボルタレンサポ 25mg	7
ボルタレンサポ 50mg	7
ボルタレンテープ 15mg	101
ボルタレン錠 25mg	7
ボルヒール組織接着用	100
ボルベン輸液 6% 500mL	123
ボンビバ静注シリンジ 1mg	116

-マ-

マيسリー錠 5mg	4
マيسリー錠 10mg	4
マイティア点眼液	36
(人工涙液マイティア点眼液)	
マーカイン注 0.25	24
マーカイン注脊麻用 0.5%高比重	24
マーカイン注脊麻用 0.5%等比重	24
マグコロール P	163
マクサルト R P D 錠 10mg	11
マグネビスト静注シリンジ	162
マグミット錠 330mg	79
マスキンスクラブ	175
マーズレン S 配合顆粒	76
マドパー配合錠	27
ミオ MIB G-I123 注射液	165
ミオコール点滴静注 50mg	61
ミオナール錠 50mg	25
ミカムロ配合錠 AP	55
ミカルデイス錠 20mg	54
ミカルデイス錠 40mg	54
ミグシス錠 5mg	11
ミケラン点眼液 2%	34
ミドリン P 点眼液	32
ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg	145
ミノマイシンカプセル 100mg	146
ミラペックス LA 錠 0.375mg	28

ミラペックス LA 錠 1.5mg	28
ミリステープ 5mg	60
ミリスロール注 25mg/50mL	61
ミルセラ注シリンジ 100 μ g	134
ミルリーラ K 注射液 22.5mg	44
ムコソルバン L 錠 45mg	68
ムコソルバン 錠 15mg	67
ムコダイン DS 50%	68
ムコダイン 錠 250mg	68
メイアクト MS 錠 100mg	143
メイラックス 錠 1mg	14
メイロン静注 7%20mL	109
メイロン静注 7%250mL	109
メインテート錠 0.625	48
メインテート錠 2.5	48
メインテート錠 5	48
メキシチールカプセル 50mg	45
メキシチールカプセル 100mg	45
メジコン散 10%	66
メジコン錠 15mg	66
メスチノン錠 60mg	26
メチエフ注 40mg	69
メチクール錠 500 μ g	102
メチコパール錠 500 μ g	102
メチコパール注射液 500 μ g	102
メチロン注 25%	8
メトグルコ錠 250mg	112
メバロチン錠 5	64
メバロチン錠 10	64
メプチンエアー10 μ g 吸入 100 回	70
メプチン錠 50 μ g	68
メマリーOD錠 5mg	22
メマリーOD錠 20mg	22
メリスロン錠 6mg	12
メルカゾール錠 5mg	84
メロペネム点滴静注用 0.5g	143

メロペン点滴用キット 0.5g	143
メンタックスクリーム 1%	98
モービック錠 10mg	9
モーラステープ L40mg	101
モーラスパップ 30mg	101
★モリヘパミン点滴静注	121
モルヒネ塩酸塩水和物「タケダ」原末	170
モルヒネ塩酸塩注射液 10mg	170
モルヒネ塩酸塩注射液 50mg	170
(塩酸モルヒネ)	
ーヤー	
ヤクバンテープ 40mg	101
ユーエフティ配合カプセル T100	135
ユナシン-S キット静注用 3g	144
ユナシン-S 静注用 1.5g	144
ユナシン錠 375mg	139
ユニシア配合錠 HD	55
ユニフィル LA 錠 200mg	69
ユーパスタコーワ軟膏	99
ユービット錠 100mg	159
ユベラ N カプセル 100mg	63
ユベラ N ソフトソフトカプセル 200mg	63
ユベラ軟膏	100
ユリーフ錠 4mg	90
★ユリノーム錠 25mg	110
ユリノーム錠 50mg	110
ユーロジン 2mg 錠	3
ヨウ化カリウム丸 50mg	166
ヨウ素・ヨウ化カリウム液	159

ーラー	
ラキシベロン錠 2.5mg	80
ラキシベロン内用液 0.75%	80
ラキシベロン内用液 0.75% ユニットドーズ	80
ラクツロースシロップ 60%	109

★臨時採用

ラクテック注	123
ラクテックG輸液	124
ラクリミン点眼液 0.05%	36
ラジカット点滴静注バッグ 30mg	21
ラシックス錠 20mg	56
ラシックス錠 40mg	56
ラシックス注 20mg	56
ラジレス錠 150mg	56
ラスカルトン注 20	115
ラックビー微粒N	81
ラニラピッド錠 0.05mg	43
ラピアクタ点滴静注液バッグ 300mg	155
ラベキュアパック 400	150
ラボナール注射用 0.5g	1
ラミシール外用液 1%	98
ラングシンチTc-99m注	165
ランソプラゾールOD錠 15mg「テハ」	75
ランソプラゾールOD錠 30mg「テハ」	75
ランタス注ソロスター	114
ランデル錠 20	51
リウマトレックスカプセル 2mg	41
リスパダールOD錠 1mg	15
リスパダール内用液 1mg/1mL	15
リスミー錠 1mg	4
リズミック錠 10mg	59
リスモダンカプセル 100mg	45
リーゼ錠 5mg	14
リゾビスト注	162
リドカイン注「NM」0.5%	23
リドカイン注「NM」1%	23
リドカイン注「NM」2%	23
リノコートパウダースプレー鼻用 25 µg	38
リーバクト配合顆粒	122
リバロ OD 錠 1mg	64
リバロ OD 錠 2mg	64
リピオドール 480 注	161

リピディル錠 53.3mg	65
リピトール錠 5mg	64
リピトール錠 10mg	64
リファジンカプセル 150mg	151
リフレックス錠 15mg	17
リボトリール錠 0.5mg	6
リマチル錠 100mg	40
硫酸アトロピン	31
（アトロピン硫酸塩注 0.5mg）	
硫酸ストレプトマイシン注射用 1g	145
（ストレプトマイシン注射用 1g）	
硫酸バリウム製剤	161
リユープリンSR注射用キット 11.25	136
リユープリン注射用キット 3.75	136
リリカカプセル 25mg	11
リリカカプセル 75mg	11
リルテック錠 50mg	21
リン酸コデイン	67, 173
（コデインリン酸塩散）	
リンデロン-VG軟膏 0.12%	94
リンデロンVクリーム 0.12%	93
リンデロン懸濁注	87
リンデロン錠 0.5mg	85
リンデロン注 2mg	87
リンデロン点眼・点耳・点鼻液 0.1%	32, 38
ルジオミール錠 10mg	16
ルブラック錠 4mg	56
ルブラック錠 8mg	56
ルミガン点眼液 0.03%	34
レキソタン錠 2mg	14
レキソタン錠 5mg	14
レキップCR2mg	28
レキップCR8mg	28
レキップ錠 1mg	28
レクサプロ錠 10mg	17
レザルタス配合錠HD	55

レバミピド錠 100mg「タハ」	77
レベニン散	81
レボトミン錠 25mg	13
レボトミン錠 5mg	13
レボフロキサシン錠 100mg「タイヨー」	148
レボフロキサシン細粒 100mg「DSEP」	148
レボフロキサシン錠 250mg「DSEP」	148
レボフロキサシン錠 500mg「DSEP」	148
レミッチカプセル 2.5 μ g	42
レミニールOD錠 4mg	22
レミニールOD錠 8mg	22
レンドルミンD錠 0.25mg	3
ロキソニンテープ 100mg	101
ロキソニン錠 60mg	8
ロキソプロフェンナトリウム錠 60mg「CH」	8
ロコルナール錠 50mg	62
ロセフィン点滴静注用 1g バッグ	141
ロゼレム錠 8mg	4
ロプレソール錠 20mg	49
ロペミンカプセル 1mg	81

ーワー

ワイスタール静注用 1g	144
ワイパックス錠 0.5	14
ワソラン錠 40mg	52
ワソラン静注 5mg	52
ワーファリン錠 0.5mg	129
ワーファリン錠 1mg	129
ワーファリン錠 5mg	129
ワンアルファ錠 0.5 μ g	104
ワンアルファ錠 1.0 μ g	104

【注釈】

【懸濁】：錠剤・カプセル剤・顆粒剤の胃瘻での簡易懸濁法の可否
(8Fr.チューブを基準)

【粉碎】：錠剤粉碎の可否。経口投与に関係する条件がある場合、それを記載

【脱カプ】：カプセル剤の脱カプセルの可否

1 中枢神経系用薬

1-1 全身麻酔剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
液化亜酸化窒素（笑気ガス） （亜酸化窒素） ガス：7.5Kg 薬価 4.30 局	【効】フェンタニール（フェンタネスト）との併用による手術、検査および処置時の全身麻酔ならび局所麻酔の補助 単独投与による麻酔前投薬 【用】酸素と併用し、酸素の吸気中濃度は必ず20%以上に保つこと	
ドロレプタン注射液 25mg (劇) （ドロペリドール） 注：25mg/10mL 薬価 123/mL 第一三共	【効】フェンタニール（フェンタネスト）との併用による手術、検査および処置時の全身麻酔ならび局所麻酔の補助 単独投与による麻酔前投薬 【用】単独投与：麻酔前 0.05～0.1mg/kg を筋注 導入麻酔：0.25～0.5mg/kg をフェンタニールと共に緩徐に静・点滴静注	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 痙攣発作の既往歴 3) 外来患者 4) 重篤な心疾患 5) QT 延長症候群 6) 2才以下の乳・小児
セボフレン吸入麻酔液 (劇) （セボフルラン） 液：250mL 薬価 58.30 丸石	【効】全身麻酔 【用】導入：0.5～5.0% 維持：4.0%以下	【禁】1) 以前にハロゲン化麻酔剤を使用して、黄疸又は原因不明の発熱がみられた患者 2) 本剤成分過敏症の既往歴
ラボナール注射用 0.5g (劇) （チオペンタール Na） 注：0.5g/A 薬価 1,104 田辺三菱	【効】全身麻酔 全身麻酔の導入 局所麻酔剤・吸入麻酔剤との併用 精神神経科における電撃療法の際の麻酔 局所麻酔剤中毒・破傷風・子癇等に伴う痙攣 精神神経科における診断（麻酔インジェクション） 【用】2.5%液にして静注 2～2.5%液にして筋注 10%液にして直腸内注入	【禁】1) ショック・大出血による循環不全・重症心不全 2) 急性間歇性ポルフィリン症 3) アジソン病 4) 重症気管支喘息 5) バルビツール酸系薬物過敏症
プロポフォール注「マルイシ」1% (劇) (後発品) 注：200mg/20mL 薬価 844 500mg/50mL 薬価 1,193 丸石	【効】全身麻酔の導入及び維持 【用】導入：0.05mL/kg/10秒の速度で、患者の全身状態を観察しながら、就眠が得られるまで静脈内に投与。ASAIII 及び IV の患者には、より緩徐に投与。維持：酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、静脈内に投与。0.4～1.0mL/kg/時の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。鎮痛剤（麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等）を併用すること。なお、局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。 【効】集中治療における人工呼吸中の鎮静 【用】0.03mL/kg/時の投与速度で、持続注入にて静脈内に投与を開始。0.03～0.30mL/kg/時の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。必要に応じて鎮痛剤を併用。	【禁】1) 本剤・本剤成分過敏症の既往歴 2) 妊産婦 3) 小児（集中治療における人工呼吸中の鎮静）

1-2 催眠鎮静剤

2-1 ベンゾジアゼピン系

【原・禁】肺性心、肺気腫、気管支喘息及び脳血管障害の急性期で呼吸機能が高度に低下している場合(炭酸ガス留滞を起こしやすい)

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エバミール錠 1.0 (向) (ロルメタゼパム) 錠:1.0mg 薬価 20.80 バイエル	【効】不眠症 【用】 1回1～2mgを就寝前 高齢者1回2mgまで	【禁】 1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 3)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
サイレース錠 1mg (向) (フルニトラゼパム) 錠:1mg 薬価 15.10 エーザイ	【効】不眠症 麻酔前投薬 【用】 成人1回0.5～2mgを就寝前又は手術前服用 高齢者:1回1mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ベンザリン錠 5 (向) (ニトラゼパム) 錠:5mg 薬価 11.00 塩野義	【効】不眠症 麻酔前投薬 【用】 1回5～10mg 【効】異型小発作群(点頭てんかん、ミオクロヌス発作、失立発作等)、焦点性発作(焦点性痙攣発作、精神運動発作、自律神経発作等) 【用】 1日5～15mg	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ドルミカム注射液 10mg (向) (ミダゾラム) 注:10mg/2mL 薬価 133 アステラス	【効】麻酔前投薬 【用】 0.08～0.10mg/Kg、修正在胎45週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には0.08～0.15mg/kgを手術前30分～1時間に筋注 【効】全身麻酔の導入及び維持 【用】 0.15～0.30mg/Kgを静注 必要に応じて初回量の半量ないし同量を追加投与 【効】集中治療における人工呼吸中の鎮静 【用】 導入:初回0.03mg/kg、0.06mg/kgまで。必要に応じて、0.03mg/kgを少なくとも5分以上の間隔を空けて追加投与。但し、初回投与及び追加投与の総量は0.30mg/kgまで。修正在胎45週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、初回投与0.05～0.20mg/kgを少なくとも2～3分以上かけて静注。必要に応じて、初回量と同量を少なくとも5分以上の間隔を空けて追加投与。維持:0.03～0.06mg/kg/hより持続静脈内投与を開始(0.03～0.18mg/kg/hの範囲が推奨される)修正在胎45週以上(在胎週数+出生後週数)の小児には、0.06～0.12mg/kg/hより持続静脈内投与を開始(投与速度の増減は25%の範囲内とする)修正在胎45週未満(在胎週数+出生後週数)の小児のうち、修正在胎32週未満では0.03mg/kg/h、修正在胎32週以上では0.06mg/kg/hより持続静脈内投与を開始 【効】歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静 【用】 初回投与として1～2mgをできるだけ緩徐に(1～2mg/分)静脈内に注射し、必要に応じて0.5～1mgを少なくとも2分以上の間隔を空けて、できるだけ緩徐に(1～2mg/分)追加投与。但し、初回の目標鎮静レベルに至るまでの、初回投与及び追加投与の総量は5mgまで	【警告】 1)「重要な基本的注意」に留意し、呼吸及び循環動態の連続的な観察ができる設備を有し、緊急時に十分な措置が可能な施設においてのみ用いること 2)低出生体重児・新生児に対して急速静脈内投与をしてはならない。 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 4)HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビルを含有する薬剤、等(サキナビル、インジナビル、ネルフィナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ダルナビル)、エファビレンツ及びコビシスタットを含有する薬剤投与中 5)ショックの患者、昏睡の患者、バitalサインの抑制がみられる急性アルコール中毒の患者

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ハルシオン 0.25mg錠 (㊞) (トリアゾラム) 錠:0.25mg 薬価 14.70 ファイザー	【効】不眠症 【用】 1回 0.25～0.5mg 高齢者 0.25mg まで 【効】麻酔前投薬 【用】 0.25mg～0.5mg	【警告】 服用後もうろう状態、睡眠随伴症状(夢遊症状等)があらわれることあり、又入眠までの、あるいは中途覚醒時の出来事を記憶していないことあり 【禁】 1)本剤過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 4)イトラコザール、フルコザール、ホスフルコザール、ホリコザール、ミコザール、HIVプロテアーゼ阻害剤(インジナビル、リトナビル等)、エファビレンツ、テラプレビル投与中 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ユーロジン 2mg錠 (㊞) (エスタゾラム) 錠:2mg 薬価 15.60 武田	【効】不眠症 【用】 1回 1～4mg 【効】麻酔前投薬 【用】 術前夜 1回 1～2mg 麻酔前 1回 2～4mg	【禁】 1)重症筋無力症 2)リトナビル(HIVプロテアーゼ阻害剤)投与中 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
レンドルミンD錠 0.25mg (㊞) (フロチゾラム) 錠:0.25mg 薬価 26.40 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】不眠症 【用】 1回 0.25mg を就寝前に経口 【効】麻酔前投薬 【用】 術前夜 1回 0.25mg 麻酔前 1回 0.5mg	【禁】 1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ドラール錠 15 (㊞) (クアセパム) 錠:15mg 薬価 98.50 田辺三菱	【効】不眠症 【用】 1回 20mg 【効】麻酔前投薬 【用】 術前夜 1回 15～30mg 1日最高量は 30mg	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性閉塞隅角緑内障 3)重症筋無力症 4)睡眠時無呼吸症候群 5)リトナビル(HIVプロテアーゼ阻害剤)投与中 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○

2-2 バルビツール酸系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フェノバル散 10% (㊞) (㊞) フェノバル注射液 100mg (㊞) (㊞) (フェバルビタル) 散:10倍散 薬価 8.50 注:100mg/1mL 薬価 75 藤永製薬	散 【効】不安緊張状態の鎮静 てんかんの痙攣発作【強直間発作(全般痙攣発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む)】 自律神経発作 精神運動発作 不眠症 【用】 1日 30～200mg を 1～4回に分服 不眠症:1回 30～200mg を就寝前服用 注 【効】不安緊張状態の鎮静 てんかんの痙攣発作【強直間発作(全般痙攣発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む)】 自律神経発作 精神運動発作 【用】 1回 50～200mg を 1～2回皮下・筋注	【禁】 1)本剤成分・バルビツール酸系化合物過敏症 2)急性間歇性ポルフィリン症 3)ホリコザール、タラフィド(アトシカ)、リルピビリンを投与中

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アモバン錠 7.5 (ゾピクロン) 錠:7.5mg 薬価 23.10 日医工	【効】不眠症 麻酔前投薬 【用】 1回 7.5～10mg を就寝前または手術前に経口 10mg を超えないこと	【警告】 服用後もうろう状態、睡眠随伴症状(夢遊症状等)があらわれることあり、又入眠までの、あるいは中途覚醒時の出来事を記憶していないことあり 【禁】 1)本剤成分・エスゾピクロン過敏症の既往歴 2)重症筋無力症 3)急性狭隅角緑内障 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
マイスリー錠 5mg (㊞) マイスリー錠 10mg (㊞) (ゾルピデム酒石酸塩) 錠:5mg 薬価 43.70 10mg 薬価 69.70 アステラス	【効】不眠症(精神分裂病及び躁うつ病に伴う不眠症は除く) 【用】 1回 5～10mg を就寝直前に経口 高齢者には1回 5mg から投与を開始 1日 10mg を超えないこと	【警告】 服用後もうろう状態、睡眠随伴症状(夢遊症状等)があらわれることあり、又入眠までの、あるいは中途覚醒時の出来事を記憶していないことあり 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)重篤な肝障害 3)重症筋無力症 4)急性狭隅角緑内障 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ロゼレム錠 8mg (ラメルテオン) 錠:8mg 薬価 84.90 武田	【効】不眠症における入眠困難の改善 【用】 1回 8mg を就寝前に経口投与	【禁】 1)本剤成分に対する過敏症の既往歴 2)高度な肝機能障害 3)フルボキサミン酸塩を投与中 [懸濁] × [粉碎] ○
リスミー錠 1mg (リルマサール塩酸塩水和物) 錠:1mg 薬価 18.90 塩野義	【効】不眠症 【用】 1回 1～2mg 高齢者1回 2mg まで 【効】麻酔前投薬 【用】 就寝前または手術前に1回 2mg 高齢者1回 2mg まで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ベルソムラ錠 15mg (スボレキサント) 錠:15mg 薬価 89.1 MSD	【効】不眠症 【用】 1日1回 20mg を、高齢者には1日1回 15mg を就寝直前	【禁】 1)本剤成分過敏症 2)CYP3A を強く阻害する薬剤(トラコナゾール、クラリスロマイシン、リトナビル、サキナビル、ネルフィナビル、インジナビル、テラプレビル、ボリコナゾール)を投与中の患者
トリクロリールシロップ 10% (劇) (トリクロホスナトリウム) シロップ:100mg/mL 薬価 11.50/mL アルフレッサファーマ	【効】不眠症 【用】 1回 10～20mL を就寝前に経口 幼小児は年齢により適宜増減 0.2～0.8mL/kg を標準とし、総量 20mL を超えないようにする 【効】脳波・心電図検査等における睡眠 【用】 1回 10～20mL を検査前に経口 幼小児は年齢により適宜増減 0.2～0.8mL/kg を標準とし、総量 20mL を超えないようにする	【禁】 1)本剤成分・抱水クロールに対して過敏症の既往歴 2)急性間けつ性ポルフィリン症

1-3 抗てんかん剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アレビアチン錠 100mg アレビアチン散 10% ㊟ アレビアチン注 250mg ㊟ (フェニトイン) 錠:100mg 薬価 12.70 散:100mg/1g 薬価 11.90 注:250mg/5mL 薬価 132 大日本住友	錠・散 【効】てんかんの痙攣発作 強直間代発作(全般痙攣発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む) 自律神経発作 精神運動発作 【用】1日 200mg～300mg を3回に分服 乳児:1日 20～100mg 幼児:1日 50～200mg 学童 1日 100～300mg 注 【効】てんかん様痙攣発作が長時間引き続いて起こる場合(てんかん発作重積症)経口投与が不可能で、かつ痙攣発作の出現が濃厚に疑われる場合(特に意識障害、術中、術後)急速にてんかん様痙攣発作の抑制が必要な場合 【用】125～250mg を毎分 50mg 以下の速度で静注無効時には 30 分後 100～150mg を追加	錠・散 【禁】1)本剤成分・ヒダントイン系化合物過敏症 2)タダラフィル(アドシルカ)を投与中 錠: [懸濁] ○ [粉碎] ○ 注 【禁】1)本剤成分・ヒダントイン系化合物過敏症 2)洞性徐脈、高度の刺激伝導障害 3)タダラフィル(アドシルカ)、リルピビリンを投与中
エクセグラン錠 100mg ㊟ (ゾニサミド) 錠:100mg 薬価 32.20 大日本住友	【効】部分発作:単純発作[焦点発作(ジャクソン型を含む)、自律神経発作、精神運動発作] 複雑部分発作[精神運動発作、焦点発作] 二次性全般化強直間代痙攣[強直間代発作(大発作)] 全般発作:強直間代発作[強直間代発作(全般痙攣発作、大発作)] 強直発作[全般痙攣発作] 非定型欠神発作[異型小発作] 混合発作:[混合発作] 【用】 1日 1～2錠から開始し 1～2週毎に漸増、1日 2～4錠を 1～3回に分服 最高 1日 6錠 小児:1日 2～4mg/Kg 以後 1～2週毎に 1日 4～8mg/Kg まで漸増 最高 1日 12mg/Kg まで	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
テグレトール錠 100mg テグレトール錠 200mg (カルバマゼピン) 錠:100mg 薬価 7.60 200mg 薬価 12.10 ノバルティス	【効】精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作:強直間代発作(全般痙攣発作、大発作) 躁病、躁うつ病の躁状態、精神分裂病の興奮状態 【用】 初期 1日 200～400mg を 1～2回に分服 維持量 1日 600mg 最大:1日 1,200mg 【用】 小児:1日 100～600mg (小児は下線部のみ) 【効】三叉神経痛 【用】 初期 1日 200～400mg 維持量 600mg 最大:1日 800mg 小児:適宜減量	【禁】 1)本剤・三環系抗うつ剤過敏症の既往歴 2)重篤な血液障害 3)第2度以上の房室ブロック・高度の徐脈(50拍/分未満)4)ポリコサロール、タダラフィル(アドシルカ)、リルピビリンを投与中 5)ホルフィリン症 [懸濁] ○ [粉碎] ○
デパケンR錠 200mg (バルプロ酸 Na) 錠:200mg 薬価 18.4 協和発酵キリン	【効】各種てんかん(小発作 焦点発作 精神運動発作並びに混合発作) てんかんに伴う性格行動障害(不機嫌 易怒性等)躁病および躁うつ病の躁状態の治療 【用】 1日 400～1200mg を 1～2回に分服 【効】片頭痛発作の発症抑制 【用】 1日 400～800mg を 1～2回に分服 1日 1,000mg を超えない	【禁】 1)重篤な肝障害 2)カルバペム系抗生物質(パニペナム・ベタミロン、メロペナム、イミペナム・シラスチン、ピニアペナム、トリメナム水和物、テビペナム ピボキシル)の併用 3)尿素サイクル異常症 【原・禁】 妊婦又は妊娠可能性婦人 [懸濁] × [粉碎] ×
エピレナートシロップ 5% 後発品 (バルプロ酸 Na) シロップ:50mg/mL 薬価 6.70 藤永製薬	【効】各種てんかん(小発作 焦点発作 精神運動発作並びに混合発作)及びてんかんに伴う性格行動障害(不機嫌 易怒性等)の治療 躁病および躁うつ病の躁状態の治療 【用】 1日 400～1200mg(シロップ:8～24mL)を 2～3回に分服	
バルプロ酸ナトリウムシロップ 5% 後発品 (バルプロ酸 Na) シロップ:4mL/包 薬価 26.8/包 日医工	【効】片頭痛発作の発症抑制 【用】 1日 400～800mg(シロップ:8～16mL)を 2～3回に分服 1日 1,000mg(シロップ:20mL)を超えない	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
リボトリール錠 0.5mg (㊞) (クロセパム) 錠:0.5mg 薬価 9.10 中外	【効】小型(運動)発作〔ミオクロニー発作 失立(無動)発作、點頭てんかん(幼児痙縮発作、BNS痙攣等)〕 精神運動発作 自律神経発作 【用】 初回量 1日 0.5mg～1mg を1～3回に分服 乳幼児 0.025mg/Kg を1～3回に分服 維持量 1日 2～6mg を1～3回に分服 乳幼児 0.1mg/Kg を1～3回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ガバペン錠 200mg (ガバペンチン) 錠:200mg 薬価 40.40 ファイザー	【効】他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法 【用】 成人及び13歳以上の小児:初日1日量600mg、2日目1日量1200mgを3回に分服 3日目以降は、維持量として1日量1200mg～1800mgを3回に分服 1日最高投与量2400mgまで 3～12歳の幼児及び小児:初日1日量10mg/kg、2日目1日量20mg/kgをそれぞれ3回に分服 3日目以降は維持量として、3～4歳の幼児には1日量40mg/kg、5～12歳の幼児及び小児には1日量25～35mg/kgを3回に分服 1日最高投与量は50mg/kgまで なお、成人及び13歳以上の小児での投与量を超えないこととする	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] × (投与直後なら○)
イーケプラ錠 500mg (レベチラセタム) 錠:500mg 薬価 237.6 大塚	【効】てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む) 【用】 成人:1日1000mgを2回に分服 1日3000mgを超えない範囲で適宜増減 増量は2週間以上の間隔をあけて1日用量として1000mg以下ずつ行うこと 小児:4歳以上の小児には1日20mg/kgを1日2回に分服 1日60mg/kgを超えない範囲で適宜増減 増量は2週間以上の間隔をあけて1日用量として20mg/kg以下ずつ行うこと ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること	【禁】 本剤の成分又はピロリドン誘導体に対し過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○

フェノバール散 10%、フェノバール注射液 100mg・・・P3

ベンザリン錠 5mg・・・P2

ダイアモックス錠 250mg・・・P37

ダイアモックス注射用 500mg・・・P37

セルシン錠 2mg、5mg セルシン注射液 10mg・・・P14

1-4 解熱鎮痛消炎剤

4-1 サリチル酸系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アスピリン (アセチルサリチル酸) 末 薬価 2.94/g 局	【効】関節リウマチ リウマチ熱 変形性関節症 強直性脊椎炎 関節周囲炎結合織炎 術後疼痛 歯痛 症候性神経痛 関節痛 腰痛症 筋肉痛 捻挫痛 打撲痛 痛風による痛み 頭痛 月経痛 【用】 1回 0.5～1.5g 1日 1.0～4.5g 【効】急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の解熱・鎮痛 【用】 1回 0.5～1.5g 頓用 1日 2回まで 1日最大 4.5g 【効】川崎病(川崎病による心血管後遺症を含む) 【用】 急性期有熱期間:体重 1kg/日あたり 30～50mg を3回に分服 解熱後の回復期から慢性期:体重 1kg/日あたり 3～5mg を1回服用	【禁】(共通) 1)本剤・サリチル酸系製剤過敏症の既往歴 2)消化性潰瘍 3)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 4)出産予定日12週以内の妊婦 1.川崎病を除く効能・効果に使用する場合 5)重篤な血液異常 6)重篤な肝障害 7)重篤な腎障害 8)重篤な心機能不全 2.川崎病(川崎病による心血管後遺症を含む)に使用する場合 5)出血傾向

4-2 アニリン系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カロナール錠 200 〔後発品〕 カロナール細粒 20% 〔後発品〕 〔劇〕 (アセトアミノフェン) 錠:200mg 薬価 8.10 細粒:200mg/g 薬価 8.60 昭和薬品化工	【効】頭痛 耳痛 症候性神経痛 腰痛症 筋肉痛 打撲痛 捻挫痛 月経痛 分娩後痛 がんによる疼痛 歯痛 歯科治療後の疼痛 変形性関節症 【用】 1回 300～1000mg 投与間隔は 4～6 時間以上 1 日総量 4000mg まで 【効】急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の解熱・鎮痛 【用】 1回 300～500mg を頓用原則 1 日 2 回まで 1 日最大 1500mg まで 【効】小児科領域における解熱・鎮痛 【用】 1 回 10～15mg/kg 投与間隔は 4～6 時間以上 1 日総量として 60mg/kg を限度	警告】 1. 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1 日総量 1500mg を超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。2. 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。 【禁】 1)消化性潰瘍 2)重篤な血液の異常 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)重篤な心機能不全 6)本剤成分過敏症の既往歴 7)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)・その既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アンヒバ坐剤小児用 100mg アンヒバ坐剤小児用 200mg (アセトアミノフェン) 坐:100mg 薬価 19.30 200mg 薬価 30.00 アボットジャパン	【効】小児科領域における解熱・鎮痛 【用】 1 回 10～15mg/kg を直腸内に挿入 投与間隔は 4～6 時間以上 1 日総量として 60mg/kg を限度	【警告】 1. 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。 2. カロナール錠参照 【禁】 カロナール錠 2)～7)参照

4-3 フェニール酢酸

統・禁: 1)消化性潰瘍 2)重篤な血液の異常 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)重篤な高血圧症 6)重篤な心機能不全 7)本剤成分過敏症の既往歴
 8)アスピリン喘息 9)インフルエンザの臨床経過中の脳炎・脳症 10)妊婦又は妊娠可能性婦人 11)トリアメレンを投与中

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ボルタレン錠 25mg 〔劇〕 ボルタレンサポ 12.5mg 〔劇〕 ボルタレンサポ 25mg 〔劇〕 ボルタレンサポ 50mg 〔劇〕 (ジクロフェナク Na) 錠:25mg 薬価 13.10 坐:12.5mg 薬価 44.30 25mg 薬価 51.40 50mg 薬価 63.10 ハバルティス	錠【効】関節リウマチ、変形性関節症、変形性脊椎症、腰痛症、腱鞘炎、頸肩腕症候群、神経痛、後陣痛、骨盤内炎症、月経困難症、膀胱炎、前眼部炎症、歯痛の鎮痛・消炎 手術並びに抜歯後の鎮痛・消炎 【用】 1 日 3～4 錠を 3 回に分服 頓:1 回 1～2 錠 【効】急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の解熱・鎮痛 【用】 頓:1 回 1～2 錠 1 日 2 回まで 1 日最大 100mg 空腹時の投与は避ける 坐【効】関節リウマチ、変形性関節症、後陣痛、腰痛症の鎮痛・消炎 手術後の鎮痛・消炎 他の解熱剤では効果が期待できないか、あるいは、他の解熱剤の投与が不可能な場合の急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の緊急解熱 【用】 成人:1 回 25～50mg を 1 日 1～2 回 小児:0.5～1.0mg/kg を 1 日 1～2 回 3 才未満 6.25mg 3～6 才 6.25～12.5mg 6～9 才 12.5mg 9 才以上 12.5～25mg	錠【禁】 統・禁参照 [懸濁] × [粉碎] ○ 坐【警告】 幼小児、高齢者、消耗性疾患で過度の体温低下、血圧低下によるショック症状 【禁】 1)統・禁参照 2)直腸炎・直腸出血・痔疾

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ボルタレンSRカプセル 37.5mg (劇) (シクロフェナク Na) C:37.5mg 薬価 23.20 ハルティス	【効】関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群の鎮痛・消炎 【用】1日2カプセルを2回に分服	【禁】統・禁1)～8)、10)11)参照 [懸濁] ○12Fr. 以上 [脱カプ] 1カプセルなら ○

4-4 プロピオン酸系

統・禁:1)消化性潰瘍 2)重篤な血液の異常 3)重篤な肝障害 4)重篤な腎障害 5)重篤な心機能不全 6)本剤成分過敏症の既往歴
7)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息、作の誘発)・その既往歴

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カピステン筋注 50mg (劇) (ケトプロフェン) 注:50mg/2.5mL 薬価 128 キッセイ	【効】術後、外傷、各種癌、痛風発作、症候性神経痛の鎮痛・消炎 緊急に解熱を必要とする場合 【用】1回50mgを1日1～2回臀部筋注	【禁】1)統・禁参照 2)塩酸ジプロフロキサシ投与中 3)妊娠後期の女性
ロキソニン錠 60mg (ロキソプロフェン Na 水和物) 錠:60mg 薬価 17.50 第一三共	【効】関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛の消炎・鎮痛 手術後・外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛 【用】1日3錠を3回に分服 頓:1回1錠～2錠	【禁】1)統・禁参照 2)妊娠末期
ロキソプロフェン ナトリウム錠 60mg「CH」 [後発品] (ロキソプロフェン Na 水和物) 錠:60mg 薬価 5.60 日本シネレック	【効】急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)の解熱・鎮痛 【用】1回60mgを頓用 1日2回まで1日最大180mg	[懸濁] × [粉碎] ○

4-5 ピラゾロン系

統・禁:1)本剤成分ピラゾロン系化合物過敏症の既往歴 2)先天性G-6PD欠乏症の患者 3)消化性潰瘍 4)重篤な血液の異常 5)重篤な肝障害 6)重篤な腎障害 7)重篤な心機能不全 8)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
メチロン注 25% (スルピリン水和物) 注:25% 1mL 薬価 92 第一三共	【効】他の解熱剤では効果が期待できないかあるいは他の解熱剤の投与が不可能な場合の緊急解熱 【用】1回1～2mLを1日1～2回皮下・筋注	【警告】ショック等の重篤な副作用 【禁】統・禁参照
SG配合顆粒 (劇) (イソプロピルアンチピリン・アセトアミノフェン・アリスイソプロピルアセチル尿素・無水カフェイン) 顆:配合剤 薬価 11.10 塩野義	【効】感冒の解熱、耳痛、咽喉痛、月経痛、頭痛、歯痛、症候性神経痛、外傷痛 【用】1回1gを1日3～4回経口投与 頓:1～2gを服用(追加するときは少なくとも4時間以上経過後)1日最高4gまで	【警告】1.本剤中のアセトアミノフェンにより重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。2.本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。 【禁】1)本剤、ピラゾロン系薬剤(スルピリン等)・アミノフェノール系薬剤(アセトアミノフェン等)過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 3)重篤な肝障害 [懸濁] ○

1 中枢神経系用薬

4-6 ピラノ酢酸系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ハイペン錠 200mg (劇) (エト [®] ラク) 錠:200mg 薬価 27.60 日本新薬	【効】関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱鞘炎、手術後並びに外傷後の消炎・鎮痛 【用】 1日2錠を2回に分服	【禁】 1) 消化性潰瘍 2) 重篤な血液の異常 3) 重篤な肝障害 4) 重篤な腎障害 5) 重篤な心機能不全 6) 重篤な高血圧症 7) 本剤成分過敏症 8) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 9) 妊娠末期 [懸濁] ○ [粉砕] ○ 刺激性あり

4-7 オキシカム系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
モービック錠 10mg (劇) (メロキシカム) 錠:10mg 薬価 57.10 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群の消炎・鎮痛 【用】 1日1回1T 1日最高用量は15mg	【禁】 1) 消化性潰瘍 2) 重篤な血液の異常 3) 重篤な肝障害 4) 重篤な腎障害 5) 重篤な心機能不全 6) 重篤な高血圧症 7) 本剤成分・サリチル酸塩(アスピリン等)・他の非ステロイド性消炎鎮痛剤過敏症の既往歴 8) 妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉砕] ○

4-8 コキシブ系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セレコックス錠 100mg (劇) (セロキシブ) 錠:100mg 薬価 68.70 アステラス	【効】関節リウマチ並びに症状の消炎・鎮痛 【用】 1回100～200mgを1日2回、朝・夕食後 【効】変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎並びに症状の消炎・鎮痛 【用】 1回100mgを1日2回、朝・夕食後 【効】手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛 【用】 初回のみ400mg、2回目以降は1回200mgとして1日2回経口投与 投与間隔は6時間以上あける 頓用の場合:初回のみ400mg、必要に応じて以降は200mgを6時間以上あけて経口投与 1日2回まで	【警告】 外国において、シクロオキシゲナーゼ(COX)-2 選択的阻害剤等の投与により、心筋梗塞、脳卒中等の重篤で場合によっては致命的な心血管系血栓塞栓性事象のリスクを増大させる可能性があり、これらのリスクは使用期間とともに増大する可能性があるとの報告されている。 【禁】 1) 本剤成分・スルホアミド [®] に対し過敏症の既往歴 2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎・鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 3) 消化性潰瘍 4) 重篤な肝障害 5) 重篤な腎障害 6) 重篤な心機能不全 7) 冠動脈バイパス再建術の周術期患者 8) 妊娠末期の婦人 [懸濁] ○ [粉砕] ○

4-9 非酸性

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ソラントール錠 100mg (チアラミド [®] 塩酸塩) 錠:100mg 薬価 12.80 アステラス	【効】各科領域の手術後並びに外傷後の消炎・鎮痛 関節炎、腰痛症、頸肩腕症候群、骨盤内炎症、軟産道損傷、乳房うっ積、带状疱疹、多形滲出性紅斑、膀胱炎、副睾丸炎、前眼部炎症、智歯周囲炎の消炎・鎮痛 抜歯後の鎮痛・消炎 【用】 1日3錠を3回に分服 【効】急性上気道炎 【用】 1回1錠を頓用 1日2回まで 1日最大3錠	【禁】 1) 消化性潰瘍 2) 重篤な血液の異常 3) 重篤な肝障害 4) 重篤な腎障害 5) 本剤成分過敏症の既往歴 6) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 [懸濁] × [粉砕] ○ 苦味あり

4-10 配合剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
キョーリンAP2 配合顆粒 (シメトリド・無水カフェイン) 顆：薬価 12.00/g 杏林	【効】腰痛症、症候性神経痛、頭痛、月経痛、炎症による咽頭痛・耳痛・歯痛・術後疼痛 【用】 1日 1.5～2g を 3～4 回に分服	【禁】 1) 本剤過敏症の既往歴 [懸濁] ○
ネオビタカイン注シリンジ 2mL (劇) ネオビタカイン注シリンジ 5mL (劇) (ジブカイン塩酸塩・サリチル酸 Na・臭化 Ca) 注：2mL 薬価 314 5mL 薬価 353 田辺三菱	【効】症候性神経痛、筋肉痛、腰痛症、肩関節周囲炎 【用】 血管内を避けて局所に注射 (1) 顔面頰骨各部 0.5～1.0mL (2) 肩甲部 1.0～2.0mL (3) 胸・腰各部 1.0～2.5mL (4) その他各所 0.5～1.0mL	【警告】 脊椎麻酔に使用しないこと 【禁】 <共通>硬膜外ブロック、浸潤・伝達ブロック(トリガーポイント注射等) 1) 本剤過敏症の既往歴 硬膜外ブロック 1) 大量出血やショック状態 2) 注射部位・その周辺の炎症 3) 敗血症
トラムセット配合錠 (劇) (トラマトール塩酸塩/アセトアミノフェン) 錠：トラマトール塩酸塩 37.5mg /アセトアミノフェン 325mg 薬価 70.10 ヤンセンファーマ	【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛 非がん性慢性疼痛 【用】 1回 1錠、1日 4回経口投与 投与間隔は4時間以上空ける。1回 2錠、1日 8錠を超えて投与しない 抜歯後の疼痛 【用】 1回 2錠を経口投与 追加投与する場合には、投与間隔を4時間以上空け、1回 2錠、1日 8錠を超えて投与しない	【警告】 1) 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、アセトアミノフェンの1日総量が 1500mg (本剤 4錠) を超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど、慎重に投与すること。 2) 本剤とトラマトール・アセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、過量投与に至るおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。 【禁】 1) アルコール、睡眠剤、鎮痛剤、オピオイド鎮痛剤・向精神薬による急性中毒患者 2) モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中の患者、・投与中止後 14日以内の患者 3) 治療により十分な管理がされていないてんかん患者 4) 消化性潰瘍のある患者 5) 重篤な血液の異常のある患者 6) 重篤な肝障害のある患者 7) 重篤な腎障害のある患者 8) 重篤な心機能不全のある患者 9) アスピリン喘息(非ステロイド製剤による喘息発作の誘発)・その既往歴のある患者 10) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○

4-11 片頭痛治療剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ゾーミッグRM錠 2.5mg (劇) (ゾルミトリプタン) 錠：2.5mg 薬価 960.80 アストラゼネカ	【効】片頭痛 【用】 1回 2.5mg を片頭痛の頭痛発現時に経口投与 効果が不十分な場合には、追加投与をすることができるが、前回の投与から2時間以上あけること 2.5mg の経口投与で効果が不十分であった場合：次回片頭痛発現時から5mg を経口投与可 1日の総投与量：10mg 以内	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 心筋梗塞の既往歴、虚血性心疾患・その症状・兆候、異型狭心症(冠動脈攣縮) 3) 脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往 4) 末梢血管障害 5) コントロールされていない高血圧症 6) エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、あるいは他の 5-HT _{1B/1D} 受容体作動薬を投与中 7) モノアミン酸化酵素阻害剤(MAO 阻害剤)を投与中、あるいは投与中止 2週間以内 [懸濁] × [粉碎] ○ 2W まで

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
マクサルトルP錠 10mg (劇) (リサトリプタン安息香酸塩) 錠:10mg 薬価 945.90 エーザイ	【効】片頭痛 【用】 1回10mgを片頭痛の頭痛発現時に経口投与 効果が不十分な場合:前回の投与から2時間以上あけると追加投与可 1日の総投与量:20mg以内	【禁】 1)～7)ゾーミック [®] RM錠参照 8)重度の肝機能障害 9)血液透析中 10)プロプラノロール塩酸塩を投与中 [懸濁] ○
アマーシ錠 2.5mg (劇) (ナトリウム塩酸塩) 錠:2.5mg 薬価 918.90 GSK	【効】片頭痛 【用】 1回2.5mgを片頭痛の頭痛発現時に経口投与 効果が不十分な場合:前回の投与から4時間以上あけると追加投与可 1日の総投与量:5mg以内	【禁】 1)～6)ゾーミック [®] RM錠参照 7)重度の肝機能障害又は重度の腎機能障害 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ミグシス錠 5mg (塩酸ロメジソン) 錠:5mg 薬価 33.50 ファイザー	【効】片頭痛 【用】 1回5mgを1日2回、朝・夕食後あるいは就寝前に経口投与 1日投与量:20mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)頭蓋内出血・その疑い 3)脳梗塞急性期 4)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○

4-1-2 非麻薬性オピオイド鎮痛薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ペンタジン注射液 15 (向) (劇) (ペンタジン) 注:15mg/1mL 薬価 68 第一三共	【効】各種癌、術後、心筋梗塞、胃・十二指腸潰瘍、腎・尿路結石、閉塞性動脈炎、胃・尿管・膀胱検査器具使用時における鎮痛 【用】 1回15mgを皮下・筋注 必要時3～4h毎反復 【効】麻酔前投薬及び麻酔補助 【用】 30～60mgを皮下・筋・静注	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)頭部傷害又は頭蓋内圧上昇 3)重篤な呼吸抑制及び全身状態が著しく悪化
トラマールOD錠 25 (劇) (トラマトール塩酸塩) 錠:25mg錠 薬価 38.6 ファイザー	【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な疼痛を伴う各種癌、慢性疼痛における鎮痛 【用】 トラマトール塩酸塩として1日100～300mgを4回に分割経口投与。1回100mg、1日400mgを超えないこととする。	【禁】 1)本剤成分過敏症 2)アルコール、睡眠剤、鎮痛剤、オピオイド鎮痛剤又は向精神薬による急性中毒患者 3)モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中の患者、又は投与中止後14日以内の患者 4)治療により十分な管理がされていないてんかん患者

4-1-3 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
リリカカプセル 25mg リリカカプセル 75mg (プレガバリン) C:25mg 薬価 77.00 75mg 薬価 128.10 ファイザー	【効】神経障害性疼痛 【用】 初期用量:1日150mgを1日2回に分服 その後1週間以上かけて1日300mgまで漸増 1日最高:600mgを超えない いずれも1日2回に分服 【効】線維筋痛症に伴う疼痛 【用】 初期用量:1日150mgを1日2回に分服 その後1週間以上かけて1日300mgまで漸増 後、300～450mgで維持 1日最高用量は450mgを超えない いずれも1日2回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [脱カプ] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ノイロトロピン錠 4 単位 ノイロトロピン注射液 3.6 単位 (ワクチンウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液) 錠:4 単位 薬価 32.40 注:3.6NU/ 3mL 薬価 167	錠【効】腰痛症、頸肩腕症候群、変形性関節症、肩関節周囲炎、带状疱疹後神経痛 【用】 1日4錠を2回に分服 带状疱疹後神経痛に対しては、4週間で効果の認められない場合は漫然と投薬を続けない 注【効】腰痛症、頸肩腕症候群、症候性神経痛、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、蕁麻疹）に伴うそう痒、アレルギー性鼻炎 【用】 1日1回3.6NUを皮下・筋・静注 【効】SMON後遺症の冷感・痛み・異常知覚 【用】 1日1回7.2NUを静注 投与期間は、6週間を目安とする。ただし、投与開始2週間で何ら効果が認められない場合には漫然と投薬を続けない	【禁】 本剤過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○

1-5 鎮うん剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セファドール錠 25mg (シフェニドール塩酸塩) 錠:25mg 薬価 13.30 日本新薬	【効】内耳障害にもとづくめまい 【用】1日3～6錠を3回に分服	【禁】1)重篤な腎機能障害 2)本剤過敏症の既往歴 [懸濁]○[粉碎]○ 苦味あり
トラベルミン配合錠 (シフェニドール塩酸塩・ジブプロフィリン) 錠:配合剤 薬価 5.90 エーザイ	【効】動揺病、メニエール症候群に伴う悪心・嘔吐・めまい 【用】1日3～4錠を3～4回に分服	【禁】1)緑内障 2)前立腺肥大等下部尿路の閉塞性疾患 [懸濁]×[粉碎]○ 苦味あり
メリスロン錠 6mg (ベタヒスチンメシル酸塩) 錠:6mg 薬価 8.50 エーザイ	【効】メニエール病、メニエール症候群、眩暈症に伴うめまい・めまい感 【用】1日3～6錠を3回に分服	[懸濁]○[粉碎]○

1-6 精神神経用剤

6-1 フェノチアジン系

統・禁: 1) 昏睡状態、循環虚脱状態 2) バルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 3) アドレナリン投与中 4) フェノチアジン系・その類似化合物過敏症

【原・禁】: 皮質下部の脳障害(脳炎、脳腫瘍、頭部外傷後遺症等)の疑いがある患者

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
コントミン筋注 10mg (劇) コントミン糖衣錠 12.5mg (クロルプロマジン塩酸塩) 注: 10mg/2mL 薬価 92 錠: 12.5mg 薬価 9.20 田辺三菱	【効】統合失調症、躁病、神経症における不安・緊張、抑うつ、悪心・嘔吐、吃逆、破傷風に伴う痙攣、麻酔前投薬、人工冬眠、催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強 【用】錠 : 1日 30～100mg を分服 精神科領域 1日 50～450mg を分服 注 : 1回 10～50mg を筋注	【禁】 1) 統・禁 参照 【原・禁】 参照 [懸濁] × [粉碎] ○
レボトミン錠 5mg レボトミン錠 25mg (レボメプロマジンマレイン酸塩) 錠: 5mg 薬価 5.60 25mg 薬価 5.60 田辺三菱	【効】統合失調症、躁病、うつ病における不安・緊張 【用】 1日 25～200mg を分服	【禁】 1) 統・禁 参照 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○

6-2 ブチロフェノン系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セレネース錠 0.75mg (劇) セレネース錠 1.5mg (劇) セレネース注 5mg (劇) (ハロペリドール) 錠: 1.5mg 薬価 9.40 0.75mg 薬価 7.80 注: 5mg 薬価 92 大日本住友	【効】統合失調症、躁病 【用】錠 : 1日 0.75～2.25mg より徐々に増量 維持量 1日 3～6mg 注 : 1回 5mg (1mL) を1日 1～2回筋注・静注	【禁】 1) 昏睡状態 2) バルビツール系誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 3) 重症心不全患者 4) パーキンソン病 5) 本剤成分・ブチロフェノン系化合物過敏症 6) アドレナリン投与中 7) 妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○

6-3 ベンゾジアゼピン系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
コンスタン 0.4mg 錠 (劇) (アルプラゾラム) 錠: 0.4mg 薬価 9.40 武田	【効】心身症(胃・十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、自律神経失調症)における身体症状ならびに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 【用】 1日 3錠を3回に分服 最高量: 6錠 高齢者 1回 1錠 1日 1～2回 3錠迄	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 急性狭隅角緑内障 3) 重症筋無力症 4) HIV プロテアーゼ阻害剤(イゾナゾール等)投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セルシン錠 2mg ㊟ セルシン錠 5mg ㊟ セルシン注射液 10mg ㊟ (シ [㇏] アセ [㇏] ハム) 錠:2mg 薬価 5.90 5mg 薬価 9.20 注:10mg/2mL 薬価 98 武田	錠【効】神経症における不安・緊張・抑うつ、うつ病における不安・緊張、心身症(消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群)におけるける身体症候並びに不安・緊張・抑うつ、脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛における筋緊張の軽減、麻酔前投薬 【用】 1回2～5mgを1日2～4回服用 外来は原則1日15mg以内 3才以下1日1～5mg 4～12才1日2～10mgを1～3回に分服 筋痙攣:1回2～10mgを1日3～4回服用 麻酔前投薬:1回5～10mgを就寝前又は手術前服用 注【効】神経症における不安・緊張・抑うつ、麻酔前、麻酔導入時、麻酔中、術後・アルコール依存症の禁断(離脱)症状・分娩時における不安・興奮・抑うつの軽減、てんかん様重積状態におけるけいれんの抑制 【用】 初回10mgを緩徐に筋・静注 必要時3～4h毎に注(禁:混注)	錠【禁】 1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 3)リトナビル(HIVプロテアーゼ阻害剤)投与中 注【禁】 1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 3)ショック・昏睡・バ [㇏] イタル [㇏] インの悪い急性アルコール中毒 4)リトナビル(HIVプロテアーゼ阻害剤)投与中 [懸濁]○ [粉碎]○
デパス錠 0.5mg (エチゾ [㇏] ラム) 錠:0.5mg 薬価 9.00 田辺三菱	【効】神経症における不安・緊張・抑うつ・神経衰弱症状・睡眠障害 うつ病における不安・緊張・睡眠障害 心身症(高血圧症、胃・十二指腸潰瘍)における身体症候ならびに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 統合失調症における睡眠障害 頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛における不安・緊張・抑うつおよび筋緊張 【用】 神経症・うつ病:1日6錠を3回に分服 睡眠障害:1回2～6錠を就寝前 その他:1日3錠を3回に分服 高齢者:1日3錠まで	【禁】 1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 [懸濁]○ [粉碎]○
メイラックス錠 1mg ㊟ (ロフラセ [㇏] プ酸エチル) 錠:1mg 薬価 21.60 明治	【効】神経症における不安・緊張・抑うつ・睡眠障害、心身症(胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、過敏性腸症候群、自律神経失調症)における不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 【用】 1日2mgを1～2回に分服	【禁】 1)ベンゾ [㇏] ジアゼ [㇏] ビン系化合物過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 [懸濁]○ [粉碎]○
リーゼ錠 5mg ㊟ (クロチアセ [㇏] ハム) 錠:5mg 薬価 6.70 田辺三菱	【効】心身症(消化器疾患、循環器疾患)における身体症候ならびに不安・緊張・心気・抑うつ・睡眠障害、自律神経失調症におけるめまい・肩こり・食欲不振 【用】 1日3～6錠を3回に分服 【効】麻酔前投薬 【用】 2～3錠	【禁】 1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 [懸濁]○ [粉碎]○
レキソタン錠 2mg ㊟ レキソタン錠 5mg ㊟ (プロマセ [㇏] ハム) 錠:2mg 薬価 6.00 錠:5mg 薬価 14.00 エーザ [㇏] イ	【効】神経症における不安・緊張・抑うつ・強迫・恐怖 うつ病における不安・緊張 心身症(高血圧症、消化器疾患、自律神経失調症)における身体症候・不安・緊張・抑うつ・睡眠障害 麻酔前投薬 【用】 神経症・うつ病:1日6～15mgを2～3回に分服 心身症・自律神経失調症:1日3～6mgを2～3回に分服 麻酔前:5mg	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性狭隅角緑内障 3)重症筋無力症 [懸濁]○ [粉碎]○
ワイパックス錠 0.5 ㊟ (ロラセ [㇏] ハム) 錠:0.5mg 薬価 6.10 ファイザー	【効】神経症における不安・緊張・抑うつ、心身症(自律神経失調症、心臓神経症)における身体症候・不安・緊張・抑うつ 【用】 1日2～6錠を2～3回に分服	【禁】 1)急性狭隅角緑内障 2)重症筋無力症 [懸濁]○ [粉碎]○

6-4 非定型抗精神病薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
リスパダールOD錠 1mg (劇) リスパダール内用液 1mg/1mL (劇) (リスパリドン) OD錠:1mg 薬価 31.90 内用液:1mg/mL 薬価 90.30 ヤンセン ファーマー	【効】統合失調症 【用】 1回1mg 1日2回より開始 維持量は1日2～6mgを原則として1日2回に分服 1日量は12mgをこえないこと	【禁】 1)昏睡状態 2)バルビツル酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)エピネフリン投与中 4)本剤成分及びパロペリドン過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
セロクエル錠 25mg (劇) (ケチアピソフマル酸塩) 錠:25mg 薬価 41.50 アステラス	【効】統合失調症 【用】 1回25mg, 1日2又は3回より投与を開始 1日150～600mgを2～3回に分服 1日量として750mgを超えないこと	【警告】 1)著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の重大な副作用が発現し、死亡に至る場合があるので、本剤投与中は、血糖値の測定等の観察を十分に行うこと。2)投与にあたっては、あらかじめ上記副作用が発現する場合があることを、患者及びその家族に十分に説明し、口渇、多飲、多尿、頻尿等の異常に注意し、このような症状があらわれた場合には、直ちに投与を中断し、医師の診察を受けるよう指導すること。 【禁】 1)昏睡状態 2)バルビツル酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)エピネフリン投与中 4)本剤成分過敏症の既往歴 5)糖尿病、糖尿病の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ジプレキサ錠 2.5mg (劇) (オランザピン) 錠:2.5mg 薬価 138.30 イーライリリー	【効】統合失調症 【用】 1日1回5～10mgより開始 維持量は1日1回10mg 20mgを超えないこと 【効】双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善 【用】 躁症状:1日1回10mgより開始 20mgを超えないこと うつ症状:1日1回5mgより開始、その後1日1回10mgに増量 いずれも就寝前投与 20mgを超えないこと	【警告】 セロクエル錠参照 【禁】 1)昏睡状態 2)バルビツル酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)アドレナリン投与中 4)本剤成分過敏症の既往歴 5)糖尿病の患者、糖尿病の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×
エビリファイ錠 3mg (劇) (アリピラザール) 錠:3mg 薬価 97.1 大塚	【効】統合失調症 【用】 1日6～12mgを開始用量、1日6～24mgを維持用量とし、1回又は2回に分服 1日量は30mgを超えないこと。 【効】双極性障害における躁症状の改善 【用】 1日1回12～24mg。開始用量は24mgとし、1日量は30mgを超えないこと。 【効】うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る） 【用】 1日1回3mg。増量幅は1日量として3mgとし、1日量は15mgを超えないこと。	【警】 セロクエル錠参照 【禁】 1)昏睡状態の患者 2)バルビツル酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 4. 本剤成分過敏症既往歴

6-5 抗うつ薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
トフラニール錠 10mg (イミプラミン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 9.60 アルフレッサ	【効】精神科領域におけるうつ病・うつ状態 【用】 初期 1日 30～70mg 漸増し 200mg まで 【効】遺尿症(昼、夜) 【用】 1日 30～50mg を 1～2 回分服	【禁】 1) 緑内障 2) 本剤成分・三環系抗うつ剤に対し過敏症の既往歴 3) 心筋梗塞回復初期 4) 尿閉(前立腺疾患等) 5) MAO 阻害剤(レギリン)を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内 6) QT 延長症候群 【備】 三環系 [懸濁] × [粉碎] ○ 舌麻痺
トリプタノール錠 10mg (アミトリプチン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 9.60 日医工	【効】精神科領域におけるうつ病・うつ状態 【用】 初期 1日 30mg～75mg 漸増し 150mg 迄を分服 まれに 300mg まで増量 【効】夜尿症 【用】 10～30mg を就寝前	【禁】 1) 緑内障 2) 三環系抗うつ剤過敏症 3) 心筋梗塞回復初期 4) 尿閉(前立腺疾患等) 5) モノアミン酸化酵素阻害剤(レギリン)を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内 【備】 三環系 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ルジオミール錠 10mg (マプロチリン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 12.60 ノバルティス	【効】うつ病・うつ状態 【用】 1日 30～75mg を 2～3 回に分服又は 1日 1 回夕食後又は就寝前	【禁】 1) 緑内障 2) 本剤過敏症 3) 心筋梗塞回復初期 4) てんかん等の痙攣性疾患既往歴 5) 尿閉(前立腺疾患等) 6) MAO 阻害剤投与中 【備】 四環系 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 舌麻痺
テトラミド錠 10mg (ミアンセリン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 16.10 MSD	【効】うつ病・うつ状態 【用】 初期 1日 30mg 以後 60mg 迄増量 1日 1 回夕食後あるいは就寝前	【禁】 1) MAO 阻害剤を投与中 2) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 【備】 四環系 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
デジレル錠 25 (トラゾドン塩酸塩) 錠:25mg 薬価 18.10 ファイザー	【効】うつ病・うつ状態 【用】 1日 75～100mg を初期用量とし、1日 200mg まで増量し、1～数回に分服	【禁】 1) ナリドメチル酸塩を投与中 2) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○ 苦味あり
パキシル錠 10mg (劇) (パロキセチン塩酸塩水和物) 錠:10mg 薬価 100.50 グラクソ・スミスクライン	【効】うつ病・うつ状態 【用】 1日 1 回夕食後 20～40mg を経口投与 1 回 10～20mg より開始 原則として 1 週ごとに 10mg/日ずつ増量 1 日 40mg まで 【効】パニック障害 【用】 1日 1 回夕食後 30mg を経口投与 1 回 10mg より開始 原則として 1 週ごとに 10mg/日ずつ増量 1 日 30mg まで 【効】強迫性障害 【用】 1日 1 回夕食後、40mg を経口投与 1 回 20mg より開始 原則として 1 週ごとに 10mg/日ずつ増量 1 日 50mg まで 【効】社会不安障害 【用】 1日 1 回夕食後、20mg を経口投与 1 回 10mg より開始 原則として 1 週ごとに 10mg/日ずつ増量 1 日 40mg まで 【効】外傷後ストレス障害 【用】 1日 1 回夕食後 20mg を経口投与 1 回 10～20mg より開始 原則として 1 週ごとに 10mg/日ずつ増量 1 日 40mg まで	【警告】 海外で実施した 7～18 歳のうつ病性障害患者を対象としたプラセボ対照試験において有効性が確認できなかったとの報告、また、自殺に関するリスクが増加するとの報告もあるので、本剤を 18 歳未満のうつ病性障害患者に投与する際には適応を慎重に検討すること。 【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) MAO 阻害剤を投与中・投与中止後 2 週間以内 3) ビモジド投与中 【備】 S S R I [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
デプロメール錠 25 (フルボキサミンマレイン酸塩) 錠:25mg 薬価 36.10 Meiji Seika ファルマ	【効】うつ病・うつ状態、強迫性障害、社会不安障害 【用】 1日 50mg を初期用量 1日 150mg まで増量 1日 2回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤を投与中あるいは投与中止後 2週間以内の患者 3)ピモジド、チバニジン塩酸塩、ラモトリオンを投与中 【備】 SSRI [懸濁]×[粉碎]○ 苦味・しびれ感あり
ジェイゾロフト錠 25mg (劇) (塩酸セロトラリン) 錠:25mg 薬価 101.30 ファイザー	【効】うつ病・うつ状態、パニック障害、外傷後ストレス障害 【用】 1日 25mg を初期用量 1日 100mg まで 1日 1回経口投与	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 14日間以内 3)ピモジドを投与中 【備】 SSRI [懸濁]○[粉碎]○ 刺激性あり
レキサプロ錠 10mg (劇) (エスタロプロラムシユ酸塩) 錠:10mg 薬価 218.1 田辺三菱	【効】うつ病・うつ状態 【用】 1回 10mg を1日 1回夕食後 増量は1週間以上の間隔をあけて行い、1日最高用量は 20mg を超えないことと。	【禁】 1)本剤成分過敏症 2)モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤を投与中あるいは投与中止後 14日間以内の患者 3)ピモジド投与中 4)QT 延長のある患者(先天性 QT 延長症候群等) 【備】 SSRI [懸濁]○[粉碎]○
サインバルタカプセル 20mg (劇) (デューロキセチン塩酸塩) C:20mg 薬価 173.5 塩野義	【効】うつ病・うつ状態、糖尿病性神経障害に伴う疼痛 【用】 1日 20mg より投与開始、1週間以上の間隔を空けて1日用量として 20mg ずつ増量 1日 1回朝食後 40mg 【効】線維筋痛症に伴う疼痛 【用】 1日 1回朝食後 60mg 1日 20mg より投与開始し、1週間以上の間隔を空けて1日用量として 20mg ずつ増量	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤を投与中あるいは投与中止後 2週間以内の患者 3)高度の肝障害 4)高度の腎障害 5)コントロール不良の閉塞隅角緑内障の患者 【備】 SNRI [懸濁]×[粉碎]×
リフレックス錠 15mg (劇) (ミルタサピン) 錠:15mg 薬価 171.20 Meiji Seika ファルマ	【効】うつ病・うつ状態 【用】 1日 15mg を初期用量 15～30mg を1日 1回就寝前に経口投与。1日 45mg を超えない範囲で適宜増減 増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として 15mg ずつ行う	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 2週間以内 【備】 NaSSA [懸濁]○[粉碎]○

6-6 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アタラックス錠 10mg (ヒドロキシジン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 5.80 ファイザー	【効】蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹、皮膚炎、皮膚そう痒症) 【用】 1日 30～60mg を2～3回に分服 【効】神経症における不安・緊張・抑うつ 【用】 1日 75～150mg を3～4回に分服	【禁】 1)本剤成分、セチリジン、ヒペラジン誘導体、アミノフィリン、エレンジアミンに対し過敏症の既往歴 2)ポルフィリン症 3)妊婦・妊娠可能性のある婦人 [懸濁]×[粉碎]○ 苦味あり
アタラックス-P注射液(25mg/mL) (ヒドロキシジン塩酸塩) 注:25mg/1mL 薬価 56 ファイザー	【効】神経症における不安・緊張・焦燥 麻酔前投薬 術前・術後の悪心・嘔吐の防止 【用】 筋注:1回 50～100mg を4～6h 毎 静・点滴:1回 25～50mg を4～6h 毎 1回 100mg 迄	【禁】 1)本剤成分、セチリジン、ヒペラジン誘導体、アミノフィリン、エレンジアミンに対し過敏症の既往歴 2)ポルフィリン症 3)妊婦・妊娠可能性のある婦人

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ドグマチール錠 50mg ドグマチール細粒 10% ㉔ (スビ [®] リト [®]) 錠:50mg 薬価 15.30 細粒:100mg/g 薬価 24.30 アステラス	【効】胃・十二指腸潰瘍 【用】 1日150mgを3回に分服 【効】統合失調症 【用】 1日300～600mgを分服 最高1日1200mg 【効】うつ病・うつ状態 【用】 1日150～300mgを分服 最高1日600mg	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(プロラクチノーマ)の患者 3)褐色細胞腫の疑いのある患者 錠:[懸濁]○[粉碎]○ 苦味あり
ベゲタミン-B配合錠 ㉔ ㉔ (クロルプロマジン塩酸塩 プロメタジン塩酸塩 フェノバルビタール) 錠:クロルプロマジン塩酸塩 12.5mg プロメタジン塩酸塩 12.5mg フェノバルビタール 30mg 薬価 6.30 塩野義	【効】統合失調症、老年精神病、躁病、うつ病又はうつ状態、神経症における鎮静催眠 【用】 鎮静:1日3～4錠を分服 催眠:1日1～2錠を就寝前経口投与	【禁】 1)昏睡状態、循環虚脱状態 2)バルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)アドレナリンを投与中 4)ポリコサゾール、タダラフィル(アドシルカ)、リルピビリン、ダクラタスビル、アスナプレビル、バニプレビルを投与中 5)フェノチアジン系化合物・その類似化合物、バルビツール酸系化合物に対し過敏症の既往歴 6)2歳未満の乳幼児 【原・禁】 皮質下部の脳障害(脳炎、脳腫瘍、頭部外傷後遺症等)の疑い [懸濁]×[粉碎]○ 苦味あり
ノバミン錠 5mg (プロクロルヘラジンマレイン酸塩) 錠:5mg 薬価 9.60 塩野義	【効】統合失調症、術前・術後等の悪心・嘔吐 【用】 1日5～20mgを分割経口投与 精神科領域において用いる場合:1日15～45mgを分割経口投与	【禁】 1)昏睡状態、循環虚脱状態 2)バルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下 3)アドレナリンを投与中 4)フェノチアジン系化合物・その類似化合物に対し過敏症 【原・禁】 皮質下部の脳障害(脳炎、脳腫瘍、頭部外傷後遺症等)の疑い [懸濁]○[粉碎]○

1-7 総合感冒剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
P.L.配合顆粒 (サリチルアミド・アセトアミノフェン・無水カフェイン・プロメタジンメチレンジサリチル酸塩) 顆:1包1g バラ 薬価 6.40/g 塩野義	【効】感冒若しくは上気道炎に伴う鼻汁、鼻閉、咽・喉頭痛、頭痛、関節痛、筋肉痛、発熱の改善及び緩和 【用】 1回1gを1日4回経口投与	【警告】 1.本剤中のアセトアミノフェンにより重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。2.本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。 【禁】 1)本剤成分、サリチル酸製剤(アスピリン等)、フェノチアジン系化合物・その類似化合物過敏症の既往歴 2)消化性潰瘍 3)アスピリン喘息・その既往歴 4)昏睡状態・バルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 5)緑内障 6)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患 7)2歳未満の乳幼児 8)重篤な肝障害 [懸濁]○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ピーエイ配合錠 (サリチルアミド・アセトアミノフェン・無水カフェイン・プロメタジンメクレンジサリチル酸塩) 錠：サリチルアミド 135mg アセトアミノフェン 75mg 無水カフェイン 30mg プロメタジンメクレンジサリチル酸塩 6.75mg 薬価 4.60 田辺三菱	【効】感冒もしくは上気道炎に伴う下記症状の改善及び緩和と鼻汁、鼻閉、咽・喉頭痛、頭痛、関節痛、筋肉痛、発熱 【用】 1回2錠を1日4回経口投与。	【警告】 1)本剤中のアセトアミノフェンにより重篤な肝障害が発現するおそれがあるので注意すること。 2)本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。 【禁】 1)本剤の成分、サリチル酸製剤(アスピリン等)、フェナチジン系化合物又はその類似化合物に対し過敏症の既往歴のある患者 2)消化性潰瘍 3)アスピリン喘息又はその既往歴のある患者 4)昏睡状態の患者又はバルビツール酸誘導体・麻酔剤等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者 5)緑内障 6)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者 7)2歳未満の乳幼児 8)重篤な肝障害のある患者 [懸濁] ○ [粉碎] ○

1-8 腦循環・代謝調整藥

8-1 脑压降下薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
グリセオール注 (グリセリン・果糖・塩化ナトリウム) 注:200mL 薬価 277 中外	【効】頭蓋内圧亢進・頭蓋内浮腫の治療 頭蓋内圧亢進・頭蓋内浮腫の改善による脳梗塞(脳血栓, 脳塞栓)・脳内出血・くも膜下出血・頭部外傷・脳腫瘍・脳髄膜炎に伴う意識障害・神経障害・自覚症状の改善 脳外科手術後の後療法 【用】1回 200～500mL を 1日 1～2回 500mL を 2～3h かけ点滴静注・投与期間 1～2W 【効】脳外科手術時の脳容積縮小 【用】1回 500mL を 30分 で点滴 【効】眼内圧下降を必要とする場合 眼科手術時の眼容積縮小 【用】1回 300～500mL を 45～90分 で点滴静注	【禁】 1) 先天性のグリセリン・果糖代謝異常症 2) 成人発症 II 型シトルン血症

8-2 腦循環改善劑

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ケタスカブセル 10mg (イブジラスト) C:10mg 薬価 24.70 杏林	【効】脳梗塞後遺症に伴う慢性脳循環障害によるめまいの改善 【用】 1日3Cを3回に分服 12週で効果認められない場合投与中止 【効】気管支喘息 【用】 1日2Cを2回に分服	【禁】 頭蓋内出血後で止血が未完成 [懸濁] × [脱カブ] 1カプセルなら○
サアミオン錠 5mg (ニセルゴリン) 錠:5mg 薬価 32.30 散:10mg/g 薬価 70.90 田辺三菱	【効】脳梗塞後遺症に伴う慢性脳循環障害による意欲低下の改善 【用】 1日3錠 (1.5g)を3回に分服 12週で効果認められない場合投与中止	【禁】 頭蓋内出血後で止血が未完成 錠: [懸濁] × [粉碎] ○
ニセルゴリン錠 5mg「ザイ」 後発品 (ニセルゴリン) 錠:5mg 薬価 9.6 沢井		

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セロクラール錠 20mg (イフェンプロシル酒石酸塩) 錠:20mg 薬価 13.80 日医工	【効】脳梗塞後遺症、脳出血後遺症に伴うめまいの改善 【用】 1日60mgを3回に分服 12週で効果認められない場合投与中止	【禁】 頭蓋内出血後、止血が未完成 [懸濁] × [粉碎] ○

コメリアンコーワ錠 50mg ・ ・ ・ ・ P61

ユベラNカプセル 100mg・ユベラNソフトカプセル 200mg ・ ・ ・ ・ P63

8-3 脳代謝改善剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
シンメトレル錠 50mg (アマンタジン塩酸塩) 錠:50mg 薬価 28.60 ノバルティス	【効】脳梗塞後遺症に伴う意欲・自覚性低下の改善 【用】 1日100～150mgを2～3回に分服 12週で効果認められない場合投与中止	【警告】 1.A型インフルエンザウイルス感染症の場合 1)医師が特に必要と判断した場合にのみ投与すること 2)治療に用いる場合は、必要性を慎重に検討すること 3)予防に用いる場合は、ワクチン療法を補完するものであることを考慮すること 4)A型以外のインフルエンザウイルス感染症には効果がない 5)インフルエンザの予防や治療に短期投与中の患者で自殺企図の報告があるので、精神障害のある患者又は中枢神経系に作用する薬剤を投与中の患者では治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること 2. てんかん又はその既往歴のある患者及び痙攣素因のある患者では、発作を誘発又は悪化させることがあるので、患者を注意深く観察し、異常が認められた場合には減量する等の適切な措置を講じること 3. 催奇形成が疑われる症例報告があり、また、動物実験による催奇形成の報告があるので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと 【禁】 1)透析を必要とするような重篤な腎障害 2)妊婦又は妊娠可能性婦人及び授乳婦 3)本剤過敏症
アマンタジン塩酸塩細粒 10% 後発品 アマンタジン塩酸塩錠 50mg 後発品 (アマンタジン塩酸塩) 錠:50mg 薬価 8.60 細粒:100mg/g 薬価 5.80 沢井	【効】パーキンソン症候群 【用】 1日100mgを1～2回に分服 維持量1日200mgを2回に分服 最高量1日300mg 【効】A型インフルエンザウイルス感染症 【用】 1日100mgを1～2回に分服 高齢者・腎障害患者は投与量上限1日100mg	錠: [懸濁] × [粉碎] ○ 苦味あり

1-9 その他の中枢神経系用薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
グラマリール錠 25mg (チアプロリド塩酸塩) 錠:25mg 薬価 25.10 アステラス	【効】①脳梗塞後遺症に伴う攻撃的行為、精神興奮、徘徊、せん妄の改善 ②特発性ジスキネジア及びパーキンソニズムに伴うジスキネジア 【用】 1日75～150mgを3回に分服 パーキンソニズムに伴うジスキネジアの患者:1日1回25mgから投与開始 ①6週で効果認められない場合投与中止	【禁】 プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(プロラクチノーマ) [懸濁] × [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カタクロット注射液 40mg (オザグレルナトリウム) 注:40mg/V 薬価 2,237 小野	【効】クモ膜下出血術後の脳血管攣縮およびこれに伴う脳虚血症状の改善 【用】 1日80mgを24時間かけて静脈内持続注入 投与は早期に開始し2週間持続する 【効】脳血栓症(急性期)に伴う運動障害の改善 【用】 1回80mgを1日2回2時間で持続静注を約2週間行う	【禁】 1)出血患者:出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血・原発性脳室内出血を合併 2)脳塞栓症 3)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)脳塞栓症のおそれのある患者:心房細動、心筋梗塞、心臓弁膜症、感染性心内膜炎、瞬時完成型の神経症状 2)重篤な意識障害を伴う大便秘
ラジカット点滴静注バッグ 30mg (エタラホソ) 注:30mg 薬価 5,893 田辺三菱	【効】脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善 【用】 1回1袋を30分かけて1日朝夕2回の点滴静注 発症後24時間以内に開始し、期間は14日以内	【禁】 1)重篤な腎機能障害のある患者〔腎機能障害が悪化するおそれがある。筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者に使用する場合、「重要な基本的注意」の項3-(3)、(4)参照〕 2)本剤成分過敏症の既往歴 【備】 脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)
リルテック錠 50mg (リルゾール) 錠:50mg 薬価 1,580.70 サノフィ	【効】筋萎縮性側索硬化症(ALS)の治療 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病勢進展の抑制 【用】 1日2Tを2回(朝、夕食前)に分服	【禁】 1)重篤な肝機能障害 2)本剤・本剤成分過敏症の既往歴 3)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] × [粉碎] ○
セレジストOD錠 5mg (タルチリン水和物) OD錠:5mg 薬価 1,107.40 田辺三菱	【効】脊髄小脳変性症における運動失調の改善 【用】 1日2Tを2回(朝、夕)食後に分服	運動失調を呈する類似疾患が他にも知られていることから、病歴の聴取及び全身の理学的所見に基づいた確定診断のうえ投与を行うこと。 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アリセプトD錠 3mg (劇) アリセプトD錠 5mg (劇) アリセプトD錠 10mg (劇) (トネペジル塩酸塩) D錠:3mg 薬価 225.80 5mg 薬価 334.70 10mg 薬価 598.70 エーザイ	【効】アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制 【用】 1日1回3mgから開始 1～2週間後に5mgに増量 高度のアルツハイマー型認知症患者:5mgで4週間以上経過後、10mgに増量 3mg/日投与は有効用量ではなく、消化器系副作用の発現を抑える目的なので、1～2週間を超えて使用しないこと。 【効】レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制 【用】 1日1回3mgから開始し、1～2週間後に5mgに増量 5mgで4週間以上経過後、10mgに増量 5mgまで減量できる。	【禁】 本剤成分・ピペリジン誘導体過敏症の既往歴
ドネペジル塩酸塩OD錠 5mg「NP」 (劇) 後発品 (トネペジル塩酸塩) OD錠:5mg 薬価 155.40 ニプロファーマ	【効】アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制 【用】 1日1回3mgから開始 1～2週間後に5mgに増量 高度のアルツハイマー型認知症患者:5mgで4週間以上経過後、10mgに増量 3mg/日投与は有効用量ではなく、消化器系副作用の発現を抑える目的なので、1～2週間を超えて使用しないこと。	[懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
レミニールOD錠 4mg (劇) レミニールOD錠 8mg (劇) (ガラタシン臭化水素酸塩) OD錠: 4mg 薬価 107.30 8mg 薬価 191.50 武田	【効】軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制 【用】 1日 8mg(1回 4mgを1日2回)から開始 4週間後に1日 16mg(1回 8mgを1日2回)に増量症状に応じて1日 24mg(1回 12mgを1日2回)まで増量できるが、増量する場合は変更前の用量で4週間以上投与した後に増量	[禁]本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉砕] ○
メマリーOD錠 5mg (劇) メマリーOD錠 20mg (劇) (マンチン塩酸塩) OD錠: 5mg 薬価 137.70 20mg 薬価 439.70 第一三共	【効】中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制 【用】 1日1回 5mgから開始 1週間に5mgずつ増量 維持量として1日1回 20mgを経口投与 1日1回 5mgからの漸増投与は、副作用の発現を抑える目的であるので、維持量まで増量すること。	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉砕] ○
イクセロンパッチ 4.5mg (劇) イクセロンパッチ 9mg (劇) イクセロンパッチ 13.5mg (劇) イクセロンパッチ 18mg (劇) (リバスタグミン) 貼付剤: 4.5mg 薬価 346.80 9mg 薬価 390.50 13.5mg 薬価 418.60 18mg 薬価 439.70 ノバルティスファーマ	【効】軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制 【用】 1日1回 4.5mgから開始 原則4週間毎に4.5mgずつ増量 維持量として1日1回 18mgを貼付 患者の状態に応じて、1日1回 9mgを開始用量とし、原則4週後に18mgに増量することもできる。 背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。	【禁】 本剤成分・カルバマゼパム系誘導体過敏症の既往歴

2 末梢神経系用薬

2-1 局所麻酔剤

統・禁：①投与しない：1)大量出血やショック状態 2)注射部位・その周辺に炎症 3)敗血症 4)本剤成分・アミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴

②血管収縮剤(アドレナリン, ノルアドレナリン)を添加しない：1)血管収縮剤過敏症の既往歴 2)高血圧、動脈硬化、心不全、甲状腺機能亢進、糖尿病、血管攣縮の既往

3)耳、指趾・陰茎の麻酔を目的

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
カルボカイン注 1% 劇 カルボカイン注 2% 劇 (メピバカイン塩酸塩) 注：1% 10mL 薬価 115 2% 10mL 薬価 185 アストラゼネカ	【効】硬膜外・伝達・浸潤麻酔 【用】 適宜用量決定(10～400mg) 最高1回 500mg	【禁】 統・禁 ①参照
リドカイン注「NM」0.5% 劇 リドカイン注「NM」1% 劇 リドカイン注「NM」2% 劇 (リドカイン塩酸塩) 注：0.5% 20mL 薬価 184 1% 20mL 薬価 196 2% 20mL 薬価 288 ファイザー	【効】0.5%：硬膜外・伝達・浸潤麻酔 1%・2%：硬膜外・伝達・浸潤・表面麻酔 【用】 適宜用量決定(10～200mg) 最高1回 200mg	【禁】 統・禁 ①参照
キシロカイン注ポリアンプ 1% 劇 (リドカイン塩酸塩水和物) 注：1% 5mL 薬価 60 アストラゼネカ		
キシロカイン液「4%」 キシロカインゼリー2% キシロカインポンプスプレー8% 後発品 劇 キシロカインビスカス 2% (リドカイン塩酸塩) 液：4% 100mL 薬価 13.80/mL ゼリー：2% 30mL 薬価 7.90/mL ポンプスプレー 薬価 23.60/g ビスカス 薬価 6.0/mL アストラゼネカ	【効】表面麻酔 液 ：1回 2～5mL ゼリー ：尿道麻酔：男子 10～15mL 女子 3～5mL 気管内挿管適量 ポンプスプレー ：気管内挿管適量 8～40mg(1～5回の噴射) ビスカス ：1回 100～300mg(5～15mL：添付の匙でほぼ1～3杯又は注射筒に吸引)を1日1～3回経口投与	【禁】 統・禁 ①④参照

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
キシロカイン注射液「0.5%」E^レレシ[㊞] キシロカイン注射液「1%」E^レレシ[㊞] (リド ^カ イン塩酸塩・アドレナリン 0.001～0.0012%) 注:0.5% 20mL 薬価 216 1% 20mL 薬価 220 アストラゼネカ	【効】0.5%:硬膜外・伝達・浸潤麻酔 1%:硬膜外・伝達・浸潤・表面麻酔 【用】 適宜用量決定(10～500mg) 基準最高用量 1回 500mg	【禁】 統・禁 ① ②2)3)、4)狭隅角や前房が浅いなど眼圧上昇の素因(眼科領域等の麻酔に用いる場合) 5)ブチロフェノン系・フェニチジン系等の抗精神病薬・α遮断薬・イソプロテレノール等のカテコールアミン製剤、アドレナリン作動薬を投与中 【原禁】 1)心室頻拍等の重症不整脈 2)交感神経系作動薬に対し過敏な反応を示す患者 3)精神神経症 4)コカイン中毒
ペンレステープ 18mg ㊞ (リド ^カ イン) テープ:15cm ² 薬価 48.10 マルホ	【効】静脈留置針穿刺時の疼痛緩和 【用】 1回1枚 約30分間貼付 【効】伝染性軟属腫摘除時の疼痛緩和 【用】 小児には1回2枚までを、伝染性軟属腫摘除予定部位に約1時間貼付 【効】皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和 【用】 1回6枚まで、小児には下記枚数までを、レーザー照射予定部位に約1時間貼付 3歳以下:2枚 4～5歳:3枚 6～7歳:4枚 8～9歳:5枚 10歳以上:6枚	【禁】 統・禁 ①4) 参照
マーカイン注脊麻用 0.5%等比重 ㊞ マーカイン注脊麻用 0.5%高比重 ㊞ (プロピ ^バ カイン塩酸塩水和物) 注:4mL 薬価 451/4mL 薬価 451/4mL アストラゼネカ	【効】脊椎麻酔(腰椎麻酔) 【用】 1回10～20mg(2～4mL)を脊髄 ^カ 膜下腔に注入 適宜増減 1回20mg(4mL)を超えないこと	【禁】 統・禁 ① 5)中枢神経系疾患:髄膜炎、灰白脊髄炎、脊髄ろう等 6)脊椎に結核、脊椎炎・転移性腫瘍等の活動性疾患 【備】 等比重:麻酔範囲の広がりが緩徐。作用発現時間が遅く、作用持続時間が長い。高比重:麻酔範囲の広がり比重に依存しているため手術台の傾斜によりある程度の麻酔範囲の調節が可能。作用発現時間が早く、作用持続時間が短い。
マーカイン注 0.25 ㊞ (プロピ ^バ カイン塩酸塩水和物) 注:20mL 薬価 300/20mL アストラゼネカ	【効】硬膜外麻酔・伝達麻酔 【用】 適宜用量決定(1回2mg/kg まで)	【禁】 統・禁 ① 参照
アナペイン注 2mg/mL ㊞ (プロピ ^バ カイン塩酸塩水和物) 注:0.2% 100mL 薬価 1,673 アストラゼネカ	【効】術後鎮痛 【用】 手術終了時、6mL/h(プロピ ^バ カイン塩酸塩水和物(無水添加物として)12mg/h)を硬膜外腔に持続投与 4～10mL/hの範囲で適宜増減	【禁】 統・禁 ① 参照

2-2 骨格筋弛緩剤

2-1 中枢性骨格筋弛緩剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
テルネリン錠 1mg (チザニジン塩酸塩) 錠: 1mg 薬価 16.70 ノバルティス	【効】 頸肩腕症候群、腰痛症による筋緊張状態の改善 【用】 1日3錠を3回に分服 【効】 脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、脳性（小児）麻痺、外傷後遺症（脊髄損傷、頭部外傷）、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症による痙性麻痺 【用】 1日3錠より始め1日6～9錠迄漸増し3回に分服	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) フルボキサミン・シプロフロキサシンを投与中 3) 重篤な肝障害 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ミオナール錠 50mg (エペリゾン塩酸塩) 錠: 50mg 薬価 18.60 エーザイ	【効】 ①頸肩腕症候群、肩関節周囲炎、腰痛症による筋緊張状態の改善 ②脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、術後後遺症（脳・脊髄腫瘍を含む）、外傷後遺症（脊髄損傷、頭部外傷）、筋萎縮性側索硬化症、脳性小児麻痺、脊髄小脳変性症、脊髄血管障害、スモン（SMON）、その他の脳脊髄疾患による痙性麻痺 【用】 1日3錠を3回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○ 苦味・特異臭あり

2-2 末梢性筋弛緩剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
★ボトックス静注 50mg ㊚ (ボクロニウム臭化物) 注: 50mg/5.0mL 薬価 1,085 MSD	【効】 麻酔時の筋弛緩、気管内挿管時の筋弛緩 【用】 0.6mg/kgを静脈内投与 術中必要に応じて0.1～0.2mg/kgを追加投与 持続注入により投与する場合: 7μg/kg/分の投与速度で持続注入を開始。挿管用量の上限は0.9mg/kgまで	【警告】 本剤はその作用及び使用法について熟知した医師によってのみ使用すること 【禁】 1) 本剤成分・臭化物過敏症の既往歴 2) 重症筋無力症・筋無力症候群 【備】 非脱分極型

2-3 麻酔用筋弛緩剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エスラックス静注 50mg ㊚ (ボクロニウム臭化物) 注: 50mg/5.0mL 薬価 1,085 MSD	【効】 麻酔時の筋弛緩、気管内挿管時の筋弛緩 【用】 0.6mg/kgを静脈内投与 術中必要に応じて0.1～0.2mg/kgを追加投与 持続注入により投与する場合: 7μg/kg/分の投与速度で持続注入を開始。挿管用量の上限は0.9mg/kgまで	【警告】 本剤はその作用及び使用法について熟知した医師によってのみ使用すること 【禁】 1) 本剤成分・臭化物過敏症の既往歴 2) 重症筋無力症・筋無力症候群 【備】 非脱分極型

2-3 自律神経剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ウブレチド錠 5mg (毒) (ジスチグミン臭化物) 錠:5mg 薬価 20.70 鳥居	【効】重症筋無力症 【用】 1日1～4錠を1～4回に分服 コリン作動性クレーゼを防ぐため1日1回5mgから投与開始 【効】手術後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難 【用】 1日1錠服用	【警告】 本剤の投与により意識障害を伴う重篤なコリン作動性クレーゼを発現し、致命的な転帰をたどる例が報告されているので、投与に際しては次の点に注意し、医師の厳重な監督下、患者の状態を十分観察すること (1) 本剤投与中にコリン作動性クレーゼの徴候 (初期症状: 悪心・嘔吐、腹痛、下痢、唾液分泌過多、気道分泌過多、発汗、徐脈、縮瞳、呼吸困難等、臨床検査: 血清コリンエステラーゼ低下) が認められた場合には、直ちに投与を中止すること。 (2) コリン作動性クレーゼがあらわれた場合は、アトロピン硫酸塩水和物 0.5～1mg (患者の症状に合わせて適宜増量) を静脈内投与する。また、呼吸不全に至ることもあるので、その場合は気道を確保し、人工換気を考慮すること。 (3) 本剤の投与に際しては、副作用の発現の可能性について患者又はそれに代わる適切な者に十分理解させ、悪心・嘔吐、腹痛、下痢、唾液分泌過多、気道分泌過多、発汗、徐脈、縮瞳、呼吸困難のコリン作動性クレーゼの初期症状が認められた場合には服用を中止するとともに直ちに医師に連絡し、指示を仰ぐよう注意を与えること。 【禁】 1) 消化管・尿路の器質的閉塞 2) 迷走神経緊張症 3) 脱分極性筋弛緩剤 (スキサメニウム) を投与中 4) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
メスチノン錠 60mg (劇) (ピリトスチグミン臭化物) 錠:60mg 薬価 26.3 共和薬品工業	【効】重症筋無力症 【用】 1日3錠を3回に分服	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 消化管又は尿路の器質的閉塞のある患者 3) 迷走神経緊張症の患者 4) 脱分極性筋弛緩剤 (スキサメニウム塩化物水和物) を投与中の患者
ベサコリン散 5% (劇) (ベタネコール塩化物) 散:50mg/g 薬価 14.60 エーザイ	【効】消化管機能低下のみられる疾患: 慢性胃炎、迷走神経切断後、手術後及び分娩後の腸管麻痺、麻痺性イレウス 手術後、分娩後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難 (尿閉) 【用】 1日30～50mg (0.6～1g) を3～4回に分服	【禁】 1) 甲状腺機能亢進症 2) 気管支喘息 3) 消化管・膀胱頸部閉塞 4) 消化性潰瘍 5) 妊婦・妊娠可能性婦人 6) 冠動脈閉塞 7) 強度の徐脈 8) てんかん 9) パーキンソンズ病
グランダキシン錠 50 (トルパゾファミン) 錠:50mg 薬価 15.70 持田	【効】下記疾患における頭痛・頭重、倦怠感、心悸亢進、発汗などの自律神経症状 自律神経失調症、頭部・頸部損傷、更年期障害・卵巣欠落症状 【用】 1日3錠を3回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ○
オビソート注射用 0.1g (劇) (アセチルコリン塩化物) 注:100mg/A 薬価 364 第一三共	【効】麻酔後の腸管麻痺 消化管機能低下のみられる急性胃拡張 【用】 1回100mg (1A) を1～2mLの蒸留水に溶解し1日1～2回皮下・筋注 【効】円形脱毛症 【用】 1回100mg (1A) を5mLの蒸留水に溶解し局所皮内の数カ所に毎週1回ずつ注射 * 静脈内注射は危険なので行わない	【禁】 1) 気管支喘息 2) 甲状腺機能亢進症 3) 重篤な心疾患 4) 消化性潰瘍 5) 本剤成分過敏症の既往歴 6) アジソン病 7) 消化管・膀胱頸部に閉塞 8) てんかん 9) パーキンソンズ病 10) 妊婦・妊娠可能性婦人

2-4 鎮けい剤

4-1 抗パーキンソン剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アキネトン錠 1mg (ヒ°ペ°リデン塩酸塩) 錠:1mg 薬価 5.60 大日本住友	【効】 特発性パーキンソニズム その他のパーキンソニズム (脳炎後、動脈硬化性、中毒性) 向精神薬投与によるパーキンソニズム・ジスキネジア (遅発性を除く)・アカシジア 【用】 初期 1日2錠を2回に分服 漸増し 1日3～6錠を分服	【禁】 1) 緑内障 2) 本剤成分過敏症 3) 重症筋無力症 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アーテン錠 2mg (トリヘキシフェニール塩酸塩) 錠:2mg 薬価 8.60 ファイザー	【効】 向精神薬投与によるパーキンソニズム・ジスキネジア (遅発性を除く)・アカシジア 【用】 1日1～5錠を3～4回に分服 【効】 特発性パーキンソニズム及びその他のパーキンソニズム (脳炎後、動脈硬化性) 【用】 1日1mgより漸増 維持量 1日3～5錠	【禁】 1) 緑内障 2) 本剤成分過敏症 3) 重症筋無力症 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ドパストン静注 25mg (レボ°ト°パ°) 注:25mg 薬価 153 大原薬品	【効】 パーキンソン病、パーキンソン症候群 【用】 1～2Aを1～2回に分けて、そのままゆっくり静注・生食もしくはブドウ糖注射液などに希釈して点滴	【禁】 1) 閉塞隅角緑内障 2) 本剤成分過敏症の既往歴 3) 非選択的MAO酸化酵素阻害剤投与中
マドパー配合錠 (レボ°ト°パ°・ベンゼラジ°ト°塩酸塩) 錠:100mg 薬価 31.70 中外	【効】 パーキンソン病、パーキンソン症候群 【用】 レボ°ト°パ°未服用者:1日1～3錠を1～3回食後に分服、2～3日毎に1～2錠宛増量維持量 1日3～6錠 レボ°ト°パ°既服用者:投与中のレボ°ト°パ°維持量の1/5相当量を1～3回食後に分服適宜増減し、維持量 1日3～6錠	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 閉塞隅角緑内障 3) 非選択的MAO酸化酵素阻害剤投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ネオドパストン配合錠 L100 (レボ°ト°パ°・カルビ°ト°パ°水和物) 錠:100mg 薬価 34.30 第一三共	【効】 パーキンソン病、パーキンソン症候群 【用】 レボ°ト°パ°未服用者:1日100～300mg 毎日又は隔日に100～125mg 宛増量 維持量 1日600～750mgを3回に分服 レボ°ト°パ°既服用者:投与中のレボ°ト°パ°維持量の1/5相当から適宜増減 最高1日1500mgまで	【禁】 同上 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ドパコール配合錠 L100 後発品 ドパコール配合錠 L50 後発品 (レボ°ト°パ°・カルビ°ト°パ°水和物) 錠:100mg 薬価 13.00 :50mg 6.70 大住		
パーロデル錠 2.5mg 劇 (プロモクリプチンメシル酸塩) 錠:2.5mg 薬価 109.50 ノバルティス	【効】 産褥性乳汁分泌抑制、乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫 (外科的処置を必要としない場合に限る) 【用】 1日1回2.5mg 効果をみながら1日5～7.5mg 迄漸増 2～3回に分服 【効】 末端肥大症、下垂体性巨人症 【用】 1日2.5～7.5mgを2～3回に分服 【効】 パーキンソン症候群 【用】 1日1回1.25～2.5mgより開始 1～2週毎1日量2.5mg 増量 維持量 1日15～22.5mg	【禁】 1) 本剤・麦角アルカロイド過敏症の既往歴 2) 妊娠 高血圧症候群 3) 産褥期高血圧 4) 心エコー検査により、心臓弁尖肥厚、心臓弁可動制限及びこれらに伴う狭窄等の心臓弁膜の病変が確認された患者・その既往のある患者 [懸濁] × [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ペルマックス錠 250 μg (劇) (ペルゴリトメシル酸塩) 錠:250 μ g 薬価 207.40 協和発酵キリン	【効】 パーキンソン病 【用】 1日1回 50 μ g を夕食直後2日間投与、2～3日毎1日用量 50 μ g ずつ増量し、第1週末には 150 μ g を投与、第2週目は 300 μ g より開始し 2～3日毎1日用量 150 μ g ずつ増量し、第2週末には 600 μ g を投与1日用量 100 μ g 時は朝・夕食直後 150 μ g 以上は毎食直後、第3週目は 750 μ g より開始し維持量(標準1日 750～1250 μ g)を定める	【禁】 1)既往に麦角製剤過敏症 2)心エコー検査により、心臓弁尖肥厚、心臓弁可動制限・これらに伴う狭窄等の心臓弁膜の病変が確認された患者・その既往のある患者 【備】 通常 L-dopa 製剤と併用 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ビ・シフロール錠 0.5mg (劇) (プラミペキソール塩酸塩水和物) 錠:0.5mg 薬価 166.50 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】 パーキンソン病 【用】 1日量 0.25mg から開始 2週目に1日量を 0.5mg とし、1W 毎に1日量として 0.5mg ずつ増量し、維持量(標準1日量 1.5～4.5mg)を定める。1日量が 1.5mg 未満の場合は分2朝夕食後に、1.5mg 以上の場合は分3毎食後経口投与 1日量は 4.5mg を超えない 【効】 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群) 【用】 0.25mg を1日1回就寝2～3時間前に経口投与 1日 0.125mg より開始し、1日 0.75mg を超えない範囲で適宜増減 増量は1週間以上の間隔をあけて行う	【警告】 前兆のない突発的睡眠及び傾眠等が見られることがあり、また突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されているので、患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、本剤服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること 【禁】 1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ミラベックス LA 錠 0.375mg (劇) ミラベックス LA 錠 1.5mg (劇) (プラミペキソール塩酸塩水和物) 錠:0.375mg 薬価 155.50 1.5mg 薬価 533.70 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】 パーキンソン病 【用】 1日量 0.375mg 1日1回から開始 2週目に1日量を 0.75mg とし、1W 毎に1日量として 0.75mg ずつ増量し、維持量(標準1日量 1.5～4.5mg 1日1回)を定める。1日量は 4.5mg を超えない	【警告】 同上 【禁】 1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)透析患者を含む高度な腎機能障害(クレアチンクリアランス 30mL/min 未満) [懸濁] × [粉碎] ×
レキップ錠 1mg (劇) (ロピニロール塩酸塩) 錠:1mg 薬価 202.20 GSK	【効】 パーキンソン病 【用】 1回 0.25mg、1日3回から始め、1週毎に1日量として 0.75mg ずつ増量し、4週目に1日量を 3mg とする。以後必要に応じ1日量として 1.5mg ずつ1週間以上の間隔で増量し、維持量(標準1日量 3～9mg)を定める。いずれの投与量の場合も1日3回に分服 1日量 15mg を超えない	【警告】 同上 【禁】 1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○
レキップ CR2mg (劇) レキップ CR8mg (劇) (ロピニロール塩酸塩) 錠:2mg 薬価 281.40 8mg 薬価 968.30 GSK	【効】 パーキンソン病 【用】 1日1回 2mg から始め、2週目に 4mg/日とする。以後経過観察しながら、必要に応じ、2mg/日ずつ1週間以上の間隔で増量。いずれの投与量の場合も1日1回経口投与。1日量 16mg を超えないこと。	【警告】 同上 【禁】 1)本剤過敏症 2)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] × [粉碎] ×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カバサル錠 1.0mg (劇) (カベルゴリン) 錠:1mg 薬価 270.90 ファイザー	【効】 パーキンソン病 【用】 1 日量 0.25mg から始め、2 週目には 1 日量を 0.5mg とし、以後 1W 毎に 1 日量 0.5mg ずつ増量し、維持量を定める。最高用量は 1 日 3mg いずれの投与量の場合も 1 日 1 回朝食後 【効】 乳汁漏出症 高プロラクチン血性排卵障害 高プロラクチン血性下垂体腺腫(外科的処置を必要としない場合に限る) 【用】 1 週 1 回(同一曜日)就寝前経口投与とし、1 回量 0.25mg から始め、少なくとも 2 週間以上の間隔で 1 回量を 0.25mg ずつ増量し、維持量(標準 1 回量 0.25~0.75mg)を定める。1 回量の上限は 1.0mg 【効】 産褥性乳汁分泌抑制 【用】 1.0mg を胎児娩出後に 1 回のみ食後に経口投与	【禁】 1) 麦角製剤に対し過敏症の既往歴 2) 心エコー検査により、心臓弁尖肥厚、心臓弁可動制限・これらに伴う狭窄等の心臓弁膜の病変が確認された患者・その既往のある患者 3) 妊娠中毒症 4) 産褥期高血圧 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ニュープロパッチ 4.5mg ニュープロパッチ 9mg ニュープロパッチ 13.5mg (ロコモチン) 貼付剤: 4.5mg 薬価 428.40 9mg 薬価 660.10 13.5mg 薬価 850.10 GSK	【効】 パーキンソン病 【用】 1 日 1 回 4.5mg/日からはじめ、1 週間毎に 1 日量として 4.5mg ずつ増量し維持量(標準 1 日量 9mg~36mg)を定める。1 日量は 36mg を超えないこと。肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、24 時間毎に貼り替える。 【効】 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)(4.5mg のみ) 【用】 1 日 1 回 2.25mg/日からはじめ、1 週間以上の間隔をあけて 1 日量として 2.25mg ずつ増量し維持量(標準 1 日量 4.5mg~6.75mg)を定める。1 日量は 6.75mg を超えないこと。肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、24 時間毎に貼り替える。	【警告】 前兆のない突発的睡眠及び傾眠等が見られることがあり、また突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告されているので、患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、本剤貼付中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること 【禁】 1) 妊婦・妊娠可能性婦人 2) 本剤成分過敏症の既往歴
ドプスOD錠 100mg (ドロキシドパ) OD錠:100mg 薬価 70.80 日本住友	【効】 パーキンソン病(Yahr 重症度ステージ III)におけるすくみ足、たちくらみの改善 【用】 1 日 1 回 1T より開始、隔日に 1T ずつ増量、最適投与量を定め維持量とする(標準維持量は 1 日 6T を 3 回に分服) 1 日 9T を超えない 【効】 シイトレガー症候群、家族性アミロイドosis、ポリニューロパチーにおける起立性低血圧、失神、たちくらみの改善 【用】 1 日量 2~3T を 2~3 回に分服より開始、数日~1 週間毎に 1 日量 1T ずつ増量、最適投与量を定め維持量とする(標準維持量は 1 日 3~6T を 3 回に分服) 1 日 9T を超えない 【効】 起立性低血圧を伴う血液透析患者におけるめまい・ふらつき・たちくらみ、倦怠感、脱力感の改善 【用】 1 回量 2~4T を透析開始 30 分から 1 時間前に経口投与 1 回量は 4T を超えない	【禁】 1) 本剤過敏症 2) 閉塞隅角緑内障 3) 本剤投与中患者には、ハロタン等のハロゲン含有吸入麻酔剤を投与しないこと 4) イソプロテレノール等のカテコールアミン製剤を投与中 5) 妊婦・妊娠可能性婦人 6) 重篤な末梢血管病変(糖尿病性壊疽等)のある血液透析患者 【原・禁】 1) コカイン中毒 2) 心室性頻拍 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エフピーOD錠 2.5 (劇) (覚) (セギリン塩酸塩) OD錠:2.5mg 薬価 325.00 エフピー	【効】パーキンソン病(過去のレボドパ含有製剤治療において、十分な効果が得られていないもの:Yahr 重症度ステージⅠ～Ⅳ)に対するレボドパ含有製剤との併用療法 【用】 レボドパ含有製剤と併用。1日1回2.5mgを朝食後服用から始め、2週ごとに1日量として2.5mgずつ増量し、最適投与量を定めて、維持量とする(標準維持量1日7.5mg)。1日量は5.0mg以上の場合は朝食及び昼食後に分服。ただし、7.5mgの場合は朝食後5.0mg及び昼食後2.5mgを服用。1日10mgを超えないこと。	【警告】 1)本剤と三環系抗うつ剤(塩酸アミトリプチン等)との併用はしない。投与を中止してから三環系抗うつ剤の投与を開始するには少なくとも14日間の間隔を置く。2)本剤は用量の増加とともにMAO-Bの選択的阻害効果が低下し、非選択的MAO阻害による危険性があり、また更なる効果が認められないため、1日10mgを超える用量を投与しない 【禁】 1)本剤過敏症の既往歴 2)ペチジン塩酸塩、トラマール塩酸塩又はタレントール塩酸塩投与中 3)非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤(サフラジン塩酸塩)を投与中 4)統合失調症・その既往歴 5)覚せい剤、コカイン等の中枢興奮薬の依存・その既往歴 6)三環系抗うつ剤(塩酸アミトリプチン等)を投与中あるいは中止後14日間の患者 7)選択的セロトニン再取り込み阻害剤(フルボキサミン酸塩等)・セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(ミナシラン塩酸塩等)、選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(アモキシチン塩酸塩)・ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ剤(ミルダセピン)を投与中 [懸濁]○ [粉碎]○
コムタン錠 100mg (エンタカボン) 錠:100mg 薬価 217.30 ノバルティス ファーマ	【効】レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩との併用によるパーキンソン病における症状の日内変動(wearing-off現象)の改善 【用】 1回100mg 症状により1回200mgを投与することができる1日8回を超えない	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)悪性症候群、横紋筋融解症・これらの既往歴 【備】 単独では使用せず、必ずレボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩と併用 [懸濁]○ [粉碎]○
トレリーフ錠 OD 25mg (劇) (ゾニサミド) 錠:25mg 薬価 1,115.9 大日本住友	【効】パーキンソン病(レボドパ含有製剤に他の抗パーキンソン病薬を使用しても十分に効果が得られなかった場合) 【用】 1日1回25mg パーキンソン病におけるwearing-off現象の改善には、1日1回50mg	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 【備】 レボドパ含有製剤と併用 [懸濁]○ [粉碎]○
ノウリアスト錠 20mg (イストラデフィリン) 錠:20mg 薬価 782.4 協和発酵キリン	【効】レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるウェアリングオフ現象の改善 【用】 1日1回20mgを1日1回経口投与。症状により40mgを1日1回経口投与できる	【禁】 1)本剤成分過敏症 2)妊婦又は妊娠可能性の婦人 3)重度の肝障害 [懸濁]○ [粉碎]○
スタレボ配合錠 L100mg (レボドパ/カルビドパ/スワイフツ/エンタカボン) 錠:配合錠 薬価 217.3 ノバルティス	【効】パーキンソン病〔レボドパ・カルビドパ投与において症状の日内変動(wearing-off現象)が認められる場合〕 【用】 レボドパ・カルビドパ・エンタカボンとして1回50mg/5mg/100mg～200mg/20mg/200mgの間で1回1又は2錠。1日総レボドパ量として1,500mg、総カルビドパ量として150mg、総エンタカボン量として1,600mgを超えないこと。投与回数は1日8回を超えないこと。	【禁】 1)本剤成分過敏症 2)悪性症候群、横紋筋融解症又はこれらの既往歴 3)閉塞隅角緑内障 4)非選択的モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤を投与中

シンメトレル錠 50mg・・・P20

アマンタジン塩酸塩細粒・錠 50mg・・・P20

4-2 コリン遮断薬

統・禁：1)緑内障 2)前立腺肥大による排尿障害 3)重篤な心疾患 4)麻痺性けいこ 5)本剤成分過敏症の既往歴

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アトロピン硫酸塩注 0.5mg (劇) (アトロピン硫酸塩) 注：0.5mg/1mL 薬価 93 扶桑	【効】胃・十二指腸潰瘍における分泌ならびに運動亢進 胃腸の痙攣性疼痛、胆管・尿管の痙攣、痙攣性便秘 迷走神経性徐脈及び迷走神経性房室伝導障害、その他の徐脈及び房室伝導障害 麻酔前投薬、E C Tの前投薬 【用】 1回 0.5mg を皮下・筋注 場合によっては静注も可 【効】有機リン系殺虫剤・副交感神経興奮剤の中毒 【用】 軽症：0.5～1mg を皮下・経口投与 中等症：1～2mg を皮下、筋肉内又は静注。必要があれば、20～30分毎に繰返し注射。重症：2～4mg 静注。アトロピン飽和の徴候が認められるまで繰返し注射。	【禁】 統・禁 1)2)4)5) 参照
チアトンカプセル 10mg (チシウム臭化物) C：10mg 薬価 15.20 アボットジャパン	【効】胃炎、胃・十二指腸潰瘍、腸炎、過敏性大腸症候群、胆のう・胆道疾患、尿路結石症における痙攣並びに運動機能亢進 【用】 1日 3Cを3回に分服	【禁】 統・禁 参照 [懸濁]○ [脱カプ]○
ブスコパン錠 10mg ブスコパン注 20mg (劇) (ブチルスコポラミン臭化物) 錠：10mg 薬価 7.20 注：20mg/1mL 薬価 58 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】胃・十二指腸潰瘍、食道痙攣、幽門痙攣、胃炎、腸炎、腸痙攣、痙攣性便秘、機能性下痢、胆のう・胆管炎、胆石症、胆道ジスキネジー、胆のう切除後の後遺症、尿路結石症、膀胱炎、月経困難症における痙攣並びに運動機能亢進 錠 ：1回 1～2錠を1日 3～5回服用 注 ：1回 10～20mg を皮下・筋・静注 【効】上記の他胃切除後の後遺症、器具挿入による尿道・膀胱痙攣、分娩時の子宮下部痙攣 消化管のX線及び内視鏡検査の前処置 注 ：1回 10～20mg を皮下・筋・静注	【禁】 統・禁 参照、 出血性大腸炎 【原・禁】 細菌性下痢 [懸濁]○ [粉碎]×

3 感覚器官用薬

3-1 眼科用剤

1-1 散瞳剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ネオシネジンコーワ 5%点眼液 (フェニレフリン塩酸塩) 液:5% 10mL 薬価 462.0 興和	【効】 診断または治療を目的とする散瞳 【用】1回 1～2 滴宛	【禁】1) 狭隅角・浅い前房など眼圧上昇の素因のある患者 2) 本剤成分過敏症の既往歴
ミドリnP点眼液 (トロピカミド 0.5%フェニレフリン塩酸塩 0.5%) 液:10mL 配合剤 薬価 299.0 参天	【効】 診断及び治療を目的とする散瞳と調節麻痺 【用】散瞳:1回 1～2 滴または1回 1 滴を 3～5 分毎 2 回 調節麻痺:1回 1 滴 3～5 分毎 2～3 回	【禁】1) 緑内障・狭隅角・浅い前房など眼圧上昇の素因のある患者 2) 本剤成分過敏症の既往歴

1-2 縮瞳剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
サンピロ点眼液 1% (劇) (ピロカルピン塩酸塩) 液:1% 5mL 薬価 132.1 参天	【効】 緑内障、診断及び治療を目的とする縮瞳 【用】1回 1～2 滴 1 日 3～5 回	【禁】虹彩炎

1-3 眼科用副腎皮質ホルモン剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ネオメドロールE軟膏 (フジマイシン硫酸塩メチルプレニゾロン) 軟:3g 配合剤 薬価 158.1 ファイザー	【効】<適応菌種>フジマイシン感性菌 <適応症> 外眼部・前眼部の細菌感染を伴う炎症性疾患、外耳の湿疹・皮膚炎、耳鼻咽喉科領域における術後処置 【用】1 日 1～数回塗布	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) アミノ糖系抗生物質(ストレプトマイシン、カナマイシン、ゲンタマイシン等)・バシトラシン過敏症の既往歴 3) 鼓膜に穿孔のある患者への耳内使用 【原・禁】1. 眼科用剤として用いる場合 1) 角膜上皮はく離・角膜潰瘍 2) 眼に真菌、スピロヘータ、ウイルス、結核菌、原虫、寄生虫による疾患のある患者 2. 耳鼻科用剤として用いる場合 耳・鼻に真菌、スピロヘータ、ウイルス、結核菌、原虫、寄生虫による疾患のある患者
フルメトロン点眼液 0.02 % フルメトロン点眼液 0.1 % (フルオロメトロン) 液:0.02% 5mL 薬価 211.0 0.1% 5mL 薬価 337.0 参天	【効】 外眼部の炎症性疾患（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎等） 【用】用時振とう後 1回 1～2 滴 1 日 2～4 回	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】1) 角膜上皮はく離・角膜潰瘍 2) ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患・化膿性眼疾患
リンデロン点眼・点耳・点鼻液 0.1 % (ベタメタゾンリン酸エステル Na) 液:0.1% 5mL 薬価 363.0 塩野義	【効】 外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症） 【用】1回 1～2 滴 1 日 3～4 回	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】1) 角膜上皮剥離・角膜潰瘍 2) ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患・化膿性眼疾患

3 感覚器官用薬

1-4 眼科用抗生物質製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エコリシン点眼液 エコリシン眼軟膏 (エリスロマイシンラクトビオン酸塩・コリスチンメタンサルホン酸 Na) 液:5mL 配合剤 薬価 124.0 軟:3.5g 配合剤 薬価 1160.3 参天	【効】＜適応菌種＞ エリスロマイシン/コリスチン感性菌 ＜適応症＞ 眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む) 液 ：用時溶解後 2～3 時間毎に 2～3 滴 軟 ：1 日数回塗布	【禁】 エリスロマイシン・コリスチンの過敏症の既往歴

1-5 眼科用化学療法剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
タリビット点眼液 0.3% タリビット眼軟膏 0.3% (オフロキサシン) 液:0.3% 5mL 薬価 557.50 軟:0.3% 3.5g 薬価 418.95 参天	【効】＜適応菌種＞ オフロキサシン感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、ミクロコッカス属、モラクセラ属、コリネバクテリウム属、クレブシエラ属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロピデントシア属、インフルエンザ菌、ヘモフィルス・エジプチウス(コッホ・ウィークス菌)、シュートモナス属、緑膿菌、ハークネルデリア・セパシア、ステノトロモナス(ザントモナス)・マルトフィリア、アシネバクター属、アクネ菌(軟)トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス) ＜適応症＞ 眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、眼科周術期の無菌化療法(軟)トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス) 液 ：1 回 1 滴 1 日 3 回 軟 ：1 日 3 回塗布	【禁】 本剤成分・キノロン系抗菌剤過敏症の既往歴
ガチフロ点眼液 0.3% (ガチフロキサシン水和物) 液:0.3% 5mL 薬価 645.0 千寿	【効】＜適応菌種＞ ガチフロキサシン感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、コリネバクテリウム属、シトロバクター属、クレブシエラ属、セラチア属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、シュートモナス属、緑膿菌、スフィンゴモナス・ハウチモビリス、ステノトロモナス(ザントモナス)・マルトフィリア、アシネバクター属、アクネ菌 ＜適応症＞ 眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む) 【用】 1 回 1 滴 1 日 3 回 【効】 眼科周術期の無菌化療法 【用】 手術前は 1 回 1 滴、1 日 5 回、手術後は 1 回 1 滴、1 日 3 回	【禁】 本剤成分・キノロン系抗菌剤過敏症の既往歴
ゾビラックス眼軟膏 3% (アシクロビル) 軟:5g 薬価 2930.5 GSK	【効】 単純ヘルペスウイルスに起因する角膜炎 【用】 適量を 1 日 5 回塗布 症状により適宜回数を減じる	【禁】 本剤成分・バラシクロビル塩酸塩に対し過敏症の既往歴

1-6 白内障治療薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カリーユニ点眼液 0.005% 後発品 (ピレノキシ) 液:5mL 薬価 63.7 参天	【効】 初期老人性白内障 【用】 用時よく振り混ぜた後 1 回 1～2 滴 1 日 3～5 回	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
タチオン点眼用 2% (ゲルタチオン) 液:2% 5mL 薬価 115.0 日本シエネリック	【効】初期老人性白内障、角膜潰瘍、角膜上皮剥離、角膜炎 【用】用時溶解後 1 回 1～2 滴 1 日 3～5 回	
ジクロード点眼液 0.1% (ジクロフェナクナトリウム) 液:0.1% 5mL (1mg/mL) 薬価 433.5 わかもと	【効】白内障手術時における術後の炎症症状、術中・術後合併症の防止 【用】眼手術前 4 回(3 時間前・2 時間前・1 時間前・30 分前) 術後 1 回 1 滴 1 日 3 回	【禁】本剤成分過敏症の既往歴

1-7 緑内障治療薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
チモプトール点眼液 0.5% (チモロールメリン酸塩) 液:0.5% 5mL 薬価 1,686.0 参天	【効】緑内障、高眼圧症 【用】0.25%製剤 1 回 1 滴 1 日 2 回 効果が得られない場合は 0.5%製剤 1 回 1 滴 1 日 2 回	【禁】1) 気管支喘息・その既往歴・気管支痙攣・重篤な慢性閉塞性肺疾患 2) コントロール不十分な心不全・洞性徐脈・房室ブロック(Ⅱ・Ⅲ度)・心原性ショック 3) 本剤成分過敏症の既往歴
ミケラン点眼液 2% (カルテオロール塩酸塩) 液:2% 5mL 薬価 1,388.5 大塚	【効】緑内障、高眼圧症 【用】1%製剤 1 回 1 滴 1 日 2 回 効果が得られない場合は 2%製剤 1 回 1 滴 1 日 2 回	【禁】同上
キサラタン点眼液 0.005% (ラタノプロスト) 液:0.005% 2.5mL 薬価 1848.75 ファイザー	【効】緑内障、高眼圧症 【用】1 回 1 滴 1 日 1 回	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴
ルミガン点眼液 0.03% (ビマトプロスト) 液:0.03% 2.5mL 薬価 2,399.25 千寿	【効】緑内障、高眼圧症 【用】1 回 1 滴、1 日 1 回点眼	【禁】本剤成分過敏症
トルソプト点眼液 1% (トルゾラミド塩酸塩) 液:1% 5mL 薬価 1,485.5 参天	【効】緑内障、高眼圧症で、他の緑内障治療薬で効果不十分な場合の併用療法 【用】0.5%製剤を 1 回 1 滴 1 日 3 回 十分な効果が得られない場合は 1%製剤を用いて 1 回 1 滴 1 日 3 回	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 重篤な腎障害
アイファガン点眼液 0.1%5mL (ブリモニジン酒石酸塩) 液:0.1%5mL 薬価 2,253.5/本 千寿	【効】緑内障、高眼圧症で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合 【用】1 回 1 滴、1 日 2 回点眼	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 低出生体重児、新生児、乳児又は 2 歳未満の幼児
エイゾプト懸濁性点眼液 1% (ブリンゾラミド) 液:1% 5mL(10mg/mL) 薬価 2253.5/本 日本アルコン	【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合:緑内障、高眼圧症 【用】1 回 1 滴、1 日 2 回点眼。十分な効果が得られない場合は 1 回 1 滴、1 日 3 回点眼。	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 重篤な腎障害

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ザラカム配合点眼液 (ラタノプロスト/チモールメリン酸塩) 液:2.5mL(ラタノプロスト 50 μ g/チモール 5mg) 薬価 3028.75/本 ファイザー	【効】緑内障、高眼圧症 【用】 1回1滴、1日1回点眼 頻回投与により眼圧下降作用が減弱する可能性があるため、1日1回を超えて投与しないこと。	【禁】 1)気管支喘息、又はその既往歴のある患者、気管支痙攣、重篤な慢性閉塞性肺疾患 2)コントロール不十分な心不全、洞性徐脈、房室ブロック (II、III度)、心原性ショック 3)本剤成分過敏症既往歴

サンピロ点眼液 1%・・・P32

1－8 その他の点眼剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アズレン点眼液 0.02% 後発品 (アズレンスルホン酸ナトリウム水和物) 液:0.02% 5mL 薬価 87.2 わかもと	【効】急性結膜炎、慢性結膜炎、アレルギー性結膜炎、表層角膜炎、眼瞼縁炎、強膜炎 【用】 1回1～2滴 1日3～5回	
インタール点眼液 2% (クロモグリク酸 Na) 液:2% 5mL(20mg/mL) 薬価 704.50 サノフィ	【効】アレルギー性結膜炎、春季カタル 【用】 1回1～2滴 1日4回(朝・昼・夕方・就寝前)	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
パタノール点眼液 0.1% (オロパタジン塩酸塩) 液:0.1% 5mL 薬価 987.50/本 日本アルコン	【効】アレルギー性結膜炎 【用】 1回1～2滴、1日4回(朝、昼、夕方及び就寝前)点眼	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
サンコバ点眼液 0.02% (シアコバラムシ) 液:0.02% 5mL 薬価 92.00 参天	【効】調節性眼精疲労における微動調節の改善 【用】 1回1～2滴 1日3～5回	
ニフラン点眼液 0.1% (フラノプロフェン) 液:0.1% 5mL 薬価 235.5 千寿	【効】外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症) 【用】 1回1～2滴 1日4回	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
ヒアレイン点眼液 0.1% (精製ヒアルロン酸ナトリウム) 液:0.1% 5mL 薬価 431.8 参天	【効】シェーグレン症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、眼球乾燥症候群(ドライアイ)等の内因性疾患に伴う角結膜上皮障害 術後、薬剤性、外傷、コンタクトレンズ装用等による外因性疾患に伴う角結膜上皮障害 【用】 1回1滴 1日5～6回	
フラビタン点眼液 0.05% フラビタン眼軟膏 0.1% (フラビンアデニンジスクレオチド) 液:0.05% 5mL 薬価 95.4 軟:5g 薬価 151.5 トーアエイコー	【効】角膜炎、眼瞼炎のうちビタミンB₂の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合 液 :1回1～2滴 1日3～6回 軟膏 :1日1～4回塗布	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
人工涙液マイティア点眼液 (塩化ナトリウム・塩化カリウム・乾燥炭酸ナトリウム・リン酸水素ナトリウム・硼酸) 液:0.05% 5mL 薬価 85.50 千寿	【効】涙液減少症、乾性角結膜炎、コンタクトレンズ装着時における涙液の補充 1回1～2滴 1日5～6回	【備】 ソフトコンタクトレンズ装着時には使用しないこと(レンズの中に薬剤が徐々に吸着されて、眼刺激やレンズ物性に影響を与えるおそれがある)
ラクリミン点眼液 0.05% (オキシブプロカイン塩酸塩) 液:0.05% 5mL 薬価 105.70 参天	【効】分泌性流涙症 1回1～2滴 1日2～5回	【禁】 本剤成分・安息香酸エステル(コインを除く)系局所麻酔剤過敏症の既往歴
オベガードMA眼灌流液 液:500mL 配合剤(詳細は添付文書参照) 薬価 2,200.90 千寿	【効】眼手術(白内障、硝子体、緑内障)時の眼内灌流及び洗浄 【用】 眼内灌流及び洗浄:白内障手術 20～500mL 硝子体手術 50～4000mL 緑内障手術 20～50mL	
ヒーロン 0.85 眼粘弾剤 1% (ヒアルロン酸ナトリウム) 液:8.5mg/0.85mL 薬価 6,534.10 エイエムオー・ジャパン	【効】1)白内障手術 2)眼内レンズ挿入術 【用】 1)2)を連続して施行する場合:0.2～0.75mLを前房内へ注入。眼内レンズのコーティングに約0.1mL 1)のみ:0.1～0.4mLを前房内へ注入 2)のみ:眼内レンズ挿入前に0.1～0.5mLを前房内へ注入。 眼内レンズのコーティングに約0.1mL 【効】全層角膜移植術における手術補助 【用】 移植眼の角膜片除去後0.1～0.6mLを前房内に注入し、移植角膜を本剤上に浮遊させ縫合。 提供眼の移植片角膜のレンズコーティング 0.1mL使用	【原・禁】 本剤成分・蛋白系薬剤過敏症の既往歴
ヒーロンV 0.6 眼粘弾剤 2.3% (ヒアルロン酸ナトリウム) 液:13.8mg/0.6mL 薬価 10,001.90 エイエムオー・ジャパン	【効】1)白内障手術 2)眼内レンズ挿入術 【用】 1)2)を連続して施行する場合:0.3～0.6mLを前房内へ注入。眼内レンズのコーティングに約0.1mL 1)のみ:0.1～0.3mLを前房内へ注入 2)のみ:眼内レンズ挿入前に0.1～0.4mLを前房内へ注入。 眼内レンズのコーティングに約0.1mL	【原・禁】 1)本剤成分・蛋白系薬剤過敏症の既往歴 2)緑内障、高眼圧症
ディスコビスク 1.0 眼粘弾剤 (精製ヒアルロン酸ナトリウム/コンドロイチン硫酸エステルナトリウム) 液:ヒアルロン酸 Na16.5mg・コンドロイチン硫酸エステル Na40mg/1mL 薬価 10,399.40 日本アルコン	【効】水晶体再建術の手術補助 【用】 白内障摘出時には0.1～0.4mL、眼内レンズ挿入時には0.1～0.4mLを前房内に注入 必要に応じて眼内レンズコーティングに約0.1mL使用	【原・禁】 本剤成分・蛋白系薬剤過敏症の既往歴
ペノキシール点眼液 0.4% (オキシブプロカイン塩酸塩) 液:0.4% 10mL 薬価 134.0 参天	【効】眼科領域における表面麻酔 【用】 1～4滴	【禁】 1)本剤成分・安息香酸エステル(コインを除く)系局所麻酔剤過敏症の既往歴 2)次の患者に投与する場合には、血管収縮剤(エピネフリン、ルエピネフリン)を添加しないこと(1)血管収縮剤に対し過敏症の既往歴(2)高血圧、動脈硬化、心不全、甲状腺機能亢進、糖尿病、血管痙攣等

1-9 眼科用 内服・注射

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ダイアモックス錠 250mg (アセタゾラミド) 錠:250mg 薬価 27.10 三和化学	【効】緑内障 【用】 1日1～4錠 【効】てんかん(他のてんかん薬で効果不十分な場合に付加) 【用】 1日1～3錠 【効】肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善 心性浮腫 肝性浮腫 【用】 1日1回1～2錠 【効】月経前緊張症 【用】 1日1回0.5～1.5錠を月経前5～10日間 【効】メニエル病及びメニエル症候群 【用】 1日1回1～3錠 【効】睡眠時無呼吸症候群 【用】 1日1～2錠を分割経口投与	【禁】 1)本剤成分・スルホンアミド系薬剤過敏症の既往歴 2)肝硬変等の進行した肝疾患・高度の肝機能障害 3)無尿、急性腎不全 4)高クロール血症性アシドーシス、体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している患者、副腎機能不全・アジソン病 5)慢性閉塞隅角緑内障には長期投与しない [懸濁]○ [粉碎]○
ダイアモックス注射用 500mg (アセタゾラミド) 注:500mg 薬価 651 三和化学	【効】緑内障 【用】 1日250mg～1gを分割して静注・筋注 【効】てんかん(他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加) 【用】 1日250～750mgを分割して静注・筋注 【効】肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善 【用】 1日1回250～500mgを静注・筋注 【効】メニエル病及びメニエル症候群 【用】 1日1回250～750mgを静注・筋注	【禁】 1)本剤成分・スルホンアミド系薬剤過敏症の既往歴 2)肝硬変等の進行した肝疾患・高度の肝機能障害 3)無尿、急性腎不全 4)高クロール血症性アシドーシス、体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している患者、副腎機能不全・アジソン病 5)慢性閉塞隅角緑内障には長期投与しない

3-2 耳鼻科用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
インター点鼻液 2% (クロモグリク酸 Na) 液:2% 9.5mL 薬価 837.20 サノフィ	【効】アレルギー性鼻炎 【用】 1日6回(起床時、日中約3時間ごとに4回、就寝前)、1回各鼻腔に1噴霧ずつ噴霧吸入	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
プリピナ液 0.05% (ナファゾリン硝酸塩) 液:0.05% 薬価 4.50 ノバルティス	【効】上気道炎の諸疾患の充血・うっ血 上気道粘膜の表面麻酔時における局所麻酔剤の効力持続時間の延長 【用】 1回2～4滴1日数回鼻内噴霧 1回1～2mLを1日数回咽頭・喉頭塗布又は噴霧 局所麻酔剤 1mLあたり2～4滴添加	【禁】 1)本剤過敏症の既往歴 2)2才未満の乳・小児 3)MAO阻害剤の投与

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
リノコートパウダースプレー鼻用 (ベクロメタゾンプロピオン酸エステル) 25 μg パウダースプレー鼻用:1.50mg/本 薬価 1,127.10 帝人	【効】アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎 【用】 パウダースプレー:各鼻腔内に1日2回を朝、夜(起床時、就寝時)に噴霧吸入	【禁】 1)有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症 2)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)結核性疾患、呼吸器感染症 2)高血圧 3)糖尿病
リンデロン点眼・点耳・点鼻液0.1% (ベタメタゾンリン酸エステルNa) 液:0.1% 5mL 薬価 363.0 塩野義	【効】外耳・中耳(耳管を含む)又は上気道の炎症性・アレルギー性疾患(外耳炎、中耳炎、アレルギー性鼻炎等)、術後処置 【用】 1日1～数回、適量を点耳、点鼻、耳浴、ネライザー・タンポンにて使用・患部に注入	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 耳・鼻の結核性・ウイルス性疾患
タリビッド耳科用液0.3% (オフロキサシン) 液:0.3% 5mL 薬価 586.5 第一三共	【効】外耳炎、中耳炎 【用】 1回6～10滴を1日2回点耳 点耳後は約10分間の耳浴 小児:適宜滴数を減ずる	【禁】 本剤成分・レボフロキサシン水和物に対し過敏症の既往歴

4 アレルギー用薬

4-1 抗ヒスタミン剤

統・禁:1)緑内障 2)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セレスタミン配合錠 (ベタメタゾン・d クロルフェニルマレイン酸塩) 錠:配合剤 薬価 10.50 高田製薬	【効】蕁麻疹(慢性例を除く)、アレルギー性鼻炎、湿疹・皮膚炎群の急性期及び急性増悪期、薬疹 【用】 1回1～2錠を1日1～4回服用 本剤は副腎皮質ホルモンをプレドニゾン換算で1錠中2.5mg相当量を含むので、症状改善後は漫然と使用しない	【禁】 1)統・禁参照 2)他の治療法によって十分治療効果が期待できる場合には、本剤を投与しないこと。また、局所的投与で十分な場合には局所療法を行うこと。3)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身真菌症 2)結核性疾患 3)消化性潰瘍 4)精神病 5)単純疱疹性角膜炎 6)後囊白内障 7)高血圧症 8)電解質異常 9)血栓症 10)最近行った内臓の手術創のある患者 11)急性心筋梗塞 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ポララミン錠2mg (d クロルフェニルマレイン酸塩) 錠:2mg 薬価 5.60 高田製薬	【効】じん麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹・皮膚炎・皮膚そう痒症・薬疹)、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、枯草熱、感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽、血管運動性浮腫 【用】 1回1錠を1日1～4回服用	【禁】 1)統・禁参照 2)本剤成分・類似化合物過敏症の既往歴 3)低出生体重児、新生児 [懸濁] ○ [粉碎] ○

4-2 抗アレルギー剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セルテクト錠30 (オキサトリン) 錠:30mg 薬価 58.40 協和発酵キリン	【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹 【用】 1日2錠を朝・就寝前に分服	【禁】 1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アレジオン錠20 (エピナスチン塩酸塩) 錠:20mg 薬価 135.00 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】気管支喘息、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹・そう痒を伴う尋常性乾癬 【用】 1回20mg 1日1回 【効】アレルギー性鼻炎 【用】 1回10～20mg 1日1回	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
アレロックOD錠5 (オロパタジン塩酸塩) 錠:5mg 薬価 56.80 協和発酵キリン	【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症、尋常性乾癬、多形滲出性紅斑) 【用】 1回5mgを1日2回朝、就寝前経口投与 小児:7歳以上の小児には1回5mgを1日2回朝、就寝前に服用	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ジルテック錠10 (セチリジン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 102.30 第一三共	【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹 【用】 1日1錠を就寝前に服用 最高投与量20mg	【禁】 1)本剤成分・ヒペラジン誘導体(レボセチリジン、ヒドロキシジンを含む)過敏症の既往歴 2)重度の腎障害(クレアチンクリアランス10mL/min未満) [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
★ザイザル錠 5mg (レボセチリジン塩酸塩) 錠:5mg 薬価 105.8 円 グラクソ・スミスクライン	【効】成人:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症 【用】 1回1錠(5mg)1日1回を就寝前に服用 最高投与量:1日10mg 【効】小児:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒 【用】 7歳以上15歳未満の小児には1回2.5mgを1日2回、朝食後及び就寝前	【禁】 1)本剤成分又はヒペラジン誘導体(セチリジン、ヒドロキシジンを含む)に対し過敏症の既往歴 2)重度の腎障害(クレアチンクリアランス10mL/min未満)のある患者
フェキソフェナジン錠 60mg「SANIK」 (フェキソフェナジン塩酸塩) 後発品 錠:60mg 薬価 41.9 日医工	【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒 【用】 1回60mgを1日2回服用 7歳以上12歳未満の小児:1回30mgを1日2回服用 12歳以上の小児:1回60mgを1日2回服用	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 先発品:アレグラ錠 [懸濁] ○ [粉砕] ○
クラリチン錠 10mg (ロラタジン) 錠:10mg 薬価 94.50 塩野義	【効】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒 【用】 1回10mgを1日1回食後に服用 小児:7歳以上の小児には1回10mgを1日1回食後に服用	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉砕] ○
タリオン錠 10mg (ベボタスチンベシル酸塩) 錠:10mg 薬価 49.90 田辺三菱	【効】成人:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒(湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症) 【用】 1回10mgを1日2回服用 【効】小児:アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒 【用】 7歳以上の小児には1回10mgを1日2回服用	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉砕] ○
シングレア錠 10mg (モンテルカストナトリウム) 錠:10mg 薬価 222.00 MSD	【効】気管支喘息 【用】 1日1回10mg 就寝前 【効】アレルギー性鼻炎 【用】 1日1回5～10mg 就寝前	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉砕] ○
プラナルカスト錠 225mg 後発品 (プラナルカスト水和物) 錠:225mg 薬価 60.00 テバ製薬	【効】気管支喘息、アレルギー性鼻炎 【用】 1日2錠を朝、夕食後2回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉砕] ○

4-3 抗リウマチ剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
リマチル錠 100mg (劇) (ブシラン) 錠:100mg 薬価 67.90 参天	【効】関節リウマチ(消炎鎮痛剤などで十分な効果が得られない場合に使用) 【用】 1日3錠を3回分服 1日最大量300mg	【禁】 1)血液障害・骨髓機能の低下 2)腎障害 3)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)手術直後 2)全身状態悪化 [懸濁] × [粉砕] ○ 異臭あり

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アザルフィジンE N錠 500mg (サラゾスルファピリジン) 錠：500mg 薬価 65.60 参天	【効】関節リウマチ（消炎鎮痛剤などで十分な効果が得られない場合に使用） 【用】 1日1gを朝食及び夕食後の2回に分服	【禁】 1)サルファ剤・サリチル酸製剤に対し過敏症の既往歴 2)新生児、低出生体重児 [懸濁] × [粉碎] ×
リウマトレックスカプセル 2mg ㊟ (メトトレキサート) C：2mg 薬価 285.90 ファイザー	【効】関節リウマチ 【用】 1週間単位の投与量を6mgとし、1週間単位の投与量を1回又は2～3回に分割して経口投与。分割投与の場合、初日から2日目にかけて12時間間隔で投与する。1回又は2回分割投与の場合は残りの6日間、3回分割投与の場合は残りの5日間は休薬。これを1週間ごとに繰り返す。1週間単位の投与量として16mgを超えないこと。 【効】関節症状を伴う若年性特発性関節炎 【用】 1週間単位の投与量を4～10mg/m ² とし、1週間単位の投与量を1回又は2～3回に分割して経口投与する。分割投の場合、初日から2日目にかけて12時間間隔で投与する。1回又は2回分割投与の場合は残りの6日間、3回分割投与の場合は残りの5日間は休薬する。これを1週間ごとに繰り返す。	【警告】 1)本剤投与にて、感染症、肺障害、血液障害等の重篤な副作用により、致命的な経過をたどることがあるので、緊急時に十分に措置できる医療施設及び本剤についての十分な知識とリウマチ治療の経験をもつ医師が使用する 2)間質性肺炎、肺線維症等の肺障害が発現し、致命的な経過をたどることがあるので、原則として、呼吸器に精通した医師と連携して使用すること 3)本剤投与に際して、患者に対して本剤の危険性や本剤の投与が長期間にわたることを十分説明した後、患者が理解したことを確認したうえで投与を開始する 4)本剤投与に際して、副作用の発現の可能性について患者に十分理解させ、下記の症状が認められた場合には直ちに連絡するよう注意を与える→発熱、咳嗽・呼吸困難等の呼吸器症状、口内炎、けん怠感 5)使用が長期間にわたると副作用が強くあらわれ、遷延性に推移することがあるので、投与は慎重に行う 6)腎機能が低下している場合には副作用が強くあらわれることがあるため、本剤投与開始前及び投与中は腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分観察すること 【禁】 1)妊婦・妊娠している可能性婦人 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)骨髄抑制 4)慢性肝疾患 5)腎障害 6)授乳婦 7)胸水、腹水等 8)活動性結核 [懸濁] ○

4-4 その他のアレルギー用薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
グリチロン配合錠 (グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・DL-メチオン) 錠：配合剤 薬価 5.60 ミノファージェン	【効】慢性肝疾患における肝機能異常の改善 湿疹・皮膚炎 小児ストロフルス 円形脱毛症 口内炎 【用】 1日6～9錠を3回に分服 小児には1錠を1日3回	1)アルドステロン症、シパチー、低カリウム血症 2)血清アンモニウム値の上昇傾向にある末期肝硬変症 [懸濁] × [粉碎] ○
強力ネオミノファージェンシーP 静注 20mL 強力ネオミノファージェンシー 静注シリンジ 40mL (グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン L-システイン塩酸塩水和物) 注：20mL 配合剤 薬価 127 注：40mL 配合剤 薬価 349 ミノファージェン	【効】小児ストロフルス、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、口内炎、皮膚そう痒症、フリクテン、薬疹・中毒疹 【用】 1日1回5～20mLを静注 【効】慢性肝疾患における肝機能異常の改善 【用】 1日1回40～60mLを静注・点滴 1日100mLまで	1)本剤成分過敏症の既往歴 2)アルドステロン症、シパチー、低カリウム血症

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
レミッチカプセル 2.5μg (劇) (ナルプラフィン塩酸塩) C:2.5μg 薬価 1,795.00 鳥居	【効】血液透析患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果が不十分な場合に限る）、慢性肝疾患患者 【用】 1日1回2.5μgを夕食後又は就寝前に服用 1日1回5μgまで	本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ×
ディレグラ配合錠 (劇) (フェキソフェナジン塩酸塩・塩酸プロピトフェトリン) 錠：フェキソフェナジン塩酸塩 30mg 塩酸プロピトフェトリン 60mg 薬価 63.20 サノイ	【効】アレルギー性鼻炎 【用】 成人及び12歳以上の小児には1回2錠を1日2回、朝及び夕の空腹時	【禁】 1)本剤成分及び塩酸プロピトフェトリン化学構造が類似する化合物(フェトリン塩酸塩又はメチルフェトリン塩酸塩を含有する製剤)に対し過敏症 2)重症の高血圧患者 3)重症の冠動脈疾患患者 4)狭隅角緑内障患者 5)尿閉のある患者 6)交感神経刺激薬による不眠、めまい、脱力、振戦、不整脈等の既往歴のある患者 [懸濁] × [粉碎] ×

5 循環器官作用薬

5-1 強心剤

1-1 ジギタリス剤

統・禁:1)房室ブロック・洞房ブロック 2)ジギタリス中毒 3)閉塞性心筋疾患(特発性肥大型大動脈弁下狭窄等) 4)本剤成分・ジギタリス剤過敏症の既往歴

原・禁:1)塩化ササトニウム投与 2)カルシウム注射剤投与

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ジゴシン錠 0.125mg (劇) (ジゴキシン) 錠:0.125mg 薬価 9.60 中外	【効】 先天性心疾患、弁膜疾患、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）、肺性心（肺血栓・塞栓症、肺気腫、肺線維症等によるもの）、高血圧症、その他の心疾患（心膜炎・心筋疾患等）、腎疾患、甲状腺機能亢進症並びに低下症等に基づくうっ血性心不全（肺水腫、心臓喘息等を含む） 心房細動・粗動による頻脈、発作性上室性頻拍 手術、急性熱性疾患、出産、ショック、急性中毒の際における心不全及び各種頻脈の予防と治療 【用】 急速飽和:初回 0.5～1mg 以後 0.5mg を 6～8 時間毎に服用(飽和量 1～4mg) 2 歳以上の小児 1 日 0.04～0.06mg/Kg 2 歳以下 1 日 0.06～0.08mg/kg を 3～4 回に分服 維持量:1 日 0.25～0.5mg 小児:飽和量の 1/5～1/3	【禁】 統・禁 参照 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ジギラノゲン注 0.4mg (劇) (デスラノト) 注:0.4mg/2mL 薬価 95 アイロム	【効】 同上 【用】 急速飽和:初回 0.4～0.6mg 以後 0.2～0.4mg を 2～4 時間毎に静注・筋注(飽和量 0.8～1.6mg) 新生児・未熟児:1 日 0.03～0.05mg/kg 2 歳以下 1 日 0.04～0.06mg/kg 2 歳以上 1 日 0.02～0.04mg/kg を 3～4 回に分割 維持量:1 日 0.2～0.3mg 小児は飽和量の 1/4	【禁】 1)統・禁参照 2)ジスルファミン、シアミド投与中 【原・禁】 参照
ラニラピッド錠 0.05mg (劇) (メチルジゴキシン) 錠:0.05mg 薬価 5.60 中外	【効】 先天性心疾患、弁膜疾患、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）高血圧に基づくうっ血性心不全 心房細動・粗動による頻脈、発作性上室性頻拍 【用】 急速飽和:初回 0.2～0.3mg 以後 1 日 0.6mg を 3 回に分服 飽和量 0.6～1.8mg 維持量:1 日 0.1～0.2mg	【禁】 統・禁 参照 【原・禁】 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○

1-2 キサンチン系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ネオフィリン注 250mg (アミノフィリン水和物) 注:250mg/10mL 薬価 92 エーザイ	【効】 気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、肺性心、うっ血性心不全、肺水腫、心臓喘息、チェーン・ストークス呼吸、閉塞性肺疾患(肺気腫、慢性気管支炎等)における呼吸困難、狭心症(発作予防)、脳卒中発作急性期 【用】 1 回 250mg 1 日 1～2 回生食・糖に希釈して緩徐に静注 小児 1 回 3～4mg/kg 投与間隔 8h 以上 1 日 12mg/kg まで 必要に応じて点滴静注	【禁】 本剤、他のキサンチン系薬剤により重篤な副作用の既往歴

1-3 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プレドパ注 200 後発品 劇 注: 200mg/200mL 薬価 926 ファイザー	【効】急性循環不全(心原性ショック、出血性ショック)、急性循環不全状態に使用 (* 無尿、乏尿や利尿剤で利尿が得られない状態 * 脈拍数の増加した状態 * 他の強心・昇圧剤により副作用が認められたり、好ましい反応が得られない状態) 【用】 1~5 μ g/kg/min で点滴静注 20 μ g/kg 迄増量可	【禁】 褐色細胞腫
カタボンH i 注 600mg 後発品 劇 (トパミン塩酸塩) 注: 600mg/200mL 薬価 1,395 テバ		
ドブトレックスキット 点滴静注用 200mg 後発品 劇 ドブトレックスキット 点滴静注用 600mg 後発品 劇 (ドブタミン塩酸塩) 注: 200mg/200mL 薬価 2,862 600mg/200mL 薬価 5,421 塩野義	【効】急性循環不全における心収縮力増強 【用】 1~5 μ g/kg/min を点滴静注 20 μ g/kg/min 迄増量可	【禁】 1) 肥大型閉鎖性心筋症(特発性肥厚性大動脈弁下狭窄) 2) 塩酸ドブタミン過敏症の既往歴
ハンプ注射用 1000 劇 (カルペリチン) 注: 1000 μ g 薬価 2,159 第一三共	【効】急性心不全(慢性心不全の急性増悪期を含む) 【用】 注射用水 5mL に溶解し、必要に応じて生食・5%ブドウ糖で希釈し、0.1 μ g/kg/分を持続静脈内投与 0.2 μ g/kg/分まで増量可	【禁】 1) 重篤な低血圧、心原性ショック 2) 右室梗塞 3) 脱水症状
ミルリーラ K 注射液 22.5mg 劇 (ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル) 注: 22.5mg 薬価 10,384.0 アステラス	【効】急性心不全の状態では他の薬剤を投与しても効果が不十分な場合 【用】 50 μ g/kg を 10 分間かけて静脈内投与し、引き続き 1 分間あたり 0.5 μ g/kg を点滴静脈内投与。なお、点滴投与量は患者の血行動態、臨床症状に応じて 1 分間あたり 0.25~0.75 μ g/kg の範囲で適宜増減可。点滴静脈内投与からの開始も可。	【禁】 1) 肥大型閉塞性心筋症の患者 2) 本剤成分過敏症の既往歴
ピモベンダン錠 1.25mg 「TE」 後発品 (ピモベンタン) 錠: 1.25mg 薬価 68.10 トアエイヨー	【効】急性心不全で利尿剤を投与しても十分な心機能改善が得られない場合 【用】 1 回 2.5mg 病態に応じ 1 日 2 回 【効】慢性心不全(軽症~中等症)でジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が得られない場合 【用】 1 回 2.5mg 1 日 2 回 ジギタリス製剤、利尿剤等と併用	[懸濁] ○ [粉碎] ○

5-2 不整脈用剤

2-1 (I a 群)

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
シベノール錠 100mg (劇) (シベンゾリンコハク酸塩) 錠:100mg 薬価 59.30 トーアエイヨー	【効】頻脈性不整脈 (錠:頻脈性不整脈の状態での他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合) 錠 : 1日 300mg より投与開始、効果が不十分な場合には 450mg まで増量し、1日 3回に分服	【禁】 1) うっ血性心不全 2) 高度の房室ブロック・洞房ブロック 3) 透析中 4) 緑内障、尿貯留傾向 5) バルデナフィル塩酸塩水和物・モキシフロキサシン塩酸塩・トレミフェンケン酸塩、フィンゴリモド塩酸塩を投与中 6) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
リスモダンカプセル 100mg (劇) (ジソピラミド) C:100mg 薬価 51.80 サノフィ	【効】他の抗不整脈が使用できないか無効の期外収縮、発作性上室性頻脈、心房細動 【用】 1日 3Cを3回に分服	【禁】 1) 高度の房室ブロック・洞房ブロック 2) うっ血性心不全 3) スパルフロキサシン・モキシフロキサシン塩酸塩・トレミフェンケン酸塩・バルデナフィル塩酸塩水和物・アミガロン塩酸塩(注射剤)又はフィンゴリモド塩酸塩を投与中 4) 緑内障・尿貯留傾向 5) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [脱カプ] ○ 苦味あり

2-2 (I b 群)

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
オリベス点滴用 1% (後発品)(劇) (希釈型リトカイン) 注:1% 200mL 薬価 549 高田	【効】期外収縮(心室性)、発作性頻拍(心室性)、急性心筋梗塞時及び手術に伴う心室性不整脈の予防、期外収縮(上室性)、発作性頻拍(上室性) 【用】 1~2mg (0.1~0.2mL)/分の速度で静注 4mg (0.4mL)/分以上の速度では重篤な副作用があらわれるので、4mg まで必要に応じて 24 時間あるいはそれ以上連続投与しても差し支えないが、過量投与を避けるため、心電図の連続監視と頻回の血圧測定が必要	【禁】 統・禁 ④4)、重篤な刺激伝導障害(完全房室ブロック等)
キシロカイン 2%〔静注用〕 (劇) (リトカイン塩酸塩) 注:100mg/5mL(2%) 薬価 92 アストラゼネカ	【効】期外収縮(上室性、心室性)、発作性頻拍(上室性、心室性)、急性心筋梗塞時及び手術に伴う心室性不整脈の予防 1回 50~100mg を徐々に 【用】 静注(1~2mg/kg) 最高 300mg/h 迄	【禁】 1) 重篤な刺激伝導障害(完全房室ブロック等) 2) 本剤成分・アミド型局所麻酔薬過敏症の既往歴
メキシチールカプセル 50mg (劇) メキシチールカプセル 100mg (劇) (メキシチン塩酸塩) C:50mg 薬価 30.30 100mg 薬価 50.00 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】頻脈性不整脈(心室性) 【用】 1日 300mg より開始 効果不十分な時 450mg まで増量 1日 3回に分服 【効】糖尿病性神経障害に伴う自覚症状(自発痛、しびれ感)の改善 【用】 1日 300mg を 1日 3回に分服	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 重篤な刺激伝導障害(ペースメーカー未使用のⅡ~Ⅲ度房室ブロック等) 【原・禁】 糖尿病性神経障害に伴う自覚症状(自発痛、しびれ感)の改善を目的として投与する場合: 重篤な心不全を合併 [懸濁] ○ [粉碎] ○ しびれ感あり

2-3 (I c群)

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
サンリズムカプセル 25mg (劇) サンリズムカプセル 50mg (劇) (ヒドラルイト塩酸塩水和物) C:25mg 薬価 48.70 50mg 薬価 82.10 第一三共	【効】他の抗不整脈が使用できないか無効の頻脈性不整脈 【用】 1日150mgを3回に分服最高1日225mg 腎機能障害:投与量を減量するか投与間隔をあけて 透析を必要とする腎不全患者:1日25mgから投与開始	【禁】 1) うっ血性心不全 2) 高度の房室ブロック・洞房ブロック [懸濁] ○ [脱カプ] ○ 舌麻痺

2-4 (II群) β-ブロッカー

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ブレビブロック注 100mg (劇) (エスモロール塩酸塩) 注:100mg 薬価 4,130 丸石	【効】手術時の上室性頻脈性不整脈に対する緊急処置 【用】 1回0.1mL/kg(塩酸エスモロールとして1mg/kg)を30秒間で心電図の連続監視下に静脈内に投与。引き続き持続投与を行う場合:0.9mL/kg/時(150μg/kg/分)の投与速度で持続静注を開始し適宜投与速度を調節し、目標とする心拍数を維持 適宜低用量から開始	【禁】 1) 統・禁1)3)4)5)8)参照 2) 本剤・他のβ遮断剤成分過敏症の既往歴 3) 洞性徐脈、房室ブロック(II、III度)、洞房ブロック、洞不全症候群
コアベータ静注用 12.5mg (劇) (ランジオール塩酸塩) 注:12.5mg 薬価 2,709 小野	【効】コンピューター断層撮影による冠動脈造影における高心拍数時の冠動脈描出能の改善 【用】 1回0.125mg/kgを1分間で静脈内投与	【禁】 1) 統・禁1)3)4)5)8)参照 2) 房室ブロック(II度以上)、洞不全症候群など徐脈性不整脈 3) 本剤成分過敏症

その他のβ-ブロッカー・・・P47

2-5 (III群)

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アンカロン錠 100 (毒) (アミダロン塩酸塩) 錠:100mg 薬価 369.50 サノイ	【効】生命に危険のある下記の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合心室細動、心室性頻拍、心不全(低心機能)又は肥大型心筋症に伴う心房細動 【用】 導入期:1日400mgを1~2回に分服 1~2週間経口投与 維持期:1日200mgを1~2回に分服	【警告】 1. 施設の限定: 本剤の使用は致死的不整脈治療の十分な経験のある医師に限り、諸検査の実施が可能で、緊急時にも十分に対応できる設備の整った施設でのみ使用する。2. 患者の限定: 他の抗不整脈薬が無効か、又は副作用により使用できない致死的不整脈患者にのみ使用する。3. 患者への説明と同意: 本剤の使用に当たっては、患者・その家族に本剤の有効性及び危険性を十分説明し、可能な限り同意を得てから、入院中に投与を開始する。4. 副作用に関する注意: 本剤を長期間投与した際、本剤の血漿からの消失半減期は19~53日と極めて長く、投与を中止した後も本剤が血漿中・脂肪に長期間存在するため、副作用発現により投与中止、あるいは減量しても副作用はすぐには消失しない場合があるので注意する。5. 相互作用に関する注意: 本剤は種々の薬剤との相互作用が報告されており、これらの薬剤を併用する場合、また本剤中止後に使用する場合にも注意する。 【禁】 1) 重篤な洞不全症候群 2) 2度以上の房室ブロック 3) 本剤成分・ヨ素に対する過敏症の既往歴 4) リトナビル、サキナビル、サキナビルメシル酸塩、インジナビル硫酸塩エタノール付加物、ネルフィナビルメシル酸塩、スバルプロキサシ、モキシプロキサシ塩酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、シルデナフィル塩酸塩・トレミフェンケン酸塩、テラプレビル・フィンゴリト塩酸塩を投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プロタノールS錠 15mg (劇) (dL-イソプロレナリン塩酸塩) 錠:15mg 薬価 26.20 興和	【効】 各種の高度の徐脈、殊にアダムス・ストークス症候群における発作防止 【用】 1回1錠を1日3～4回服用	【禁】 1)特発性肥大型大動脈弁下狭窄症 2)ジギタリス中毒 3)カテコールアミン(アドレナリン等)、エフェドリン、メチルエフェドリン、メチルエフェドリンサッカリネート、オルシプロレナリン、フェノテロール、ドロキシトパとの併用 [懸濁] × [粉碎] ×
プロタノールL注 0.2mg (劇) (L-イソプロレナリン塩酸塩) 注:0.2mg/1mL 薬価 237 興和	【効】 アダムス・ストークス症候群(徐脈型)の発作時(高度の徐脈、心停止を含む)あるいは発作反復時、心筋梗塞や細菌内毒素などによる急性心不全、手術後の低心拍出量症候群、気管支喘息の重症発作時 【用】 緊急時:1mLを20倍に希釈しその2～20mLを緩徐に皮下・筋・静注 0.1～1mLを心臓内注 持続治療時:1～5mLを200～500倍に希釈し点滴静注	【禁】 同上

5-3 血圧降下剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アプロロン注 0.5mg (劇) (レセルピン) 注:0.5mg/1mL 薬価 97 第一三共	【効】 高血圧性緊急症(子癇、高血圧性脳症、脳出血発作等) 【用】 1回0.1～0.5mg 1日1～2回皮下・筋注 重症・速効を期待する場合:1回0.5～2.5mgを注射 【効】 フェノチアジン系薬物の使用困難な統合失調症 【用】 1回0.3～2.5mg 皮下・筋注	【警告】 重篤なうつ状態があらわれることがある。使用上の注意に特に留意 【禁】 1)うつ病・うつ状態・その既往歴(特に自殺傾向) 2)消化性潰瘍・潰瘍性大腸炎 3)本剤成分・ラウロソールアルコイル過敏症 4)電気ショック療法中

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カルデナリン錠 1mg カルデナリン錠 2mg (ドキシザシンメシル酸塩) 錠:1mg 薬価 31.30 2mg 薬価 56.60 ファイザー	【効】 高血圧症 【用】 1日1回0.5mgより開始 効果不十分な場合1～2週間毎に 1日1回1～4mgに漸増 1日最高8mgまで 【効】 褐色細胞腫による高血圧症 【用】 1日最高16mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

<βブロッカー>

統・禁：1) 糖尿病性クアドロース、代謝性アシドーシス 2) 高度・症状を呈する徐脈、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック、洞不全症候群 3) 心原性ショック 4) 肺高血圧による右心不全
5) うっ血性心不全 6) 低血圧症 7) 重度の末梢循環障害(壊疽等) 8) 未治療の褐色細胞腫

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
インデラル錠 10mg (劇) インデラル注射液 2mg (劇) (プロプラノロール塩酸塩) 錠：10mg 薬価 15.00 注：2mg/2mL 薬価 95 アストラゼネカ	錠【効】本態性高血圧(軽症～中等症) 【用】 1日30～60mgより投与開始、効果不十分時120mgまで漸増し3回に分服 【効】狭心症、期外収縮(上室性、心室性)、発作性頻拍の予防・頻拍性心房細動(徐脈効果)、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防、褐色細胞腫手術時 【用】 1日30mgより開始、効果不十分時60mg、90mgと漸増し3回に分服 小児(下線部のみ)：1日0.5～2mg/kgを、低用量から開始し、1日3～4回に分服 効果不十分な場合 1日4mg/kgまで増量可 1日投与量として90mgを超えない 【効】片頭痛発作の発症抑制 【用】 1日20～30mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は60mgまで漸増し、1日2回あるいは3回に分割経口投与 【効】右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制 【用】 乳幼児には1日0.5～2mg/kgを、低用量から開始し、1日3～4回に分服 効果不十分な場合には1日4mg/kgまで増量可 注【効】狭心症、期外収縮(上室、心室性)頻拍性心房細動(徐脈効果)、発作性頻拍(上室性、心室性)、洞性頻脈、新鮮心房細動、麻酔に伴う不整脈、褐色細胞腫手術時 【用】 1回2～10mg 麻酔時：1～5mgを徐々に静注	【禁】 1) 統・禁参照 2) 気管支喘息・気管支痙攣の可能性 3) 本剤成分過敏症の既往歴 4) 長期間絶食状態 5) 異型狭心症 6) 安息香酸リサトリプタンを投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○
メインテート錠 0.625 メインテート錠 2.5 メインテート錠 5 (ビソプロロール fumarate 塩酸塩) 錠：0.625mg 薬価 22.10 2.5mg 薬価 67.10 5mg 薬価 117.00 田辺三菱	【効】本態性高血圧症(軽症～中等症)、狭心症、心室性期外収縮 (※0.625mgは効能なし) 【用】 5mgを1日1回服用 【効】虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者 【用】 1日1回0.625mgから開始 2週間以上服用し、忍容性がある場合には、1日1回1.25mgに増量 その後忍容性がある場合には、4週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量 用量の増減は1回投与量を0.625、1.25、2.5、3.75又は5mgとして必ず段階的に行い、いずれの用量においても、1日1回服用 維持量として1日1回1.25～5mg服用 最高1日1回5mgまで 【効】頻脈性心房細動 (※0.625mgは効能なし) 【用】 1日1回2.5mgから開始 効果が不十分な場合には1日1回5mgに増量 最高投与量は1日1回5mgを超えない	【警告】 1. 慢性心不全患者に使用する場合 には、慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用する 2. 慢性心不全患者に使用する場合には、投与初期及び増量時に症状が悪化することに注意し、慎重に用量調節を行う 【禁】 1) 統・禁1)3)4)7)8)参照 2) 高度の徐脈(著しい洞性徐脈)、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック洞不全症候群 3) 妊婦・妊娠可能性婦人4) 強新薬 ・血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者 5) 非代償性の心不全患者 6) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
テノーミン錠 25 (アテノロール) 錠:25mg 薬価 54.80 アストラゼネカ	【効】本態性高血圧症(軽症～中等症)、狭心症、頻拍性不整脈(洞性頻脈、期外収縮) 【用】1日1回50mg 最高1日1回100mg まで	【禁】 1) 続・禁参照 2) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ロプレソール錠 20mg (劇) (メプロロール酒石酸塩) 錠:20mg 薬価 15.00 ノバルティス	【効】本態性高血圧症(軽症～中等症) 【用】1日60～120mg3回に分服効果不十分な時240mg まで 【効】狭心症、頻拍性不整脈 【用】1日60～120mgを2～3回に分服	【禁】 1) 続・禁参照 2) 妊婦・妊娠可能性婦人 3) 本剤成分・他のβ遮断薬過敏症 [懸濁] × [粉碎] ○

<αβブロッカー>

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アーチスト錠 1.25mg アーチスト錠 2.5mg アーチスト錠 10mg (カルベジロール) 錠:1.25mg 薬価 17.3 2.5mg 薬価 28.60 10mg 薬価 62.40 第一三共	【効】本態性高血圧症(軽症～中等症) 腎実質性高血圧 【用】1日1回10～20mg 【効】狭心症 【用】1日1回20mg 【効】★虚血性心疾患または拡張型心筋症に基づく慢性心不全でACE変換酵素阻害薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者→<1.25mg・2.5mg錠は★のみの適応> 【用】1回1.25mg、1日2回食後から開始し、忍容性がある場合には、1週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は必ず段階的に行い、1回投与量は1.25mg、2.5mg、5mg または10mg のいずれかとし、いずれの用量においても、1日2回食後投与。維持量:1回2.5～10mgを1日2回 【効】頻脈性心房細動 【用】1回5mgを1日1回から開始、効果不十分な場合は10mgを1日1回、20mgを1日1回へ段階的に増量。最大投与量は20mgを1日1回まで。	【警告】 慢性心不全患者に使用する場合 には、慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用すること 【禁】 1) 続・禁 1) 2) 3) 4) 8) 参照 2) 気管支喘息・気管支痙攣の可能性 3) 強心薬・血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全 4) 非代償性の心不全 5) 妊婦・妊娠可能性婦人 6) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
★アロチノロール塩酸塩錠 5mg「DSP」 アロチノロール塩酸塩錠 10mg「DSP」 (アロチノロール塩酸塩) 錠:5mg 薬価 29.90 錠:10mg 薬価 48.20 大日本住友	【効】本態性高血圧症(軽症～中等症)、狭心症、頻脈性不整脈 【用】1日20mgを2回に分服 効果不十分な場合:1日30mgまで増量可 【効】本態性振戦 【用】1日量10mgから開始 効果不十分な場合:1日20mgを維持量として2回に分服 1日30mgを超えないこと	【禁】 1) 続・禁 1) 2) 3) 4) 5) 8) 参照 2) 気管支喘息、気管支痙攣のおそれ 3) 妊婦・妊娠可能性のある婦人 4) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○ 苦味あり

3-3 Ca拮抗薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アダラートカプセル 5mg (劇) (ニフェジピン) C:5mg 薬価 14.20 バイエル	【効】本態性高血圧症、腎性高血圧症、狭心症 【用】 1日30mgを3回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦(妊娠20週未満)・妊娠可能性婦人 3)心原性ショック 4)急性心筋梗塞 [懸濁] × [粉碎] ×
アダラートL錠 10mg (劇) (ニフェジピン) 錠:10mg 薬価 17.30 バイエル	【効】本態性高血圧症、腎性高血圧症 【用】 1日20～40mgを2回に分服 【効】狭心症 【用】 1日40mgを2回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦(妊娠20週未満)・妊娠可能性婦人 3)心原性ショック [懸濁] × [粉碎] ×
アダラートCR錠 20mg (劇) アダラートCR錠 40mg (劇) (ニフェジピン) 錠:20mg 薬価 32.80 40mg 薬価 61.50 バイエル	【効】高血圧症 【用】 1日20～40mgを1回服用(1日10～20mgより投与を開始、漸次増量) 1日40mgで効果不十分な場合には、1回40mg1日2回まで増量可 【効】腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症 【用】 1日20～40mgを1回服用(1日10～20mgより投与を開始、漸次増量) 【効】狭心症、異型狭心症 【用】 1日40mgを1回服用 最高用量1日60mg	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦(妊娠20週未満)・妊娠可能性婦人 3)心原性ショック [懸濁] × [粉碎] ×
ニフェジピンCR錠 20mg 後発品 (劇) ニフェジピンCR錠 40mg 後発品 (劇) (ニフェジピン) 錠:20mg 薬価 15.3 40mg 薬価 28.5 ニプロ		
セパミットR細粒 2% (劇) (ニフェジピン) 細:20mg/g 薬価 37.50 MSD	【効】本態性高血圧症 【用】 1日1～2gを2回に分服 【効】狭心症 【用】 1日2gを2回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦(妊娠20週未満)・妊娠可能性婦人 3)心原性ショック
コニール錠 4 (劇) (ベニジピン塩酸塩) 錠:4mg 薬価 51.40 協和発酵キリン	【効】高血圧症 【用】 1日1回2～4mg 重症1日1回4～8mg 【効】腎実質性高血圧 【用】 1日1回2～4mg 効果不十分時 1日8mg 【効】狭心症 【用】 1日8mgを2回に分服	【禁】 1)心原性ショック 2)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ニバジール錠 4mg (劇) (ニルバジピン) 錠:4mg 薬価 30.90 アステラス	【効】本態性高血圧症 【用】 1日4～8mgを2回に分服	【禁】 1)頭蓋内出血で止血が未完成 2)脳卒中急性期で頭蓋内圧が亢進 3)妊婦・妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ノルバスクOD錠 5mg (劇) ノルバスクOD錠 10mg (劇) (アムロジピンベシル酸塩) 錠:5mg 薬価 54.50 10mg 薬価 82.80 ファイザー	【効】高血圧症 【用】 成人:1日1回2.5～5mgを服用 効果不十分な場合には1日1回10mgまで増量可 小児:6歳以上の小児には、2.5mgを1日1回 【効】狭心症 (本剤は効果発現が緩徐であるため、緊急な治療を要する不安定狭心症には効果が期待できない) 【用】 1日1回5mgを服用	【禁】 1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)ジヒドロピリジン系化合物過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アムロジピンOD錠 2.5mg「テバ」 (劇) (アムロジピンベシル酸塩) 後発品 OD錠:2.5mg 薬価 13.00 テバ製薬		
アムロジピン錠 5mg「KN」 後発品 (劇) (アムロジピンベシル酸塩) 錠:5mg 薬価 32.20 小林化工		
ランデル錠 20 (劇) (エホニジピン塩酸塩エタノール付加物) 錠:20mg 薬価 35.30 塩野義	【効】高血圧症 腎実性高血圧症 【用】 1日20～40mgを1～2回に分服 1日最大量60mg 【効】狭心症 【用】 1日40mgを1回(食後)経口投与	【禁】 妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アテレック錠 10 (シルニジピン) 錠:10mg 薬価 58.70 持田	【効】高血圧症 【用】 1日1回5～10mgを朝食後 1日1回20mgまで 重症高血圧症:1日1回10～20mg	【禁】 妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○
カルブロック錠 8mg カルブロック錠 16mg (アゼルニジピン) 錠:8mg 薬価 35.30 16mg 薬価 62.50 第一三共	【効】高血圧症 【用】 8～16mgを1日1回朝食後服用 1回8mgあるいは更に低用量から投与を開始 1日最大16mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)アゾール系抗真菌剤(イトラコゾール、ミコナゾール等)、コヒシスタットを含有する製剤、HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、サナビル、インジナビル等)を投与中 [懸濁] × [粉碎] ○
ペルジピン注射液 2mg (劇) ペルジピン注射液 10mg (劇) (ニカルジピン塩酸塩) 注:2mg/2mL/A 薬価 188 10mg/10mL/A 薬価 693 アステラス	【効】手術時の異常高血圧の救急処置 【用】 0.1～0.2mg/mL液とし2～10 μ g/kg/分の速度で点滴静注を開始し目的値まで血圧を下げ以後速度調節急速な血圧には10～30 μ g/kgを静注 【効】高血圧性緊急症 【用】 0.1～0.2mg/mL液とし0.5～6 μ g/kg/分の速度で点滴静注を開始し目的値まで血圧を下げ以後速度調節0.5 μ g/kg/分より開始 【効】急性心不全(慢性心不全の急性増悪を含む) 【用】 0.1～0.2mg/mL液とし1 μ g/kg/分の速度で点滴静注、病態に応じて点滴速度0.5～2 μ g/kg/分	【警告】 本剤を脳出血急性期の患者及び脳卒中急性期で頭蓋内圧が亢進している患者に投与する場合には、緊急対応が可能な医療施設において、最新の関連ガイドラインを参照しつつ、血圧等の患者の状態を十分にモニタリングしながら投与すること。 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)急性心不全において高度な大動脈弁狭窄・僧帽弁狭窄、肥大型閉塞性心筋症、低血圧(収縮期血圧 90mmHg未満)、心原性ショック 3)急性心不全において、発症直後で病態が安定していない重篤な急性心筋梗塞

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ペルジピン錠 10mg (ニカルジピン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 11.40 アステラス	【効】 本態性高血圧 【用】1日30～60mgを3回に分服	【禁】1)頭蓋内出血で止血が未完成 2)脳卒中急性期で頭蓋内圧が亢進 3)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁]○[粉碎]○ 苦味あり
ヘルベッサー錠 30mg (ジルチアゼム塩酸塩) 錠:30mg 薬価 12.70 田辺三菱	【効】 狭心症、異型狭心症 【用】1日90mgを3回に分服 1日180mgまで増量可 【効】 本態性高血圧症(軽症～中等症) 【用】1日90～180mg3回に分服	【禁】1)重篤なうっ血性心不全 2)2度以上の房室ブロック、洞不全症候群(持続性の洞性徐脈(50拍/分未満)、洞停止、洞房ブロック等) 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁]×[粉碎]×
ヘルベッサーRカプセル 100mg (ジルチアゼム塩酸塩) C:100mg 薬価 44.60 田辺三菱	【効】 狭心症、異型狭心症 【用】1日1回100mg 最高200mg 【効】 本態性高血圧(軽症～中等症) 【用】1日1回100～200mg	【禁】1)重篤なうっ血性心不全 2)2度以上の房室ブロック、洞不全症候群(持続性の洞性徐脈(50拍/分未満)、洞停止、洞房ブロック等) 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁]×[脱カプ]×
ヘルベッサー注射用 10 (劇) (ジルチアゼム塩酸塩) 注:10mg/A 薬価 406 田辺三菱	【効】 頻脈性不整脈(上室性) 【用】1回10mgを約3分で静注 【効】 手術時の異常高血圧の救急処置 【用】1回10mgを約1分で静注又は5～15 μ g/kg/分で点滴静注 【効】 高血圧性緊急症 【用】5～15 μ g/kg/分で点滴静注 【効】 不安定狭心症 【用】1～5 μ g/kg/分で点滴静注 最高用量5 μ g/kg/分	【禁】1)重篤な低血圧・心原性ショック 2)2度以上の房室ブロック、洞不全症候群(持続性の洞性徐脈(50拍/分未満)、洞停止、洞房ブロック等) 3)重篤なうっ血性心不全 4)重篤な心筋症 5)本剤成分過敏症の既往歴 6)妊婦・妊娠可能性婦人
ワソラン錠 40mg (ベラパミル塩酸塩) 錠:40mg 薬価 7.10 エーザイ	【効】 成人:狭心症、心筋梗塞(急性期を除く)、その他の虚血性心疾患 頻脈性不整脈(心房細動・粗動、発作性上室性頻拍) 【用】1日3～6錠を3回に分服 【効】 小児:頻脈性不整脈(心房細動・粗動、発作性上室性頻拍) 【用】1日3～6mg/kg(ただし、1日240mgを超えない)を、1日3回に分服	【禁】1)重篤なうっ血性心不全 2)第Ⅱ度以上の房室・洞房ブロック 3)妊婦・妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁]×[粉碎]○
ワソラン静注 5mg (劇) (ベラパミル塩酸塩) 注:5mg/2mL/A 薬価 277 エーザイ	【効】 頻脈性不整脈(発作性上室性頻拍、発作性心房細動、 発作性心房粗動) 【用】成人:1回5mgを5分以上かけ徐々に静注 【用】小児:1回0.1～0.2mg/kg(ただし、1回5mgを超えない)を5分以上かけ徐々に静注	【警告】1.小児等に本剤を使用する場合、小児等の不整脈治療に熟練した医師が監督すること。基礎心疾患のある場合は、有益性がリスクを上回ると判断される場合にのみ投与する。2.新生児及び乳児に使用する際には、生命に危険があり、他の治療で効果がない場合にのみ投与する。 【禁】1)重篤な低血圧あるいは心原性ショック 2)高度の徐脈、洞房ブロック、房室ブロック(第Ⅱ、Ⅲ度) 3)重篤なうっ血性心不全 4)急性心筋梗塞 5)重篤な心筋症 6) β -遮断剤の静注を受けている 7)本剤成分過敏症の既往歴

3-4 ACE阻害薬

統・禁:1)本剤成分過敏症の既往歴 2)血管浮腫の既往歴のある患者(アンジオテンシン変換酵素阻害剤等の薬剤による血管浮腫、遺伝性血管浮腫、後天性血管浮腫、特発性血管浮腫等) 3)デキストラン硫酸固定化セルロース、トリブトファン固定化ポリビニルアルコール・ポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器によるアフェレーシスを施行中 4)アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜(AN69)を用いた血液透析施行中 5)妊婦・妊娠可能性婦人 6)アリスキンを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなおお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エースコール錠 2mg (テモカプリル塩酸塩) 錠:2mg 薬価 71.20 第一三共	【効】高血圧症、腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症 【用】 1日1回2～4mg 1日1回1mg から開始 最大4mg	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5mg 「ファイザー」後発品 エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg 「ファイザー」後発品 (エナラプリルマレイン酸塩) 錠:2.5mg 薬価 14.40 5mg 薬価 12.20 ファイザー	【効】本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧慢性心不全(軽症～中等症)でジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療薬を投与しても十分な効果が得られない場合 【用】 1日1回5～10mg を服用 腎性・腎血管性高血圧、悪性高血圧、腎障害者、利尿剤服用者では2.5mg から開始 生後1ヵ月以上の小児:0.08mg/kg を1日1回	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
タナトリル錠 2.5 タナトリル錠 5 (イミダプリル塩酸塩) 錠:2.5mg 薬価 36.40 5mg 薬価 59.90 田辺三菱	【効】高血圧症、腎実質性高血圧症 【用】 1日1回5～10mg を服用 重症高血圧症、腎障害を伴う高血圧症、腎実質性高血圧症の患者は2.5mg から開始 【効】1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症 【用】 1日1回5mg を服用 重篤な腎障害を伴う患者では2.5mg から開始	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
コナン錠 10mg (キナプリル塩酸塩) 錠:10mg 薬価 53.8 田辺三菱	【効】高血圧症 【用】 1日1回5～20mg を服用 重症高血圧、腎障害を伴う高血圧症の患者では5mg から開始	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
コバシル錠 4mg (ペリントプリルエルブミン) 錠:4mg 薬価 126.20 協和発酵キリン	【効】高血圧症 【用】 1日1回0.5～1錠を服用 1日最大量は8mg(2錠)まで	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○

3-5 アンジオテンシンⅡ(AⅡ)受容体拮抗薬(ARB)

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ニューロタン錠 25mg ニューロタン錠 50mg (ロサルタンカリウム) 錠:25mg 薬価 72.00 50mg 薬価 136.50 MSD	【効】高血圧症 【用】 1日1回25～50mg を服用 最大投与量1日100mg 【効】高血圧及び蛋白尿を伴う2型糖尿病における糖尿病性腎症 【用】 1日1回50mg を服用 最大投与量 1日100mg 過度の血圧低下を起こすおそれのある患者等では25mg から投与を開始	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)重篤な肝障害 4)アリスキンを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなおお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁] × [粉碎] ○ 苦味あり

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カンデサルタン錠 4mg「あすか」 後発品 カンデサルタン錠 8mg「あすか」 後発品 (カンデサルタン シレキセチル) 後発品 錠:4mg 薬価 41.9 錠:8mg 薬価 81.4 あすか製薬	【効】高血圧症、腎実質性高血圧症、慢性心不全(軽症～中等症)で、アンジオテンシン変換酵素阻害剤の投与が適切でない場合<原則として、アンジオテンシン変換酵素阻害剤以外による基礎治療は継続すること> 【用】 1日1回4～8mgを服用 最大投与量1日12mg 腎実質性高血圧症・腎障害を伴う高血圧症:1日1回2mgから開始し8mgまで増量 慢性心不全(軽症～中等症):1日1回4mgから開始し、8mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁] ○ [粉砕] ○
バルサルタン錠 40mg「サント」 後発品 バルサルタン錠 80mg「サント」 後発品 (バルサルタン) 錠:40mg 薬価 29.3 錠:80mg 薬価 54.6 サント	【効】高血圧症 【用】 1日1回40～80mgを服用 1日160mgまで 6歳以上の小児:体重35kg未満の場合は20mg、体重35kg以上は、40mgを1日1回経口投与 1日最高用量は体重35kg未満の場合は40mg	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁] ○ [粉砕] ○ 苦味あり
ミカルディス錠 20mg ミカルディス錠 40mg (テルミサルタン) 錠:20mg 薬価 66.20 40mg 薬価 125.00 アステラス	【効】高血圧症 【用】 1日1回40mg服用 ただし、1日20mgから投与を開始 1日最大80mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)胆汁の分泌が極めて悪い・重篤な肝障害 4)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁] ○ [粉砕] ○
オルメテック錠 10mg オルメテック錠 20mg (オルメサルタン メトキソミル) 錠:10mg 薬価 64.7 錠:20mg 薬価 123.30 第一三共	【効】高血圧症 【用】 10～20mgを1日1回服用ただし、1日5～10mgから投与を開始 1日最大40mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁] ○ [粉砕] ○
イルベタン錠 100mg (イルベサルタン) 錠:100mg 薬価 123.40 塩野義	【効】高血圧症 【用】 50～100mgを1日1回服用 1日最大200mgまで	【禁】 同上 [懸濁] ○ [粉砕] ○ 苦味あり
アジルバ錠 40mg (アジルサルタン) 錠:40mg 薬価 211.30 武田	【効】高血圧症 【用】 1日1回20mgを服用 1日最大40mgまで。	【禁】 同上 [懸濁] ○ [粉砕] ○

3-6 合剤 ARB+利尿薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プレミント配合錠 LD (ロサルタンカリウム/ヒドロクロロチアジド) LD錠:(ロサルタンカリウム50mg/ヒドロクロロチアジド12.5mg) 薬価 139.70 MSD	【効】高血圧症 【用】 1日1回1錠服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)チアジド系薬剤・その類似化合物(例えばクロルタリドン等のスルホンアミド誘導体)に対する過敏症の既往歴 4)重篤な肝機能障害 5)無尿・透析患者 6)急性腎不全 7)体液中のNa・Kが明らかに減少している患者 8)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁] × [粉砕] ×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エカード配合錠 HD (カンテサルタン シレキセチル/ヒドロクロロチアジド) HD 錠：(カンテサルタン シレキセチル 8mg/ヒドロクロロチアジド 6.25mg) 薬価 138.30 武田	【効】高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁】 1)本剤成分あるいは他のチアジド系薬剤・その類似化合物(例えばクロルタリドン等のスルホンアミド誘導体)に対する過敏症の既往歴 2)無尿の患者・血液透析中 3)急性腎不全 4)体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している患者 5)妊婦・妊娠可能性婦人 6)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁]○ [粉砕]×
コディオ配合錠 EX (バルサルタン/ヒドロクロロチアジド) EX 錠：(バルサルタン 80mg/ヒドロクロロチアジド 12.5mg) 薬価 116.10 ノバルティス ファーマ	【効】高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)チアジド系薬剤・その類似化合物(例えばクロルタリドン等のスルホンアミド誘導体)に対する過敏症の既往歴 4)無尿・透析患者 5)急性腎不全 6)体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している患者 7)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁]× [粉砕]○ 苦味あり

ARB+Ca 拮抗薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エックスフォージ配合錠 (劇) (バルサルタン/アムロジピンベシル酸塩) 錠：(バルサルタン 80mg /アムロジピンベシル酸塩 5mg) 薬価 144.60 ノバルティス ファーマ	【効】高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)ジヒドロピリジン系化合物に対し過敏症の既往歴 4)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁]○ [粉砕]○ 苦味あり
ユニシア配合錠 HD (劇) (カンテサルタン シレキセチル/アムロジピンベシル酸塩) HD 錠：(カンテサルタン シレキセチル 8mg /アムロジピンベシル酸塩 5mg) 薬価 135.60 武田	【効】高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁】 1)本剤成分あるいは他のジヒドロピリジン系薬剤に対する過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁]○ [粉砕]○
ミカムロ配合錠 AP (劇) (テルミサルタン/アムロジピンベシル酸塩) 錠：(テルミサルタン 40mg /アムロジピンベシル酸塩 5mg) 薬価 127.30 アステラス	【効】高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁】 1)本剤成分及びジヒドロピリジン系薬剤に対する過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)胆汁の分泌が極めて悪い患者・重篤な肝障害のある患者 4)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁]× [粉砕]×
レザルタス配合錠 HD (オルメサルタン メトキシミル/アゼルニジピン) HD 錠：(オルメサルタン メトキシミル 20mg /アゼルニジピン 16mg) 薬価 150.70 第一三共	【効】高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ミコナゾール等)、HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビル、サキナビル、インジナビル等)、コビスタットを含有する製剤を投与中 4)アリスレインを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁]× [粉砕]×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アイミクス配合錠 LD[㊞] (イルベサルタン/アムロジピ ^ㇿ ン) LD錠：(イルベサルタン 100mg /アムロジピ ^ㇿ ン 5mg) 薬価 141.4 大日本住友	【効】 高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない	【禁忌】 1) 本剤成分又はジヒドロピリジン系化合物に過敏症の既往歴 2) 妊婦又は妊娠可能性婦人 3) アリスレ ^ㇿ ンを投与中の糖尿病患者(ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)

3-7 直接的レニン阻害剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ラジレス錠 150mg (アリスレ ^ㇿ ンフマル酸塩) 錠：150mg 薬価 144.90 ノバルティス ファーマ	【効】 高血圧症 【用】 1日1回1錠を服用 300mg(2錠)まで増量可	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性のある婦人 3) イトラコナゾール、シクロスポリンを投与中 4) アンジオテンシン変換酵素阻害剤・アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤を投与中の糖尿病患者(ただし、アンジオテンシン変換酵素阻害剤・アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤投与を含む他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く) [懸濁] × [粉碎] ×

5-4 利尿剤

4-1 サイアザイド系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フルイトラン錠 2mg (トリクロルメチアジド ^ㇿ) 錠：2mg 薬価 9.60 塩野義	【効】 高血圧症(本態性、腎性等)、腎性浮腫、心性浮腫(うっ血性心不全)、肝性浮腫、悪性高血圧、月経前緊張症 【用】 1日1～4錠を1～2回に分服 高血圧：少量から投与開始、徐々に増量する 悪性高血圧：他の降圧剤と併用する	【禁】 1) 無尿 2) 急性腎不全 3) 体液中の Na・K が明らかに減少 4) チアジド系薬剤・その類似化合物(クロルタリド ^ㇿ ン等 スルフォアミド誘導体)過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

4-2 ループ系利尿薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ラシックス錠 20mg ラシックス錠 40mg ラシックス注 20mg (フセミド ^ㇿ) 錠：20mg 薬価 9.60 40mg 薬価 14.70 注：20mg/2mL 薬価 61 日医工	錠 【効】 月経前緊張症、末梢血管障害による浮腫 高血圧症(本態性、腎性等)、腎性浮腫、心性浮腫(うっ血性心不全)、肝性浮腫、悪性高血圧、尿路結石排出促進 【用】 1日1回40～80mgを連日又は隔日 悪性高血圧：他の降圧剤と併用する 注 【効】 高血圧症(本態性、腎性等)、悪性高血圧、心性浮腫(うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫、脳浮腫、尿路結石排出促進 【用】 1日1回20mgを筋・静注 悪性高血圧：他の降圧剤と併用する	【禁】 1) 無尿 2) 肝性昏睡 3) 体液中の Na、K が明らかに減少 4) スルフォアミド誘導体過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ルブラック錠 4mg ルブラック錠 8mg (トラセミド ^ㇿ) 錠：4mg 薬価 28.70 8mg 薬価 44.90 大正富山	【効】 心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫 【用】 1日1回4～8mg	【禁】 1) 無尿 2) 肝性昏睡 3) 体液中の Na・K が明かに減少 4) 本剤成分・スルフォアミド誘導体過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医 薬 品 名 ・ 規 格 ・ 成 分 ・ 会 社	効 能 ・ 効 果 ・ 用 法 ・ 用 量	備 考
ダイアート錠 30mg ダイアート錠 60mg (アゾセミド) 錠:30mg 薬価 22.70 60mg 薬価 34.50 三和化学	【効】 心性浮腫(うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫 【用】 1 日 1 回 60mg	【禁】 1)無尿 2)肝性昏睡 3)体液中の Na・K が明かに減少 4)スルホンアミド誘導体過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり

4-3 抗アルドステロン薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アルダクトンA25mg (スピロラクトン) 錠:25mg 薬価 21.80 ファイザー	【効】 高血圧症（本態性、腎性等）、腎性浮腫、心性浮腫（うっ血性心不全）、肝性浮腫、特発性浮腫、悪性腫瘍に伴う浮腫および腹水、栄養失調性浮腫、原発性アルドステロン症の診断及び症状の改善 【用】 1日2～4錠を分服	【禁】 1)無尿・急性腎不全 2)高K血症 3)本剤過敏症の既往歴 4)タクロリムス、エプレノン・ミタンを投与中 5)アジソン病 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ソルダクトン静注用 100mg  (カンレノ酸カリウム) 注:100mg/A 薬価 468 ファイザー	【効】 経口抗アルドステロン薬の服用困難な次の症状（高アルドステロン症によると考えられる）の改善 原発性アルドステロン症、心性浮腫（うっ血性心不全）、肝性浮腫、開心術及び開腹術時における水分・電解質代謝異常 【用】 1回100～200mgを1日1～2回緩徐に静注 1日投与量として600mgを越えないこと 投与期間：原則として2W	【禁】 1)無尿・腎不全 2)腎機能の進行性悪化状態 3)高K血症 4)本剤過敏症の既往歴 5)てんかん等の痙攣性素因 6)エプレノン・タクロリムスを投与中 7)アジソン病
セララ錠 25mg (エプレレノン) 錠:25mg 薬価 47.70 ファイザー	【効】 高血圧症 【用】 1日1回50mgから投与開始100mgまで増量可	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)高カリウム血症もしくは本剤投与開始時に血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている患者 3)微量アルブミン尿・蛋白尿を伴う糖尿病患者 4)中等度以上の腎機能障害（クレアチニンクリアランス50mL/分未満） 5)重度の肝機能障害（ChiLd-Pugh分類クラスCの肝硬変に相当） 6)カリウム製剤、カリウム保持性利尿薬を投与中 7)イトラコザール、リトナビル、ネルフィナビルを投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○

4-4 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
バイカロン錠 25mg (メフルト[®]) 錠:25mg 薬価 10.30 田辺三菱	【効】 高血圧症(本態性、腎性)、腎性浮腫、心性浮腫、肝性浮腫 【用】 1 日 1～2 錠朝又は朝・昼に分服 高血圧:少量から投与開始し、徐々に増量する 悪性高血圧:他の降圧剤と併用する	【禁】 1) 無尿、急性腎不全 2) 体液中の Na、K が明らかに減少 3) 既往にチアジド系薬剤・その類似化合物(クロルタリドン等のスルホアミド誘導体)過敏症 4) 肝性昏睡 [懸濁] ○ [粉砕] ○
ナトリックス錠 1 (インダパミド[®]) 錠:1mg 薬価 12.00 大日本住友	【効】 本態性高血圧症 【用】 1 日 1 回 2 錠を朝食後経口投与 少量から投与開始し、徐々に増量する	【禁】 1) 無尿 2) 急性腎不全 3) 体液中の Na、K が明らかに減少 4) 既往にチアジド系薬剤・その類似化合物(クロルタリドン等のスルホアミド誘導体)過敏症 [粉砕] ○ 苦味あり

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
サムス力錠 7.5mg (トルバプタン) 錠:7.5mg 薬価 1,707.70 大塚	【効】 ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 【用】 1 日 1 回 15mg 【効】 ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留 【用】 1 日 1 回 7.5mg 【効】 腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制 【用】 1 日 60mg を 2 回 (朝 45mg、夕方 15mg) に分けて経口投与を開始。1 日 60mg の用量で 1 週間以上投与し、忍容性がある場合は、1 日 90mg (朝 60mg、夕方 30mg)、1 日 120mg (朝 90mg、夕方 30mg) と 1 週間以上の間隔を空けて段階的に増量。最高用量は 1 日 120mg まで。	【警告】 I. 心不全及び肝硬変における体液貯留の場合：本剤投与で、急激な水利尿から脱水症状や高 Na 血症を来し、意識障害に至った症例の報告があり、急激な血清 Na 濃度上昇による橋中心髄鞘崩壊症を来すおそれがあるため、入院下で投与を開始又は再開すること。また、特に投与開始日又は再開日には血清 Na 濃度を頻回に測定。 II. 染色体優性多発性のう胞腎の場合：II-1. 本剤は、常染色体優性多発性のう胞腎に十分な知識をもつ医師のもと、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与する。本剤投与開始に先立ち、本剤は疾病を完治させる薬剤ではないことや重篤な肝機能障害が発現する場合があること、適切な水分摂取及び定期的な血液検査等によるモニタリングの実施が必要であることを含め、本剤の有効性及び危険性を患者又はその家族に十分に説明し、同意を得ること。 II-2. 特に投与開始時又は漸増期に、過剰な水利尿に伴う脱水症状、高 Na 血症などの副作用発現のおそれがあるので、少なくとも本剤の投与開始は入院下で行い、適切な水分補給の必要性について指導すること。本剤投与中は少なくとも月 1 回は血清 Na 濃度を測定すること。 II-3. 本剤の投与により、重篤な肝機能障害が発現するおそれがあることから、血清トランスアミナーゼ値及び総ビリルビン値を含めた肝機能検査を必ず本剤投与開始前及び増量時に実施し、本剤投与中は少なくとも月 1 回は肝機能検査を実施すること。異常が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行う。 【禁】 I. 心不全及び肝硬変における体液貯留の場合 I-1. 本剤成分又は類似化合物 (モザバプタン塩酸塩等) 過敏症の既往歴 I-2. 無尿 I-3. 口渇を感じない又は水分摂取が困難 I-4. 高 Na 血症 I-5. 適切な水分補給が困難な肝性脳症 I-6. 妊婦又は妊娠可能性婦人 II. 常染色体優性多発性のう胞腎の場合 II-1. 本剤成分又は類似化合物 (モザバプタン塩酸塩等) 過敏症の既往歴 II-2. 口渇を感じない又は水分摂取が困難な患者 II-3. 高 Na 血症 II-4. 重篤な腎機能障害 (eGFR 15mL/min/1.73m² 未満) II-5. 慢性肝炎、薬剤性肝機能障害等の肝機能障害 (常染色体優性多発性のう胞腎に合併する肝のう胞を除く) 又はその既往歴 II-6. 妊婦又は妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉砕] ○

ダイヤモンド錠 250mg P37

ダイヤモンド注射用 500mg P37

5-5 血管收縮劑

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エホチール注 10mg (丸) (エチレフリン塩酸塩) 注: 10mg/1mL 薬価 58 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】 起立性低血圧、各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療 【用】 1回 2～10mg を皮下・筋・静注	【原・禁】 1) 本剤過敏症の既往歴 2) 心室性頻拍のある患者

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ノルアドリナリン注 1mg (劇) (ノルアドレナリン) 注: 1mg/1mL 薬価 92 第一三共	【効】各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療（心筋梗塞によるショック、敗血症によるショック、アナフィラキシー性ショック、循環血液量低下を伴う急性低血圧ないしショック、全身麻酔時の急性低血圧など） 【用】皮下: 1回 0.1～1mg 点滴静注: 1回 1mg を 250mL 生食・5%糖・血漿・全血に溶解 0.5～1.0mL/分 適宜調節	【禁】 1) ハロゲン含有吸入麻酔剤投与中 2) 他のカテコールアミン製剤投与中 【原・禁】 1) コカイン中毒の患者 2) 心室性頻拍のある患者
ボスミン注 1mg (劇) ボスミン外用液 0.1% (アドレナリン) 注: 1mg/1mL 薬価 92 外用液: 0.1% 薬価 800/100mL 第一三共	【効】 気管支喘息・百日咳に基づく気管支痙攣の緩解、各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療、局所麻酔薬の作用延長、手術時の局所出血の予防と治療、心停止の補助療法、虹彩毛様体炎時の虹彩癒着の防止 【用】 1回 0.25mg を越えず生食等に希釈し緩徐に静注 1回 0.2～1mg を皮下・筋注 【効】 気管支喘息、百日咳に基づく気管支痙攣の緩解、局所麻酔薬の作用延長（粘膜面の表面麻酔に限る）、手術時の局所出血の予防と治療、耳鼻咽喉科領域における局所出血・粘膜の充血・腫脹、外創における局所出血 【用】 原液又は 5～10 倍希釈 1回の投与量に於て初回として 0.3mg 以内	【禁】 1) プロピフェノン系・フェニチジン系等の抗精神病薬、α遮断薬 2) イソプロterenol等のカテコールアミン製剤、アドレナリン作動薬（ただし、蘇生等の緊急時はこの限りでない。） 3) 狭隅角・前房が浅い等の眼圧上昇素因患者（点眼・結膜下注） 【原・禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 交感神経作動薬過敏症 3) 動脈硬化症 4) 甲状腺機能亢進症 5) 糖尿病 6) 心室性頻拍等重症不整脈 7) 精神神経症 8) コカイン中毒 【効】 同上
ネオシネジンコーワ注 1mg (劇) (フェニレフリン塩酸塩) 注: 1mg/1mL 薬価 59 興和	【効】各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療 局所麻酔時の作用延長 皮下注射及び筋肉内注射 1回 2～5mg を皮下・筋肉内注射 範囲は 1～10mg 初回量は 5mg を超えない 反復投与を行う場合には、10～15 分おきに行う 静脈内注射 1回 0.2mg を注射液そのまま、又は約 10mL の生食、リンゲル液若しくは 5%ブドウ糖等に混入して静注 範囲は 0.1～0.5mg 反復投与を行う場合には、10～15 分おきに行う 点滴静脈内注射 100mL の血液、リンゲル液・5%ブドウ糖等に対し、0.5～1.0mg の割合で混入し、血圧を測定しながら滴数を加減して点滴 局麻時の作用延長 20mL の局所麻酔剤に対して 1mg の割合で混入して使用	【原禁】 1) 心室性頻拍 2) 本剤成分に対し過敏症の既往歴
リズミック錠 10mg (アミジニウムメチル硫酸塩) 錠: 10mg 薬価 48.70 大日本住友	【効】本態性低血圧 起立性低血圧 【用】 1日 20mg を 2回に分服 【効】透析施行時の血圧低下の改善 【用】 透析開始時に 1回 10mg 服用	【禁】 1) 高血圧症 2) 甲状腺機能亢進症 3) 褐色細胞腫 4) 狭隅角緑内障 5) 残尿を伴う前立腺肥大 [懸濁] ○ [粉碎] ○

5-6 血管拡張剤

6-1 虚血性心疾患

統・禁:1) 重篤な低血圧・心原性ショック 2) 閉塞隅角緑内障 3) 頭部外傷・脳出血 4) 高度な貧血 5) 硝酸・亜硝酸エステル系薬剤過敏症の既往歴 6) ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ 刺激作用を有する薬剤(リシグアト)を投与中

<亜硝酸製剤>

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アイトロール錠 20mg (一硝酸イソルビド) 錠:20mg 薬価 15.70 トーアエイコー	【効】 狭心症 【用】 1 日 2 錠を 2 回に分服 最高 1 日 4 錠	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ニトロールRカプセル 20mg (硝酸イソルビド) C:20mg 薬価 15.40 エーザイ	【効】 狭心症、心筋梗塞（急性期を除く）、その他の虚血性心疾患 【用】 1 日 2 カプセルを 2 回に分服	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] × [脱カプ] 1 カプセルなら○
ニトロール注 5mg (硝酸イソルビド) 注:5mg/10mL 薬価 247 エーザイ	【効】 急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む） 【用】 1.5～8mg/h で点滴静注最高 10mg/h 【効】 不安定狭心症 【用】 2～5mg/h で点滴静注 【効】 冠動脈造影時の冠攣縮寛解 【用】 5mg をカテーテルを通し、バルサルバ洞内に 1 分以内に注入 最高 10mg まで	【禁】 1) 重篤な低血圧・心原性ショック 2) Eisenmenger 症候群・原発性肺高血圧症 3) 右室梗塞 4) 脱水症状 5) 神経循環無力症 6) 閉塞隅角緑内障 7) 硝酸・亜硝酸エステル系薬剤過敏症 8) 頭部外傷・脳出血 9) ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ 刺激作用を有する薬剤(リシグアト)を投与中
フランドルテープ 40mg (硝酸イソルビド) 貼付剤:40mg 薬価 79.60 トーアエイコー	【効】 狭心症、心筋梗塞（急性期を除く）、その他の虚血性心疾患 【用】 1 回 1 枚 24 時間か 48 時間毎に貼替え	【禁】 統・禁 参照
ニトロペン舌下錠 0.3mg 後発品 (劇) (ニトログリセリン) 舌下錠:0.3mg 薬価 14.30 日本化薬	【効】 狭心症、心筋梗塞、心臓喘息、アカラジアの一時的緩解 【用】 発作時に 1 回 1～2 錠を舌下投与 要事反復投与	【禁】 統・禁 参照 [懸濁] ×
ニトロダームTT S 25mg (劇) (ニトログリセリン) 貼付剤:25mg 薬価 86.20 ノバルティス	【効】 狭心症 【用】 1 回 1 枚 24 時間毎に貼替え、効果不十分の時は 2 枚	【禁】 統・禁 参照
ミリステープ 5mg (劇) (ニトログリセリン) 貼付剤:5mg 薬価 49.90 日本化薬	【効】 狭心症、急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む） 【用】 1 回 1 枚 12 時間毎に貼替え	【禁】 統・禁参照

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ミリスロール注 25mg/50mL (劇) (ニトログリセリン) 注:25mg/50mL 薬価 1,882 日本化薬	原液か生食・5%糖液・乳酸リンゲル液に希釈し 1mL 中 50～500 μ g とする 【効】手術時の低血圧維持 【用】 1～5 μ g/kg/min 【効】手術時の異常高血圧の救急処置 【用】 0.5～5 μ g/kg/min 【効】急性心不全(慢性心不全の急性増悪期を含む) 【用】 0.05～0.1 μ g/kg/min (5～15 分毎 0.1～0.2 μ g/kg/min 宛増量) 【効】不安定狭心症 【用】 0.1～0.2 μ g/kg/min で開始 約 5 分ごとに 0.1～0.2 μ g/kg/min ずつ増量 1～2 μ g/kg/min 維持 効果がみられない場合:20～40 μ g/kg の静注を 1 時間ごとに併用(静注:1～3 分かけて緩徐に投与)	【禁】 1) 硝酸・亜硝酸エステル系薬剤過敏症の既往歴 2) 閉塞隅角緑内障 3) 高度な貧血 4) ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤 (シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中
ミオコール点滴静注 50mg (後発品)(劇) (ニトログリセリン) 注:50mg/100mL 薬価 2,487 トーアエイコー		

< β ブロッカー > ……P47

< C a 拮抗剤 > ……P48

< その他 >

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
ペルサンチン錠 25mg ペルサンチン錠 100mg (ジヒドロリタモール) 錠:25mg 薬価 8.40 100mg 薬価 23.30 日本ペーリンカーインゲルハイム	【効】① 狭心症、心筋梗塞（急性期を除く）、その他の虚血性心疾患、うっ血性心不全 ②ワーファリンとの併用による心臓弁置換術後の血栓・塞栓の抑制③ステロイドに抵抗性を示すネフローゼ症候群における尿蛋白減少 【用】① 1 日 75mg を 3 回に分服 ② 1 日 300～400mg を 3～4 回に分服 ③ 1 日 300mg を 3 回に分服 (*但し、100mg 錠は②③のみ適応)	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
コメリアンコーワ錠 50 (ジラセップ 塩酸塩水和物) 錠:50mg 薬価 11.30 興和	【効】狭心症、その他の虚血性心疾患（心筋梗塞を除く） 【用】 1 日 3 錠を 3 回に分服 【効】腎機能障害軽度～中等度の IgA 腎症における尿蛋白減少 【用】 1 日 6 錠を 3 回に分服	[懸濁] × [粉碎] ○ 苦味あり
シグマート錠 5mg シグマート注 12mg (ニコランジル) 錠:5mg 薬価 23.20 注:12mg 薬価 1,341 中外	錠【効】狭心症 1 日 3 錠を 3 回に分服 注【効】不安定狭心症 生食・5%ブドウ糖で溶解し 0.01～0.03%溶液とする。2mg/1h の点滴から開始。最高用量は 6mg/1h まで 注【効】急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む） 生食・5%ブドウ糖で溶解し 0.04～0.25%溶液とする。0.2mg/kg を 5 分間程度かけて静脈内投与し、引き続き 0.2mg/kg/1h で持続静脈内投与を開始。0.05～0.2mg/kg/1h の範囲で調整。	錠【禁】 ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(クエン酸シルデナフィル、塩酸バルデナフィル水和物、タダラフィル)又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中 注【禁】 1) 重篤な肝・腎機能障害 2) 重篤な脳機能障害 3) 重篤な低血圧・心原性ショック 4) Eisenmenger 症候群・原発性肺高血圧症 5) 右室梗塞 6) 脱水症状 7) 神経循環無力症 8) 閉塞隅角緑内障 9) 本剤又は硝酸・亜硝酸エステル系薬剤に対し過敏症の既往歴 10) ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する薬剤(クエン酸シルデナフィル、塩酸バルデナフィル水和物、タダラフィル) 又はグアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)を投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
ロコルナール錠 50mg (トラピシール) 錠:50mg 薬価 14.00 持田	【効】狭心症 【用】 1日300mgを3回に分服	【禁】 1)頭蓋内出血発作後、止血未完成 2)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○ 苦味あり

6-2 末梢血管拡張剤

<PG製剤>

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プロレナール錠 5μg (リマプロストアルファテックス) 錠:5 μ g 薬価 61.70 大日本住友	【効】閉塞性血栓性血管炎に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの虚血性諸症状の改善 【用】 1日6錠を3回食後に分服 【効】後天性の腰部脊柱管狭窄症(SLR試験正常で、両側性の間欠跛行を呈する患者)に伴う自覚症状(下肢疼痛、下肢しびれ)および歩行能力の改善 【用】 1日3錠を3回食後に分服	【禁】 1)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○
プロサイリン錠 20mg (劇) (ベラプロストナトリウム) 錠:20 μ g 薬価 61.80 科研	【効】慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍・疼痛及び冷感の改善 【用】 1日6錠を3回食後に分服 【効】原発性肺高血圧症 【用】 1日3錠を3回食後に分服から開始 最高用量を1日180 μ g	【禁】 1)出血している患者(血友病、毛細血管脆弱症、上部消化管出血、尿路出血、喀血、眼底出血等) 2)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○
プロスタンディン注射用 20μg (劇) (アルプロスタジールアルファテックス) 注:20 μ g/A 薬価 1,846 小野	【効】動脈内投与〔慢性動脈閉塞症(パージヤ病、閉塞性動脈硬化症)における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善〕 【用】 1日量10～15 μ g(0.1～0.15ng/kg/分)をシリンジポンプを用い持続注入 【効】静脈内投与〔振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善並びに末梢循環・神経・運動機能障害の回復、血行再建術後の血流維持、動脈内投与が不適とされる慢性動脈閉塞症(パージヤ病、閉塞性動脈硬化)における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善、動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存〕 【用】 1日1～2回1回40～60 μ gを2時間かけて(5～10ng/kg/分)で点滴静注 1kg2時間あたり1.2 μ gをこえないこと 動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存の場合: 50～100ng/kg/分で静脈内投与を開始 【効】陰茎海綿体内投与〔勃起障害の診断〕 【用】 20 μ gを生食1mLに溶かし、1回量20 μ gを陰茎海綿体へ注射	【警告】 1)動脈管依存性先天性心疾患に投与する場合には、無呼吸発作が発現することがあるので、呼吸管理設備の整っている施設で投与する 2)勃起障害の診断で投与する場合 (1)本剤投与により4時間以上の勃起の延長又は持続勃起症(6時間以上持続する勃起)が発現することがあるので、勃起が4時間以上持続する症状がみられた場合、速やかに適切な処置を行う 持続勃起症に対する処置を速やかに行わないと陰茎組織の損傷又は勃起機能を永続的に損なうことがある (2)本剤投与により勃起の延長又は持続勃起症、不整脈、一過性の低血圧等が発現することがあるので、本剤を用いた勃起障害の診断は、勃起障害の診断及び治療に精通し、本剤投与時の副作用への対処が可能な医師が、緊急時の対応が可能な状況で行う 【禁】 1)重篤な心不全・肺水腫 2)出血(頭蓋内出血、出血性眼疾患、消化管出血、喀血等) 3)妊婦・妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
パルクス注 10μg (劇) (アルプロスタジル) 注:10 μ g/2mL 薬価 4,877 大正富山	【効】慢性動脈閉塞症(パ-ジ-ャ-病・閉塞性動脈硬化症)における四肢潰瘍並びに安静時疼痛の改善 進行性全身性硬化症・全身性エリマト-デ-スにおける皮膚潰瘍の改善 振動病における末梢血管障害に伴う自覚症状の改善並びに末梢循環・神経・運動機能障害の回復 糖尿病における皮膚潰瘍の改善 【用】 1日1回1～2mLをそのまま又は、輸液に混和緩徐に静注・点滴静注 【効】動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存 【用】 輸液に混和し、開始時アルプロスタジル5ng/kg/minとして持続静注し、その後は症状に応じて有効最小量とする 【効】経上腸間膜動脈性門脈造影における造影能の改善 【用】 1回1mLを生食10mLで希釈し、造影剤注入30秒前に3～5秒間で経カテ-ル的に上腸間膜動脈内に投与	【警告】 動脈管依存性先天性心疾患(新生児)への投与で無呼吸発作 【禁】 1)重篤な心不全 2)出血(頭蓋内出血、消化管出血、喀血等) 3)妊婦・妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴

<その他>

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
スロンノンH I 注 10mg/2mL (アルカトロン水和物) 注:10mg 薬価 3,327 第一三共	【効】下記疾患に伴う神経症候(運動麻痺)、日常生活動作(歩行、起立、坐位保持、食事)の改善・発症後48時間以内の脳血栓症急性期(5分を除く) 【用】 はじめの2日間は1日6Aを輸液で希釈し、24時間かけて持続点滴静注。その後の5日間は1回1Aを輸液で希釈し1日朝夕2回、1回3時間かけて点滴静注 【効】慢性動脈閉塞症(パ-ジ-ャ-症・閉塞性動脈硬化症)における四肢潰瘍、安静時疼痛ならびに冷感の改善*慢性動脈閉塞症の患者に使用する場合、4週間以内をめどとする 【用】 1回1Aを輸液で希釈し、1日2回、1回2～3時間かけて点滴静注 【効】先天性アンチロ-ビンⅢ欠乏患者、アンチロ-ビンⅢ低下(アンチロ-ビンⅢが正常の70%以下に低下し、かつ、ヘパ-リンナトリウム、ヘパ-リンカルシウムの使用では体外循環路内の凝血(残血)が改善しないと判断されたもの)を伴う患者、ヘパ-リン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型患者における血液体外循環時の灌流血液の凝固防止(血液透析) 【用】 体外循環開始時に1Aを回路内に投与し、体外循環開始後は2.5A/hより投与を開始0.5～4A/hを目安とする 【効】ヘパ-リン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型(発症リスクのある場合を含む)における経皮的冠インターベンション施行時の血液の凝固防止 【用】 0.1mg/kgを3～5分かけて静脈内投与し、術後4時間まで6 μ g/kg/分を目安に持続投与 その後抗凝固療法の継続が必要な場合は、0.7 μ g/kg/分に減量し持続投与 【効】ヘパ-リン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型における血栓症の発症抑制 【用】 適当量の輸液で希釈し、0.7 μ g/kg/分より点滴静注を開始し、持続投与	【警告】 本剤の脳血栓症急性期の臨床試験において、出血性脳梗塞の発現が認められている。脳血栓症の患者に使用する場合には、臨床症状およびコンピュータ断層撮影による観察を十分に行い、出血が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと 【禁】 1)出血している患者:頭蓋内出血、出血性脳梗塞、血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の凝固障害、月経期間中、手術時、消化管出血、尿路出血、喀血、流早産・分娩直後等性器出血を伴う妊産婦 2)脳塞栓・脳塞栓のおそれがある患者(ただし、ヘパ-リン起因性血小板減少症(HIT)Ⅱ型の患者を除く) 3)重篤な意識障害を伴う大便秘 4)本剤成分過敏症の既往歴
ユベラNカプセル 100mg ユベラNソフトソフトカプセル 200mg (トコフェロールニコチン酸エステル) C:100mg 薬価 5.80 C:200mg 薬価 10.70 エ-サ-イ	【効】高脂質血症、高血圧症に伴う随伴症状、閉塞性動脈硬化症に伴う末梢循環障害 【用】 1日300～600mgを3回に分服	[懸濁] ○ [脱カプ] 100mg ○ 200mg ×

6-3 循環系ホルモン剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カリクレイン錠 10 単位 (カリジノゲナーゼ) 錠:10 単位 薬価 13.20 バイエル	【効】高血圧症・メニエール症候群・閉塞性血栓血管炎（ビュルガー病）における末梢循環障害の改善、更年期障害、網脈絡膜の循環障害の改善 1 日 3～6 錠を 3 回に分服	【禁】 脳出血直後等の新鮮出血時 [懸濁] × [粉碎] ×

5-7 高脂血症治療剤

【原・禁】腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に、HMG - CoA 還元酵素阻害薬とフィブラート系薬剤を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用する [横紋筋融解症があらわれやすい]

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
メバロチン錠 5 メバロチン錠 10 (プラバスタチンナトリウム) 錠: 5mg 薬価 50.50 10mg 薬価 94.80 第一三共	【効】高脂血症, 家族性高コレステロール血症 【用】 1 日 10mg を 1～2 回に分服 最高 20mg	【禁】 1) 本剤過敏症成分過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性婦人及び授乳婦 【原・禁】 参照
プラバスタチン Na 錠 10mg 「サリ」 (プラバスタチンナトリウム) 後発品 錠: 10mg 薬価 37.80 沢井		[懸濁] ○ [粉碎] ○
リピトール錠 5mg リピトール錠 10mg (アトルバスタチンカルシウム水和物) 錠: 5mg 薬価 56.5 10mg 薬価 107.90 アステラス	【効】高コレステロール血症 【用】 10mg を 1 日 1 回内服 重症: 1 日 20mg 【効】家族性高コレステロール血症 【用】 10mg を 1 日 1 回内服 重症: 1 日 40mg	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 2) 肝代謝能が低下していると考えられる患者: 急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸 3) 妊婦・妊娠可能性婦人及び授乳婦 4) テラプレビルを投与中 【原・禁】 参照
クレストール錠 2.5mg (ロスバスタチンカルシウム) 錠: 2.5mg 薬価 68.10 塩野義	【効】高コレステロール血症 家族性高コレステロール血症 【用】 1 日 1 回 2.5mg より投与開始 早期に LDL-コレステロール値を低下させる必要がある場合には 5mg より投与開始可。投与開始後あるいは増量後、4 週以降に LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には、漸次 10mg まで増量。10mg を投与しても LDL-コレステロール値の低下が十分でない、家族性高コレステロール血症患者などの重症患者に限り、さらに増量可 1 日最大 20mg まで	【禁】 1)～3) リピトール錠参照 4) シクロスリンを投与中 【原・禁】 参照
リバロ OD 錠 1mg リバロ OD 錠 2mg (ビタバスタチンカルシウム) OD 錠: 1mg 薬価 63.2 2mg 薬価 119.80 興和	【効】高コレステロール血症 【用】 1 日 1 回 1～2mg 最大 1 日 4mg まで 【効】家族性高コレステロール血症 【用】 成人: 1～2mg を 1 日 1 回 最大投与量は 1 日 4mg まで 小児: 10 歳以上の小児には 1mg を 1 日 1 回 最大投与量は 1 日 2mg まで	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 2) 重篤な肝障害・胆道閉塞 3) 妊婦・妊娠可能性婦人及び授乳婦 4) シクロスリンを投与中 【原・禁】 参照
		[懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
パントシン錠 200 パントシン散 20% (パントチン) 錠:200mg 薬価 19.60 散:20% 薬価 17.00 第一三共エスファ	【効】パントテン酸欠乏症の予防および治療 パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦等） 下記疾患のうち、パントテン酸の欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合 高脂血症、弛緩性便秘、ストレプトマイシンおよびカナマイシンによる副作用の予防及び治療、急・慢性湿疹、血液疾患の血小板数ならびに出血傾向の改善（この適応に対して効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきではない） 【用】 1日 30～180mg を 1～3 回に分服 高脂血症:1日 600mg を 3 回に分服 便秘・血液疾患:1日 300～600mg を 1～3 回に分服	錠:〔懸濁〕×〔粉碎〕○ 散:〔懸濁〕○混ぜながら
ベザリップ錠 200mg (ベザフィブラート) 錠:200mg 薬価 40.40 中外	【効】高脂血症（家族性を含む） 【用】 1日 2 錠を 2 回に分服 腎機能障害及び高齢者は適宜減量	【禁】 1) 人工透析患者 2) 腎不全などの重篤な腎疾患 3) 血清クレアチニン値 2.0mg/dL 以上 4) 本剤成分過敏症の既往歴 5) 妊婦・妊娠可能性婦人 【原・禁】 参照 〔懸濁〕×〔粉碎〕×
リピディル錠 53.3mg (フェノフィブラート) 錠:53.3mg 薬価 30.30 科研	【効】高脂血症(家族性を含む) 【用】 1日 1 回 2T～3T を食後経口投与 1日最高 3T まで	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 肝障害 3) 中等度以上の腎機能障害（目安として血清クレアチニン値が 2.5mg/dL 以上）4) 胆のう疾患 5) 妊婦・妊娠可能性のある女性、授乳婦 【原・禁】 腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に、本剤と HMG-CoA 還元酵素阻害薬を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用する 〔懸濁〕○〔粉碎〕○
ゼチーア錠 10mg (エゼチミブ) 錠:10mg 薬価 199.90 バイエル ハイボン錠 20mg・・・P101	【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症、ホモ接合体性シトステロール血症 【用】 1 回 10mg を 1 日 1 回食後経口投与	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 本剤と HMG-CoA 還元酵素阻害剤を併用する場合、重篤な肝機能障害のある患者 〔懸濁〕○〔粉碎〕○

5－8 その他の循環器官用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ノイキノン錠 10mg (エビデカルボン) 錠:10mg 薬価 18.30 エーザイ	【効】基礎治療施行中の軽度および中程度のうっ血性心不全症状 【用】 1日 3 錠を 3 回に分服	〔懸濁〕○〔粉碎〕○

6 呼吸器官用薬

6-1 呼吸促進剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ドプラム注射液 400mg (劇) (ドキシプラム塩酸塩水和物) 注:400mg/20mL 薬価 104/mL キッセイ	【効】急性ハイパーカプニアを伴う慢性肺疾患 【用】 1～2mg/kg/h 点滴静注 最高投与量 1日 2.4g 【効】麻酔時における呼吸抑制ならびに覚醒遅延 【用】 0.5～1mg/kg を徐々に静注総投与量 2mg/kg まで 点滴:はじめ約 5mg/min の速度で投与 総投与量 5.0mg/kg まで 【効】中枢神経系抑制剤による中毒時における呼吸抑制ならびに覚醒遅延 【用】 0.5～2mg/Kg を徐々に静注 点滴:症状に応じて 1.0～3.0mg/kg/hr で投与 【効】遷延性無呼吸の鑑別診断 【用】 1～2mg/Kg を静注 【効】早産・低出生体重児における原発性無呼吸(未熟児無呼吸発作)ただし、サソチン製剤による治療で十分な効果が得られない場合に限る。 【用】 初回投与量 1.5mg/kg を1時間かけて点滴静注、維持投与とし 0.2mg/kg/hr で点滴静注 効果不十分な場合は 0.4mg/kg/hr まで適宜増量	【禁】共通 1)癲かん・他の痙攣状態 2)呼吸筋・胸郭・胸膜などの異常により換気能低下 3)重症高血圧・脳血管障害 4)冠動脈疾患・明瞭な代償不全性心不全 5)新生児・低出生体重児(早産・低出生体重児における原発性無呼吸(未熟児無呼吸発作)の患児を除く) 6)本剤成分過敏症の既往歴 早産・低出生体重児における原発性無呼吸(未熟児無呼吸発作) 壊死性腸炎又はその疑いのある患児

6-2 鎮咳剤

2-1 中枢性鎮咳剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アストミン錠 10mg (シメモルファンリン酸塩) 錠:10mg 薬価 5.60 オーファンハシフィック	【効】上気道炎、肺炎、急性気管支炎、肺結核、珪肺及び珪肺結核、肺癌、慢性気管支炎に伴う鎮咳 【用】 1日 3～6錠を3回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ○
アスベリン錠 20 (チヘピジンヒペンス酸塩) 錠:20mg 薬価 9.60 田辺三菱	【効】上気道炎、肺炎、急性気管支炎、肺結核、珪肺及び珪肺結核、肺癌、慢性気管支炎に伴う鎮咳 【用】 1日 3～6錠を3回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
メジコン錠 15mg メジコン散 10% (劇) (デキストロメトルファン臭化水素酸塩) 錠:15mg 薬価 5.60 散:10% 薬価 24.90 塩野義	【効】感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、気管支拡張症、肺炎、上気道炎(咽喉頭炎、鼻カタル)に伴う咳嗽、気管支造影術及び気管支鏡検査時の咳嗽 【用】 1回 15～30mg(錠:1～2錠 散:0.15～0.3g)を1日 1～4回服用	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)MAO阻害剤投与中

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
コデインリン酸塩散 1% (劇) コデインリン酸塩散 10% (劇) (麻) (コデインリン酸塩水和物) 散:1% 薬価 8.40 散:10% 薬価 147.10 局	【効】 各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静、疼痛時における鎮痛、激しい下痢症状の改善 【用】 1回 20mg 1日 60mg	【禁】 1) 重篤な呼吸抑制 2) 気管支喘息発作中 3) 重篤な肝障害 4) 慢性肺疾患に続発する心不全 5) 痙攣状態(てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒) 6) 急性アルコール中毒 7) 本剤成分・アヘンアルカロイド過敏症 8) 出血性大腸炎 【原・禁】 細菌性下痢

2-2 配合剤

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
フスコデ配合シロップ フスコデ配合錠 (ジヒドロコデインリン酸塩・dL-メチルエフェドリン塩酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩) シロップ 薬価 3.50 錠 薬価 5.60 アボットジャパン	【効】 急性気管支炎、慢性気管支炎、感冒・上気道炎、肺炎、肺結核に伴う咳嗽 シロップ : 1日 10mL を 3回に分服 錠 : 1日 9錠を 3回に分服 【用】 乳幼小児～1才 1/10、2～4才 1/5、5～7才 1/3、8～11才 1/2、12～14才 2/3	【禁】 1) 重篤な呼吸抑制 2) アヘンアルカロイド過敏症の既往歴 3) 緑内障 4) 前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患 5) カテコールアミン製剤(アドレナリン、イソプロレノール等)を投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○

6-3 去痰剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ビスルボン錠 4mg ビスルボン注 4mg (ブロムヘキシソール塩酸塩) 錠:4mg 薬価 5.70 注:4mg/2mL 薬価 57 日本ベーリンガーインゲルハイム	錠 【効】 急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、塵肺症、手術後の去痰 【用】 1日 3錠を 3回に分服 注 【効】 経口投与困難な場合における肺結核、塵肺症、手術後の去痰気管支造影後の造影剤の排泄の促進 【用】 1回 1～2A を 1日 1～2回筋・静注	錠 【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ブロチンシロップ 3.3% (桜皮エキス) 液:3.3% 薬価 2.33/mL 第一三共	【効】 急性気管支炎、肺炎、肺結核に伴う咳嗽及び喀痰喀出困難 【用】 1日 6～12mL を 3回に分服	【禁】 ジスルフィラム、シアニド、カルモフル、プロカルバジン塩酸塩を投与中
ムコソルバン錠 15mg (アンブロキシソール塩酸塩) 錠:15mg 薬価 19.30 帝人	【効】 急・慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難 慢性副鼻腔炎の排膿 【用】 1日 3錠を 3回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アンブロキシソール塩酸塩錠 15mg (アンブロキシソール塩酸塩) 「タハ」 [後発品] 錠:15mg 薬価 5.60 日本ジェネリック		

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ムコソルバン L 錠 45mg (アンブ [®] ロキソール塩酸塩) 錠:45mg 薬価 67.7 帝人ファーマ	【効】急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難 【用】1回1Cを1日1回服用	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×
ムコダイン錠 250mg ムコダインDS 50% (カルボ [®] システイン) 錠:250mg 薬価 8.90 DS:500mg/g 薬価 33.30 杏林	錠【効】上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急・慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核の去痰 慢性副鼻腔炎の排膿 【用】1日6錠を3回に分服 DS【効】上気道炎(咽頭炎、喉頭炎)、急・慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核の去痰 慢性副鼻腔炎の排膿 滲出性中耳炎の排液(※下線部は小児のみの効能) 【用】成人1日1500mg(本剤3g)を用時懸濁し3回に分服 小児1日30mg/kg(0.06g)を用時懸濁し3回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
カルボシステイン錠 250mg「テバ」 (カルボ [®] システイン) 後発品 錠:250mg 薬価 5.60 テバ	【効】気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、肺気腫、非定型抗酸菌症、びまん性汎細気管支炎における去痰 【用】1日1200mg(6錠)を3回に分服	[懸濁] × [粉碎] ○
クリアナール錠 200mg (フ [®] ステイン) 錠:200mg 薬価 12.40 田辺三菱	【効】気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、肺気腫、非定型抗酸菌症、びまん性汎細気管支炎における去痰 【用】1日1200mg(6錠)を3回に分服	[懸濁] × [粉碎] ○

6-4 気管支拡張剤

4-1 β受容体刺激剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ベネトリン錠 2mg (サルブ [®] タモール硫酸塩) 錠:2mg 薬価 6.70 GSK	【効】気管支喘息、急・慢性気管支炎、小児喘息、肺気腫、肺結核、珪肺結核の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解 【用】1日6錠を3回に分服 重症時1日12錠を3回に分服 小児1日0.3mg/kg	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ホクナリンドライシロップ 0.1% (ツロブ [®] テロール塩酸塩) 小児用 DS:1mg/1g 薬価 31.70 アボットジヤパン	【効】気管支喘息、急・慢性気管支炎、喘息性気管支炎、肺気腫、珪肺症、塵肺症の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等の緩解 【用】以下の量を2回に分服・0.5～3才未満0.25～0.5g ・3～9才未満0.5～1g・9～15才未満1～2g	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
ホクナリンテープ 1mg ホクナリンテープ 2mg (ツロブ [®] テロール) テープ:1mg 薬価 59.00 2mg 薬価 81.60 アボットジヤパン	【効】気管支喘息、急・慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等の緩解 【用】以下の量を1日1回胸部、背部、上腕部のいずれかに貼付 0.5～3才未満0.5mg3～9才未満1mg9才以上2mg	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴
メプチン錠 50μg (ブ [®] ロカテロール塩酸塩水和物) 錠:50μg 薬価 29.20 大塚	【効】気管支喘息、急・慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難等諸症状の緩解 【用】1回1錠を1日1～2回朝又は朝・就寝前に服用	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エフェドリン「ナガキ」注射液 40mg (エフェドリン塩酸塩) (劇) 注:40mg 薬価 92 日医工	【効】 気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、上気道炎(咽喉頭炎、鼻カタル) 鼻粘膜の充血・腫脹 麻酔時の血圧降下に伴う咳嗽 【用】 1回 25～40mg を皮下注射 麻酔時の血圧降下:1回 4～8mg を静注することができる	【禁】 カテコールアミン(アドレナリン、イソプロテレノール、ドパミン等)を投与中 【原・禁】 心室細動, 心室頻拍, 冠れん縮・その既往歴
メチエフ注 40mg (メチルエフェドリン塩酸塩) 注:40mg 薬価 65 田辺三菱	【効】 気管支喘息、感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、上気道炎(咽喉頭炎、鼻カタル)に伴う咳嗽、蕁麻疹、湿疹 【用】 1回 40mg を皮下注射	【禁】 カテコールアミン製剤(アドレナリン、イソプロテレノール等)を投与中

4-2 気管支拡張剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
テオドール錠 100mg テオドール錠 200mg (劇) テオドールドライシロップ 20% (劇) (テオフィリン) 錠:100mg 薬価 11.10 200mg 薬価 17.20 DS:200mg 薬価 96.70 田辺三菱	錠【効】 気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫 【用】 成人 1日 400mg 小児 200mg～400mg を朝・就寝前 2回に分服 また、気管支喘息は 1回 400mg 1日 1回就寝前投与もできる DS【効】 気管支喘息、喘息性(様)気管支炎 【用】 小児 1回 20～40mg/kg を朝・就寝前の 2回服用	【禁】 本剤・キサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×
ユニフィル LA 錠 200mg (劇) (テオフィリン) 錠:200mg 薬価 21.90 大塚	【効】 気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫 【用】 1日 1回 400mg 夕食後	【禁】 本剤・キサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×

4-3 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
シングレア錠 10mg (モンテルカストナトリウム) 錠:10mg 薬価 222.00 MSD	【効】 気管支喘息 【用】 1日 1回 10mg 就寝前 【効】 アレルギー性鼻炎 【用】 1日 1回 5～10mg 就寝前	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

6-5 吸入用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ピソルボン吸入液 0.2% (プロムヘキシソルボン塩酸塩) 吸入液:2mg/1mL 薬価 16.80 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、塵肺症、手術後の去痰 【用】 1回2mLを生食等で約2.5倍に希釈し初ライザーを用いて1日3回吸入	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
ベネトリン吸入液 0.5% (サルブタモール硫酸塩) 吸入液:0.5%30mL 薬価 24.60 GSK	【効】気管支喘息、急・慢性気管支炎、小児喘息、肺気腫、肺結核の気道閉塞性障害にもとづく諸症状の緩解 【用】 成人:1回0.3～0.5mL 小児:1回0.1～0.3mLを吸入器で吸入	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
メプチンエアー10μg吸入 100回 (プロカテロール塩酸塩水和物) 10μgエアー:5mL 薬価 934.20 大塚	【効】気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解 【用】 1回20μg吸入 小児10μg吸入本剤の使用は発作発現時に限ること	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
フルタイド 200 ディスカス (フルチカゾンプロピオン酸エステル) ディスカス:200μg 薬価 2,619.20 GSK	【効】気管支喘息 【用】 1回100μgを1日2回吸入 最大投与量1日800μg	【禁】 1)有効な抗菌剤のない感染症、深在性真菌症 2)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 結核性疾患
アドエア 250 ディスカス 60 吸入用 アドエア 500 ディスカス 60 吸入用 (サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル) ディスカス:250μg (サルメテロール50μg・フルチカゾンプロピオン酸エステル250μg) ディスカス:500μg (サルメテロール50μg・フルチカゾンプロピオン酸エステル500μg) 薬価 250: 7,269.80 500: 8,300.50 GSK	【効】気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合)、慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合) 【用】 気管支喘息:100ディスカス1吸入を1日2回吸入。症状に応じて250ディスカス1吸入・500ディスカス1吸入を1日2回吸入 慢性閉塞性肺疾患:250ディスカス1吸入を1日2回吸入	【禁】 1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症 2)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 結核性疾患 【備】 1日2回を超えて投与しない
シムビコートタービュヘイラー 60 吸入 (ブデゾニド・ホルモテロールフル酸塩水和物) タービュヘイラー:キット 薬価 5,892.80 アストラゼネカ	【効】気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合) 【用】 維持療法:1回1吸入を1日2回吸入。1日最高1回4吸入1日2回まで。1日4吸入以下の場合、維持療法に加えて頓用吸入が可能。発作時に1吸入。数分経過しても発作が持続する場合には、1吸入追加。1回の発作発現につき、最大6吸入まで。 【効】慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β2刺激剤の併用が必要な場合) 【用】 1回2吸入を1日2回吸入	【禁】 1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症 2)本剤成分過敏症(接触性皮膚炎を含む)の既往歴 【原・禁】 結核性疾患

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
スピリーバ吸入用カプセル 18 μg (チオトロピウム臭化物水和物) 吸入用カプセル:18 μ g 薬価 204.90 日本ベーリンガーインゲルハイム	【効】慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解 【用】1回1Cを1日1回本剤専用の吸入用器具(ハンディヘラー)を用いて吸入	【禁】 1)閉塞隅角緑内障 2)前立腺肥大等による排尿障害 3)アトロピン・その類縁物質あるいは本剤成分過敏症の既往歴
オンブレス吸入用カプセル 150 μg (インタカテロールマレイン酸塩) C:150 μ g 薬価 143.6 ノバルティス	【効】慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解 【用】1回1Cを1日1回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
ウルティプロ吸入用カプセル (グレートロニウム臭化物・インタカテロールマレイン酸塩) C:(グレートロニウム 50 μ g・インタカテロール 110 μ g) 薬価 269.8 ノバルティス	【効】慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解(長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2刺激剤の併用が必要な場合) 【用】1回1Cを1日1回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入	【禁】 1)閉塞隅角緑内障 2)前立腺肥大等による排尿障害がある患者 3)本剤成分過敏症

7 消化器官用薬

7-1 歯科口腔用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
イソジンガーゲル液 7% (ポピドンヨード) 液:70mg/mL・30mL 薬価 3.30/mL Meiji seika ファルマ	【効】咽頭炎、扁桃炎、口内炎、拔牙創を含む口腔創傷の感染予防、口腔内の消毒 【用】 用時 15～30 倍希釈し 1 日数回含嗽	【禁】 本剤・珪素過敏症の既往歴
アズノールうがい液 4% 後発品 (アズレンスルホン酸ナトリウム水和物) 液:40mg/mL・5mL 薬価 234.0/V 日東	【効】咽頭炎、扁桃炎、口内炎、急性歯肉炎、舌炎、口腔創傷 【用】 1 回 4～6mg (1 回押し切り分、又は 5～7 滴) を適量 (約 100mL) の水又は微温湯に溶解し 1 日数回含嗽	
S P トローチ 0.25mg「明治」 後発品 (テカリニウム塩化物) 錠:0.25mg 薬価 5.60 Meiji seika ファルマ	【効】咽頭炎、扁桃炎、口内炎、拔牙創を含む口腔創傷の感染予防 【用】 1 回 1 錠を 1 日 6 回口中で徐々に溶解	
デキサルチン口腔用軟膏 1mg/g 後発品 (デキサメタゾン) 軟膏:5g 薬価 299.0 日本化薬	【効】びらん又は潰瘍を伴う難治性口内炎・舌炎 【用】 1 日 1～数回口内塗布	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 口腔内に感染を伴う患者
サリベートエアゾール (塩化 Na・塩化 K・塩化 Ca・塩化 Mg・リン酸二 K) エアゾール剤:50g 薬価 641.20 帝人	【効】シェーグレン症候群による口腔乾燥症・頭頸部の放射線照射による唾液腺障害に基づく口腔乾燥症に対する諸症状の緩解 【用】 1 回に 1～2 秒間 1 日 4～5 回口腔内に噴霧	

7-2 消化性潰瘍用剤

2-1 副交感神経抑制薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
コランテル配合顆粒 (ジサイクロミン塩酸塩・乾燥水酸化アルミニウムゲル・酸化 Mg) 顆粒:配合剤 薬価 6.20 塩野義	【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善 【用】 1 回 1～2g を 1 日 3～4 回服用	【禁】 1) 緑内障 2) 前立腺肥大による排尿障害 3) 重篤な心疾患 4) 麻痺性イレウス 5) 透析療法を受けている患者 [懸濁] ○

2-3 プロトンポンプ・インヒビター

73

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
オブランゼ錠 10 後発品 オブランゼ錠 20 後発品 (オメプラゾール) 錠:10mg 薬価 36.80 20mg 薬価 60.30	【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、Zollinger-Ellison 症候群 【用】 1回 20mg を1日1回服用 胃潰瘍、吻合部潰瘍:8週まで 十二指腸潰瘍:6週まで 逆流性食道炎:8週まで 再発・再燃を繰り返す時の維持療法:1回 10～20mg を1日1回 【効】非びらん性胃食道逆流症 【用】 1回 10mg を1日1回服用 4週まで 【効】胃潰瘍又は十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 【用】 オメプラゾールとして1回 20mg、アモキシシリン水和物として1回 750mg (力価) 及びクラリスロマイシンとして1回 200mg (力価) の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 クラリスロマイシンは1回 400mg (力価) 1日2回を上限 1次除菌治療が不成功の場合: オメプラゾールとして1回 20mg、アモキシシリン水和物として1回 750mg (力価)・メトロニダゾールとして1回 250mg の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与	【禁】 同上 [懸濁] × [粉碎] ×
ネキシウムカプセル 20mg (エソメプラゾールマグネシウム水和物) カプセル:20mg 薬価 160.10 アストラゼネカ	【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群、逆流性食道炎 【用】 1回 20mg を1日1回服用 胃潰瘍、吻合部潰瘍:8週まで 十二指腸潰瘍:6週まで 逆流性食道炎:8週まで 再発・再燃を繰り返す時の維持療法:1日1回 10～20mg を経口投与 【効】非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量7.5mg投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 【用】 1回 20mg を1日1回服用 【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 【用】 エソメプラゾールとして1回 10mg、アモキシシリンとして1回 750mg (力価)、クラリスロマイシンとして1回 200mg (力価) の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 クラリスロマイシンは1回 400mg (力価) 1日2回を上限 1次除菌治療が不成功の場合: エソメプラゾールとして1回 20mg、アモキシシリンとして1回 750mg (力価)・メトロニダゾールとして1回 250mg の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) アタナビル硫酸塩、リルピロリン塩酸塩を投与中 [懸濁] ○ [脱カプ] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ランソプラゾールOD錠 15mg 「テバ」 後発品 ランソプラゾールOD錠 30mg 「テバ」 後発品 (ランソプ ラゾール) OD錠:15mg 薬価 34.80 30mg 薬価 61.80 テバ	【効】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群、逆流性食道炎 【用】1回 30mg を1日1回服用 胃潰瘍、吻合部潰瘍:8週まで 十二指腸潰瘍:6週まで 逆流性食道炎:8週まで 再発・再燃を繰り返す時の維持療法:1回 15mg を1日1回 効果不十分時1日1回 30mg 【効】 胃潰瘍又は十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 【用】ランソプ ラゾール 1回 30mg、アモキシシリン 1回 750mg(力価)、クラリスロマイシン 1回 200mg(力価)の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 クラリスロマイシン:1回 400mg(力価)1日2回を上限 1次除菌治療が不成功の場合:ランソプ ラゾールとして 1回 30mg、アモキシシリン水和物として 1回 750mg(力価)・メトロニダゾールとして1回 250mg の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 【効】 非びらん性胃食道逆流症 【用】1回 15mg を1日1回服用 4週まで 【効】 低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 【用】1回 15mg を1日1回 【効】 非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 【用】1回 15mg を1日1回	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) アタザナビル硫酸塩、リルビリン塩酸塩を投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ×
パリエット錠 10mg (ラベプラゾールナトリウム) 錠:10mg 薬価 132.60 エーザイ	【効】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger - Ellison 症候群 【用】1回 10mg1日1回服用 胃潰瘍、吻合部潰瘍:8週まで 十二指腸潰瘍:6週まで 症状により1回 20mg1日1回 【効】 逆流性食道炎 【用】1回 10mg1日1回服用 症状により1回 20mg1日1回 8週まで プロトンポンプインヒビターによる治療で効果不十分な場合:1回 10mg 又は1回 20mg を1日2回、さらに8週間服用可(ただし、1回 20mg1日2回投与は重度の粘膜傷害を有する場合に限る) 再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法:1回 10mg を1日1回 【効】 胃潰瘍又は十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 【用】ラベプラゾールナトリウム 1回 10mg、アモキシシリン 1回 750mg(力価)、クラリスロマイシン 1回 200mg(力価)の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 クラリスロマイシン:適宜増量可能 1回 400mg(力価)1日2回を上限 1次除菌治療が不成功の場合:ラベプラゾールナトリウムとして1回 10mg、アモキシシリンとして1回 750mg(力価)・メトロニダゾールとして1回 250mg の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 【効】 低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 【用】1回 5mg を1日1回。効果不十分の場合は1回 10mg を1日1回 【効】 非びらん性胃食道逆流症 【用】1回 10mg を1日1回服用 4週まで	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 硫酸アタザナビル、リルビリン塩酸塩を投与中 [懸濁] × [粉碎] ×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
タケキャブ錠 20mg (ホソフアラサンフマル酸塩) 錠:20mg 薬価 240.2 帝人ファーマ	【効】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍 【用】 1回1錠(20mg)1日1回 胃潰瘍は8週間まで、十二指腸潰瘍は6週間まで 【効】 逆流性食道炎 【用】 1回1錠(20mg)を1日1回 通常4週間まで、効果不十分の場合は8週間まで再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法は、1回10mgを1日1回 効果不十分の場合は、1回20mgを1日1回投与可 【効】 低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 【用】 1回10mg1日1回 【効】 ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 【用】 1回20mg、アモキシシリン水和物として1回750mg及びクラリスロマイシンとして1回200mgの3剤を同時に1日2回、7日間。クラリスロマイシンは、1回400mg1日2回を上限とする。 1次除菌治療が不成功の場合:1回20mg、アモキシシリン水和物1回750mg及びメトロニダゾール1回250mgの3剤を同時に1日2回、7日間。	【禁忌】 本剤成分に過敏症の既往歴 2)アタナビル硫酸塩、リルビロン塩酸塩投与中

2-4 その他の潰瘍治療薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アプレース錠 100mg (トロキシピト) 錠:100mg 薬価 13.80 杏林	【効】 胃潰瘍、急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善 【用】 1日3錠を3回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ○苦味あり
アルサルミン細粒 90% (スクラルファート水和物) 細:90% 薬価 6.40 中外	【効】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍 急性胃炎・慢性胃炎急性増悪期の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善 【用】 1日3～3.6gを3回に分服	【禁】 透析療法中の患者 [懸濁] ○
アルロイドG内用液 5% (アルギン酸ナトリウム) 液:5% 50mg/mL 薬価 1.81/mL カイゲンファーマ	【効】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、びらん性胃炎における止血及び自覚症状の改善 逆流性食道炎における自覚症状の改善 【用】 1回20～60mLを1日3～4回空腹時投与 【効】 胃生検出血時の止血 【用】 10～30mLを経内視鏡的投与又は1回30mLを服用	
イサロン錠 100mg 後発品 (アルギン酸) 錠:100mg 薬価 5.60 あすか	【効】 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善 【用】 1日300～400mg(0.6～0.8g・3～4錠)を3～4回に分服	【禁】 透析療法中の患者 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ガストローム顆粒 66.7% (エカベトナトリウム) 顆:0.667/g 薬価 21.40 田辺三菱	【効】 胃潰瘍、急性胃炎・慢性胃炎急性増悪期の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善 【用】 1回1.5g 1日2回（朝食後、就寝前）	[懸濁] ×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ガスロンNOD錠 4mg (イルソグラシンナレイン酸塩) OD錠:4mg 薬価 61.70 日本新薬	【効】胃潰瘍、急性胃炎・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 【用】1日1錠を1～2回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ×
キャベジンUコーワ錠 25mg (メチルメチオニンスルホニウムクロライド) 錠:25mg 薬価 5.60 興和	【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善、慢性肝疾患における肝機能の改善 【用】1日3～9錠を3回に分服	[懸濁] × [粉碎] ○
サイトテック錠 200 (㉔) (ミソプロストール) 錠:200μg 薬価 36.00 科研	【効】非ステロイド性消化性鎮痛剤の長期投与時にみられる胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 【用】1日4錠を4回に分服(毎食後及び就寝前)	【禁】1)妊婦・妊娠可能性婦人 2)プロスタグランジン製剤過敏症の既往歴 【原・禁】妊娠する可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ×
テプレノンカプセル 50 [後発品] テプレノン細粒 10% [後発品] (テプレノン) C:50mg 薬価 6.80 細:100mg/g 薬価 12.90 沢井	【効】急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善、胃潰瘍 【用】1日150mg(3C又は1.5g)を3回に分服	[懸濁] ○ [脱カプ] ○
ドグマチール錠 50mg ドグマチール細粒 10% (㉔) (スルピリド) 錠:50mg 薬価 15.30 細:100mg/g 薬価 24.30 アステラス	【効】胃・十二指腸潰瘍 【用】1日150mgを3回に分服 【効】うつ病・うつ状態 【用】1日150～300mgを分服 最高1日600mg 【効】統合失調症 【用】1日300～600mgを分服 最高1日1200mg	【禁】1)褐色細胞腫の疑いのある患者 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(プロラクチノーマ) [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ノイエル細粒 40% (セトラキサート塩酸塩) 細:400mg/g 薬価 22.90 第一三共エスファ	【効】急性胃炎・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善、胃潰瘍 【用】1日600～800mg(1.5～2g)を3～4回に分服(食後及び就寝前)	[懸濁] ○
マーズレンS配合顆粒 (アズレンスルホン酸Na水和物・L-グルタミン) 顆:配合剤 薬価 15.50 味の素	【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎における自覚症状及び他覚所見の改善 【用】1日1.5～2gを3～4回に分服	[懸濁] ○
アズロキサ顆粒 2.5% (エグアレンナトリウム水和物) 顆:0.6g/包 薬価 78.30 味の素	【効】胃潰瘍におけるH2受容体拮抗薬との併用療法 【用】H2受容体拮抗薬に併用して、1回0.6gを1日2回(朝食後及び就寝前)経口投与	
レバミピド錠 100mg 「クハベ」 [後発品] (レバミピド) 錠:100mg 薬価 9.60 田辺三菱	【効】胃潰瘍 【用】1日3錠を3回に分服(朝、夕、就寝前) 【効】急性胃炎・慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 【用】1日3錠を3回に分服	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プロマックD錠 75 (ポラプレシク) D錠:75mg 薬価 35.40 ゼリア新薬工業	【効】胃潰瘍 【用】 1回75mgを1日2回朝食後及び就寝前に経口投与	[懸濁] ○ [粉碎] ○

7-3 健胃消化剤

3-1 総合消化酵素剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エクセラージェ配合錠 後発品 (サリクターゼ・プロクターゼ・オリパーゼ 2S・メイセラーゼ・膵臓性消化酵素 TA) 錠:配合剤 薬価 5.60 Meiji seika ファルマ	【効】消化異常症状の改善 【用】 1日3Cを3回に分服(食直後)	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)ウシ・ブタタンパク質過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×
タフマックE配合カプセル タフマックE配合顆粒 (ジ・アスメン・ジ・アスターゼ・オノテース・モルシン・ホソナラーゼ・セルロシン AP・パノクレアチン・ポリパーゼ・オノプローセ A) C:配合剤 薬価 6.50 顆:配合剤 薬価 11.80 小野	【効】消化異常症状の改善 【用】 1日2～6C又は1.0～3.0gを2～3回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)ウシ・ブタタンパク質過敏症の既往歴 [懸濁] × [脱カプ] ○

3-2 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
SM配合散 (カシ・アスターゼ・メタケイ酸アルミン酸 Mg・炭酸水素 Na・沈降炭酸 Ca・チョウジ末・ウイキョウ末・ケ化末・ショウキョウ末・サシヨウ末・オウレン末・カンゾウ末・L-メントール) 散:配合剤 薬価 6.20 第一三共エスファ	【効】食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐 【用】 1日3.9gを3回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)透析療法患者 3)ナトリウム摂取制限患者 4)高Ca血症 5)甲状腺機能低下症・副甲状腺機能亢進症 [懸濁] ○

7-4 制酸剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
重曹 (炭酸水素 Na) 末 薬価 0.74 局	【効】 (経口) 胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂、胃酸過多症を含む)における制酸作用と症状の改善、アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防 (含嗽・吸入) 上気道炎の補助療法(粘液溶解) 【用】 1日 3～5g を数回に分服 含嗽・吸入には 1～2%液 100mL を 1 日数回	【禁】 Na 摂取制限 (高 Na 血症・浮腫・妊娠高血圧症候群等)
酸化マグネシウム「NP」原末 (酸化 Mg) 細 薬価 1.51 ニプロ	【効】 胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む)における制酸作用と症状の改善 【用】 1日 0.5～1.0g を数回に分服	[懸濁] ×
マグミット錠 330mg 後発品 (酸化 Mg) 錠:330mg 薬価 5.60 シエラ	【効】 便秘症 【用】 1日 2g を 3 回に分服又は就寝前 1 回服用 【効】 尿路シュウ酸カルシウム結石の発生予防 【用】 1日 0.2～0.6g を多量の水と服用	錠: [懸濁] ○ [粉碎] ○

7-5 利胆剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ウルソ錠 50mg ウルソ錠 100mg (ウルソ [®] オキシコール酸) 錠:50mg 薬価 8.80 :100mg 薬価 11.80 田辺三菱	【効】 胆道(胆管、胆のう)系疾患及び胆汁うっ滞を伴う肝疾患における利胆、慢性肝疾患における肝機能の改善、小腸切除後遺症・炎症性小腸疾患における消化不良 【用】 1回 50mg を 1日 3 回 【効】 外殻石灰化を認めないコレステロール系胆石の溶解 【用】 1日 600mg を 3 回に分服	【禁】 1) 完全胆道閉塞 2) 劇症肝炎
ウルソデオキシコール酸錠 100mg 「デバ」 後発品 (ウルソ [®] オキシコール酸) 錠:100mg 薬価 6.20 デバ	【効】 原発性胆汁性肝硬変における肝機能の改善、C 型慢性肝疾患における肝機能の改善 【用】 1日 600mg を 3 回に分服 1 日最大 900mg	[懸濁] ○ [粉碎] ○

7-6 下剤浣腸剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アローゼン顆粒 (センナ葉・センナ実) 顆: 薬価 8.00/g ポーラファルマ	【効】 便秘(ただし、痙攣性便秘は除く)、駆虫剤投与後の下剤 【用】 1回 0.5～1.0g を 1日 1～2 回服用	【禁】 1) 本剤・センナ [®] 製剤過敏症の既往歴 2) 急性腹症の疑い 3) 重症硬結便 4) 電解質失調(特に低カリウム血症)のある患者には大量投与を避けること 【原・禁】 妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ×
ケンエーG 浣腸液 50% 後発品 (グリセリン) 液:50% 60mL 薬価 109.70 健栄	【効】 便秘、腸疾患時の排便 【用】 10～150mL を直腸内に注入	【禁】 1) 腸管内出血、腹腔内炎症、腸管の穿孔又はその疑い 2) 強い全身衰弱 3) 下部消化管術直後 4) 嘔気・嘔吐・激しい腹痛等、急性復症の疑い

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
新レシカルボン坐剤 後発品 (炭酸水素ナトリウム、無水リン酸二ナトリウム) 坐：薬価 50.50 セリア新薬工業	【効】便秘症 【用】 1～2個を出来るだけ肛門内深く挿入 重症：1日2～3個を数日間続けて	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
テレミンソフト坐薬 10mg (ヒュコシル) 坐：10mg 薬価 21.10 味の素	【効】便秘症、消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除 【用】 1回1個 1日1～2回肛門内挿入	【禁】 1)急性腹症の疑い 2)痙攣性便秘 3)重症硬結便 4)肛門裂創・潰瘍性痔核
バルコーゼ顆粒 75% (カルメロースNa) 顆：750mg/g 薬価 6.20 エーザイ	【効】便秘症 【用】 1日2～8gを多量の水とともに3回に分服	【禁】 1)急性腹症の疑い 2)重症硬結便 [懸濁] ×
ビーマス配合錠 後発品 (シオクチルソジウムスルホサクシネート・カサンスラノール) 錠：配合錠 薬価 5.60 日本臓器	【効】便秘症、腹部臓器検査時又は手術前後の腸管内容物の排除 【用】 1回5～6錠を就寝前、又は1日6錠を2～3回多量の水とともに分服	【禁】 1)急性腹症の疑い 2)重症硬結便 3)痙攣性便秘 4)授乳婦 [懸濁] × [粉碎] ○
プルゼニド錠 12mg (センシト [®] A・B) 錠：12mg 薬価 5.60 ノバルティス	【効】便秘症 【用】 1日1回1～2錠を就寝前に服用 最高1回4錠まで	【禁】 1)本剤・センシト [®] 製剤過敏症の既往歴 2)急性腹症の疑い、痙攣性便秘 3)重症硬結便 4)電解質失調(特に低カリウム血症)のある患者には大量投与を避けること 【原・禁】 妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] × [粉碎] ○
センノサイド錠 12mg「サワイ」 後発品 (センシト [®] A・B) 錠：12mg 薬価 5.00 沢井		
ラキソベロン錠 2.5mg ラキソベロン内用液 0.75% ラキソベロン内用液 0.75%ユニット[®]ース[®] (ピコスルファートNa水和物) 錠：2.5mg 薬価 9.20 液：10mL 薬価 260.0 ユニット [®] ース [®] ：10mL 薬価 260.0 帝人	液・錠 【効】各種便秘症、術後排便補助、造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進 【用】 1日1回10～15滴(2～3錠)を服用 7～15歳：10滴(2錠) 6ヵ月以下：2滴 1～3歳：6滴 造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進：6～15滴(2～3錠) 液 【効】大腸検査(X線・内視鏡)前処置における腸管内容物の排除 【用】 検査前10～15時間前に20mL服用 【効】手術前における腸管内容物の排除 【用】 成人14滴 ラキソベロンユニット[®]ドーズ 【効】大腸検査(X線・内視鏡)前処置における腸管内容物の排除 【用】 検査前10～15時間前に20mL服用	【禁】錠 1)急性腹症の疑い 2)本剤成分過敏症の既往歴 液 1)急性腹症の疑い 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)腸管に閉塞のある患者・その疑い(大腸検査前処置に用いる場合) [懸濁] ○ [粉碎] ○
ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「CHOS」 (ピコスルファートNa水和物) 後発品 液：10mL 薬価 100.50 マイレン		
アミティーザカプセル 24μg (ルビプロロトン) C：24μg 薬価 161.1 アボット	【効】慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く) 【用】 1日2錠を2回朝食後及び夕食後に分服	【禁】 1)腫瘍、ヘルニア等による腸閉塞が確認されている又は疑われる患者 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)妊婦又は妊娠可能性婦人 [懸濁] × [粉碎] ×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ポリフル錠 500mg ポリフル細粒 83.3% (ポリリカルボフィルカルシウム) 錠:500mg 薬価 17.70 細粒:1000mg/包(1.2g) 薬価 28.00 アボットジャパン	【効】過敏性腸症候群における便通異常（下痢、便秘）及び消化器症状 【用】 1日量 1.5～3.0g（錠は3～6錠，細粒は1.8～3.6g）を3回に分服	【禁】 1)急性腹部疾患(虫垂炎，腸出血，潰瘍性結腸炎等) 2)術後イレウス等の胃腸閉塞を引き起こすおそれのある患者 3)高カルシウム血症 4)腎結石 5)腎不全(軽度及び透析中を除く) 6)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

カマゲ（酸化マグネシウム）……P79

7-7 止しゃ剤・整腸剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アドソルビン原末 (天然ケイ酸アルミニウム) 末: 薬価 1.09 局	【効】下痢症 【用】 1日 3～10g を3～4回に分服	【禁】 1)腸閉塞 2)透析療法中の患者 3)出血性大腸炎 【原・禁】 細菌性下痢 [懸濁] やや悪
タンナルビン (タンニン酸アルブミン) 末: 薬価 6.90 局	【効】下痢症 【用】 1日 3～4g を3～4回に分服	【禁】 1)出血性大腸炎 2)牛乳アレルギー 3)本剤過敏症の既往歴 【原・禁】 細菌性下痢症
ビオフェルミン配合散 ビオフェルミン錠剤 後発品 散:(ラクトミン・糖化菌) 薬価 6.20 錠:(ビフィズス菌) 薬価 5.60 ビオフェルミン	【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善 末 : 1日 3～9g を3回に分服 錠 : 1日 3～6錠 を3回に分服	[懸濁] ○
フェロペリン配合錠 (ベルペリン塩化物水和物・ゲンノショウコエキス) 錠:配合剤 薬価 7.50 MSD	【効】下痢症 【用】 1日 6錠 を3回に分服	【禁】 出血性大腸炎 【原・禁】 細菌性下痢症 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ラックビー微粒N (ラクトバチルス・ビフィズス菌) 末:1mg/g 薬価 6.20 興和	【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善 【用】 1日 3～6g を3回に分服	[懸濁] ○
レベニン散 後発品 (ラクトバチルスアルツァーフェリス菌散・ビフィドバクテリウムインファンティス菌散・ストレプトコッカスフェカリス菌散) 末: 薬価 6.20 わかもと	【効】ペニシリン系・アミノグリコシド系・セファロスポリン系・マクロライド系・テトラサイクリン系・ナリジクス酸抗生物質・化学療法剤投与時の腸内菌叢の異常による諸症状の改善 【用】 1日 3g を3回に分服	【備】 抗生物質・化学療法剤耐性
ロベミンカプセル 1mg (ロペラミド塩酸塩) C:1mg 薬価 51.80 ヤンセン ファーマー	【効】下痢症 【用】 1日 1～2C を1～2回に分服	【禁】 1)出血性大腸炎 2)抗生物質の投与に伴う偽膜性大腸炎 3)低出生体重児、新生児および6カ月未満の乳児 4)本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)細菌性下痢症 2)潰瘍性大腸炎 3)6カ月以上2才未満の乳幼児 [懸濁] ○ [脱カプ] ○

7-8 その他の消化器官用薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ガスコン錠 40mg (ジメチルホシロキサン) 錠:40mg 薬価 5.60 キッセイ	【効】胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去 【用】胃内視鏡検査 15～40 分前に 1～2 錠を 10mL の水とともに服用 【効】胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善 【用】1 日 3～6 錠を 3 回に分服(食後又は食間) 【効】腹部 X 線検査時における腸内ガスの駆除 【用】1 日 3～6 錠を 3 回に分服(食後又は食間) 3～4 日前より服用	[懸濁] ○ [粉碎] ○
ガナトン錠 50mg (トプロリド塩酸塩) 錠:50mg 薬価 18.10 アステラス	【効】慢性胃炎における消化器症状(腹部膨満感、上腹部痛、食欲不振、胸やけ、悪心、嘔吐) 【用】1 日 3 錠を 3 回に分服(食前)	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○
ガスマチン錠 5mg (モサプロリドケン酸塩) 錠:5mg 薬価 18.40 大日本住友	【効】慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ、悪心、嘔吐) 【用】1 日 3 錠を 3 回に分服(食前又は食後) 【効】経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸 X 線造影検査前処置の補助 【用】経口腸管洗浄剤の投与開始時に 4 錠を経口腸管洗浄剤(約 180mL)で経口投与 また、経口腸管洗浄剤投与終了後 4 錠を少量の水で経口投与	[懸濁] ○ [粉碎] ○
ストロカイン錠 5mg (オキサセイン) 錠:5mg 薬価 5.70 エーザイ	【効】食道炎、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、過敏性大腸症(イリタブルロン)に伴う疼痛・酸症状・あい気・悪心・嘔吐・胃部不快感・便意逼迫 【用】1 日 3～8 錠を 3～4 回に分服	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○ しびれ感あり
セレキノ錠 100mg (トリメプチンマレイン酸塩) 錠:100mg 薬価 16.40 田辺三菱	【効】慢性胃炎における消化器症状(腹部疼痛・悪心・あい気・腹部膨満感) 【用】1 日 3 錠を 3 回に分服 【効】過敏性腸症候群 【用】1 日 3～6 錠を 3 回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ○
トランコロン錠 7.5mg (メパソゾラート臭化物) 錠:7.5mg 薬価 5.60 アステラス	【効】過敏性大腸症(イリタブルロン) 【用】1 日 6 錠を 3 回に分服	【禁】1) 緑内障 2) 前立腺肥大による排尿障害 3) 重篤な心疾患 4) 麻痺性イレウス 5) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ナウゼリン錠 10 ナウゼリン坐剤 30 (ドンペリドン) 錠:10mg 薬価 16.30 坐:30mg 薬価 102.30 協和発酵キリン	錠【効】成人:慢性胃炎、胃下垂症、胃切除後症候群、抗悪性腫瘍剤又はレドパ製剤投与時の消化器症状(悪心・嘔吐、食欲不振、腹部膨満、上腹部不快感、腹痛、胸やけ、あい気) 小児:周期性嘔吐症、上気道感染症、抗悪性腫瘍剤投与時の消化器症状(悪心・嘔吐、食欲不振、腹部膨満、上腹部不快感、腹痛、胸やけ、あい気) 【用】1 日 3 錠を 3 回に分服(食前)小児:1 日 1～2mg/kg を 3 回に分服(食前)1 日 30mg を超えないこと 6 才以上では最高 1 日 1mg/kg まで 坐【効】小児:周期性嘔吐症、上気道感染症、乳幼児下痢症、抗悪性腫瘍剤投与時の消化器症状(悪心・嘔吐、食欲不振、腹部膨満、腹痛) 【用】1 回 60mg を 1 日 2 回直腸内挿入 3 才未満:1 回 10mg を 1 日 2～3 回 3 才以上:1 回 30mg を 1 日 2～3 回	【禁】1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性婦人 3) 消化管出血、機械的イレウス、消化管穿孔 4) プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(プロラクチノーマ) 3 才以下の乳幼児:7 日以上連用しない [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プリンペラン錠 5 プリンペラン注射液 10mg (メクログラムिट) 錠:5mg 薬価 6.40 注:10mg/2mL 薬価 57 アステラス	【効】 胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胆嚢・胆道疾患、腎炎、尿毒症、乳幼児嘔吐、薬剤(制癌剤・抗生物質・抗結核剤・麻酔剤)投与時、胃内・気管内挿管時、放射線照射時、開腹術後における消化器機能異常(悪心・嘔吐、食欲不振、腹部膨満感) X線検査時のバリウムの通過促進 錠 : 1日2～6錠を2～3回に分服(食前) 注 : 1回1Aを1日1～2回筋・静注	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 褐色細胞腫の疑いのある患者 3) 消化管に出血、穿孔・器質的閉塞 [懸濁] ○ [粉碎] ○
セロトーン静注液 10mg (アサセトロン塩酸塩) 注:10mg/2mL 薬価 4,418 鳥居	【効】 抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐) 【用】 10mgを1日1回静脈内投与 効果不十分な場合:同用量を追加投与可 1日量として20mgを超えないこと	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴

8 ホルモン剤

8-1 甲状腺ホルモン剤

1-1 甲状腺剂

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
チラージンS錠 50μg  チラージンS錠 25μg  (レボチロキシン Na) 錠:0.05 μg 薬価 9.60 0.025 μg 薬価 9.60 あすか	【効】 粘液水腫、クレチン病、甲状腺機能低下症(原発性及び下垂体性)、甲状腺腫 【用】 1日 0.025mg～0.1mg から開始 維持量:1日 0.1～0.4mg	【禁】 新鮮な心筋梗塞 [懸濁] ○ [粉碎] ○

1-2 抗甲状腺剂

[illegible]

1-3 副甲状腺ホルモン剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フォルテオ皮下注キット 600 μg (テリパチド (遺伝子組換え)) 注: 600 μ g/キット 薬価 53,353 日本イーライリリー	【効】 骨折の危険性の高い骨粗鬆症 【用】 1日1回 20 μ g を皮下注射 投与期間は 24 ヶ月間まで	【禁】 1) 高カルシウム血症 2) 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者①骨ページェット病の患者②原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す患者③小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者④過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者 3) 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者 4) 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者 (副甲状腺機能亢進症等) 5) 妊婦又は妊娠可能性婦人及び授乳婦 6) 本剤成分又はテリパチド酢酸塩に対し過敏症の既往歴

8-2 副腎皮質ホルモン剤

2-1 経口用

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
コートリル錠 10mg (ヒドロコルチゾン) 錠:10mg 薬価 7.3 ファイザー	【効】添付文書参照 【用】 1日1～12錠を1～4回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 2)消化性潰瘍 3)精神病 4)結核性疾患 5)単純疱疹性角膜炎 6)後囊白内障 7)緑内障 8)高血圧症 9)電解質異常 10)血栓症 11)最近行った内臓の手術創のある患者 12)急性心筋梗塞
プレドニン錠 5mg (プレドニゾン) 錠:5mg 薬価 9.60 塩野義	【効】添付文書参照 【用】 1日1～12錠を1～4回に分服(初期量)	【警告】 本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される患者についてのみ実施すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。 【禁】 同上 【原・禁】 上記1)～12) [懸濁] ○ [粉碎] ○
プレドニゾン錠 1mg (プレドニゾン) 錠:1mg 薬価 8.10 旭化成ファーマ	【効】添付文書参照 【用】 1日5～60錠を1～4回に分服(初期量) 悪性リンパ腫：抗悪性腫瘍剤との併用において、1日量として100mg/m ² (体表面積)まで投与可。 川崎病の急性期：1日2mg/kg(最大60mg)を3回に分割	
デカドロン錠 0.5mg (デキサメタゾン) 錠:0.5mg 薬価 5.60 日医工	【効】添付文書参照 【用】 1日1～16錠を1～4回に分服 抗悪性腫瘍剤(シプロラチンなど)投与に伴う消化器症状(悪心・嘔吐)の場合:1日8～40錠を1～2回に分服 1日最大20mgまで	【禁】 同上 【原・禁】 上記1)～12) 13)コントロール不良の糖尿病 [懸濁] ○ [粉碎] ○
リンデロン錠 0.5mg (ベタメタゾン) 錠:0.5mg 薬価 15.60 塩野義	【効】添付文書参照 【用】 1日1～16錠を1～4回に分服	【禁】 同上 【原・禁】 同上 [懸濁] ○ [粉碎] ○
フロリネフ錠 0.1mg (劇) (フルドロコルチゾン酢酸エステル) 錠:0.1mg 薬価 345.3 アスペンジャパン	【効】 塩喪失型先天性副腎皮質過形成症、塩喪失型慢性副腎皮質機能不全(アジソン病) 【用】 1日0.02～0.1mgを2～3回に分服。新生児、乳児に対しては0.025～0.05mgより投与を開始すること。	【禁忌】 本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)高血圧症 2)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 3)消化性潰瘍 4)精神病患者 5)結核性疾患 6)単純疱疹性角膜炎 7)後のう白内障 8)緑内障 9)血栓症 10)最近行った内臓の手術創のある患者 11)急性心筋梗塞を起こした患者 [懸濁] ○ [粉碎] ○

2-2 注射用

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プレドニン 10mg[水溶性] (プレドニゾロンコハク酸エステル Na) 注:10mg/A 薬価 117 塩野義	【効】添付文書参照 静・筋注 : 1回 10～50mg を 3～6 時間毎 点滴 : 1回 20～100mg を 1日 1～2 回 関注 : 1回 4～30mg 投与間隔 2 週間以上 皮内 : 1回 0.1～0.4mg ずつ 4mg まで 週 1回 詳細は添付文書参照	【禁】 同上 【原・禁】 上記 1)～13)
ソル・コーテフ注射用 100mg ソル・コーテフ静注用 250mg (ヒドロコルチゾンコハク酸エステル Na) 注:100mg/V 薬価 336 250mg/V 薬価 925 ファイザー	●100mg 【効】添付文書参照 静・筋注・点滴 : 1回 50～100mg 1日 1～4 回 関注 : 5～25mg 投与間隔 2 週間以上 硬膜外 : 12.5～50mg 投与間隔 2 週間以上 詳細は添付文書参照 ●250mg 【効】急性循環不全(出血性ショック、外傷性ショック)及びショック様状態における救急 【用】 1回 250～1000mg を緩徐に静注・点滴 【効】気管支喘息 【用】 初回投与:100～500mg を緩徐に静注又は点滴静脈 1回 50～200mg を 4～6 時間毎に緩徐に追加投与 2歳以上の小児:初回投与 5～7mg/kg を緩徐に静注又は点滴静注 症状が改善しない場合には、1回 5～7mg/kg を 6 時間毎に緩徐に追加投与 2歳未満の小児:初回投与量 5mg/kg を緩徐に静注又は点滴静注。1回 5mg/kg を 6～8 時間毎に緩徐に追加投与。	●100mg 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)感染症のある関節腔内・滑液嚢内・腱鞘内・腱周囲 3)動揺関節腔内 4)生ワクチン・弱毒生ワクチン投与 【原・禁】 1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 2)消化性潰瘍、憩室炎 3)精神病 4)結核性疾患 5)単純疱疹性角膜炎 6)後囊白内障 7)緑内障 8)高血圧症 9)電解質異常 10)血栓症 11)最近行った内臓の手術創のある患者 12)急性心筋梗塞 13)ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患・急性化膿性眼疾患の患者に対する眼科的投与 ●250mg 【禁】 1)4) 【原・禁】 1)12)
デキサート注射液 1.65mg 後発品 (デキサメタゾンリン酸エステル Na) 注:2mg/0.5mL (1.65mg) 薬価 56.0 富士製薬工業	【効】添付文書参照 静・筋注 : 1回 0.5～2mL を 3～6 時間毎 皮内 : 生食で4倍に希釈して1回 0.05～0.1mL 週 1回 点滴 : 1回 0.5～2mL 1日 1～2 回 関注 : 1回 0.2～1.25mL 投与間隔 2 週間以上 硬膜外 : 1回 0.5～2.5mL 投与間隔 2 週間以上 抗悪性腫瘍剤(シスプラチンなど)投与に伴う消化器症状(悪心・嘔吐)の場合 静注・点滴 : 1日 1～5mL を 1日 1回又は2回に分割投与 最大 5mL まで 詳細は添付文書参照	【警告】 本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施する。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意する。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与する。 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)感染症のある関節腔内・滑液嚢内・腱鞘内・腱周囲 3)動揺関節腔内 【原・禁】 1)有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 2)消化性潰瘍 3)精神病 4)結核性疾患 5)単純疱疹性角膜炎 6)後囊白内障 7)緑内障 8)高血圧症 9)電解質異常 10)血栓症 11)最近行った内臓の手術創のある患者 12)急性心筋梗塞 13)ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患、急性化膿性眼疾患に対する眼科的投与 14)コントロール不良の糖尿病

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
リンデロン注 2mg (ベタメタゾンリン酸エステル Na) 注: 2mg/0.5mL 薬価 189 リンデロン懸濁注 (ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステル Na) 懸濁注: 2.5mg/0.5mL 薬価 214 塩野義	●注【効】添付文書参照 静・筋注 : 1回 2～8mg を 3～6 時間毎 点滴 : 1回 2～10mg を 1日 1～2回 関注 : 1回 1～5mg 投与間隔 2週間以上 ●懸濁注【効】添付文書参照 筋注 : 1回 0.2～1mL を 3～4 時間毎 関節腔内など : 1回 0.1～1.5mL 投与間隔 2週間以上 詳細は添付文書参照	【禁】 同上 【原・禁】 同上 (懸濁注は 1)～12))
ソル・メドロール静注用 40mg ソル・メドロール静注用 125mg ソル・メドロール静注用 500mg (メチルプレドニゾロンコハク酸エステル Na) 注: 40mg/V 薬価 428 125mg/V 薬価 1,098 500mg/V 薬価 3,415 ファイザー	【効】①急性循環不全(出血性ショック) ②急性感染性ショック 【用】① 1回 125～2000mg を静注・点滴 ② 1回 1000mg を静注・点滴 1000mg を追加投与 【効】腎臓移植に伴う免疫反応の抑制 【用】 1日 40～1000mg を静注・点滴 【効】受傷後 8 時間以内の急性脊髄損傷患者(運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合)における神経機能障害の改善 【用】 受傷後 8 時間以内に 30mg/kg を 15 分間かけて点滴静注し、その後 45 分間休薬し 5.4mg/kg/h を 23 時間点滴 【効】気管支喘息(40・125mg のみ) 【用】 初回量 40～125mg を静注・点滴 40～80mg を 4～6 時間ごとに 小児 1.0～1.5mg/kg を静注・点滴 1.0～1.5mg/kg を 4～6 時間ごとに緩徐に追加投与 【効】再発又は難治性の悪性リンパ腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法 【用】 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、250～500mg を 1日 1回 5日間、緩徐に静注・点滴。これを 1コースとして、3～4 週ごとに繰り返す 【効】ネフローゼ症候群 【用】 成人: 1日 500mg～1000mg を緩徐に静注・点滴 小児: 1日 30mg/kg(最大 100mg) を緩徐に静注・点滴 【効】多発性硬化症の急性増悪 【用】 1日 500～1000mg を緩徐に静注・点滴 【効】治療抵抗性の下記リウマチ性疾患 全身性血管炎(顕微鏡的多発血管炎、ヴェゲナ肉芽腫症、結節性多発動脈炎、Churg-Strauss 症候群、大動脈炎症候群等)、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、及び難治性リウマチ性疾患 【用】 成人: 1日 500～1000mg を緩徐に静注・点滴静注。小児: 1日 30mg/kg を緩徐に静注・点滴静注。1日 1000mg を超えないこと。	【警告】 1) 本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施する。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意する。また、治療開始に先立ち、患者・その家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与する。 2) 血清クレアチンの高値(>2.0mg/dL)を示す敗血症症候群及び感染性ショックの患者で本剤の大量投与により死亡率を増加させたとの報告がある投与に際しては患者の選択・用法・用量に特に留意する 【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 生ワクチン・弱毒生ワクチン投与 【原・禁】 1) 有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症 2) 腎機能低下・慢性腎不全のある重症感染症 3) 急性心筋梗塞

8-3 その他のホルモン剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プロスタルモン・F注射液 2000 (劇) (ジノプロスト) 注:2mg/2mL (PGF_{2α}) 薬価 1,774 小野	【効】 妊娠末期における陣痛誘発・陣痛促進・分娩促進 胃腸管の手術における術後腸管麻痺の回復遷延の場合・麻痺性イレウスにおいて他の保存的治療で効果が認められない場合における腸管蠕動亢進 【用】 腸管蠕動亢進:1回1～2mLを輸液500mLに希釈し1～2時間で1日2回点滴静注 3日間投与しても効果が認められないときは直ちに投与を中止し他の療法にきりかえる その他は添付文書参照	【警告】本剤を妊娠末期における陣痛誘発、陣痛促進、分娩促進の目的で使用するにあたって 過強陣痛や強直性子宮収縮により、胎児仮死、子宮破裂、頸管裂傷、羊水塞栓等が起こることがあり、母体あるいは児が重篤な転帰に至った症例が報告さを遵守し慎重に行うこと 1. 母体・胎児の状態を十分観察して、本剤の有益性・危険性を考慮した上で、慎重に適応を判断すること。2. 分娩監視装置を用いて、胎児の心音、子宮収縮の状態を十分に監視すること 3. 本剤の感受性は個人差が大きく、少量でも過強陣痛になる症例も報告されているので、ごく少量からの点滴より開始し、陣痛の状況により徐々に増減すること また、精密持続点滴装置を用いて投与することが望ましい 4. ｷｷﾞﾄｼﾝ、ｼﾞﾉﾌﾟﾛｽﾄﾝ(PGE2)との同時併用は行わないこと また、前後して投与する場合も、過強陣痛を起こすおそれがあるので、十分な分娩監視を行い、慎重に投与すること 5. 患者に本剤を用いた陣痛誘発、陣痛促進、分娩促進の必要性及び危険性を十分説明し、同意を得てから本剤を使用すること 【禁】1. 本剤を妊娠末期における陣痛誘発、陣痛促進、分娩促進の目的で使用するにあたって 1) 骨盤狭窄、児頭骨盤不均衡、骨盤位等の胎位異常のある患者 2) 全前置胎盤 3) 気管支喘息・その既往歴 4) ｷｷﾞﾄｼﾝ、ｼﾞﾉﾌﾟﾛｽﾄﾝ(PGE2)を投与中 5) 本剤成分過敏症の既往歴 2. 本剤を腸管蠕動亢進の目的で使用するにあたって 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 気管支喘息・その既往歴 3) 妊婦・妊娠可能性婦人 3. 本剤を治療的流産の目的で使用するにあたって 1) 前置胎盤、子宮外妊娠等で、操作により出血の危険性のある患者 2) 骨盤内感染による発熱のある患者 3) 気管支喘息・その既往歴 4) 本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】本剤を妊娠末期における陣痛誘発、陣痛促進、分娩促進の目的で使用するにあたって 1) 前置胎盤 2) 常位胎盤早期はく離 3) 胎児仮死のある患者

9 泌尿生殖器官・肛門用薬

9-1 泌尿生殖器官用剤

1-1 頻尿・過活動膀胱治療薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ブラダロン錠 200mg (フラボキサート塩酸塩) 錠:200mg 薬価 46.00 日本新薬	【効】神経性頻尿・慢性前立腺炎・慢性膀胱炎に伴う頻尿・残尿感 【用】 1日3錠を3回に分服	【禁】 1) 幽門・十二指腸・腸管の閉塞 2) 下部尿路に高度の通過障害のある患者 [懸濁] ○ [粉碎] × 強い苦味あり
ベシケアOD錠 2.5mg ベシケアOD錠 5mg (コハク酸ソリフェナシン) OD錠:2.5mg 薬価 115.80 5mg 薬価 194.80 アステラス	【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁 【用】 1日1回5mgを服用 1日最高投与量は10mgまで	【禁】 1) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 2) 尿閉 3) 閉塞隅角緑内障 4) 幽門部、十二指腸・腸管が閉塞及び麻痺性イレウス 5) 胃アトニー・腸アトニー 6) 重症筋無力症 7) 重篤な心疾患 8) 重度の肝機能障害(Child-Pugh 分類C) [懸濁] ○ [粉碎] ×
ステーブラ錠 0.1mg (イミダフェナシン) 錠:0.1mg 薬価 99.30 小野	【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁 【用】 1回0.1mgを1日2回、朝夕食後に服用 効果不十分な場合:1回0.2mg、1日0.4mgまで増量可	【禁】 1) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 2) 尿閉 3) 閉塞隅角緑内障 4) 幽門部、十二指腸・腸管が閉塞及び麻痺性イレウス 5) 消化管運動・緊張が低下している患者 6) 重症筋無力症 7) 重篤な心疾患 [懸濁] ○ [粉碎] ○
トビエース錠 4mg (フェソテロジンフマル酸塩) 錠:4mg 薬価 196.2 ファイザー	【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁 【用】 1日1回4mgを経口投与。1日1回8mgまで増量可 【用】 1日1回2mgから始め、2週目に4mg/日とする 以後経過観察しながら、必要に応じ、2mg/日ずつ1週間以上の間隔で増量 いずれの投与量の場合も1日1回経口投与 1日量16mgを超えないこと	【警告】 前兆のない突発的睡眠及び傾眠等がみられることがあり、また突発的睡眠により自動車事故を起こした例が報告されているので、患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、本剤服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること。 【禁】 1) 尿閉を有する患者 2) 眼圧が調節できない閉塞隅角緑内障患者 3) 幽門、十二指腸又は腸管が閉塞している患者及び麻痺性イレウスある患者 4) 胃アトニー又は腸アトニーのある患者 5) 重症筋無力症患者 6) 重度の肝障害患者(Child-Pugh 分類C) 7) 重篤な心疾患 8) 本剤成分あるいは酒石酸トルテロジンに対して過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×
★ベタニス錠 50mg (ミラベグロン) 錠:50mg 薬価 195.2円 アステラス	【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁 【用】 1日1回食後	【警告】 生殖可能な年齢の患者への本剤の投与はできる限り避けること 【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 2) 重篤な心疾患を有する患者 3) 妊婦及び妊娠可能性婦人 4) 授乳婦 5) 重度の肝機能障害患者 (Child-Pugh スコア10以上) 6) フレカイニド酢酸塩あるいはプロパフェノン塩酸塩投与中の患者

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
パップフォー錠 10 (プロピペリン塩酸塩) 錠:10mg 薬価 71.50 大鵬	【効】神経因性膀胱、神経性頻尿、不安定膀胱、膀胱刺激状態(慢性膀胱炎・慢性前立腺炎)における頻尿・尿失禁 過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁 【用】1日1回20mgを服用 効果不十分の場合:20mgを1日2回まで	【禁】1)幽門、十二指腸・腸管の閉塞患者 2)胃アトニー・腸アトニー 3)尿閉を有する患者 4)閉塞隅角緑内障 5)重症筋無力症 6)重篤な心疾患 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ポラキス錠 2 ポラキス錠 3 (オキシチン塩酸塩) 錠:2mg 薬価 32.80 3mg 薬価 43.80 サノフィ	【効】不安定膀胱(無抑制収縮を伴う過緊張性膀胱状態)、神経因性膀胱における頻尿、尿意切迫感、尿失禁 【用】1日6～9mgを3回に分服	【禁】1)下部尿路の閉塞症状である排尿困難・尿閉 2)緑内障 3)重篤な心疾患 4)麻痺性イレウス 5)衰弱患者・高齢者の腸アトニー・重症筋無力症 6)授乳婦 7)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
ネオキシテープ 73.5mg (オキシチン塩酸塩) テープ:73.5mg 薬価 194.8 久光	【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁 【用】1日1回1枚を下腹部、腰部又は大腿部のいずれかに貼付し、24時間毎に貼り替え	【禁】1)尿閉を有する患者 2)閉塞隅角緑内障 3)重篤な心疾患 4)幽門、十二指腸又は腸管が閉塞患者及び麻痺性イレウスのある患者 5)胃アトニー又は腸アトニーのある患者 6)重症筋無力症 7)本剤成分過敏症の既往歴 8)授乳婦

1-2 排尿障害治療薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エビプロスタット配合錠 DB DB錠:配合剤 薬価 46.10 日本新薬	【効】前立腺肥大に伴う排尿困難、残尿および残尿感、頻尿 【用】1日3錠を3回に分服	成分(オウメガサソウエキス・ハコヤナギエキス・セイヨウオキナグサエキス・スキナエキス・コムギ胚芽油) [懸濁] × [粉碎] ×
セルニルトン錠 (セルニチンポレンエキス) 錠:63mg 薬価 16.60 東菱薬品	【効】慢性前立腺炎 初期前立腺肥大症による排尿困難、頻尿、残尿及び残尿感、排尿痛、尿線細小、会陰部不快感 【用】1回2錠1日2～3回服用	[懸濁] × [粉碎] ○
ハルナールD錠 0.1mg ハルナールD錠 0.2mg (タムスロシン塩酸塩) D錠:0.1mg 薬価 68.50 0.2mg 薬価 134.10 アステラス	【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害 【用】1日1回0.2mgを食後服用	【禁】1)本剤過敏症の既往歴 【備】 α_1 遮断薬 [懸濁] ○ [粉碎] ×
ユリーフ錠 4mg (劇) (シロトシン) 錠:4mg 薬価 81.30 キッセイ	【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害 【用】1回4mgを1日2回朝夕食後に服用	【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 【備】選択的 α_1 遮断薬 [懸濁] ○ [粉碎] ○
フリバス OD錠 25mg (ナフトピジル) 錠:25mg 薬価 49.10 旭化成ファーマ	【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害 【用】1日1回1錠を食後服用 効果が不十分な場合:1～2週間の間隔をおいて2～3錠に漸増 最高1日3錠まで	【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 【備】 α_1 遮断薬 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エブランチルカプセル 15mg (ウレピシール) C:15mg 薬価 18.20 科 研	【効】本態性高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症 【用】 1回15mg1日2回より投与を開始 効果不十分な場合は1～2週間の間隔をおいて1日120mgまで漸増 【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害 【用】 1回15mg1日2回より投与を開始 効果不十分な場合は1～2週間の間隔をおいて1日60～90mgまで漸増 1日最高90mgまで 【効】神経因性膀胱に伴う排尿困難 【用】 1回15mg1日2回より投与を開始し、1～2週間の間隔をおいて1日60mgに漸増1日最高90mgまで	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 【備】 α ₁ 遮断薬 [懸濁] × 14Fr. なら可 [脱カプ] ○
プロスタール錠 25 (クロルマシメノン酢酸エステル) 錠:25mg 薬価 101.00 あすか	【効】前立腺肥大症 【用】 1日2錠を2回に分服 【効】前立腺癌(但し、転移のある前立腺癌症例に対しては他療法による治療の困難な場合に使用する) 【用】 1日4錠を2回に分服	【禁】 重篤な肝障害・肝疾患 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アボルブカプセル 0.5mg (劇) (デュタステリド) C:0.5mg 薬価 210.90 GSK	【効】前立腺肥大症 【用】 1日1回1Cを経口投与	【禁】 1)本剤の成分・他の5α還元酵素阻害薬に対し過敏症の既往歴 2)女性 3)小児等 4)重度の肝機能障害 [懸濁] × [粉碎] ×

1-3 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ウロマチックS 泌尿器科用灌流液 3% (D-ソルビトール) 液:3.0W/V% 薬価 1,122.50 3000mL バクスター	【効】前立腺及び膀胱疾患の経尿道的手術時、その他泌尿器科手術時並びに術後の洗浄 【用】 目的に応じ1000～15000mL	【禁】 無尿症

9-2 痔疾用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
サーカネッテン配合錠 (パラレボン・センナ末・ イタ・酒石酸水素カリウム) 錠:配合剤 薬価 14.70 日本新薬	【効】痔核の症状(出血、疼痛、腫脹、痒感)の緩解 【用】 1日6錠を3回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ネリプロクト坐剤 (劇) ネリプロクト軟膏 (劇) (ジフルコルトロン吉草酸エステル・リト・カイン) 坐: 配合剤 薬価 39.50 軟膏: 2g 薬価 71.20 バイエル	【効】痔核に伴う症状(出血、疼痛、腫脹)の緩解 坐 : 1回1個を1日2回肛門内に挿入 軟膏 : 適量を1日2回肛門内に注入	【禁】 1) 局所に結核性・化膿性・梅毒性感染症・ウイルス性疾患 2) 局所に真菌症(カンジダ症・白癬等) 3) 本剤過敏症の既往歴 4) ジフルコルトロン吉草酸エステル、リト・カイン過敏症の既往歴
プロクトセディル軟膏 (ヒド・ロコルチゾン・フラジ・オマイシン硫酸塩・ジブ・カイン塩酸塩・エスコロシト) 軟膏: 2g 薬価 44.20 味の素	【効】痔核・裂肛の症状(出血、疼痛、腫脹、痒感)の緩解、肛門周囲の湿疹・皮膚炎 【用】 1回適量を1日1～3回塗布又は注入	【禁】 1) 局所結核性感染症・ウイルス性疾患 2) 局所に真菌症(カンジダ症・白癬等) 3) 本剤過敏症の既往歴 4) スレプトマイシン、カマイシン、ゲンタマイシン、フラジ・オマイシン等のアミノグリコシド系抗生物質・バシラシン並びにヒド・ロコルチゾン、塩酸ジブ・カイン・エスコロシト過敏症の既往歴
強力ポステリザン(軟膏) (大腸菌死菌浮遊液<大腸菌死菌含有>・ヒド・ロコルチゾン) 軟膏: 2g 薬価 50.10 マルホ	【効】痔核・裂肛の症状(出血、疼痛、腫脹、痒感)の緩解、肛門部手術創、肛門周囲の湿疹・皮膚炎、軽度な直腸炎の症状の緩解 【用】 1回適量を1日1～3回塗布又は注入	【禁】 1) 局所結核性感染症・ウイルス性疾患 2) 局所に真菌症(カンジダ症・白癬等) 3) 本剤過敏症の既往歴 4) ヒド・ロコルチゾンに対し過敏症の既往歴
ボラザG坐剤 (トリベ・ノシト・リト・カイン) 坐: 配合剤 薬価 35.50 天藤	【効】内痔核に伴う症状の緩解 【用】 1回1個を1日2回朝夕肛門内に挿入	【禁】 1) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 2) トリベ・ノシト・ア・リト系局所麻酔剤(リト・カイン等)に対し過敏症の既往歴

10 外皮用薬

10-1 消炎・止痒作用剤

1-1 副腎皮質ホルモン剤

統・禁 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) 鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 3) 潰瘍(ペーチェット病は除く)・第2度深在性以上の熱傷・凍傷

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
キンダベート軟膏 0.05% (クロベタゾン酪酸エステル) 軟膏:0.05% 5g 薬価 172.0 GSK	【効】アトピー性皮膚炎(乳幼児湿疹含む)、顔面、頸部、腋窩、陰部における湿疹・皮膚炎 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 統・禁参照 【原・禁】 細菌・真菌・ウイルス皮膚感染症(病期あるいは症状に応じて使用する) 【分類】 Mild
フルコートクリーム 0.025% フルコートスプレー 0.007% (フルオシノロンアセトイド) クリーム:0.025% 5g 薬価 112.0 スプレー:20g 薬価 230.0 田辺三菱	【効】 湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ヒダール苔癬、日光皮膚炎、女子顔面黒皮症、放射線皮膚炎を含む)、乾癬、掌蹠膿疱症、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフル、固定蕁麻疹を含む)、皮膚そう痒症、虫刺され、薬疹・中毒疹 【用】 1日1～数回 患部に塗布又は噴霧	【禁】 1) 統・禁参照 2) 細菌・真菌・スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症・動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等) 【分類】 Strong 【備】 クリーム:乳剤性 o/w
リンデロンVクリーム 0.12% (ベタメタゾン吉草酸エステル) クリーム:0.12% 5g 薬価 145.5 塩野義	【効】 湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ヒダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む)、皮膚そう痒症、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフル、固定蕁麻疹を含む)、虫さされ、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平苔癬、光沢苔癬、毛孔性紅色粧糠疹、ジベルバウラ色粧糠疹、紅斑症(多形滲出性紅斑、結節性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑)、紅皮症(悪性リンパ腫による紅皮症を含む)、慢性円板状エリテマトーデス、薬疹・中毒疹、円形脱毛症(悪性を含む)、熱傷(瘢痕、ケイトを含む)、凍瘡、天疱瘡群、ジュリーング疱瘡状皮膚炎(類天疱瘡を含む)、痔核、鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 同上 【分類】 Strong 【備】 乳剤性 o/w
ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1% (シフルコルトロン吉草酸エステル) (劇) ユニバーサルクリーム:0.1% 5g 薬価 149.5 バイエル	【効】 湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ヒダール苔癬、日光皮膚炎を含む)、乾癬、掌蹠膿疱症、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロフル、固定蕁麻疹を含む)、紅皮症、慢性円板状エリテマトーデス、アミロイド苔癬、扁平紅色苔癬 【用】 1日1～3回 患部に塗布	【禁】 1) 統・禁参照 2) 皮膚結核、梅毒性皮膚疾患、単純疱疹、水痘、帯状疱疹、種痘疹 【分類】 Very Strong 【備】 乳剤性 w/o
アンテベートクリーム 0.05% (劇) アンテベート軟膏 0.05% (劇) アンテベートルーション 0.05% (劇) (ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル) クリーム:0.05% 5g 薬価 159.5 軟膏:0.05% 5g 薬価 159.5 ルーション:0.05% 10g 薬価 319.0 鳥居	【効】 湿疹・皮膚炎群(手湿疹、進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む)、乾癬、虫さされ、薬疹・中毒疹、痒疹群(ストロフル、じん麻疹様苔癬、結節性痒疹を含む)、紅皮症、紅斑症(多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑)、ジベルバウラ色粧糠疹、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、慢性円板状エリテマトーデス、肉芽腫症(サルコイドーシス、環状肉芽腫)、特発性色素性紫斑(マッキー紫斑、シャンパーネ病)、円形脱毛症、肥厚性瘢痕・ケイト、悪性リンパ腫(菌状肉肉症を含む)、アミロイド苔癬、水疱症(天疱瘡群、ジュリーング疱瘡状皮膚炎・水疱性類天疱瘡) 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 1) 統・禁参照 2) 細菌・真菌・ウイルス皮膚感染症・スピロヘータ・動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等) 【分類】 Very Strong 【備】 クリーム:乳剤性 o/w

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
デルモベート軟膏 0.05% (劇) (クロハタゾールプロピオン酸エステル) 軟膏:0.05% 5g 薬価 155.5 グラクソ・スミスクライン	【効】 湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ピダール苔癬、日光皮膚炎を含む)、痒疹群(蕁麻疹様苔癬、ストロム、固定蕁麻疹を含む)、掌跖膿疱症、乾癬、虫さされ、薬疹・中毒疹、ジベルばら色靴擦疹、慢性円板状エリマトーム、扁平紅色苔癬、紅皮症、肥厚性瘢痕・皸瘡、肉芽腫症(サルコイドーシス、環状肉芽腫)、アモイトー苔癬、天疱瘡群、類天疱瘡(ジュリンク)疱疹状皮膚炎を含む)、悪性リンパ腫(菌状息肉症を含む)、円形脱毛症(悪性を含む) 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 1) 続・禁参照 2) 細菌・真菌・ウイルス皮膚感染症・スピロヘータ・動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等) 【分類】 Strongest

1-2 副腎皮質ホルモン・抗菌薬配合剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
テラ・コートリル軟膏 (オキシテトラサイクリン塩酸塩・ヒドロコルチゾン) 軟膏:25g 薬価 830.0 陽進堂	【効】 <適応菌種>オキシテトラサイクリン感受性菌 <適応症> ①深在性皮膚感染症、慢性膿皮症 ②湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患:湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ピダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む) ③外傷・熱傷及び手術創等の二次感染 ④歯周組織炎、感染性口内炎、舌炎 【用】 1日1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付 口腔内: 毎日又は隔日に少量ずつ注入・塗擦	【禁】 1) オキシテトラサイクリン耐性菌・非感性菌による皮膚感染 2) 真菌症(白癬、カンジダ症等)、皮膚結核、単純疱疹、水痘、種痘疹皮膚 3) 本剤成分・テトラサイクリン系抗生物質過敏症の既往歴 4) 潰瘍(バーチエット病は除く)・第2度深在性以上の熱傷・凍傷 【分類】 Week
フルコートF軟膏 (フルオキノロンアセトニド・フラジオマイシン硫酸塩) 軟膏:5g 薬価 112.0 田辺三菱	【効】 <適応菌種>フラジオマイシン感受性菌 <適応症> ①深在性皮膚感染症、慢性膿皮症 ②湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患:湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ピダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む)、乾癬、皮膚そう痒症(陰部・肛門部)、掌跖膿疱症 ③外傷・熱傷及び手術創等の二次感染 【用】 1日1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付	【禁】 1) フラジオマイシン耐性菌・非感性菌による皮膚感染 2) 細菌・真菌・スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症・動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等) 3) 本剤成分過敏症の既往歴 4) 鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 5) フラジオマイシン、カナマイシン、ストレプトマイシン、ゲンタマイシン等のアミノ糖系抗生物質・バシラシン過敏症の既往歴 6) 潰瘍(バーチエット病は除く)・第2度深在性以上の熱傷・凍傷 【分類】 Strong
リンデロン-VG軟膏 0.12% (吉草酸ベタメタゾン・硫酸ゲンタマイシン) 軟膏:5g 薬価 146.0 塩野義	【効】 <適応菌種>ゲンタマイシン感受性菌 <適応症> ①湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患:湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む)、乾癬、掌跖膿疱症 ②外傷・熱傷及び手術創等の二次感染 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 1) ゲンタマイシン耐性菌・非感性菌による皮膚感染 2) 真菌・スピロヘータ・ウイルス皮膚感染症・動物性皮膚疾患(疥癬、けじらみ等) 3) 本剤成分過敏症の既往歴 4) 鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 5) 潰瘍(バーチエット病は除く)・第2度深在性以上の熱傷・凍傷 6) ストレプトマイシン、カナマイシン、ゲンタマイシン、フラジオマイシン等のアミノグリコシド系抗生物質・バシラシン過敏症の既往歴 【分類】 Strong

1-3 止痒剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
オイラックスクリーム 10% (クロタミトン) クリーム:10% 10g 薬価 43.10 ノバルティス	【効】 湿疹、蕁麻疹、神経皮膚炎、皮膚そう痒症、小児ストロフル 【用】1日1～数回 患部に塗布	【禁】本剤過敏症の既往歴
オイラックスHクリーム (クロタミトン・ヒドロコルチゾン) クリーム:5g 薬価 74.0 ノバルティス	【効】 湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ヒダール苔癬、日光皮膚炎、放射線皮膚炎を含む)、乾癬、皮膚そう痒症、虫刺され、小児ストロフル 【用】1日1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付	【禁】1)細菌・真菌・スピロヘータ・ウイルス・皮膚感染症 2)本剤成分過敏症の既往歴 3)潰瘍(ペチエット病は除く)・第2度深在性以上の熱傷・凍傷

1-4 抗ヒスタミン剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ベナパスタ軟膏 4% (ジフェンヒドรามिनソール硫酸塩) 軟膏:4% 500g 薬価 3.19/g 田辺三菱	【効】 蕁麻疹、湿疹、小児ストロフルス、皮膚そう痒症、虫さされ 【用】1日1～数回 患部に塗布	

1-5 非ステロイド性消炎鎮痛剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
スチックゼノールA (L-メントール・dL-カンフル・サリチル酸メチル・グリチル酸) 擦剤:40g 薬価 206.4 三笠	【効】 捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛、虫さされにおける鎮痛・消炎 【用】1日1～数回 患部に塗布	【禁】1)本剤過敏症の既往歴
ナパゲルンローション 3% (フェルビナク) ローション:3%50mL 薬価 430.0 ファイザー	【効】 変形性関節症、筋・筋膜性腰痛症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛の鎮痛・消炎 【用】1日1～数回 患部に塗布	【禁】1)本剤成分過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息・その既往歴
イドメシンコーワゲル 1% (インドメタシン) ゲル:10mg/g 35g 薬価 200 興和	【効】 変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛の鎮痛・消炎 【用】1日1～数回 患部に塗布	【禁】1)本剤・他のインドメタシン製剤過敏症の既往歴 2)アスピリン喘息・その既往歴 【備】略称:IDゲル
ボルタレンゲル 1% (ジクロフェナクナトリウム) 軟膏:0.5%25g 薬価 192.5 ノバルティス	【効】 変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛(筋・筋膜性腰痛症等)、外傷後の腫脹・疼痛の鎮痛・消炎 【用】1日1～数回 患部に塗布	【禁】同上

1-6 アトピー性皮膚炎治療剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プロトピック軟膏 0.1% (劇) (タクロリムス水和物) 軟膏:5g 薬価 627.0 マルホ	【効】アトピー性皮膚炎 【用】 1日1～2回、適量を患部に塗布 1回あたりの塗布量は5gまで 2週間以内に皮疹の改善が認められない場合には使用を中止 1日2回塗布する場合はおよそ12時間間隔で塗布	【警告】 1)本剤の使用は、アトピー性皮膚炎の治療法に精通している医師のもとで行う 2)マウス塗布がん原性試験において、高い血中濃度の持続に基づくリンパ腫の増加が認められている。また、本剤使用例において関連性は明らかではないが、リンパ腫、皮膚がんの発現が報告されている。本剤の使用にあたっては、これらの情報を患者に対して説明し、理解したことを確認した上で使用する 3)潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛に使用する場合には、血中濃度が高くなり、腎障害等の副作用が発現する可能性があるため、あらかじめ処置を行い、潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛の改善を確認した後、本剤の使用を開始する 【禁】 1)潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛への使用 2)高度の腎障害・高カリウム血症 3)魚鱗癬様紅皮症を呈する疾患(Netherton 症候群等) 4)妊婦・妊娠可能性婦人 5)小児等 6)本剤成分過敏症の既往歴 7)PUVA 療法等の紫外線療法を実施中 【原・禁】 皮膚感染症 【備】 ステロイド外用剤等の既存療法では効果が不十分・副作用によりこれらの投与ができないなど、本剤による治療がより適切と考えられる場合に使用

1-7 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
亜鉛華軟膏 (酸化亜鉛) 軟膏:500g 薬価 1.9/g 局	【効】①外傷、熱傷、凍傷、湿疹・皮膚炎、肛門そう痒症、白癬、面皰、せつ、よのうの収れん・消炎・保護・緩和な防腐 ②その他の皮膚疾患によるびらん・潰瘍・湿潤面 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 重度・広範囲の熱傷

10-2 化膿性疾患用剤

2-1 抗生物質

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ゲンタシン軟膏 0.1% (ゲンタマイシン硫酸塩) 軟膏:0.1% 10g 薬価 132.0 MSD	【効】＜適応菌種＞ゲンタマイシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属(肺炎球菌を除く)、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクテラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロテジス属、緑膿菌 ＜適応症＞表在性皮膚感染症、慢性膿皮症、びらん・潰瘍の二次感染 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 本剤・他のアミノグリコシド系抗生物質・バシラシン過敏症の既往歴
テラマイシン軟膏 (オキシテトラサイクリン塩酸塩・ポリミキシンB硫酸塩) 軟膏:25g 薬価 282.5 陽進堂	【効】＜適応菌種＞オキシテトラサイクリン・ポリミキシンB 感性菌 ＜適応症＞表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 テトラサイクリン系抗生物質・ポリミキシンB・コリスチン過敏症の既往歴

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
クロマイーP軟膏 (クロラムフェニコール・フラジ オマイシン硫酸塩・プレトニゾロン) 軟膏:25g 薬価 945.0 第一三共	【効】＜適応菌種＞ クロラムフェニコール／フラジ オマイシン感性菌 ＜適応症＞ ①深在性皮膚感染症、慢性膿皮症 ②湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次の疾患:湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ピダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）③外傷・熱傷及び手術創等の二次感染 【用】 1日1～数回塗布・塗擦・無菌ガーゼ等に延ばして貼付	【禁】 1)クロラムフェニコール・フラジ オマイシン耐性菌・非感性菌による皮膚感染 2)皮膚結核・単純疱疹・水痘・種痘疹・帯状疱疹 3)真菌症（白癬・カンジダ症等）4)鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎 5)本剤成分過敏症の既往歴 6)フラジ オマイシン、カナマイシン、ストレプトマイシン、ゲンタマイシン等のアミノ糖系抗生物質・バシトラシン・クロラムフェニコール過敏症の既往歴 7)潰瘍（ベアチエット病は除く）・第2度深在性以上の熱傷・凍傷 【備】 副腎皮質ホルモン含有
バクトロバン鼻腔用軟膏 2% (ムピロシカルシウム水和物) 軟膏:3g 薬価 1,724.7 グラクソ・スミスクライン	【効】＜適応菌種＞ ムピロシシンに感性のMRSA ＜適応症＞ 次の患者及び個人の保菌する鼻腔内のメチリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の除菌 ①MRSA 感染症発症の危険性の高い免疫機能低下状態（易感染患者） ②易感染患者から隔離することが困難な入院患者 ③易感染患者に接する医療従事者 【用】 1日3回鼻腔内に塗布、必要最小限の期間（3日間程度）の投与にとどめる	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
ソフラチュール貼付剤 10cm (フラジ オマイシン硫酸塩) ガーゼ(10×10cm 10.8mg) 薬価 58.6 サノフィ	【効】＜適応菌種＞ フラジ オマイシンに感性のブドウ球菌属、レン球菌属(肺炎球菌を除く) ＜適応症＞ 外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染 【用】 1～数枚を直接患部にあて、その上を無菌ガーゼで覆う	【禁】 ストレプトマイシン、カナマイシン、ゲンタマイシン、フラジ オマイシン等のアミノグリコシド系抗生物質及びバシトラシンに対し過敏症の既往歴

2-2 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
イソジンゲル 10% (ポピドンヨード) ゲル:100mg90g 薬価 526.5 Miji Seika ファルマ	【効】 皮膚・粘膜の創傷部位の消毒 熱傷皮膚面の消毒 【用】 本剤を患部に塗布	【禁】 本剤・ヨウ素過敏症の既往歴

10-3 抗ウイルス剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アラセナー-A軟膏 3% (ヒタラヒン) 軟膏:5g 薬価 1,627 持田	【効】 帯状疱疹、単純疱疹 【用】 1日1～4回 患部に塗布	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴

10-4 抗真菌外用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アスタットクリーム 1% (ラノコナゾール) クリーム:10mg/1g 10g 薬価 413.0 マルホ	【効】白癬:足白癬、体部白癬、股部白癬 カンジダ症:間擦疹、指間びらん症、爪囲炎 癬風 【用】1日1回 患部に塗布	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 【分類】イミダゾール系 【備】乳剤性 o/w
フロリードDクリーム 1% (ミコナゾール硝酸塩) クリーム:10mg/1g 10g 薬価 158.0 持田	【効】白癬:体部白癬(斑状小水疱性白癬、頑癬)、足部白癬(汗疱状白癬)、股部白癬(頑癬) カンジダ症:指間びらん症、間擦疹、乳児寄生菌性紅斑、爪囲炎、外陰カンジダ症、皮膚カンジダ症 癬風 【用】1日2～3回 患部に塗布	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 【分類】イミダゾール系 【備】乳剤性 o/w
メンタックスクリーム 1% (ブテナフィン塩酸塩) クリーム:10mg/1g 10g 薬価 388.0 科研	【効】白癬:体部白癬、股部白癬、足部白癬 癬風 【用】1日1回 患部に塗布	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 【分類】ベンズルアミン系
ラミシール外用液 1% (エフィナコナゾール) 液:10mg/1g 10g 薬価 393.0 ノバルティス	【効】白癬:体部白癬、股部白癬、足白癬 皮膚カンジダ症:指間びらん症、間擦疹(乳児寄生菌性紅斑を含む) 癬風 【用】1日1回 患部に塗布	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 【分類】アリルアミン系
★クレナフィン爪外用液 10% (テルビナフィン塩酸塩) 液:100mg/1g 3.56g(4mL) 薬価 5,900.7/瓶 科研	【効】爪白癬 【用】1日1回罹患爪全体に塗布	【禁】本剤成分過敏症の既往歴 【分類】トリアゾール系

10-5 皮膚軟化剤（鱗屑・亀裂治療薬）

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
オリブ油 油:100mL 薬価 257 局	【効】軟膏、硬膏、リニメントなどの製剤用基剤	【備】皮膚・粘膜の保護
ケラチナミンコーワクリーム 20% (尿素) 軟膏:20% 25g 薬価 187.5 興和	【効】魚鱗癬、老人性乾皮症、アトピー皮膚、進行性指掌角皮症(主婦湿疹の乾燥型)、足趾部皸裂性皮膚炎、掌趾角化症、毛孔性苔癬 【用】1日数回 患部に塗布	【禁】眼粘膜等の粘膜 【備】皮膚・粘膜の保護
ウレパールローション 10% (尿素) ローション:10% 20g 薬価 142 大塚	【効】アトピー皮膚、進行性指掌角皮症(主婦湿疹の乾燥型)、老人性乾皮症、掌趾角化症、足趾部皸裂性皮膚炎、毛孔性苔癬、魚鱗癬、頭部粒糠疹 【用】1日2～3回患部を洗浄したのち塗布し、よくすり込む	
スピール膏M (サリチル酸) 絆創膏剤(25cm ²):50% 薬価 89.60 ニチバン	【効】疣贅、鶏眼、胼胝腫の角質剥離 【用】本剤を患部大(患部と同じ大きさ)に切って貼付 2～5日目ごとに取りかえる	【禁】本剤過敏症の既往

10-6 皮膚欠損（びらん・潰瘍）治療薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アクトシン軟膏 3% (フクラテシナトリウム) 軟膏:30g 薬価 1,521 マルホ	【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍） 【用】潰瘍面を洗拭後、1日1～2回ガーゼ等に延ばして貼付又は患部に直接塗布	
アズノール軟膏 0.033% (ジメチルイソプロピルアズレン) 軟膏: 薬価 2.95/g 日本新薬	【効】湿疹 熱傷・その他の疾患によるびらん及び潰瘍 【用】1日数回 患部に塗布	【禁】本剤成分過敏症の既往歴
テラジアパスタ 5% (スルファジアジン) 軟膏:5% 500g 薬価 3.6/g 第一三共	【効】ブドウ球菌、大腸菌による表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷および手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染 【用】1日1～数回 患部に塗布又は無菌ガーゼ等に延ばして貼付	【禁】サルファ剤過敏症の既往歴
ゲーベンクリーム 1% (スルファジアジン銀) クリーム:50g 薬価 660 田辺三菱	【効】＜適応菌種＞本剤に感性のブドウ球菌属、イサ球菌属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、緑膿菌、カンジダ属 ＜適応症＞外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染 【用】1日1回、滅菌手袋などを用いて、創面を覆うに必要なかつ十分な厚さ（約2～3mm）に直接塗布。又は、ガーゼ等と同様の厚さにのばし、貼付し、包帯を行う。なお、第2日目以後の塗布に際しては、前日に塗布した本剤を清拭又は温水浴等で洗い落としたのち、新たに本剤を塗布すること。	【禁】1) 本剤成分・サルファ剤過敏症の既往歴 2) 新生児 3) 低出生体重児 4) 軽症熱傷
ユーパスタコワ軟膏 (精製白糖 70g・ポピトニョート 3g) 軟膏:100g 薬価 3,930 興和	【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍） 【用】潰瘍面を洗拭後、1日1～2回ガーゼ等に延ばして貼付又は患部に直接塗布しその上をガーゼで保護	【禁】本剤成分・珣素過敏症の既往歴
ネグミンシュガー軟膏 後発品 軟膏:100g 薬価 1,510 マイラン		
フィブラストスプレー500 (トラフェルミン) スプレー:500μg 薬価 11,108.0 科研	【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍） 【用】潰瘍面を清拭後、添付溶解液 1mL 当たり 100μg を用時溶解し、本剤専用の噴霧器を用い1日1回潰瘍面から約5cm離して噴霧 潰瘍の最大径が6cm以内:5噴霧 6cm以上:薬剤が同一潰瘍面に5噴霧されるよう同様の操作を繰り返す	【禁】1) 投与部位に悪性腫瘍のある患者・その既往歴 2) 本剤成分過敏症の既往歴
デルマトール (次没食子酸ビスマス) 末: 薬価 15.7 局	【効】＜外用剤として＞きわめて小範囲の皮膚のびらん及び潰瘍、痔疾における乾燥・収れん・保護 【用】外用: そのまま散布剤として使用するか、5～10%の散布剤、軟膏または経口パスタとして使用 【効】＜経口用剤として＞下痢症 【用】1日1.5～4gを3～4回に分割	【禁】1) 出血性大腸炎の患者 2) 慢性消化管通過障害・重篤な消化管潰瘍のある患者 【原・禁】細菌性下痢

10-7 その他の外皮用薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
白色ワセリン 軟膏:100g 薬価 1.56/g 局	【効】軟膏基剤 皮膚保護	
ヒルドイドソフト軟膏 0.3% (ヘパリン類似物質) ソフト軟膏:25g 薬価 25.30/g マルホ	【効】 皮脂欠乏症、進行性指掌角皮症、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、血栓性静脈炎(痔核を含む)、外傷(打撲、捻挫、挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸(乳児期) 【用】 1日1～数回 患部に塗布	【禁】 1) 出血性血液疾患(血友病・血小板減少症・紫斑病等) 2) 僅少な出血で重大結果の予想
ビーソフテンローション 0.3% 後発品 (ヘパリン類似物質) ローション:50g 薬価 10.1/g 日医工		
ユベラ軟膏 軟膏:500g 薬価 3.8/g エーザイ	【効】 凍瘡 進行性指掌角皮症 尋常性魚鱗癬 毛孔性苔癬 単純性皰瘡疹 掌蹠角化症	
アロンアルファ A「三共」 医療用具:0.5g 薬価 170.0 第一三共	【効】 生体組織(皮膚、血管、臓器など)の創傷癒合を目的とする	【備】 α-シアノアクリレートモノマー
ボルヒール組織接着用 (フィブリナゲン凍結乾燥粉末) 液:0.5mL 薬価 7,843.20 アステラス	【効】 組織の接着、閉鎖(ただし縫合あるいは接合した組織から血液、体液又は体内ガスの漏出をきたし、他に適切な処置法がない場合に限る)	【禁】 1) 本剤成分・牛肺を原料とする製剤(アプロチニン等)過敏症の既往歴 2) 凝固促進剤(蛇毒製剤)、抗線溶剤、アプロチニン製剤による治療を受けている患者
ハッカ水 (ハッカ油) 液:500mL 薬価 7.8/10mL 局	用途: 水剤(含嗽剤、吸入剤を含む)の矯味、矯臭の目的で調剤	

10-8 湿布剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
MS冷シップ「タカミツ」 後発品 (サリチル酸メチル・dL-カンフル・L-メントール) パップ剤:20g 5枚入(14cm×10cm) 薬価 19.2/枚 三和化学	【効】 捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛における鎮痛・消炎 【用】 1日1～2回 患部に貼付	【禁】 同上
MS温シップ「タイハウ」 後発品 (サリチル酸メチル・dL-カンフル・トウガラシエキス) パップ剤:20g 5枚入(14cm×10cm) 薬価 19.4 大鵬	【効】 捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛における鎮痛・消炎 【用】 1日1～2回 患部に貼付	【禁】 同上
アドフィードパップ 40mg (フルビプロフェン) 貼布剤: 6枚入り(10cm×14cm) 薬価 109.8 科研	【効】 同上 【用】 1日2回 患部に貼付	【禁】 1) 本剤・他のフルビプロフェン製剤過敏症の既往歴 2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
セルタッチパップ 70 (フェルビナク) 貼付剤: 6 枚入り (10cm×14cm) 薬価 135.6 ファイザー	【効】 同上 【用】 1 日 2 回 患部に貼付	【禁】 1) 本剤・他のフェルビナク製剤過敏症の既往歴 2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴
モーラスパップ 30mg モーラステープ L40mg (ケトプロフェン) パップ 30mg: 6 枚入り (10cm×14cm) 薬価 136.8 テープ L40mg: 7 枚入り (10cm×14cm) 薬価 305.9 久光	【効】 変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛 モーラステープ・パップ・・・腰痛症(筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)の慢性症状(血行障害、筋痙攣、筋拘縮)を伴う場合の鎮痛・消炎、関節リウマチにおける関節局所の鎮痛 【用】 パップ: 1 日 1～2 回 患部に貼付 テープ: 1 日 1 回 患部に貼付	【禁】 1) 本剤・本剤成分過敏症の既往歴 2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 3) チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート・オキシベンゾン過敏症の既往歴 4) 光線過敏症の既往歴のある患者 5) 妊娠後期の女性
タッチロンパップ 30 後発品 タッチロンテープ 20 後発品 (ケトプロフェン) パップ 剤: 7 枚入り (10cm×14cm) 薬価 88.9 テープ: 7 枚入り (7cm×10cm) 薬価 89.6 三和化学		
ヤクバンテープ 40mg (フルビプロフェン) 貼付剤: 7 枚入り 薬価 144.2 科研	【効】 変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛 【用】 1 日 2 回 患部に貼付	【禁】 1) 本剤・他のフルビプロフェン過敏症の既往歴 2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴
ボルトレンテープ 15mg (シクロフェナナトリウム) 貼布剤: 7 枚入り (7cm×10cm) 薬価 129.5 ノバルティス	【効】 変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛(筋・筋膜性腰痛症等)、外傷後の腫脹・疼痛 【用】 1 日 1 回 患部に貼付	【禁】 1) 本剤成分過敏症の既往歴 2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等により誘発される喘息発作)・その既往歴
ロキソニンテープ 100mg (ロキソプロフェンナトリウム水和物) テープ: 7 枚入り (7cm×10cm) 薬価 41.5/枚 第一三共	【効】 変形性関節症、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛の消炎・鎮痛 【用】 1 日 1 回、 患部に貼付	【禁】 1) 本剤成分過敏症 2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者

11 ビタミン剤

11-1 ビタミンB₁剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アリナミンF糖衣錠[25mg] (フルスルチアミン塩酸塩) 錠:25mg 薬価 6.00 武田	【効】 ビタミンB ₁ 欠乏症の予防及び治療 ビタミンB ₁ の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)の補給 ウエルニツク脳炎、脚気衝心 ビタミンB ₁ の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される神経痛、筋肉痛、関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺、心筋代謝障害(便秘等の胃腸運動機能障害、術後腸管麻痺を含む) 【用】 1日1～4錠を1～3回に分服	[懸濁] × [粉碎] ○

11-2 ビタミンB₂剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ハイボン錠 20mg (リボフラビン酪酸エステル) 錠:20mg 薬価 5.60 田辺三菱	【効】 ビタミンB ₂ 欠乏症の予防及び治療 ビタミンB ₂ の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)の補給 ビタミンB ₂ の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される口角炎、口唇炎、舌炎、脂漏性湿疹、結膜炎、びまん性表層角膜炎 【用】 1日5～20mgを2～3回に分服 【効】 高コレステロール血症 【用】 1日60～120mgを2～3回に分服	【備】 VB ₂ [懸濁] × [粉碎] ○
フラビタン錠 5mg (フラビンアデニンジヌクレオチド) 錠:5mg 薬価 5.60 トーアエコー	【効】 ビタミンB ₂ 欠乏症の予防及び治療 ビタミンB ₂ の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)の補給 ビタミンB ₂ の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される口角炎、口唇炎、舌炎、口内炎、肛門周囲及び陰部びらん、急性・慢性湿疹、脂漏性湿疹、ペラギウ、尋常性ざ瘡、酒さ、日光皮膚炎、結膜炎、びまん性表層角膜炎、角膜部周擁充血、角膜脈管新生 【用】 1日5～45mgを1～3回に分服	【備】 FAD [懸濁] × [粉碎] ×

11-3 ビタミンB₁₂剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
メチコパール錠 500μg 後発品 メチコパール注射液 500μg (メコバラミン) 錠:500μg 薬価 18.60 注:500μg/1mL 薬価 116 エーザイ	錠 【効】 末梢性神経障害 【用】 1日3錠を3回に分服 注 【効】 末梢性神経障害 【用】 1日1回1Aを週3回筋・静注 【効】 ビタミンB ₁₂ 欠乏による巨赤芽球性貧血 【用】 1日1回1Aを週3回筋・静注 約2ヶ月 投与後維持量1～3ヶ月1回1A投与	【備】 補酵素型メチルVB ₁₂ [懸濁] ○ [粉碎] ○
メチクール錠 500μg 後発品 (メコバラミン) 錠:500μg 薬価 5.6 沢井	【効】 末梢性神経障害 【用】 1日3錠を3回に分服	【備】 補酵素型メチルVB ₁₂ [懸濁] ○ [粉碎] ○

11-4 その他のビタミンB剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
パントール注射液 500mg (パントール) 注:500mg/2mL 薬価 56 トーアエイコー	【効】 パントテン酸欠乏症の予防及び治療 パントテン酸の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、甲状腺機能亢進症等)の補給 パントテン酸の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される、ステロイド剤及び抗マイトンによる副作用の予防及び治療、急性・慢性湿疹、接触性皮膚炎、術後腸管麻痺 【用】 1回 20～100mg を1日 1～2回皮下・筋・静注 術後腸管麻痺:1回 50～500mg を1日 1～3回 必要時 6回迄	【禁】 血友病の患者
フォリアミン錠 (葉酸) 錠:5mg 薬価 9.6 日本製薬	【効】 悪性貧血の補助的療法 葉酸の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される栄養性貧血、妊娠性貧血、小児貧血、抗けいれん剤・抗マイトン剤投与に起因する貧血 アルコール中毒及び肝疾患に関連する大赤血球性貧血 再生不良性貧血 顆粒球減少症 吸収不全症候群(スプル等) 葉酸欠乏症の予防及び治療 葉酸の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦) 【用】 1日 1～4錠(小児は1～2錠)を2～3回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ○

パントシン錠 200 パントシン散 20%・・・P65

11-5 ビタミンB複合剤

医 薬 品 名	メーカ名	規 格	組 成				用 法 用 量	備 考	薬 価
			VB ₁	VB ₂	VB ₆	VB ₁₂			
ネオラミン・スリービー液	日本化薬	注:10mL	50		100	1	1 日 1 回 1A を緩徐に静注	【禁】本剤・チアミンスルフィド過敏症の既往歴	121
ビタメジン配合カプセル B25 ビタメジン静注用	第一三共	C	25		25	0.25	1 日 3～4C を分服	[懸濁] ○ [脱カプ] ○	5.60
		注:V	100		100	1	1 日 1V を 20mL に溶解静注あるいは点滴静注:3 分以上かけて	【禁】本剤成分過敏症の既往歴	128
【効】本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等)の補給 本剤に含まれるビタミン類の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される神経痛、筋肉痛・関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺									

11-6 ビタミンC剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ビタミンC注 10%PB 後発品 (アスコルビン酸) 注:500mg/1管 薬価 56 日本製薬	【効】 ビタミンC欠乏症の予防及び治療(壊血病、ルル・パロー病) ビタミンCの需要が増大し食事からの摂取が不十分な際(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、激しい肉体労働時等)の補給 ビタミンCの欠乏又は代謝障害が関与すると推定される毛細血管出血(鼻出血 歯肉出血、血尿等) 薬物中毒、副腎皮質機能障害、骨折時の骨基質形成・骨癒合促進、肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着、光線過敏症性皮膚炎 【用】 1日量 50～2000mg を1～数回に分けて静注	
シナール配合錠 (アスコルビン酸/パントテン酸カルシウム) 錠:アスコルビン酸 200mg/パントテン酸カルシウム 3mg 薬価 6.40 塩野義	【効】 本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等)、炎症後の色素沈着 【用】 1回 1～3錠を1日 1～3回経口投与	[懸濁] × [粉碎] ×

11-7 ビタミンD剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アルファロールカプセル 0.25 μg (劇) アルファロールカプセル 0.5 μg (劇) アルファロールカプセル 1.0 μg (劇) (アルファカルシトール) C: 0.25 μg 薬価 22.20 0.5 μg 薬価 42.10 1.0 μg 薬価 77.90 中外	【効】 骨粗鬆症、慢性腎不全におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状(低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等)の改善 【用】 1日1回 0.5～1 μg 【効】 副甲状腺機能低下症・ビタミンD抵抗性外病、骨軟化症におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状(低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等)の改善 【用】 1日1回 1～4 μg	【備】 活性VD₃ [懸濁] ○ [粉碎] ×
ワンアルファ錠 0.5 μg (劇) ワンアルファ錠 1.0 μg (劇) (アルファカルシトール) 錠: 0.5 μg 薬価 41.00 1.0 μg 薬価 74.10 帝人	【効】 同上 【用】 1日1回 0.5～1 μg 【効】 同上 【用】 1日1回 1～4 μg	【備】 同上 [懸濁] ○ [粉碎] ○
エディロールカプセル 0.75 μg (劇) (エルデカルシトール) C: 0.75 μg 薬価 100.50 大正富山	【効】 骨粗鬆症 【用】 1日1回 0.75 μg 症状により適宜1日1回 0.5μg に減量	【禁】 妊婦、妊娠可能性婦人・授乳婦 【備】 同上 [懸濁] × [粉碎] ×

11-8 ビタミンK剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ケイツーN静注 10mg (メナトレノン) 注: 10mg/2mL 薬価 84 エーザイ	【効】 ビタミンK欠乏による次の疾患及び症状: 胆道閉塞・胆汁分泌不全による低プロトロンビン血症 分娩時出血 【用】 1日1回 10～20mg を静注 【効】 新生児低プロトロンビン血症 【用】 生後直ちに1回 1～2mg を静注し、症状に応じて2～3回反復静注 【効】 ワリン系殺鼠剤中毒時に起こる低プロトロンビン血症 【用】 1回 20mg を静注 症状、血液凝固能検査結果に応じて1日量 40mg まで増量	【備】 VK₂ 【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
グラケカプセル 15mg (メナトレノン) C: 15mg 薬価 34.0 エーザイ	【効】 骨粗鬆症における骨量・疼痛の改善 【用】 1日3回を食後3回に分服	【備】 VK₂ 【禁】 ワルファリンカリウム投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ×

11-9 複合ビタミン剤

医薬品名		パンビタン末〔調剤用〕	サブビタン静注 ^{後発品}	オーツカMV注
メーカー・薬価		武田・6.20	アイロム・58	大塚・190
成分	規格	末:1g 中	注:5mL	注:1号・2号組
VA	IU	2500		3300
B ₁	mg	1	10	3
B ₂	mg	1.5	5	3.6
B ₆	mg	1		4
B ₁₂	μg	1		5
ニコチン酸アミド	mg	10		40
パントテン酸Ca	mg	5		
葉酸	mg	0.5		0.4
VC	mg	37.5	200	100
D	IU	200		200
E	IU	1		10
ビオチン	mg			0.06
パンテノール	mg			15
用法・用量		1日1～2g	点滴・静注に1～2Aを混注	1日1組1号に2号を加えて溶解 高カロリー静脈栄養輸液に添加
備考		【禁】妊娠3ヵ月以内・妊娠希望する婦人へのビタミンA5,000IU/日以上の投与 (ビタミンA欠乏症の婦人は除く)	【禁】本剤・塩酸アミン過敏症の既往歴	【禁】1)本剤・本剤配合成分過敏症の既往歴 2)血友病
【効】パンビタン・サブビタン:本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取量が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦) オーツカMV:経口・経腸管栄養補給が不能、又は不十分で高カロリー静脈栄養に頼らざるを得ない場合のビタミン補給				

1 2 代謝性医薬品

1 2 - 1 無機質剤

1 - 1 カルシウム剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アスパラ-C A錠 200 (L-アスパラギン酸カルシウム) 錠:200mg (Ca 1.3mEq) 薬価 5.60 田辺三菱	【効】低カルシウム血症起因するテニ-、テニ-関連症状の改善、代謝性骨疾患(骨粗鬆症、骨軟化症)におけるカルシウム補給、発育期におけるカルシウム補給、妊娠・授乳時におけるカルシウム補給 【用】1日6錠を2~3回に分服	【禁】1)高カルシウム血症 2)腎結石 3)重篤な腎不全 [懸濁] × [粉碎] ○
乳酸カルシウム 末:Ca 6.5mEq 薬価 3.67 局	【効】低カルシウム血症起因するテニ-の改善、代謝性骨疾患(妊婦、産婦の骨軟化症)におけるカルシウム補給、発育期におけるカルシウム補給 【用】1日1回1gを2~5回服用	【禁】1)高カルシウム血症 2)腎結石 3)重篤な腎不全

1 - 2 ナトリウム剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
塩化ナトリウム 末: 薬価 0.68/g 局	【効】経口:食塩喪失時の補給 注射・外用:略 【用】1回1~2gをそのまま、または水に溶かして服用	

商品名	規格	陽イオン mEq/L			陰イオン mEq/L			糖質 g/L	浸透圧 比	pH	熱量 Kcal/L	薬価
		Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	CL ⁻	乳酸	燐酸					
10%塩化ナトリウム注 大塚	20mL	1700	—	—	1700	—	—	—	11	5.3~7.3	—	95
【効】ナトリウム欠乏時の電解質補給 【用】電解質補給の目的で、輸液剤などに添加して必要量を静脈内注射又は点滴静注する。												

1-3 カリウム剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アスパラカリウム錠 300mg アスパラカリウム散 50% (L-アスパラギン酸カリウム) 錠:300mg (K1.8mEq) 薬価 5.80 散:500mg/g (K2.9mEq) 薬価 6.70 田辺三菱	【効】下記疾患又は状態におけるカリウム補給 降圧利尿剤・副腎皮質ホルモン・強心配糖体・インスリン・ある種の抗生物質などの連用時低カリウム血症型周期性四肢麻痺 心疾患時の低カリウム状態 重症嘔吐、下痢、カリウム摂取不足及び手術後 【用】 1日0.9g～2.7gを3回に分服 1回3gまで増量可	【禁】 1)重篤な腎機能障害(前日の尿量が500mL以下あるいは投与直前排尿が1時間当たり20mL以下)のある患者 2)副腎機能障害(アジソン病) 3)高カリウム血症 4)エプレノン投与中 5)消化管通過障害<(1)食道狭窄(心肥大、食道癌、胸部大動脈瘤、逆流性食道炎、心臓手術等による食道圧迫)(2)消化管狭窄・消化管運動機能不全> 6)高カリウム血症周期性四肢麻痺 7)本剤成分過敏症の既往歴 錠:〔懸濁〕×〔粉碎〕× 散:〔懸濁〕○
アスパラギン酸カリウム注^{後発品} (L-アスパラギン酸カリウム) 注キット:1,712mg/10mL (K10mEq) 薬価 190 テルモ	【効】アスパラカリウム錠・散参照 【用】 1回Kとして10～30mEqを希釈し8mL/分以下で静注(希釈濃度40mEq/L以下)1日の投与量100mEqを越えない	【禁】 同上1)～4)6)7)
スローケー錠 600mg (塩化カリウム) 錠:600mg (K8mEq) 薬価 7.30 ノバルティス	【効】低カリウム血症の改善 【用】 1日4錠を2回に分服	【禁】 1)乏尿・無尿(前日の尿量が500mL以下あるいは直前の排尿が20mL/h以下)・高窒素血症がある高度な腎機能障害 2)未治療のアジソン病 3)高K血症 4)消化管通過障害<(1)食道狭窄(心肥大、食道癌、胸部大動脈瘤、逆流性食道炎、心臓手術等による食道圧迫)(2)消化管狭窄・消化管運動機能不全> 5)高K血症周期性四肢麻痺 6)本剤成分過敏症の既往歴 7)エプレノン投与中 〔懸濁〕×〔粉碎〕×
KCL注 20mEqキット「テルモ」^{後発品} (塩化カリウム) 注キット:1.491g/20mL (K20mEq) 薬価 187 テルモ	【効】電解質補液の電解質補正 【用】 必ず希釈して使用すること(希釈濃度40mEq/L以下、十分に混和した後投与)ゆっくり静脈内に投与し、投与速度はKとして20mEq/hrを超えない 1日の投与量100mEqを越えない	

1-4 高カリウム血症治療剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ケイキサレート散 (ポリスチレンスルホン酸Na) 末:5g/包 薬価 20.50 鳥居	【効】急性・慢性腎不全による高カリウム血症 【用】 内服:1日30gを2～3回に分服(1回分は水50～150mLに溶解) 外用:1回30gを水又は2%メチルセルロース溶液100mLに懸濁して注腸	〔懸濁〕2.5gを20mLで懸濁しすぐ注入
ケイキサレートドライシロップ (ポリスチレンスルホン酸Na) 末:2.5g/包 薬価 17.70/g 鳥居	【効】急性・慢性腎不全による高カリウム血症 【用】 内服:1日30gを2～3回に分服(1回分は水50～150mLに溶解)	〔懸濁〕○
アーガメイト 20%ゼリー25g^{後発品} (ポリスチレンスルホン酸カルシウムゼリー) ゼリー:25g/個 薬価 95.40 三和化学	【効】急性・慢性腎不全による高カリウム血症 【用】 1日3～6個を2～3回に分服	【禁】 腸閉塞

1-5 高リン血症治療剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カルタンOD錠 500mg (沈降炭酸カルシウム) OD錠:500mg 薬価 6.30 マイソ	【効】保存期及び透析中の慢性腎不全患者における高リン血症の改善 【用】1日3.0g(本剤:6錠)を食直後3回に分服	【禁】1)甲状腺機能低下症 2)炭酸カルシウムに対し過敏症の既往歴 [懸濁]○ [粉碎]○

1-6 鉄剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
インクレミンシロップ 後発品 (溶性ヒポリン酸第二鉄) シロップ:50mg/mL 薬価 6.10 アルフレッサ ファーマ	【効】鉄欠乏性貧血 【用】1日量を3～4回に分服 【用】1日量:1才未満(2～4mL) 1～5才(3～10mL) 6～15才(10～15mL)	【禁】鉄欠乏状態にない患者
フェジン静注 40mg (含糖酸化鉄) 注:40mg/2mL 薬価 62 日医工	【効】鉄欠乏性貧血 【用】1日1～3Aを2分以上かけて緩徐に静注	【禁】1)鉄欠乏状態にない患者 2)重篤な肝障害 3)本剤過敏症の既往歴
フェロミア錠 50mg (クエン酸第一鉄Na) 錠:50mg 薬価 9.90 エーザイ	【効】鉄欠乏性貧血 【用】1日2～4錠を1～2回に分服	【禁】鉄欠乏状態にない患者 [懸濁]○ [粉碎]○ 鉄味あり
フェロ・グラデュメット錠 105mg (硫酸鉄) 錠:105mg 薬価 9.20 アボット ジャパン	【効】鉄欠乏性貧血 【用】1日1～2錠を1～2回に分服 空腹時・副作用が強い場合には食事直後に服用	【禁】鉄欠乏状態にない患者 [懸濁]× [粉碎]×

1-7 高カロリー輸液用微量元素

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エレメンミック注 注:2mL 薬価 246 陽進堂	【効】経口、経腸管栄養補給が不能又は不十分で高カロリー静脈栄養に頼らざるを得ない場合の亜鉛、鉄、銅、マンガン及びヨウ素の補給 【用】1日1Aを高カロリー静脈栄養液に添加し点滴静注	成分: Fe 35 μ mol、Mn 1 μ mol、Zn 60 μ mol、Cu 5 μ mol、I 1 μ mol 【禁】1)胆道閉塞 2)本剤・本剤配合成分過敏症の既往歴

12-2 肝臓疾患用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アデラビン9号 1mL (FAD・肝臓抽出エキス) 注:1mL 配合剤 薬価 159 ファイザー	【効】慢性肝疾患における肝機能の改善 次の疾患のうちビタミンB ₂ の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合 湿疹・皮膚炎群、口唇炎・口角炎・口内炎、びまん性表層角膜炎 ビタミンB ₂ の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等) 【用】1日1～2Aを1～2回に分けて皮下・筋・静注	【禁】本剤過敏症の既往歴

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プロヘパール配合錠 (肝臓加水分解物・塩酸システイン・重酒石酸コリン・イノシトール・シアノコバラミン) 錠:配合剤 薬価 7.40 科研	【効】慢性肝疾患における肝機能の改善 【用】 1日3～6錠を3回に分服	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)肝性昏睡 [懸濁] × [粉碎] ○
ラクツロースシロップ 60% (ラクツロース) シロップ:600mg/mL 薬価 5.8/mL 興和創薬	【効】高アンモニア血症に伴う精神神経障害、手指振戦、脳波異常 【用】 1日30～60mLを2～3回に分服 下痢が惹起されることがあるので少量より投与を開始して漸増し、1日2～3回の軟便がみられる量を投与	【禁】 ガラクトース血症
カロリーールゼリー40.496% 後発品 (ラクツロース) ゼリー:16.05g/個 薬価 3.60/g 佐藤	【効】高アンモニア血症に伴う精神神経障害、手指振戦、脳波異常 【用】 1日量48.1～96.2gを3回に分服 【効】産婦人科術後の排ガス、排便の促進 【用】 1日量48.1～96.2gを朝夕2回に分服	【禁】 ガラクトース血症

12-3 解毒剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ナロキソン塩酸塩静注 0.2mg 劇 (ナロキソン塩酸塩) 注:0.2mg/mL 薬価 952 アルフレッサ ファーマ	【効】麻薬による呼吸抑制ならびに覚醒遅延の改善 【用】 1回0.2mgを静注 効果不十分な場合は2～3分間隔で0.2mgを1～2回追加	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)バルビツール系薬剤等の非麻薬性中枢神経抑制剤・病的原因による呼吸抑制(無効のため)
メイロン静注 7%250mL メイロン静注 7%20mL (炭酸水素ナトリウム) 注:0.5mg/250mL 薬価 243 20mL 薬価 94 大塚	【効】アシドーシス 【用】 必要量(mEq)=不足塩基量(mEq/L)×0.2×体重Kg 【効】薬物中毒の際の排泄促進(ただし、pHの上昇により尿中排泄が促進される薬物に限る) 動揺病、メニール症候群、その他の内耳障害、急性蕁麻疹による悪心・嘔吐及びめまい 【用】 1回14～72mL静注	
クレメジン細粒 (球形吸着炭) 細粒:2g 薬価 102.8/g クレハ	【効】慢性腎不全(進行性)における尿毒症症状の改善及び透析導入の遅延 【用】 1日6gを3回に分服	【禁】 消化管に通過障害を有する患者 [懸濁] 混ぜながら注入
アネキセート注射液 0.5mg 劇 (フルマゼニル) 注:0.5mg/5mL 薬価 3,009 アステラス	【効】ベンゾジアゼピン系薬剤による鎮静の解除及び呼吸抑制の改善 【用】 初回0.2mg暖徐静注 投与後4分以内に覚醒状態が得られないとき0.1mg追加投与1分間隔で総量1mg迄 ICU領域では2mg迄	【禁】 1)本剤・ベンゾジアゼピン系薬剤過敏症の既往歴 2)長期間ベンゾジアゼピン系薬剤投与中のでんかん患者
デトキソール静注液 2g (チオ硫酸ナトリウム水和物) 注:2g/20mL 薬価 483 日医工	【効】シアン及びシアン化合物による中毒 ヒ素剤による中毒 【用】 1日1～2gを静注 シアン・シアン化合物中毒:1回12.5～25gを静注	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ブリディオ静注 200mg (スカマデクストリウム) 注:200mg/2mL 薬価 10,231 MSD	【効】 クロニウム臭化物又はベクロニウム臭化物による筋弛緩状態からの回復 【用】 浅い筋弛緩状態:1回 2mg/kg 深い筋弛緩状態:1回 4mg/kg を静注 クロニウム臭化物の挿管用量投与直後に緊急に筋弛緩状態からの回復を必要とする場合:クロニウム臭化物投与3分後を目安に1回 16mg/kg を静注	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴

12-4 痛風治療剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ウラリット配合錠 (クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物) 錠:配合剤 薬価 10.90 日本ケミファ	【効】 痛風ならびに高尿酸血症における酸性尿の改善 【用】 1日6錠を3回に分服し、尿検査でpH6.2～6.8の範囲になるよう投与を調節 【効】 アシドーシスの改善 【用】 1日12錠を3～4回に分服	【禁】 ヘキサミン投与中の患者 [懸濁] × [粉碎] ○
ザイロリック錠 100 (アロプリノール) 錠:100mg 薬価 24.60 GSK	【効】 痛風、高尿酸血症に伴う高血圧症における高尿酸血症の是正 【用】 1日2～3錠を2～3回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
フェブリク錠 10mg フェブリク錠 20mg (フェブキソスタット) 錠:10mg 薬価 32.00 20mg 薬価 58.00 帝人ファーマ	【効】 痛風、高尿酸血症 【用】 1日10mgより開始し、1日1回経口投与 必要に応じて徐々に増量 維持量:1日1回40mg 最大投与量:1日1回60mg	【禁】 1)本剤成分に対し過敏症の既往歴 2)メルプロプリン水和物・アザチオプリンを投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○
★ユリノーム錠 25mg (劇) ユリノーム錠 50mg (劇) (ベンズブプロマロン) 錠:25mg 薬価 15.10 錠:50mg 薬価 27.80 鳥居	【効】 痛風における高尿酸血症の改善 【用】 1日1回1/2～1錠 維持量1日1～3錠を1～3回に分服 【効】 高尿酸血症を伴う高血圧症における高尿酸血症の改善 【用】 1回1錠を1日1～3回服用	【警告】 1)劇症肝炎等の重篤な肝障害が主に投与開始6ヶ月以内に発現し、死亡等の重篤な転帰に至る例も報告されているので、投与開始後少なくとも6ヶ月間は必ず、定期的に肝機能検査を行うなど観察を十分に行うこと。また、患者の状態を十分観察し、肝機能検査値の異常、黄疸が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと 2)副作用として肝障害が発生する可能性があることをあらかじめ患者に説明するとともに、食欲不振、悪心・嘔吐、全身倦怠感、腹痛、下痢、発熱、尿濃染、眼球結膜黄染等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、直ちに受診するよう患者に注意を行うこと。 【禁】 1)肝障害 2)腎結石を伴う患者、高度の腎機能障害 3)妊婦・妊娠可能性婦人 4)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

12-5 酵素製剤

5-1 経口消炎酵素製剤

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
エンピナース・P錠 18000 (プロナゼ) 錠:18000単位 薬価 18.40 科研	【効】 手術後及び外傷後、慢性副鼻腔炎の腫脹の緩解 痰の切れが悪く、喀出回数の多い疾患の喀痰喀出困難(気管支炎、気管支喘息、肺結核) 【用】 1日3錠を3回に分服	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×

12-6 糖尿病用剤

6-1 経口血糖降下剤

統・【警告】重篤かつ遅延性の低血糖症を起こすことがある。用法・用量・使用上の注意に特に留意すること

統・禁：1) 重症外傷・糖尿病性昏睡・前昏睡、インスリン依存型糖尿病（若年型糖尿病、ブリティッシュ型糖尿病等）2) 重篤な肝・腎機能障害 3) 重症感染症、手術前後、重篤な外傷
4) 下痢、嘔吐等の胃腸障害 5) 妊婦・妊娠可能性婦人 6) 本剤成分・スルホアミド系薬剤過敏症の既往歴

1-1 スルフォニルウレア系製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
オイグルコン錠 1.25mg (劇) (グリベンクラミド) 錠:1.25mg 薬価 7.70 中外	【効】インスリン非依存型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る) 【用】 1日量 1.25mg～2.5mg を服用 必要時適宜増量して維持量を決定 1日最高 10mg 1日1回の場合朝食前または後、2回の場合は朝夕食前または後	統・【警告】 統・禁 参照 7)ボセンタンを投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○
グリミクロン錠 40mg (劇) (グリクラジド) 錠:40mg 薬価 25.80 大日本住友	【効】インスリン非依存型糖尿病(成人型糖尿病)(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る) 【用】 1日1錠より開始(朝又は朝夕)食前または食後 維持量 1日1～3錠 最高4錠まで	統・【警告】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○
アマリール 1mg 錠 (劇) アマリール 3mg 錠 (劇) (グリメピリド) 錠:1mg 薬価 18.60 3mg 薬価 43.40 サノフィ	【効】2型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る) 【用】 0.5～1mg より開始 1日1～2回朝または朝夕食前または食後に服用。維持量 1日1～4mg 1日最高投与量 6mg	統・【警告】 統・禁 参照 [懸濁] ○ [粉碎] ○

1-2 速効型インスリン分泌促進薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ファスティック錠 30 ファスティック錠 90 (ナテグリン) 錠:30mg 薬価 18.70 90mg 薬価 46.60 持田	【効】2型糖尿病における食後血糖推移の改善(ただし、(1)食事療法・運動療法のみ(2)食事療法・運動療法に加えてα-グルコシダーゼ阻害剤を使用 (3)食事療法・運動療法に加えてビグアナイド系薬剤を使用 (4)食事療法・運動療法に加えてチゾリジン系薬剤を使用のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る) 【用】 1回 90mg を1日3回毎食直前に服用 1回量を 120mg まで増量できる	【禁】 統・禁 3)5)参照 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)透析を必要とするような重篤な腎機能障害 5)重症外傷・糖尿病性昏睡・前昏睡、1型糖尿病 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
グルファスト錠 10mg (ミチガリンコカルシウム水和物) 錠:10mg 薬価 54.50 キッセイ	【効】2型糖尿病 【用】 1回 10mg を1日3回毎食直前(5分以内)に服用	【禁】 統・禁 3)5)参照 3)重症外傷・糖尿病性昏睡・前昏睡、1型糖尿病 4)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○

1-3 ビグアナイド系製剤

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
メトグルコ錠 250mg (製) (メトホルミン塩酸塩) 錠:250mg 薬価 10.20 大日本住友	【効】2型糖尿病で次のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 (1)食事療法・運動療法のみ (2)食事療法・運動療法に加えてスルホニル尿素剤を使用 【用】 1日量 500mg より開始 1日2～3回食直前・食後に分割経口投与 通常1日 750～1,500mg 1日最高 2,250mg まで。 10歳以上の小児:1日 500mg より開始、1日2～3回食直前又は食後に分割経口投与。維持量 通常1日 500～1,500mg。、1日最高投与量は 2,000mg まで。	【警告】 重篤な乳酸アシドーシスを起こすことがあり、死亡に至った例も報告されている。乳酸アシドーシスを起こしやすい患者には投与しないこと。腎機能障害・肝機能障害のある患者、高齢者に投与する場合には、定期的に腎機能や肝機能を確認するなど慎重に投与すること。特に75歳以上の高齢者では、本剤投与の適否を慎重に判断すること。 【禁】 統・禁 3)5)参照 3)乳酸アシドーシスの既往 4)中等度以上の腎機能障害 5)透析患者(腹膜透析を含む) 6)重度の肝機能障害 7)ショック、心不全、心筋梗塞、肺塞栓など心血管系、肺機能に高度の障害・その他の低酸素血症を伴いやすい状態 8)過度のアルコール摂取者 9)脱水症、脱水状態が懸念される下痢、嘔吐等の胃腸障害 10)重症ケトosis、糖尿病性昏睡・前昏睡、1型糖尿病 11)栄養不良状態、飢餓状態、衰弱状態、脳下垂体機能不全・副腎機能不全 12)本剤成分・ビグアナイド系薬剤に対し過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○

1-4 α-グルコシダーゼ阻害薬

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
ベイスンOD錠 0.20 ベイスンOD錠 0.3 (ボグリボース) OD錠:0.2mg 薬価 38.20 0.3mg 薬価 51.90 武田	【効】①糖尿病の食後過血糖の改善(ただし、食事療法・運動療法によっても十分な血糖コントロールが得られない場合又は食事療法、運動療法に加えて経口血糖降下剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る) ②耐糖能異常における2型糖尿病の発症抑制(0.2mgのみ)(ただし、食事療法・運動療法を十分に行っても改善されない場合に限る) 【用】 1回 0.2mg を1日3回食直前に服用 ①は効果不十分時:1回 0.3mg まで	【禁】 1)重症ケトosis、糖尿病性昏睡・前昏睡 2)重症感染症、手術前後、重篤な外傷 3)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○
★セイブル錠 50mg セイブル錠 75mg (ミグリトール) 錠:50mg 薬価 52.90 錠:75mg 薬価 73.80 三和化学	【効】糖尿病の食後過血糖の改善(ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えてスルホニル尿素剤、ビグアナイド系薬剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る) 【用】 1回 50mg を1日3回毎食直前に経口投与 1回量 75mg まで	【禁】 1)～3)ベイスンOD錠参照 4)妊婦・妊娠している可能性のある婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○

1-5 チアゾリジン系製剤

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	効能・効果・備考
アクトス錠 15 (ビロリアゾン塩酸塩) 錠:15mg 薬価 73.80 武田	【効】2型糖尿病で次のいずれかの治療で十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合に限る。(1)食事療法、運動療法のみ (2)食事療法、運動療法に加えてSGLT2阻害剤を使用 (3)食事療法、運動療法に加えてα-グルコシダーゼ阻害剤を使用 (4)食事療法、運動療法に加えてビグアナイド系薬剤を使用 (5)食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用 【用】 (1)～(4)1日1回15～30mgを朝食前又は朝食後に服用 45mgを上限 (5)1日1回15mgを朝食前又は朝食後に服用 30mgを上限 女性に投与:浮腫の発現に留意し、1日1回15mgから投与を開始することが望ましい	【禁】 統・禁 2)3)5)参照 4)心不全の患者・心不全の既往歴 5)本剤成分過敏症の既往歴 6)重症ケトシス、糖尿病性昏睡・前昏睡、1型糖尿病 [懸濁] ○ [粉碎] ○

1-6 DPP-4阻害薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
グラクティブ錠 50mg グラクティブ錠 25mg (シタグリプチン塩酸水和物) 錠:50mg 薬価 149.30 錠:25mg 薬価 80.50 小野	【効】2型糖尿病 【用】 50mgを1日1回服用 効果不十分な場合:経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量可	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)重症ケトシス、糖尿病性昏睡・前昏睡、1型糖尿病 3)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり
ネシーナ錠 25mg (アログリプチン安息香酸塩) 錠:25mg 薬価 186.90 武田	【効】2型糖尿病 【用】 25mgを1日1回服用	【禁】 1)～3)同上 [懸濁] ○ [粉碎] ○
エクタ錠 50mg (ビロタグリプチン) 錠:50mg 薬価 87.70 ノバルティスファーマ	【効】2型糖尿病 【用】 50mgを1日2回朝、夕に経口投与 患者の状態に応じて50mgを1日1回朝に投与可	【禁】 1)～3)同上 4)重度の肝機能障害 [懸濁] ○ [粉碎] ○
トラゼンタ錠 5mg (リナグリプチン) 錠:5mg 薬価 188.4 日本ベリンガーインゲルハイム	【効】2型糖尿病 【用】 1日1回5mgを服用	【禁】 1)～3)同上

1-7 配合剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
グルベス配合錠 (ミチグリニド・カルシウム水和物・ホグリボース) 錠 薬価 55.1 キッセイ	【効】2型糖尿病 ただし、ミチグリニド・カルシウム水和物及びホグリボースの併用による治療が適切と判断される場合に限る。 【用】 1回1錠を1日3回毎食直前に分服	【禁】 1)重症ケトシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病患者 2)重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者 3)本剤成分過敏症の既往歴 4)妊婦又は妊娠可能性婦人

1-8 その他の糖尿病薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
キネダック錠 50mg (エパルレスタット) 錠:50mg 薬価 121.70 小野	【効】糖尿病性末梢神経障害に伴う自覚症状(しびれ感、疼痛)、振動覚異常、心拍変動異常の改善(糖化ヘモグロビンが高値を示す場合) 【用】1回1錠1日3回を毎食前に服用	[懸濁] ○ [粉碎] ○

6-2 インスリン製剤

続・禁：1)低血糖症状 2)本剤成分過敏症の既往歴

医薬品名・薬価・会社	一般名	規格	作用時間 (h)			備考
			発現	最高	持続	
ヒューマリンR注 100 単位/mL (劇) 薬価 330/mL イーライリリー	ヒトインスリン 「レギュラー」 生合成ヒト中性インスリン	1000U/10mL	0.5～1	3～5	6～8	速効性
ノボリンR注フレックスペン (劇) 薬価 2,044 ノボ		300U/3mL	約 0.5	1～3	約 8	
ノボラピッド注フレックスペン (劇) 薬価 2,351 ノボ	インスリン アスパルト	300U/3mL	0.2～0.3	1～3	3～5	超速効性
ノボラピッド 30 ミックス注 フレックスペン (劇) 薬価 2,352 ノボ	インスリン アスパルト	300U/3mL	0.1～0.2	1～4	約 24	超速効性＋中間性
★イノレット 30R (劇) 薬価 1,997 ノボ	インスリン ヒト(遺伝子組換え)： イソフェンインスリン	300U/3mL	約 0.5	2～8	約 24	速効性＋中間性
ランタス注ソロスター (劇) 薬価 2,525 サノフィ	インスリン グラルギン (遺伝子組換え)	300U/3mL	1～2	—	約 24	持効型
トレシーバフレックスタッチ (劇) 薬価 2,619 ノボ	インスリン デグルデク (遺伝子組換え)	300U/3mL	—	—	>42 時間	持効型

12-7 膵炎治療剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フオイパン錠 100 (カモスタットメシル酸塩) 錠:100mg 薬価 95.5 小野	【効】慢性膵炎における急性症状の緩解 【用】1日6錠を3回に分服 【効】術後逆流性食道炎 【用】1日3錠を3回に分服	[懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フサン 50[注射用] (劇) (ナファモスタットメシル酸塩) 注:50mg/V 薬価 2,731 鳥居	【効】 汎発性血管内血液凝固症 (DIC) 【用】 0.06～0.20mg/Kg/h で静脈内持続注入 【効】 出血性病変又は出血傾向を有する患者の血液体外循環時の凝固防止(血液透析及びプラスマフェレーシス) 【用】 20mg で血液回路内の洗浄・充てん、体外循環開始後は 20～50mg/h を持続注入	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
エフオーワイ 100[注射用] (劇) エフオーワイ 500[注射用] (劇) (ガベキサートメシル酸塩) 注:100mg/V 薬価 813 500mg/V 薬価 3,386 小野	【効】 蛋白分解酵素(トリプシン、カクレイン、プラスミン等)逸脱を伴う 急性膵炎、慢性再発性膵炎の急性増悪期、術後の急性膵炎 【用】 1回 100mg を 500mL に溶解し 8mL/分以下で点滴静注 初期投与量は 1日 100～300mg 症状により同日中に 100～300mg 追加 【効】 汎発性血管内血液凝固症 (500mg 製剤はこの効能のみ) 【用】 1日 20～39mg/Kg を 24 時間かけて静注	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
注射用プロビトール 500 (劇) (後発品) (ガベキサートメシル酸塩) 注:500mg 薬価 548 日医工	【効】 汎発性血管内血液凝固症 【用】 1日量 20～39mg/kg の範囲内で 24 時間かけて静脈内に持続投与する。	

12-8 骨・カルシウム代謝薬

8-1 カルシトニン製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エルシトニン注 20S ディスポ (劇) (エルカトニン) 注:20S/1mL 薬価 1,100 旭化成ファーマ	【効】 骨粗鬆症における疼痛 【用】 1回 20 エルカトニン単位を週 1 回筋注	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴
ラスカルトン注 20 (後発品) (劇) (エルカトニン) 注:20S/1mL 薬価 106 テバ		

8-2 ビスホスホネート製剤

日本骨代謝学会の診断基準等を参考に骨粗鬆症との診断が確定している患者を対象とすること。男性患者での安全性及び有効性は確立していない。(内服薬)

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フォサマック錠 35mg (劇) (アレンドロン酸ナトリウム水和物) 錠:35mg 薬価 646.50 MSD	【効】 骨粗鬆症 【用】 35mg を 1 週間に 1 回、朝起床時に水約 180mL とともに内服 服用後少なくとも 30 分は横にならず、飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること	【禁】 1) 食道狭窄・アカシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害 2) 30 分以上上体を起こしていることや立っていることのできない患者 3) 本剤成分・他のビスホスホネート系薬剤過敏症の既往歴 4) 低カルシウム血症 [懸濁] ○ [粉碎] ×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ベネット錠 17.5mg 劇 (リセド [®] リン酸ナトリウム水和物) 錠:17.5mg 薬価 679.80 武田	【効】 骨粗鬆症 【用】 17.5mg を 1 週間に 1 回、起床時に十分量(約 180mL)の水とともに内服 【効】 骨ページェット病 17.5mg を 1 日 1 回、起床時に十分量(約 180mL)の水とともに 8 週間連日内服。 服用後少なくとも 30 分は横にならず、水以外の飲食並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。	【禁】 1) 食道狭窄・アカシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害 2) 本剤成分・他のビスホスフォネート系薬剤に対し過敏症の既往歴 3) 低カルシウム血症 4) 服用時に立位・坐位を 30 分以上保てない 5) 妊婦・妊娠している可能性婦人 6) 高度な腎障害 [懸濁] ○ [粉碎] ×
ボノテオ錠 50mg 劇 (ミド [®] リン酸水和物) 錠:50mg 薬価 3,502.40 アステラス	【効】 骨粗鬆症 【用】 50mg を 4 週間に 1 回、起床時に十分量(約 180mL)とともに内服 服用後少なくとも 30 分は横にならず、飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること	【禁】 1) 食道狭窄・アカシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害 2) 服用時に立位・坐位を 30 分以上保てない 3) 本剤成分・他のビスホスフォネート系薬剤に対し過敏症の既往歴 4) 低カルシウム血症 5) 妊婦・妊娠している可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ×
ボンビバ静注シリンジ 1mg 劇 (イバ [®] ント [®] リン酸ナトリウム水和物) 注:1mg 薬価 5,059 大正富山	【効】 骨粗鬆症 【用】 1 シリンジ(1mg)を 1 カ月に 1 回、静注。できるだけ緩徐に静注。	【禁】 1) 本剤成分又は他のビスホスフォネート系薬剤に対し過敏症の既往歴 2) 低カルシウム血症の患者 3) 妊婦又は妊娠可能性婦人
ゾレドロン酸点滴静注 4mg/100mL パック「テバ」 劇 後発品 (ゾレ [®] ト [®] リン酸水和物) 注:4mg/100mL 薬価 18,105 テバ	【効】 悪性腫瘍による高カルシウム血症 【用】 1 パックを 15 分以上かけて点滴静注。再投与が必要な場合には、初回投与による反応を確認するために少なくとも 1 週間の投与間隔をおくこと。 【効】 多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変 【用】 1 パックを 15 分以上かけて 3～4 週間間隔で点滴静注。	【警告】 1) 本剤は点滴静脈内注射のみに用い、投与は必ず 15 分間以上かけて行う。2) 悪性腫瘍による高カルシウム血症患者に本剤を投与する場合には、高カルシウム血症による脱水症状を是正するため、輸液過量負荷による心機能への影響を留意しつつ十分な補液治療を行った上で投与する。 【禁】 1) 本剤成分・他のビスホスフォネート系薬剤に過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性婦人

8-3 副甲状腺ホルモン

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フォルテオ皮下注キット 600μg (テリ [®] パ [®] ラチド [®] (遺伝子組換え)) 注:600 μ g/キット 薬価 53,353 日本イーライリリー	【効】 骨折の危険性の高い骨粗鬆症 【用】 1 日 1 回 20 μ g を皮下注射 投与期間は 24 カ月間まで	【禁】 1) 高カルシウム血症 2) 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者①骨ページェット病の患者②原因不明のアルカリホスファターゼ高値を示す患者③小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者④過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者 3) 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者 4) 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者(副甲状腺機能亢進症等) 5) 妊婦又は妊娠可能性婦人及び授乳婦 6) 本剤成分又はテリパラチド酢酸塩に対し過敏症の既往歴
★テリボン皮下注 56.5μg 劇 (テリ [®] パ [®] ラチド [®]) 注:56.4 μ g 薬価 13,342 円/シリンジ 旭化成	【効】 骨折の危険性の高い骨粗鬆症 【用】 1 週間に 1 回 1 シリンジを皮下注射 本剤の投与は 72 週間まで	【禁】 1)～5) フォルテオ皮下注参照 6) 本剤成分又は他のテリパラチド製剤に過敏症の既往歴

8-4 SERM

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エビスタ錠 60mg (ラロキシフェン塩酸塩) 錠:60mg 薬価 118.00 イーライリリー	【効】閉経後骨粗鬆症 【用】1日1回1錠服用	【禁】1) 深部静脈血栓症、肺塞栓症、網膜静脈血栓症等の静脈血栓塞栓症・既往歴 2) 長期不動状態 3) 抗リ脂質抗体症候群 4) 妊婦・妊娠可能性婦人・授乳婦 5) 本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×

12-9 その他の代謝性医薬品

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アルツディス関節注 25mg (精製ヒアルロン酸ナトリウム) 注:25mg/2.5mL (1%) 薬価 1,453 科研	【効】変形性膝関節症 肩関節周囲炎 関節リウマチにおける膝関節痛(下記(1)～(4)の基準を全て満たす場合に限る) (1)抗リウマチ薬等による治療で全身の病勢がコントロールできていても膝関節痛のある場合 (2)全身の炎症症状がCRP値として10mg/dL以下の場合 (3)膝関節の症状が軽症から中等症の場合 (4)膝関節のLarsen X線分類がGrade IからGrade IIIの場合 【用】週1回1Aを5週間にわたって膝関節腔内又は肩関節(肩関節腔、肩峰下滑液包又は上腕二頭筋長頭腱腱鞘)内に投与 リウマチ:週1回1Aを5週間にわたって膝関節腔内に投与	【禁】本剤成分過敏症の既往歴
★ヒアルロン酸 Na 関節注 25mg シリゾ「テバ」 [後発品] 注:25mg/2.5mL (1%) 薬価 379 テバ		
アデホスコワ顆粒 10% (アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物) 顆粒:100mg/g 薬価 26.30 興和	【効】頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善 心不全 調節性眼精疲労における調節機能の安定化 消化管機能低下のみられる慢性胃炎 【用】1回40～60mgを1日3回 【効】メニエール病及び内耳障害に基づくめまい 【用】1回100mgを1日3回	[懸濁] ×
ATP腸溶錠 20mg「第一三共」 (アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物) 錠:20mg 薬価 5.6 第一三共	【効】頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善 心不全 消化管機能低下のみられる慢性胃炎 調節性眼精疲労における調節機能の安定化 【用】1回2～3錠を1日3回	[懸濁] × [粉碎] ×
トリノシンS注射液 20mg (アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物) 注:20mg/2mL 薬価 61 トーアエイコー	【効】頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善 心不全 筋ジストロフィー症及びその類縁疾患 急性灰白髄炎 脳性小児麻痺(弛緩型) 進行性脊髄性筋萎縮症及びその類似疾患 調節性眼精疲労における調節機能の安定化 耳鳴・難聴 消化管機能低下のみられる慢性胃炎 慢性肝疾患における肝機能の改善 【用】1回5～40mgを1日1～2回皮下・筋・静注又は1日1回40～80mgを点滴静注	【禁】脳出血直後
エルカルチンFF錠 250mg (レボカルニチン) 錠:250mg 薬価 292 大塚	【効】カルニチン欠乏症 【用】成人:1日1.8～3.6gを3回に分服 小児:1日30～120mg/kgを3回に分服	【禁】本剤成分過敏症の既往歴

118

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プログラフカプセル 1mg (劇) (タクロリムス水和物) C:1mg 薬価 808.3 アステラス	【効】腎移植における拒絶反応の抑制 【用】移植2日前より1回0.15mg/kgを1日2回。術後初期には1回0.15mg/kgを1日2回、以後徐々に減量。維持量は1回0.06mg/kg、1日2回を標準とする。 【効】肝移植 【用】初期に1回0.15mg/kgを1日2回。以後徐々に減量。維持量は1日量0.10mg/kgを標準とする。 【効】心移植 【用】初期に回0.03～0.15mg/kgを1日2回。拒絶反応発現後に本剤投与を開始する場合は、1回0.075～0.15mg/kgを1日2回。以後適宜増減し、有効最小量で維持 【効】肺移植 【用】初期に1回0.05～0.15mg/kgを1日2回。以後適宜増減し、有効最小量で維持。 【効】脾移植 【用】初期に1回0.15mg/kgを1日2回。以後徐々に減量して有効最小量で維持。 【効】小腸移植 【用】初期に1回0.15mg/kgを1日2回。以後徐々に減量して有効最小量で維持。 【効】骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制 【用】移植1日前より1回0.06mg/kgを1日2回。移植初期には1回0.06mg/kgを1日2回、以後徐々に減量する。また、移植片対宿主病発現後に本剤の投与を開始する場合には、1回0.15mg/kgを1日2回。 【効】重症筋無力症 ループス腎炎（ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合） 【用】3mgを1日1回夕食後 【効】難治性（ステロイド抵抗性、ステロイド依存性）の活動期潰瘍性大腸炎（中等症～重症に限る） 【用】初期に1回0.025mg/kgを1日2回朝・夕食後。血中濃度を測定し投与量を調節（目標血中トラフ濃度は2週間までは10～15ng/mL、2週以降は5～10ng/mL） 【効】多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎 【用】初期に1回0.0375mg/kgを1日2回朝・夕食後。以後、目標血中トラフ濃度を5～10ng/mLとし、投与量を調節する。 特に移植直後あるいは投与開始直後は頻回に血中濃度測定を行うことが望ましい。血中濃度の測定を行うこと。血中トラフ濃度が20ng/mLを超える期間が長い場合、副作用が発現しやすくなるので注意すること。	【警告】1)重篤な副作用（腎不全、心不全、感染症、全身痙攣、意識障害、脳梗塞、血栓性微小血管障害、汎血球減少症等）により、致命的な経過をたどることがあるので、緊急時に十分に措置できる医療施設及び本剤についての十分な知識と経験を有する医師が使用すること。2)臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。3)関節リウマチ患者に投与する場合には、関節リウマチ治療に精通している医師のみが使用するとともに、患者に対して本剤の危険性や本剤の投与が長期にわたることなどを予め十分説明し、患者が理解したことを確認した上で投与すること。また、何らかの異常が認められた場合には、服用を中止するとともに、直ちに医師に連絡し、指示を仰ぐよう注意を与えること。4)ループス腎炎における本剤の投与は、ループス腎炎の治療に十分精通している医師のもとで行うこと。5)多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎における本剤の投与は、その治療法に十分精通している医師のもとで行うこと。6)顆粒とカプセルの生物学的同等性は検証されていないので、切り換え及び併用に際しては、血中濃度を測定することにより製剤による吸収の変動がないことを確認すること。 【禁忌】1)本剤成分に過敏症の既往歴 2)シクロスポリン又はボセンタン投与中 3)カリウム保持性利尿剤投与中 4)妊婦又は妊娠可能性婦人

13 輸液および関連製剤

13-1 輸液補給

1-1 糖液

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
キリット注 5% (キシトール) 注:5% 300mL 薬価 226 5% 500mL 薬価 226 大塚	【効】糖尿病及び糖尿病状態時の水・エネルギー補給 【用】 1日2～50gを1～数回に分けて静・点滴 1日100gまで 点滴静注時キシトールとして0.3g/kg/hr以下	【禁】 低張性脱水症
キシリトール注 20%「フソー」 (キシトール) 注:20% 20mL 薬価 88 扶桑		
ブドウ糖注射液 注:5% 20mL 薬価 61 100mL 113 250mL 139 500mL 174 10% 500mL 174 20% 20mL 61 50% 20mL 97 200mL 251 500mL 303	【効】脱水時特に水欠乏時の水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患、 【用】 1回5%液を500～1000mL 【効】循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患(GIK療法) その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合 【用】 1回10～50%液を20～500mL点滴静注速度0.5g/kg/hr 【効】注射剤の溶解希釈剤 【用】 適量	【禁】 低張性脱水症

1-2 脂肪酸

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
イントラリポス輸液 20% 後発品 (精製大豆油) 注:20% 100mL 薬価 664 大塚	【効】術前・術後、急・慢性消化器疾患、消耗性疾患、火傷(熱傷)・外傷、長期にわたる意識不明状態時における栄養補給 【用】 1日250mLを3時間以上で点滴静注 1日脂肪として2g/kg(本剤10mL)以内	【禁】 1)血栓症 2)重篤な肝障害 3)重篤な血液凝固障害 4)高脂血症 5)ケトシスを伴った糖尿病

1-3 アミノ酸製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アミパレン輸液 (総合アミノ酸) 注:10% 200mL 薬価 342 大塚	【効】低蛋白血症、低栄養状態、手術前後のアミノ酸補給 【用】 中心静脈:1日400～800mLを中心静脈内に持続点滴 末梢静脈:1回200～400mLを緩徐に点滴静注 100mL/約60分	【禁】 1)肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者 2)重篤な腎障害・高窒素血症 3)アミノ酸代謝異常

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アミノレバン点滴静注 (総合アミノ酸) 注:200mL 薬価 402 500mL 薬価 796 大塚	【効】慢性肝障害時における脳症の改善 【用】 1回 500～1000mL を点滴 注入速度:500mL/180～300分 経中心静脈輸液法:500～1000mL を糖質輸液等に混和し、24時間かけて中心静脈内に持続注入	【禁】 1)重篤な腎障害 2)アミノ酸代謝異常 【備】 肝性脳症
★モリヘパミン点滴静注 (総合アミノ酸) 注:500mL 薬価 901 味の素	【効】慢性肝障害時における脳症の改善 【用】 1回 500mL を点滴 投与速度:500mL/180分以上 経中心静脈輸液法:500mL を糖質輸液等に混和し、24時間かけて中心静脈内に持続注入	【禁】 1)重篤な腎障害のある患者 2)肝障害以外のアミノ酸代謝異常のある患者
ネオアミュー輸液 (総合アミノ酸) 注:200mL 薬価 502 陽進堂	【効】低蛋白血症、低栄養状態、手術前後にある急性・慢性腎不全時のアミノ酸補給 【用】慢性腎不全: ①末梢静脈投与:1日1回 200mL を 120～180分かけて点滴 ②高カリ輸液法:1日 400mL を中心静脈内に持続点滴 急性腎不全: 1日 400mL を高カリ輸液法により中心静脈内に持続点滴	【禁】 1)肝性昏睡・肝性昏睡のおそれのある患者 2)高アンモニア血症 3)先天性アミノ酸代謝異常症

ビタミン B₁・低濃度糖加アミノ酸液

商品名	電解質 mEq/袋										mmol /袋	mmol /袋	VB ₁ mg/袋	糖質 g/袋	総遊離アミノ酸 g/袋	総窒素量 g/袋	
	Na ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	SO ₄ ²⁺	L-Lac ⁻	Ace ⁻	Glu ⁻	Cit ³⁻	P	Zn					
アミグランド輸液 (ビタミン B ₁ 加総合アミノ酸) 注:500mL 薬価 647 田辺三菱	17.5	10	2.5	2.5	17.6	2.5	10	9.5	2.5	-	5	2.4	1	37.5	15	2.35	
	浸透圧比	pH	熱量 kcal/袋	NPC/N 比		効能・効果・用法・用量・備考											
	3	6.7	210	64		【効】経口摂取不十分で、軽度の低蛋白血症又は軽度の低栄養状態にある場合・手術後のアミノ酸、電解質、ビタミン B ₁ ・水分の補給											
	【用】1 回 500mL を点滴 注入速度:500mL/120 分 最大投与量 1 日 2500mL																
	【禁】1) 肝性昏睡・肝性昏睡のおそれのある患者 2) 重篤な腎障害・高窒素血症 3) うっ血性心不全 4) 高度のアシトース(高乳酸血症等) 5) 電解質代謝異常(高 K・P・Mg・Ca 血症) 6) 閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者 7) アミノ酸代謝異常 8) ビタミン B ₁ に対し過敏症の既往歴																
ビーフリード輸液 (ビタミン B ₁ 加総合アミノ酸) 注:500mL 薬価 472 大塚	電解質 mEq/袋										mmol /袋	mmol /袋	VB ₁ mg/袋	糖質 g/袋	総遊離アミノ酸 g/袋	総窒素量 g/袋	
	Na ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	SO ₄ ²⁺	L-Lac ⁻	Ace ⁻	Glu ⁻	Cit ³⁻	P	Zn					
	17.5	10	2.5	2.5	17.5	2.5	10	8	-	3	5	2.5	0.96	37.5	15	2.35	
	浸透圧比	pH	熱量 kcal/袋	NPC/N 比		効能・効果・用法・用量・備考											
	3	6.7	210	64		【効】経口摂取不十分で、軽度の低蛋白血症又は軽度の低栄養状態にある場合・手術後のアミノ酸、電解質、ビタミン B ₁ ・水分の補給											
【用】1 回 500mL を点滴 注入速度:500mL/120 分 最大投与量 1 日 2500mL																	
【禁】1) 肝性昏睡・肝性昏睡のおそれのある患者 2) 重篤な腎障害・高窒素血症 3) うっ血性心不全 4) 高度のアシトース(高乳酸血症等) 5) 電解質代謝異常(高 K・P・Mg・Ca 血症) 6) 閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者 7) アミノ酸代謝異常 8) 塩酸アミノ酸に対し過敏症の既往歴																	

1-4 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
エンシュア・リキッド 液:1 缶 250mL 薬価 152.5 アボット ジャパン	【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用 【用】1 日 1500～2250mL (1500～2250Kcal) を経管・経口投与 経管投与:100～150mL/1 時間の速度で持続的または 1 日数回に分けて投与 経口投与: 1 日 1 回または数回に分けて投与 初期量は標準量の 1/3～1/2 量とし、水で約倍量に希釈 (0.5kcal/mL)	【禁】1) 牛乳たん白アレルギー 2) 妊娠 3 ヶ月以内・妊娠を希望する婦人へのビタミン A5,000IU/日以上以上の投与 (2000mL 以上) 3) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 1mL=1Kcal 【備】冷所保存で開缶後 48 時間以内に使用
エンシュア・H 液:1 缶 250mL 薬価 270.00 アボット ジャパン	【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難で、単位量当たり高カロリー (1.5kcal/mL) の経腸栄養剤を必要とする 1. 水分の摂取制限が必要な患者 (心不全や腎不全を合併している患者など) 2. 安静時エネルギー消費量が亢進している患者 (熱傷患者、感染症を合併している患者など) 3. 経腸栄養剤の投与容量を減らしたい患者 (容量依存性の腹部膨満感を訴える患者など) 4. 経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者 (口腔外科や耳鼻科の術後患者など) の経管栄養補給に使用 【用】1 日 1000～1500mL (1500～2250Kcal) を経管・経口投与 経管投与:50～100mL/1 時間の速度で持続的または 1 日数回に分けて投与 最高 400mL/1 時間まで 経口投与:1 日 1 回または数回に分けて投与	【禁】1) 牛乳たん白アレルギー 2) 妊娠 3 ヶ月以内・妊娠を希望する婦人へのビタミン A5,000IU/日以上以上の投与 3) たん白質や電解質の厳密な制限が必要な急性腎炎、ネフローゼ、腎不全末期 4) 嘔気、嘔吐、下痢を合併している心不全患者 5) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 1mL=1.5Kcal 【備】冷所保存で開缶後 48 時間以内に使用
アミノレバン EN 配合散 (総合アミノ酸) 末:50g (約 200Kcal) 薬価 495.0 大塚	【効】肝性脳症を伴う慢性肝不全患者の栄養状態の改善 【用】1 回量:1 包 (50g) を約 180mL の水・温湯に溶かし (約 200kcal/200mL) 1 日 3 回食事と共に経口摂取	【禁】牛乳に対しアレルギー
リーバクト配合顆粒 (分岐鎖アミノ酸) 顆:4.15g/1 包 薬価 220.4 味の素	【効】食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善 【用】1 回 1 包 (4.15g) を 1 日 3 回食後経口投与 適用対象患者:血清アルブミン値が 3.5g/dL 以下の低アルブミン血症を呈し、腹水・浮腫又は肝性脳症を現有するかその既往のある非代償性肝硬変患者のうち、食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する患者、又は、糖尿病や肝性脳症の合併等で総熱量や総蛋白 (アミノ酸) 量の制限が必要な患者	【禁】先天性分岐鎖アミノ酸代謝異常 次の患者は肝硬変が高度に進行しているため本剤の効果が期待できないので投与しない (1) 肝性脳症で昏睡度が III 度以上の患者 (2) 総ビリルビン値が 3mg/dL 以上の患者 (3) 肝臓での蛋白合成能が著しく低下した患者 [懸濁] ×

13-2 体液および体液成分製剤

2-1 血漿製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アルブミン 25% 静注 (人血清アルブミン) 注:25% 50mL 薬価 4,800 CSL ベーリング	【効】アルブミンの喪失 (熱傷、ネフローゼ症候群など) 及びアルブミン合成低下 (肝硬変など) による低アルブミン血症 出血性ショック 【用】1 回 20～50mL を静注・点滴	【禁】本剤成分に対しショック既往歴 【原・禁】本剤成分過敏症既往歴

2-2 血漿代用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
低分子デキストラン糖注 後発品 (デキストラン 40・ブドウ糖) 注: 500mL 薬価 849 大塚	【効】出血及びこれにより生じるショックの治療 手術時における輸血の節減 外傷・熱傷・骨折等及び重症ショック時の末梢血行改善 【用】 1 回 500mL を静注 最初の 24 時間の投与量は 20mL/kg 以下とする 【効】血栓症の予防及び治療 【用】 連続投与するときは 1 日 10mL/kg 以下とし、5 日以内とする 【効】体外循環灌流液として用い灌流を容易にして手術中の併発症の危険を減少する 【用】 10～20mL/Kg 注入量 20mL/kg 以下とする	【禁】 1) 低張性脱水症 2) うっ血性心不全 【備】 長期連用をさける 5 日以内
ボルベン輸液 6% 500mL (ヒトロキシエチルデンプン 130000) 注: 500mL 薬価 970 大塚	【効】循環血液量の維持 【用】 持続的に静脈内投与 投与量及び投与速度は、症状に応じ適宜調節するが、1 日 50mL/kg を上限とする	【警告】 重症敗血症等の重症患者管理における相対的な循環血液量低下で本剤を使用した場合には、患者の状態を悪化させるおそれがあるため、治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ投与すること。 【禁】 1) 肺水腫、うっ血性心不全など水分過負荷のある患者 2) 乏尿あるいは無尿を伴う腎不全 3) 透析治療を受けている患者 4) 頭蓋内出血を有する患者 5) 重度の高 Na 血症あるいは重度の高 Cl 血症を有する患者 6) 本剤及び本剤成分過敏症

2-3 電解質製剤 (細胞外液類似液)

商品名	電解質 mEq/L					糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L	効能・効果・用法・用量・備考
	Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	乳酸					
大塚生食注 注: 20mL 薬価 61 50mL 薬価 110 100mL 薬価 113 250mL 薬価 130 500mL 薬価 149 1000mL 薬価 233 大塚生食注 2 ポート 薬価 169 生食注シリンジ 後発品 薬価 134	154	—	—	154	—	—	1	4.5～8.0	—	【効】 注 : 細胞外液欠乏時、Na、Cl 欠乏時、注射剤の溶解希釈剤 外: 皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布 含嗽・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進 その他 : 医療用具の洗浄
ラクテック注 注: 500mL 薬価 155 大塚	130	4	3	109	28	—	0.9	6.0～8.5	—	【効】 循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正 代謝性アシドーシスの補正 【用】 1 回 500mL～1,000mL を点滴静注 投与速度: 成人 1 時間あたり 300～500mL 【禁】 高乳酸血症

商品名	電解質 mEq/L					糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L	効能・効果・用法・用量・備考
	Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	乳酸					
ラクテックG輸液 後発品 注：500mL 薬価 143 大塚	130	4	3	109	28	S：50	2	6.0～8.5	200	【効】循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正 代謝性アシドーシスの補正 イレキンの補給 【用】 1回 500mL～1,000mL を点滴静注 投与速度：成人 D-ソルビトールとして 1 時間あたり 0.5g/kg 体重以下 【禁】 1) 高乳酸血症 2) 遺伝性果糖不耐症
ポタコールR輸液 注：250mL 薬価 160 500mL 薬価 184 大塚	130	4	3	109	28	M：50	1.5	3.5～6.5	200	【効】熱源の補給 大量出血や異常出血を伴わない循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正 代謝性アシドーシスの補正 【用】 1回 500mL～1,000mL を点滴静注 投与速度：成人マルトースとして 1 時間あたり 0.3g/kg 体重以下 (体重 50kg として本剤 500mL を 2 時間以上) 【禁】 高乳酸血症
ヴィーンF輸液 注：500mL 薬価 153 興和創薬	130	4	3	109	A：28	—	1	6.5～7.5	—	【効】循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正 代謝性アシドーシスの補正 【用】 成人 1回 500mL～1,000mL を点滴静注 投与速度：1 時間あたり 10mL/kg 体重以下
ヴィーンD輸液 注：500mL 薬価 193 興和創薬	130	4	3	109	A：28	G：50	2	4.0～6.5	200	【効】循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正 代謝性アシドーシスの補正 イレキンの補給 【用】 1回 500mL～1,000mL を点滴静注。 投与速度：通常成人ブドウ糖として 1 時間あたり 0.5g/kg 体重以下
フィジオ140輸液 注：500mL 薬価 182 大塚	140	4	3	115	A：25 C：6	G：10	1	5.9～6.2	40	【効】循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正 代謝性アシドーシスの補正 【用】 1回 500mL～1,000mL を点滴静注。 投与速度：成人 1 時間あたり 15mL/kg 体重以下 【禁】 高 Mg 血症、甲状腺機能低下症

A:Acetate M:マルトース F:フルクトース C:Citarate S:ソルビトール G:グルコース

電解質製剤（維持液）

商品名	電解質 mEq/L					mmol/L	糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L	効能・効果・用法・用量・備考
	Na ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Cl ⁻	Ace ⁻	P					
アクチット輸液 注：500mL 薬価 204 興和創薬	45	17	5	37	20	10	M：50	1	4.3 ～ 6.3	200	【効】経口摂取が不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持 エネルギーの補給 【用】 1回 500mL～1,000mL を点滴静注。 投与速度：成人マルトースとして1時間あたり 0.3g/kg 体重以下(体重50kg で500mL を2時間以上) 【禁】 1)高K血症・乏尿・アシッ病・重症熱傷・高室素血症 2)高P血症・低Ca血症・副甲状腺機能低下 3)高Mg血症・甲状腺機能低下症
ソリター-T3号輸液 注：200mL 薬価 142 500mL 薬価 157 陽進堂	35	20	—	35	20	—	G：43	1	3.5 ～ 6.5	172	【効】経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持 【用】 1回 500～1000mL 投与速度：成人 300～500mL、小児 50～100mL 【禁】 1)乳酸血症 2)高K血症・乏尿・アシッ病・重症熱傷・高室素血症
ヴィーン3G輸液 注：500mL 薬価 183 興和創薬	45	17	5	37	20	—	G：50	1.5	4.3 ～ 6.3	200	【効】経口摂取が不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持 エネルギーの補給 【用】 成人1回 500～1,000mL、小児1回 200～500mL を点滴静注。 投与速度：成人・小児ともにブドウ糖として1時間あたり 0.5g/kg 体重以下。 【禁】 1)高K血症・乏尿・アシッ病・重症熱傷・高室素血症 2)高P血症・低Ca血症・副甲状腺機能低下 3)高Mg血症・甲状腺機能低下症

M:マルトース G:グルコース

電解質製剤（高濃度糖加維持液）

商品名	電解質 mEq/L						mmol/L	糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L	効能・効果・用法・用量・備考
	Na ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	Lac ⁻	P					
ソリタックス-H輸液 注：500mL 薬価 233 陽進堂	50	30	3	5	48	20	10	G：125	3	5.7 ～ 6.5	500	【効】経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持 エネルギーの補給 4mL/kg/h 【用】 成人1回 500～1,000mL を点滴静注。投与速度：成人1時間あたり 4mL/kg 体重(ブドウ糖として0.5g/kg 体重)以下 【禁】 1)乳酸血症 2)高K血症・乏尿・アシッ病・重症熱傷・高室素血症 3)高リン血症、副甲状腺機能低下症 4)高カルシウム血症、高マグネシウム血症、甲状腺機能低下症

商品名	電解質 mEq/L						糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L	効能・効果・用法・用量・備考
	Na ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	Lac ⁻					
ソリター-T 3号G輸液 注：500mL 薬価 156 陽進堂	35	20			35	20	G：75	2	3.5～6.5	300	【効】経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質補給・維持 イレキンの補給 【用】 1回 500～1000mL 投与速度：成人ブドウ糖として1時間あたり 0.5g/kg 体重以下とする。 【禁】 1)乳酸血症 2)高K血症・乏尿・アシトシス病・重症熱傷・高窒素血症

電解質製剤 (開始液)

商品名	電解質 mEq/L						糖質 g/L	浸透圧比	pH	熱量 kcal/L	効能・効果・用法・用量・備考
	Na ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	Lac ⁻					
ソリター-T 1号輸液 注：200mL 薬価 143 500mL 薬価 171 陽進堂	90				70	20	G：26	1	3.5～6.5	104	【効】脱水症及び病態不明時の水分・電解質の初期補給 手術前後の水分・電解質の補給 【用】 成人1回 500～1,000mL を点滴静注。成人1時間あたり 300～500mL、小児1時間あたり 50～100mL 【禁】 乳酸血症

2-4 中心静脈栄養用輸液

【警告】ビタミンB₁を併用せずに高カリ輸液療法を施行すると重篤なアシトシスが発現することがあるので、必ずビタミンB₁を併用すること。ビタミンB₁欠乏症と思われる重篤なアシトシスが発現した場合には、直ちに100～400mgのビタミンB₁製剤を急速静脈投与すること。また、高カリ輸液療法を施行中の患者では、基礎疾患及び合併症に起因するアシトシスが発現することがあるので、症状があらわれた場合には高カリ輸液療法を中断し、アルカリ化剤の投与等の処置を行うこと。

【禁】ハイカリック 1)乳酸血症 2)高カリウム血症、乏尿、アシトシス病、高窒素血症 3)高リン血症、副甲状腺機能低下症 4)高Mg血症、甲状腺機能低下症 5)高Ca血症 6)肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者 7)重篤な腎障害 8)アミノ酸代謝異常症 9)遺伝性果糖不耐症(ソルビトールを含有するアミノ酸注射液を混合した場合)
 フルカリック 1)本剤又は本剤配合成分に過敏症の既往歴 2)血友病 3)乳酸血症 4)高Na血症 5)高Cl血症 6)高K血症、乏尿、アシトシス病、高窒素血症 7)高P血症、副甲状腺機能低下症 8)高Mg血症、甲状腺機能低下症 9)高Ca血症 10)肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれのある患者 11)重篤な腎障害 12)アミノ酸代謝異常
 エルネパ 1)電解質代謝異常<(1)高Na血症 (2)高Cl血症 (3)高K血症(乏尿、アシトシス病、高窒素血症等) (4)高P血症(副甲状腺機能低下症等) (5)高Mg血症(甲状腺機能低下症等) (6)高Ca血症> 2)重篤な肝障害(肝性昏睡又は肝性昏睡のおそれ等) 3)重篤な腎障害 4)アミノ酸代謝異常 5)本剤・本剤配合成分に過敏症の既往歴 6)血友病 7)胆道閉塞

【備考】キット製剤：製剤にビタミンの小室が付いている為、ビタミンB₁の混注は必要ない。必ず2室の隔壁と小室を同時に開通して十分に混合すること。

		中心静脈栄養用キット製剤							中心静脈栄養基本液			
		糖・電解質・アミノ酸・ビタミン配合			糖・電解質・アミノ酸・ビタミン・微量元素配合							
製品名 成分		フルカリック輸液			エルネオパ輸液				ハイカリック輸液			
		1号	2号	3号	1号	1号	2号	2号	1号	2号	3号	R F
全量 (mL)		903	1003	1103	1000	1500	1000	1500	700	700	700	500
糖質	ブドウ糖 (g)	120	175	250	120	180	175	262.5	120.0	175.0	250	250
	総糖質量 (g) (糖濃度) (%)	120 (13.29)	175 (17.45)	250 (22.67)	120 (12.0)	180 (12.0)	175 (17.5)	262.5 (17.5)	120.0 (17.1)	175.0 (25.0)	250 (35.7)	250 (50)
電解質	Na ⁺ (mEq)	50	50	50	50	75	50	75				25
	K ⁺ (mEq)	30	30	30	22	33	27	41	30	30	30	
	Mg ²⁺ (mEq)	10	10	10	4	6	5	7.5	10	10	10	3
	Ca ²⁺ (mEq)	8.5	8.5	8.5	4	6	5	7.6	8.5	8.5	8.5	3
	Cl ⁻ (mEq)	49	49	49	50	75	50	75				15
	SO ₄ ²⁻ (mEq)				4	6	5	8	10	10	10	
	Acetate ⁻ (mEq)	11.9	11.9	11.9	41	61	50	75	25	25	22	
	GLuconate ⁻ (mEq)	8.5	8.5	8.5					8.5	8.5	8.5	3
	L-Lactate ⁻ (mEq)	30	30	30	12	18	15	22				15
	P (mmoL)	8 (250mg)	8 (250mg)	8 (250mg)	5 (156mg)	7.6 (235mg)	6 (187mg)	9 (280mg)	5 (150mg)	5 (150mg)	8.3 (250mg)	
Zn (μmolL)	20	20	20	30	45	30	45	10	10	20	10	
アミノ酸	総遊離アミノ酸量 (g)	20	30	40	20	30	30	45				
	総窒素量 (g)	3.12	4.68	6.24	3.13	4.70	4.70	7.05	—	—	—	—
	BCAA 比 (%)	31.0	31.0	31.0	30	30	30	30				
	E/N 比	1.33	1.33	1.33	1.44	1.44	1.44	1.44				
総熱量 (Kcal)		560	820	1160	560	840	820	1230	480	700	1000	1000
NPC/N		154	150	160	153	153	149	149	—	—	—	—
薬価		1014	1071	1217	1480	1862	1593	2023	357	357	404	440

14 血液用薬

14-1 止血剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アドナ錠 10mg アドナ錠 30mg アドナ注(静注用) 50mg (カルバマゾールクロムスルホン酸ナトリウム水和物) 錠: 10mg 薬価 6.10 30mg 薬価 11.40 注: 50mg/10mL 薬価 62 田辺三菱	【効】 毛細血管抵抗性の減弱及び透過性の亢進によると考えられる出血傾向(例えば紫斑病) 毛細血管抵抗性の減弱による皮膚あるいは粘膜及び内膜からの出血、眼底出血・腎出血・子宮出血 毛細血管抵抗性の減弱による手術中・術後の異常出血 錠 : 1日 30～90mg を3回に分服 注 : 1日 25～100mg を静・点滴静注	[懸濁] ○ [粉碎] ○
トランサミン錠 250mg (トラネキサム酸) 錠: 250mg 薬価 10.40 第一三共	【効】 全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向(白血病、再生不良性貧血、紫斑病及び手術中・術後の異常出血) 局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血(肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中・術後の異常出血) 湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹・中毒疹における紅斑・腫脹・そう痒感等の症状 扁桃炎咽喉頭炎における咽頭痛・発赤・充血・腫脹等の症状 口内炎における口内痛及び口内粘膜7777 【用】 1日 3～8C を3～4回に分服	【禁】 トロンビン投与中 [懸濁] × [粉碎] ○
トラネキサム酸注 1000mg/10mL「日新」 (トラネキサム酸) 後発品 注: 1g/10mL 薬価 68 日新製薬	【効】 トランサミン錠参照 【用】 1日 2.5～5mL を1～2回に分けて静・筋注 術中・術後等には必要に応じ1回5～10mL を静注するか1回5～25mL を点滴静注	【禁】 1) トロンビン投与中 2) 本剤成分過敏症の既往歴
トロンビン液モチダソフトボトル1万 トロンビン細粒1万単位[経口用] (トロンビン) 液: 1万単位/V 薬価 1,441.30 経口用細粒: 1万単位 薬価 1,349.00 持田	【効】 通常の結紮によって止血困難な小血管・毛細血管及び実質臓器からの出血(例えば外傷に伴う出血、手術中の出血、骨性出血、膀胱出血、抜歯後の出血、鼻出血及び上部消化管からの出血等) 経口用細粒: 上部消化管出血 液 : 出血局所にそのまま噴霧もしくは灌注・撒布 細粒 : 上部消化管出血には 200～400 単位/mL 溶液を内服(牛乳その他で希釈)	【警告】 液: 本剤を注射しないこと 細粒: 本剤は血液を凝固させるので、血管内には注入しないこと 【禁】 1) 本剤・牛血液を原料とする製剤(フィブリリノーゼン、幼牛血液抽出物等) 過敏症の既往歴 2) 凝血促進剤、抗プラスミン剤(トラネキサム酸)、アプロチン製剤投与中
スポンゼール (ゼラチン) 25×50mm 薬価 241.30 アステラス	【効】 各種外科領域における止血 褥瘡潰瘍 【用】 適量を乾燥状態のまま、又は生食かトロンビン溶液に浸し、皮膚或いは臓器の傷創面に貼付し、浸出する血液を吸収させ固着する	【禁】 1) 血管内 2) 本剤成分過敏症の既往歴

14-2 抗凝血薬

2-1 抗凝固薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ヘパリン Na 注 5 千単位/5mL「モチダ」 (ヘパリンナトリウム) 注:1000 単位/1mL 5mL 薬価 204 持田	【効】汎発性血管内血液凝固症候群の治療、血液透析・人工心肺その他の体外循環装置使用時の血液凝固の防止、血管カテーテル挿入時の血液凝固の防止、輸血及び血液検査の際の血液凝固の防止 血栓塞栓症(静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、四肢動脈血栓塞栓症、手術中・術後の血栓塞栓症等)の治療及び予防 【用】 所要量を皮下・筋・静・点滴静注	【原・禁】 1) 出血(血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の血液凝固障害<汎発性血管内血液凝固症候群(DIC)を除く。>、月経期間中、手術時、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、流早産・分娩直後等性器出血を伴う妊産褥婦、頭蓋内出血の疑い等) 2) 出血する可能性(内臓腫瘍、消化管の憩室炎、大腸炎、亜急性細菌性心内膜炎、重症高血圧症、重症糖尿病等) 3) 重篤な肝障害 4) 重篤な腎障害 5) 中枢神経系の手術・外傷後日の浅い患者 6) 本剤成分過敏症の既往歴 7) ヘパリン起因性血小板減少(HIT:heparin-induced thrombocytopenia)の既往歴
ヘパフラッシュ 10 単位/mL シリジ 10mL (ヘパリンナトリウム) 注:10 単位/1mL 10mL/本 薬価 111 テルモ	【効】静脈内留置ルート内の血液凝固の防止 【用】 静脈内留置ルート内を充填するのに十分な量を注入する	【原・禁】 同上
ウロキナーゼ注「フジ」60,000 (ウロキナーゼ) 注:6 万単位 薬価 1,177 わかもと	【効】脳血栓症(発症後 5 日以内で、コンピューター断層撮影において出血の認められないもの)の血栓・閉塞性疾患の治療 【用】 10mL の生食に用時溶解し、静注(生食・ブドウ糖に混注点滴が望ましい) 1 日 1 回 60,000 単位を約 7 日間投与 【効】末梢動・静脈閉塞症(発症後 10 日以内)の血栓・閉塞性疾患の治療 【用】 10mL の生食に用時溶解し、静注(生食・ブドウ糖に混注点滴が望ましい) 初期 1 日量 60,000~240,000 単位、以後は漸減し約 7 日間投与	【警告】 重篤な出血性脳梗塞の発現が報告されている。出血性脳梗塞を起こしやすい脳塞栓の患者に投与することのないよう、脳血栓の患者であることを十分確認すること。 【禁】 1) 止血処置が困難な患者:頭蓋内出血、喀血、後腹膜出血等 2) 頭蓋内あるいは脊髄の手術・障害を受けた患者(2 ヶ月以内) 3) 動脈瘤 4) 重篤な意識障害を伴う患者 5) 脳塞栓・その疑い 【原・禁】 1) 心房細動のある患者(うち特に僧帽弁狭窄症患者)、感染性心内膜炎の患者、陳旧性心筋梗塞の患者、人工弁使用患者 2) 瞬時完成型の神経症状を呈する患者
ワーファリン錠 0.5mg ワーファリン錠 1mg ワーファリン錠 5mg (ワルファリンカリウム) 錠:0.5mg 薬価 9.60 1mg 薬価 9.60 5mg 薬価 9.90 エーザイ	【効】血栓塞栓症(静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、緩徐に進行する脳血栓症等)治療及び予防 【用】 血液凝固能検査(プロトロンビン時間及びトロンボテスト)の検査値に基づいて、本剤の投与量を決定し、血液凝固能管理を十分に行いつつ使用 初回投与量を 1 日 1 回経口投与した後、数日間かけて血液凝固能検査で目標治療域に入るように用量調節し、維持投与量を決定 ワルファリンに対する感受性には個体差が大きく、同一個人でも変化することがあるため、定期的に血液凝固能検査を行い、維持投与量を必要に応じて調節 効果発現を急ぐ場合は、初回投与時ヘパリン等の併用を考慮 初回投与量:通常 1~5mg 1 日 1 回 小児維持投与量(mg/kg/日)の目安:12 ヶ月未満:0.16mg/kg/日 1 歳以上 15 歳未満:0.04~0.10mg/kg/日	【警告】 本剤とカパシタビンとの併用により、本剤の作用が増強し、出血が発現し死亡に至ったとの報告がある。併用する場合には血液凝固能検査を定期的に行い、必要に応じ適切な処置を行うこと。 【禁】 1) 出血(血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の血液凝固障害、月経期間中、手術時、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、流早産・分娩直後等性器出血を伴う妊産褥婦、頭蓋内出血の疑い等) 2) 出血する可能性(内臓腫瘍、消化管の憩室炎、大腸炎、亜急性細菌性心内膜炎、重症高血圧症、重症糖尿病等) 3) 重篤な肝・腎障害 4) 中枢神経系の手術又は外傷後日の浅い患者 5) 本剤成分過敏症の既往歴 6) 妊婦・妊娠可能性婦人 7) 骨粗鬆症治療用ビタミン K2(メナテロン)製剤を投与中 8) グラチドを投与中 [懸濁] ○ [粉碎] ○

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プラザキサカプセル 110mg (ダビガトランエチキシレートメタンスルホン酸塩) C：110mg 薬価 239.30 日本ベリンガーインゲルハイム	【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 【用】 1回150mgを1日2回経口投与 必要に応じて、1回110mgを1日2回投与へ減量	【警告】 本剤の投与により消化管出血等の出血による死亡例が認められている。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤の投与の適否を慎重に判断する。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されておらず、本剤の抗凝固作用を中和する薬剤はないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察する。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行う。 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)透析患者を含む高度の腎障害(クレアチンクリアランス 30mL/min 未満) 3)出血症状・出血性素因・止血障害のある患者 4)臨床的に問題となる出血リスクのある器質的病変(6ヶ月以内の出血性脳卒中を含む)の患者 5)脊椎・硬膜外カテーテルを留置・抜去後1時間以内の患者 6)イトラコザール(経口剤)を投与中 [懸濁] × [脱カプ] ×
イグザレルト錠 10mg イグザレルト錠 15mg (リバーロキサバン) 錠：10mg 薬価 383.00 錠：15mg 薬価 545.6 バイエル薬品	【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 【用】 1回15mgを1日1回食後に経口投与。 腎障害のある患者には、腎機能の程度に応じて10mg1日1回に減量する。	【警告】 プラザキサカプセル参照 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)出血している患者 3)凝固障害を伴う肝疾患の患者 4)中等度以上の肝障害(Child-Pugh分類B又はCに相当)のある患者 5)腎不全(クレアチンクリアランス 15mL/min 未満) 6)妊婦又は妊娠している可能性のある女性 7)HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、ロピナビル・リトナビル、アタナビル、インジナビル、サキナビル、ダルナビル、ホスアンプレナビル、ネルフィナビル等)を投与中 8)コピシタット含有製剤を投与中 9)アゾール系抗真菌剤(フルコザールを除く、イトラコザール、ボリコザール、ミコザール及びケトコザール等)の経口又は注射剤を投与中 10)急性細菌性心内膜炎の患者 [懸濁] ○ [粉碎] ×
エリキュース錠 2.5mg ★エリキュース錠 5mg (アピキサバン) 錠：2.5mg 薬価 149 錠：5mg 薬価 272.8 ファイザー	【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 【用】 1回5mgを1日2回分服 年齢、体重、腎機能に応じて、1回2.5mg1日2回投与へ減量する	【警】 本剤の投与により出血が発現し、重篤な出血の場合には、死亡に至るおそれがある。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤投与の適否を慎重に判断すること。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されておらず、本剤の抗凝固作用を中和する薬剤はないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察すること。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行うこと。 【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)臨床的に問題となる出血症状のある患者 3)血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者 4)腎不全(クレアチンクリアランス 15mL/min 未満)の患者 [懸濁] ○ [粉碎] ×

2-2 抗血小板薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
パファリン配合錠A81 後発品 (アスピリン製剤) 錠:81mg 薬価 5.60 エーザイ	【効】狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞)における血栓・塞栓形成の抑制 冠動脈バイパス術(CABG)あるいは経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後における血栓・塞栓形成の抑制 【用】 1日81mg(1錠)を1回服用 最大324mg(4錠)まで 【効】川崎病(川崎病による心血管後遺症を含む) 【用】 急性期有熱期間は、1日30～50mg/kgを3回に分けて経口投与 解熱後の回復期から慢性期は、1日3～5mg/kgを1回経口投与	【禁】 1)本剤及び本剤成分・サリチル酸系製剤過敏症の既往歴 2)消化性潰瘍 3)出血傾向 4)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)・その既往歴 5)出産予定日12週以内の妊婦 6)低出生体重児、新生児・乳児 [懸濁]○[粉碎]○
バイアスピリン錠100mg 後発品 (アスピリン) 錠:100mg 薬価 5.60 バイエル	【効】狭心症(慢性安定狭心症、不安定狭心症)、心筋梗塞、虚血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞)における血栓・塞栓形成の抑制 冠動脈バイパス術(CABG)あるいは経皮経管冠動脈形成術(PTCA)施行後における血栓・塞栓形成の抑制 【用】 1日100mgを1回服用 最大300mgまで 【効】川崎病(川崎病による心血管後遺症を含む) 【用】 急性期有熱期間は、1日30～50mg/kgを3回に分けて経口投与 解熱後の回復期から慢性期は、1日3～5mg/kgを1回経口投与	【禁】 パファリン配合錠A81 参照 [懸濁]×[粉碎]×
パナルジン錠100mg (チクロピジン塩酸塩) 錠:100mg 薬価 55.10 サノフィ	【効】血管手術及び血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療並びに血流障害改善 【用】 1日200～300mgを2～3回に分服 【効】慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感などの阻血性諸症状の改善 【用】 1日300～600mgを2～3回に分服 【効】虚血性脳血管障害(一過性脳虚血発作(TIA)、脳梗塞)に伴う血栓・塞栓の治療 【用】 1日200～300mgを2～3回に分服又は1日1回200mg 【効】クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善 【用】 1日300mgを3回に分服	【警告】 血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、無顆粒球症、重篤な肝障害等の重大な副作用が主に投与開始後2か月以内に発現し、死亡に至る例も報告されている。1)投与開始後2か月間は、特に上記副作用の初期症状の発現に十分留意し、原則として2週に1回、血球算定(白血球分画を含む)、肝機能検査を行い、上記副作用の発現が認められた場合には、ただちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。本剤投与中は、定期的に血液検査を行い、上記副作用の発現に注意すること。2)本剤投与中、患者の状態から血栓性血小板減少性紫斑病、顆粒球減少、肝障害の発現等が疑われた場合には、投与を中止し、必要に応じて血液像もしくは肝機能検査を実施し、適切な処置を行うこと。3)本剤の投与にあたっては、あらかじめ上記副作用が発生する可能性があることを患者に説明するとともに、下記について患者を指導すること。(1)投与開始後2か月間は定期的に血液検査を行う必要があるため、原則として2週に1回、来院すること。(2)副作用を示唆する症状があらわれた場合には、ただちに医師等に連絡し、指示に従うこと。4)投与開始後2か月間は、原則として1回2週間分を処方すること。 【禁】 1)出血(血友病・毛細血管脆弱症・消化管潰瘍・尿路出血・喀血・硝子体出血等) 2)重篤な肝障害 3)白血球減少症 4)本剤による白血球減少症の既往歴 5)本剤過敏症の既往歴 【原・禁】 肝障害 [懸濁]×[粉碎]○刺激性、苦味あり

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
プラビックス錠 25mg プラビックス錠 75mg (クロピドグレル硫酸塩) 錠:25mg 薬価 112.50 75mg 薬価 282.70 サノフィ	【効】虚血性脳血管障害（心原性脳塞栓症を除く）後の再発抑制 【用】1日1回75mg 年齢、体重、症状により1日1回50mg 【効】経皮的冠動脈形成術（PCI）が適用される急性冠症候群（不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞）、安定狭心症、陳旧性心筋梗塞 【用】投与開始日に1日1回300mg 維持量:1日1回75mg 【効】末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制 【用】1日1回75mg	【禁】 1)出血している患者(血友病、頭蓋内出血、消化管出血、尿路出血、喀血、硝子体出血等) 2)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○
プレタールOD錠 100mg (シロスタゾール) 錠:100mg 薬価 161.90 大塚	【効】慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感などの虚血性諸症状の改善 【効】脳梗塞(心原性脳塞栓症を除く)発症後の再発抑制 【用】1日200mgを2回に分服	【警告】 本剤の投与により脈拍数が増加し、狭心症が発現することがあるので、狭心症の症状(胸痛等)に対する問診を注意深く行うこと。 【禁】 1)出血(血友病・毛細血管脆弱症・消化管出血・尿路出血・喀血・硝子体出血等) 2)うつ血性心不全 3)本剤成分過敏症既往歴 4)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [粉碎] ○
シロスタゾール錠 100mg「日医工」 (シロスタゾール) 後発品 錠:100mg 薬価 39.50 日医工	【効】慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状の改善 【用】1日300mgを3回に分服	【禁】 1)出血(血友病・毛細血管脆弱症・消化管潰瘍・尿路出血・喀血・硝子体出血等) 2)妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] × [粉碎] ○ 苦味あり
アンブラーグ錠 100mg (サルホグレレート塩酸塩) 錠:100mg 薬価 126.00 田辺三菱	【効】閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感の改善 【用】1日1800mgを3回に分服 【効】高脂血症 【用】1日1800mgを2回又は3回に分服 トリグリセリドの異常を呈する場合:程度により、1日2700mgまで増量可	【禁】 出血(血友病・毛細血管脆弱症・消化管潰瘍・尿路出血・喀血・硝子体出血等) [懸濁] ○ [粉碎] ×
エパデールS600 (イコサペント酸エチル) 顆:600mg 薬価 81.60/包 持田		

プロサイリン錠 20μg・・・P61

14-3 その他の血液・体液用薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ノイトロジン注 100μg (レノカラスチム) 注:100 μ g 薬価 9,907 中外	【効】造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進 【用】 造血幹細胞移植施行翌日ないし5日後から5 μ g/kgを1日1回点滴静注 下記疾患による好中球減少症: 【効】悪性リンパ腫、小細胞肺癌、胚細胞腫瘍(睾丸腫瘍、卵巣腫瘍など)、神経芽細胞腫、小児がんにおけるがん化学療法 【用】 癌化学療法剤投与終了後(翌日以降)から2 μ g/kgを1日1回皮下注 【効】急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病におけるがん化学療法 【用】 癌化学療法剤投与終了後(翌日以降)で骨髄中の芽球が十分減少し末梢血液中に芽球が認められない時点から5 μ g/kgを1日1回静注・点滴。出血傾向等の問題がない場合は、2 μ g/kgを1日1回皮下注 【効】骨髄異形成症候群 【用】 好中球数1,000/mm ³ 未満のとき、5 μ g/kgを1日1回静注 【効】再生不良性貧血 【用】 好中球数1,000/mm ³ 未満のとき、5 μ g/kgを1日1回静注 小児は5 μ g/kgを1日1回皮下注または静注 【効】先天性・特発性好中球減少症 【用】 好中球数1,000/mm ³ 未満のとき、2 μ g/kgを1日1回静注または皮下注 【効】免疫抑制療法(腎移植) 【用】 好中球数1,500/mm ³ (白血球数3,000/mm ³)未満のとき2 μ g/kgを1日1回皮下注 いずれも好中球数5,000/mm ³ 以上で減量または中止 【効】ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の治療に支障を来す好中球減少症 【用】 好中球数1,000/mm ³ 未満のとき、5 μ g/kgを1日1回静注 投与期間は2週間を目安とするが、好中球数が3,000/mm ³ 以上で減量または中止	【禁】 1)本剤・他の顆粒球コロニー形成刺激因子製剤過敏症 2)骨髄中の芽球が十分減少していない骨髄性白血病患者及び末梢血液中に芽球の認められる骨髄性白血病患者 ＊【効】【用法・用量】詳細は添付文書参照
エスポー皮下用 6000 シリンジ[㊞] (エポ・エチンアルファ(遺伝子組換え)) 注:6000 国際単位 /0.5mL 薬価 8,429 協和発酵キリン	【効】腎性貧血 【用】 1回6000IUを週1回皮下 維持量6000～12000IUを2週に1回皮下 小児100IU/kgを週1回皮下 【備】 投与の目安値はHb濃度で10g/dL(Ht30%)前後とする 必要以上の造血(Hb濃度12g/dL(Ht36%)以上)にならないよう注意する 【効】貯血量が800mL以上で1週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血 【用】 Hb濃度13g/dL未満:初回採血1週間前から、Hb濃度13～14g/dL:初回採血後より24000IUを最終採血まで週1回皮下 初回採血は、800mL貯血の場合は手術2週間前、1200mL貯血の場合は手術3週間前を目安とする 【備】 必要以上の造血(Hb濃度14g/dL(Ht42%)以上)にならないよう注意する	【禁】 本剤成分・他のエスロポ・エチン製剤・ダルベポ・エチンアルファ製剤に過敏症

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ネスブ注射液 60 μg/プラシリンジ (劇) (タ^ルベ^ホエ^チン アル^ファ(遺伝子組換え)) 注：60 μg/0.5mL 薬価 12,195 協和発酵キリン	【効】腎性貧血 【用】＜血液透析患者＞・初回用量：成人；週1回 20 μg を静脈内投与 小児；週1回 0.33 μg/kg(最高 20 μg) を静脈内投与 ・エリスロ^ポエ^チン [エ^ポエ^チン アル^ファ(遺伝子組換え)、エ^ポエ^チン ベ^ータ(遺伝子組換え)等] 製剤からの切替え 初回用量：成人；週1回 15～60 μg を静脈内投与 維持用量：成人；貧血改善効果が得られたら、週1回 15～60 μg を静脈内投与 週1回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での1回の投与量の2倍量を開始用量として、2週に1回投与に変更し、2週に1回 30～120 μg を静脈内投与することができる 小児；貧血改善効果が得られたら、週1回 5～60 μg を静脈内投与 週1回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での1回の投与量の2倍量を開始用量として、2週に1回投与に変更し、2週に1回 10～120 μg を静脈内投与することができる 最高投与量は1回 180 μg ＜腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者＞・初回用量：成人；2週に1回 30 μg を皮下・静脈内投与 小児；2週に1回 0.5 μg/kg(最高 30 μg) を皮下又は静脈内投与する ・エリスロ^ポエ^チン [エ^ポエ^チン アル^ファ(遺伝子組換え)、エ^ポエ^チン ベ^ータ(遺伝子組換え)等] 製剤からの切替え 初回用量：成人；2週に1回 30～120 μg を皮下・静脈内投与 小児；2週に1回 10～60 μg を皮下又は静脈内投与・維持用量：成人；貧血改善効果が得られたら、2週に1回 30～120 μg を皮下・静脈内投与 2週に1回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での1回の投与量の2倍量を開始用量として、4週に1回投与に変更し、4週に1回 60～180 μg を皮下・静脈内投与することができる 小児；貧血改善効果が得られたら、2週に1回 5～120 μg を皮下又は静脈内投与 2週に1回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での1回の投与量の2倍量を開始用量として、4週に1回投与に変更し、4週に1回 10～180 μg を皮下又は静脈内投与することができる 最高投与量は1回 180 μg 【効】＜骨髓異形成症候群に伴う貧血＞ 成人：週1回 240 μg を皮下投与。なお、貧血症状の程度、年齢等により適宜減量。	【禁】本剤成分・エリスロ^ポエ^チン製剤に過敏症
ミルセラ注シリンジ 100 μg (劇) (エ^ポエ^チン ベ^ータ ペ^ーゴ^ル(遺伝子組換え)) 注：100 μg/0.3mL 薬価 22,913 中外	【効】腎性貧血 【用】＜血液透析患者＞ 1) 初回用量：エ^ポエ^チン ベ^ータ ペ^ーゴ^ル(遺伝子組換え)として、1回 50 μg を2週に1回静脈内投与する。 2) エリスロ^ポエ^チン(エ^ポエ^チン アル^ファ(遺伝子組換え)、エ^ポエ^チン ベ^ータ(遺伝子組換え)等) 製剤からの切替え初回用量：はエ^ポエ^チン ベ^ータ(遺伝子組換え)として、1回 100 μg 又は 150 μg を4週に1回静脈内投与。 3) 維持用量：貧血改善効果が得られたら、はエ^ポエ^チン ベ^ータ ペ^ーゴ^ル(遺伝子組換え)として、1回 25～250 μg を4週に1回静脈内投与。 いずれの場合も最高投与量は、1回 250 μg。 ＜腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者＞ 1) 初回用量：エ^ポエ^チン ベ^ータ ペ^ーゴ^ル(遺伝子組換え)として、1回 25 μg を2週に1回皮下又は静脈内投与。 2) エリスロ^ポエ^チン(エ^ポエ^チンアル^ファ(遺伝子組換え)、エ^ポエ^チン ベ^ータ(遺伝子組換え)等) 製剤からの切替え初回用量：エ^ポエ^チン ベ^ータ ペ^ーゴ^ル(遺伝子組換え)として、1回 100 μg 又は 150 μg を4週に1回皮下又は静脈内投与。 3) 維持用量：貧血改善効果が得られたら、エ^ポエ^チン ベ^ータ ペ^ーゴ^ル(遺伝子組換え)として、1回 25～250 μg を4週に1回皮下又は静脈内投与。 いずれの場合も、最高投与量は、1回 250 μg。	【禁】本剤成分又はエリスロ^ポエ^チン製剤・タ^ルベ^ホエ^チン アル^ファ製剤に過敏症の患者

15 抗悪性腫瘍剤

15-1 代謝拮抗剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ユーエフティ配合カプセル T100 (劇) (テガフル・ウラシル) C:100mg 薬価 260.50 大鵬	【効】胃癌、膵臓癌、結腸癌、直腸癌、乳癌、肺癌、胆嚢・胆管癌、肝臓癌、膀胱癌、頭頸部癌、前立腺癌、子宮頸癌による自覚的・他覚的症状の寛解 ホナート・テガフル・ウラシル療法：結腸・直腸癌 【用】 1日 300～600mg を 2～3 回に分服 子宮頸癌 1日 600mg を 2～3 回に分服 ホナート・テガフル・ウラシル療法： 結腸・直腸癌に対して 1日 300～600mg (300mg/m ² を基準) を 3 回に分けて (約 8 時間ごとに)、食事の前後 1 時間を避けて経口投与 ホナート の投与量は通常、 ホナート として 75mg を、1日 3 回に分けて (約 8 時間ごとに)、 テガフル・ウラシル 配合剤と同時に経口投与 以上を 28 日間連日経口投与し、その後 7 日間休薬これを 1 ケルとして投与を繰り返す	【警告】 1) 劇症肝炎等の重篤な肝障害が起こることがあるので、定期的 (特に投与開始から 2 ヶ月間は 1 ヶ月に 1 回以上) に肝機能検査を行うなど観察を十分に行い、肝障害の早期発見に努めること。肝障害の前兆又は自覚症状と考えられる食欲不振を伴う倦怠感等の発現に十分に注意し、黄疸 (眼球黄染) があらわれた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと 2) テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム 配合剤との併用により、重篤な血液障害等の副作用が発現するおそれがあるので、併用を行わないこと 3) ホナート・テガフル・ウラシル療法： 添付文書参照 【禁】 1) 本剤成分に対し重篤な過敏症既往歴 2) テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム 配合剤投与中の患者・投与中止後 7 日以内の患者 3) 重篤な骨髓抑制 4) 重篤な下痢 5) 重篤な感染症 6) 妊婦・妊娠可能性婦人 [懸濁] ○ [脱カプ] ×

15-2 腫瘍用剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
カソデックス錠 80mg (劇) (ビカルタミド) 錠:80mg 薬価 910.40 アストラゼネカ	【効】前立腺癌 【用】 1日 1 錠を 1 回服用	【禁】 1) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 2) 小児 3) 女性 [懸濁] × [粉碎] ×
ビカルタミド錠 80mg「N K」 後発品 (劇) (ビカルタミド) 錠:80mg 薬価 504.90 日本化薬		
★ザイティガ錠 250mg (劇) (アビラテロン酢酸エステル) 錠:250mg 薬価 3,690.9 円 ヤンセンファーマ	【効】去勢抵抗性前立腺癌 【用】 プレドニゾロンとの併用で 1日 1 回 1,000mg を空腹時に服用	【禁】 1) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 2) 重度の肝機能障害患者 (Child-Pugh スコア C) 注意：本剤は食事の影響により Cmax 及び AUC が上昇するため、食事の 1 時間前から食後 2 時間までの間の服用は避けること。
アリミデックス錠 1mg (劇) (アナストロゾール) 錠:1mg 薬価 495.60 アストラゼネカ	【効】閉経後乳癌 【用】 1日 1 錠を 1 回服用	【禁】 1) 妊婦・妊娠可能性婦人 2) 授乳婦 3) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ×

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ノルバデックス錠 20mg (タモキシフェンクエン酸塩) 錠:20mg 薬価 322.40 アストラゼネカ	【効】 乳癌 【用】 1日1錠を1回服用 最高2錠まで	【禁】 1) 妊婦・妊娠可能性婦人 2) 本剤成分に対し過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ×

15-3 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
リュープリン注射用キット 3.75 (劇) (リュープ ロレリン酢酸塩) 注:3.75mg 薬価 40,975 武田	【効】 子宮内膜症、過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善、閉経前乳癌、前立腺癌 【用】 子宮内膜症: 4週に1回 3.75mg を皮下投与 初回投与は月経周期1～5日目に行う 子宮筋腫: 4週に1回 1.88mg を皮下投与 初回投与は月経周期1～5日目に行う 前立腺癌、閉経前乳癌: 4週に1回 3.75mg を皮下投与	【禁】 子宮内膜症、子宮筋腫、中枢性思春期早発症の場合: 1) 本剤成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性、授乳中 3) 診断のつかない異常性器出血 閉経前乳癌の場合: 1) 本剤成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性、授乳中 前立腺癌の場合: 本剤成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴 【備】 4週に1回の用法を遵守する
リュープリンSR注射用キット 11.25 (劇) (リュープ ロレリン酢酸塩) 注:11.25mg 薬価 72,978 武田	【効】 前立腺癌、閉経前乳癌 【用】 12週に1回 11.25mg を皮下に投与 * 投与に際しては、注射針を上にしてプランジャーロッドを押して、懸濁用液全量を粉末部に移動させて、泡立てないように注意しながら、十分に懸濁して用いる。	【禁】 前立腺癌の場合: 本剤の成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴 閉経前乳癌の場合: (1) 本剤の成分・合成 LH-RH、LH-RH 誘導体に対して、過敏症の既往歴 (2) 妊婦・妊娠可能性、授乳中 【備】 12週に1回の用法を遵守する
ゾラデックス 3.6mg デポ (劇) (ゴセリン酢酸塩デポ) 注:3.6mg 薬価 38,888 アストラゼネカ	【効】 前立腺癌、閉経前乳癌 【用】 1筒(3.6mg)を前腹部に4週ごとに1回皮下投与する。	【禁】 1) 妊婦・妊娠している可能性のある婦人 2) 授乳中の婦人 3) 本剤成分・LH-RH 作動薬に対し過敏症の既往歴 【備】 4週に1回の用法を遵守する
★ゾラデックス LA10.8mg デポ (劇) (ゴセリン酢酸塩デポ) 注:10.8mg 薬価 68,203 アストラゼネカ	【効】 前立腺癌、閉経前乳癌 【用】 1筒(10.8mg)を前腹部に12～13週ごとに1回皮下投与する。	【禁】 ゾラデックス 3.6 mg 参照

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
イムノブラダー膀胱注用 80mg (劇) (乾燥 BCG 膀胱内用 日本株) 外:80mg/瓶 薬価 17,606.20 日本化薬	【効】表在性膀胱癌、膀胱上皮内癌 【用】本品1本(80mg)に添付溶剤2mLを加え40mg/mLの懸濁液とする。これに生食39mLを更に加え均等なBCG希釈液を調製する。 尿道カテーテルを膀胱内に無菌条件下で挿入し、残尿を排出した後、通常80mgのBCGを含有している希釈液を同カテーテルより膀胱内にできるだけゆっくりと注入し、原則として2時間膀胱内に保持するようにつとめる。これを通常週1回8週間繰り返す。 なお、用量及び回数は症状に応じ適宜増減し、また、投与間隔も必要に応じ延長できることとする。	【警告】1)本剤の臨床試験において、カテーテル挿入等により外傷を生じた後のBCG投与による播種性BCG感染に起因したと考えられる死亡例が認められており、米国においても同様の症例が報告されている。したがって、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)、生検及びカテーテル挿入により外傷を生じた直後には本剤を投与すべきではなく、外傷の治癒の状態を観察しながら、7日から14日間間隔をあけて投与すること。また、本剤の投与は緊急時に十分措置できる医療施設及び膀胱癌の治療に十分な経験を持つ医師の下で、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。2)本剤の臨床試験において、咳嗽及び皮疹等を伴ったアナフィラキシー様症状に起因したと考えられる死亡例が認められているので、このような症状があらわれた場合は本剤の投与を中止し、直ちに抗ヒスタミン剤・ステロイド剤の投与とともに抗結核剤による治療が必要である。3)本剤は生菌製剤であり、米国において院内感染の報告があるので、十分に注意し適切に取扱うこと。 【禁】1)AIDS、白血病、悪性リンパ腫等併発疾患・抗癌療法(例えば細胞傷害性の抗悪性腫瘍剤、放射線療法)により、免疫抑制状態、先天性・後天性免疫不全の患者 2)HIVキャリア及び免疫抑制量のステロイド剤・他の免疫抑制剤を投与している患者 3)活動性の結核症が明らかな患者 4)熱性疾患、尿路感染症、肉眼的血尿が存在している患者 5)BCG 全身性過敏症反応の既往 6)妊婦・妊娠可能性婦人

16 抗生物質

16-1 ペニシリン系

1-1 合成ペニシリン類 注射用製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ペントシリン静注用 1g バッグ (ピペラシリンナトリウム) 注: 1g バック 薬価 816 大正富山	【効】敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎 【用】 成人: 1日 2～4g を 2～4 回に分割筋・静注 難治性・重症: 1回 4g 1日 4 回まで 小児: 1日 50～125mg/kg を 2～4 回静注 難治性・重症: 1日 300mg/kg まで増量し、3 回に分割静脈 1 回投与量上限は成人における 1 回 4g を超えない	【禁】 1) 本剤成分ショックの既往歴 2) 伝染性単核球症 【原・禁】 本剤成分・ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴	PIPC
ピペラシリンナトリウム注射用 1g 後発品 ピペラシリンナトリウム注射用 2g 後発品 (ピペラシリンナトリウム) 注: 1g/V 薬価 165 2g/V 薬価 261 日医工			
ゾシン静注用 4.5 ゾシン配合点滴静注用バッグ 4.5 (タゾバクタム・ピペラシリン水和物) 注: 4.5g/V 薬価 2,687 注: 4.5g バック 薬価 3,315 大正富山	【効】敗血症、肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎 【用】 1 回 4.5g を 1 日 3 回点滴静注 肺炎の場合、1 日 4 回に増量可 必要に応じて静脈内注射可 小児には 1 回 112.5mg/kg を 1 日 3 回点滴静注 必要に応じて静脈内注射可 1 回投与量を適宜減量可 1 回投与量の上限は 4.5g まで 【効】腎盂腎炎、複雑性膀胱炎 【用】 1 回 4.5g を 1 日 2 回点滴静注 1 日 3 回に増量可 必要に応じて静脈内注射可 小児には 1 回 112.5mg/kg を 1 日 2 回点滴静注 必要に応じて静脈内注射可 1 回投与量を適宜減量可 1 日 3 回に増量可 1 回投与量の上限は 4.5g まで 【効】発熱性好中球減少症 【用】 1 回 4.5g を 1 日 4 回点滴静注又は緩徐に静注。小児には 1 回 90mg/kg を 1 日 4 回点滴静注又は緩徐に静注。1 回投与量の上限は 1 回 4.5g まで	【禁】 1) 本剤成分・ペニシリン系抗生物質に対し過敏症の既往歴 2) 伝染性単核球症	TAZ PIPC

1-2 経口製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
オーグメンチン配合錠 250RS (クラバン酸 K・アモキシシリン水和物) 錠: クラバン酸 K: 125mg アモキシシリン水和物: 250mg 薬価 36.10 GSK	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、子宮内感染、子宮付属器炎、中耳炎 【用】 1 回 1 錠 1 日 3～4 回 (6～8h 毎) 服用	【禁】 1) 本剤成分ショックの既往歴 2) 伝染性単核症 3) 本剤成分による黄疸・肝機能障害の既往歴 【原・禁】 本剤成分・ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○	CVA-K AM-PC

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
サワシリン錠 250 (アモキシシリン水和物) 錠:250mg 薬価 13.00 アステラス	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、淋菌感染症、梅毒、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、涙嚢炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱 【用】 1回250mgを1日3～4回 小児1日20～40mg/kgを3～4回 1日最大90mg/kgまで 【効】胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃 MALT リンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎 【用】 ・アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びランソップラザール併用・・・1回750mg、クラリスロマイシンとして1回200mg及びランソップラザールとして1回30mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 クラリスロマイシンは1回400mg1日2回を上限 ・アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びオメプラザール・エソメプラザール併用・・・1回750mg、クラリスロマイシンとして1回200mg及びオメプラザール・エソメプラザールとして1回20mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 クラリスロマイシンは、1回400mg1日2回を上限 ・アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びラベプラザールナトリウム併用・・・1回750mg、クラリスロマイシンとして1回200mg及びラベプラザールナトリウムとして1回10mgの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与 クラリスロマイシンは、1回400mg1日2回を上限 ・アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びプロトンポンプインヒビター併用によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合・・・1回750mg、プロトンポンプインヒビターとして1回250mg及びプロトンポンプインヒビターの3剤を同時に1日2回、7日間経口投与	【禁】 1)本剤成分ショックの既往歴 2)伝染性単核症 【原・禁】 本剤成分・ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁]○ [粉碎]○ 異臭あり	AMPC
ユナシン錠 375mg (スルタミシリン硫酸塩水和物) 錠:375mg 薬価 58.90 ファイザー	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、子宮内感染、涙嚢炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎 【用】 1回375mgを1日2～3回服用	【禁】 同上 【原・禁】 同上 [懸濁]○ [粉碎]○	SBTPC

16-2 セフェム系

2-1 注射用製剤（第1世代）

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
セファメジンα注射用 1g セファメジンα点滴用キット 1g (セファゾリンNa水和物) 注:1g/V 薬価 380 1gキット(生理食塩液100mL) 薬価 698 アステラス	【効】敗血症、感染性心内膜炎、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、関節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎 【用】 1日1gを2回に分割緩徐に筋・静・点滴 効果不十分:1日1.5～3gを3回に分割 重症:1日5g 小児1日20～40mg/Kgを2回に分割緩徐に筋・静・点滴 効果不十分:1日50mg/Kgを3回に分割 重症:100mg/Kg迄	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴	CEZ

2-2 注射用製剤（第2世代）

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
セフメタゾン静注用 1g (セフメタゾール Na) 注: 1g/V 薬価 504 第一三共	【効】 敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎 【用】 1日 1～2g を2回に分割静注・点滴 重症: 1日 4g 迄 小児 1日 25～100mg/Kg を2～4回に分割静注・点滴 重症: 150mg/Kg 迄	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴	CMZ
パンスポリン静注用 1g バッグ S (セフォチアム塩酸塩) 注: バッグ S 1g 薬価 1,185 武田 セフォチアム塩酸塩静注用 1g 後発品 (セフォチアム塩酸塩) 注: 1g/V 点 薬価 344 ニプロファーマ	【効】 敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髓炎、関節炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、中耳炎、副鼻腔炎 【用】 1日 0.5～2g を2～4回に分割静注・点滴 敗血症: 1日 4g 迄 小児 1日 40～80mg/kg を3～4回に分割静注・点滴 敗血症、化膿性髄膜炎等の重症・難治性感染症重症: 160mg/kg 迄	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴	CTM
フルマリンキット静注用 1g (フロモキシド) 注: キット 1g 薬価 1,712 塩野義	【効】 敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、尿道炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、中耳炎、副鼻腔炎 【用】 1日 1～2g を2回に分割静注・点滴 重症: 1日 4g を2～4回に分割静注・点滴 小児 1日 60～80mg/Kg を3～4回に分割静注・点滴 未熟児・新生児 1回 20mg/kg を生後3日までは1日 2～3回、4日以降は1日 3～4回静注・点滴 重症: 150mg/Kg 迄	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴	FMOX

2-3 注射用製剤（第3世代）

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ファーストシン静注用 1g バッグ S (セフトラゾラム塩酸塩) 注: バッグ S 1g 薬価 1,814 武田	【効】 敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、眼窩感染、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎 【用】 1日 1～2g を2回に分割静注・点滴 重症: 1日 4g を2～4回に分割静注・点滴 小児: 1日 40～80mg/kg を3～4回に分割静注・点滴 重症: 1日 160mg/kg 迄 化膿性髄膜炎: 1日 200mg/kg 迄ただし1日 4g 迄 新生児（低出生体重児を含む）: 1回 20mg/kg を0日齢1日 1～2回 1～7日齢1日 2～3回 8日齢以降3～4回静注・点滴 重症: 1回 40mg/kg 迄 投与期間原則として14日以内	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴	CZOP

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
セフトジジム静注用 1g 後発品 (セフトジジム水和物) 注:1g/V 薬価 607 日医工	【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、中耳炎、副鼻腔炎 【用】 1日1～2gを2回に分割静注・点滴 重症:1日4g 迄 小児 1日40～100mg/Kgを2～4回に分割静注・点滴 重症:1日150mg/Kg 迄 未熟児・新生児 生後0～3日齢には1回20mg/kgを1日2～3回、生後4日齢以降には1回20mg/kgを1日3～4回分割静注・点滴 重症:1日150mg/kg 迄	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴	CAZ
ロセフィン点滴静注用 1g バッグ (セフトリアキソン Na) 注:バッグ 1g 薬価 1,217 中外 セフトリアキソンナトリウム静注用 1g 後発品 (セフトリアキソン Na) 注:1g/V 薬価 303 日医工	【効】敗血症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、直腸炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎 【用】 1日1～2gを1～2回に分割静注・点滴 重症:1日4g 迄 淋菌感染症・・・(1)咽頭・喉頭炎、尿道炎、子宮頸管炎、直腸炎:1gを静注・点滴 (2)精巣上体炎（副睾丸炎）、骨盤内炎症性疾患:1日1回1gを静注・点滴 小児 1日20～60mg/Kgを1～2回に分割静注・点滴 重症:1日120mg/Kg 迄 未熟児・新生児の生後0～3日齢には1回20mg/kgを1日1回、生後4日齢以降には1回20mg/kgを1日2回静注・点滴 重症:1回量を40mg/kgまで増量し、1日2回 生後2週間以内の未熟児・新生児には1日50mg/kgまで	【禁】 1)本剤成分ショック 2)高ビリルビン血症の未熟児、新生児 【原・禁】 同上	CTRX

2-4 経口用製剤（第1世代）

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ケフラールカプセル 250mg (セファクロル) C:250mg 薬価 53.70 塩野義	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱 【用】 1日750mgを3回に分服 重症:1日1500mg 小児:1日20～40mg/Kgを3回に分服	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○ 苦味あり	CCL
Ｌーケフレックス顆粒 (セフトレキシン) 顆:500mg/包(1g) 薬価 79.40 塩野義	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、バルトリン腺炎、涙嚢炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、抜歯創・口腔手術創の二次感染 【用】 1日1g(力価)を2回に分服 重症:1日2g(力価)	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] ×	CEX

2-5 経口用製剤（第2世代）

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	効能・効果・備考	略号
パンスポリン錠 200 (セフォチアム ヘキセチル塩酸塩) 錠:200mg 薬価 60.20 武田	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎 【用】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎:1日300～600mgを3回に分服 慢性呼吸器病変の二次感染:1日600～1200mgを3回に分服 重症:1日1200mg	【禁】本剤成分・塩酸セフォチアムによるショックの既往歴 【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] × [粉砕] ○	CTM-HE
セフゾンカプセル 100mg (セフジニル) C:100mg 薬価 63.00 アステラス	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 【用】1回100mgを1日3回に分服	【禁】本剤成分によるショックの既往歴 【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] ○ [脱カプ] ○	CEX

2-6 経口用製剤（第3世代）

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
パナン錠 100mg (セフトロキシムプロキシチル) 錠:100mg 薬価 75.90 第一三共	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、バルトリン腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 【用】1日2錠を2回に分服 重症:1日4錠	【禁】本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] ○ [粉砕] ○ 苦味あり	CPDX-PR
フロモックス錠 100mg フロモックス小児用細粒 100mg (セフカペンヒドキシル塩酸塩) 錠:100mg 薬価 55.00 小児用細:100mg/g 薬価 185.10 塩野義	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 錠 :1日3錠を3回に分服(食後) 重症:1回150mgを1日3回食後 細 :1日9mg(力価)/kgを3回に分服(食後) 成人(嚥下困難等により錠剤の使用が困難な場合)には1日300mgを3回に分服(食後) 難治性・効果不十分:1日450mgを3回に分服(食後)	【禁】本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] ○ [粉砕] ○ 苦味あり	CFPN-PI

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
メイアクトMS錠 100mg (セフゾトレンビドギシル) 錠:100mg 薬価 55.60 Meiji Seika ファルマ	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 【用】1日3錠を3回に分服 重症:1回2錠を1日3回食後	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○	CDTR-PI

2-7 その他のβラクタム系

2-7-1 カルバペネム系抗生剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
チエナム点滴静注用キット 0.5g (イメペネム水和物・シラスチンNa) 注:キット0.5g 合剤 薬価 1,697 MSD	【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合組織炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼内炎（全眼球炎を含む） 【用】1日0.5～1gを2～3回に分割30分以上かけて点滴静注 重症:1日2g迄 小児 1日30～80mg/Kgを3～4回に分割静注・点滴 重症:1日100mg/Kg迄	【禁】 1) 本剤成分ショックの既往歴 2) バルブプロ酸Na投与中 【原・禁】 本剤成分過敏症既往歴	IPM-CS
インダスト点滴静注用 0.5g 後発品 (イメペネム水和物・シラスチンNa) 注:0.5g/V 合剤 薬価 1,035 大洋	【効】一般感染症：敗血症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、骨髄炎、関節炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合組織炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周囲の蜂巣炎、顎炎 【用】1日0.5～1gを2～3回に分割30分以上かけて点滴静注 重症:1回1gを上限として1日3g迄 小児 1日30～60mg/Kgを3回に分割点滴静注 重症:1日120mg/Kg迄 1日最大用量3gを超えないこと 【効】化膿性髄膜炎： 【用】1日6gを3回に分割30分以上かけて点滴静注 小児 1日120mg/kgを3回に分割点滴静注 ただし、成人における1日用量6gを超えないこと。 【効】発熱性好中球減少症 【用】成人：1日3gを3回に分割30分以上かけて点滴静注 小児は1日120mg/kgを3回に分割30分以上かけて点滴静注 ただし、成人は1日最大3gを超えないこと ＊投与開始後3日を目安 投与期間:原則14日以内(1週間以上の使用に際しては、必ず肝機能検査を実施)	【禁】 1) 本剤成分ショックの既往歴 2) バルブプロ酸Na投与中 【原・禁】 本剤成分過敏症既往歴	MEPM
メロペン点滴静注用 0.5g 後発品 (メロペネム水和物) 注:0.5g/V 薬価 777 大日本住友 田辺三菱	【効】メロペン点滴用参照 【用】メロペン点滴用参照 ただし、1日最大用量3gまで		

2-7-2 経口用ペネム系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ファロム錠 200mg (ファロペネムナトリウム水和物) 錠:200mg 薬価 66.10 マルホ	【効】 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡(化膿性炎症を伴うもの)、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、膀胱炎(単純性に限る)、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、外耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 【用】 1回 150mg～200mg を1日3回に分服 【効】 肺炎、肺膿瘍、膀胱炎(単純性を除く)、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、中耳炎、副鼻腔炎 【用】 1回 200mg～300mg を1日3回に分服	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分過敏症既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○苦味あり	FRPM

2-7-3 その他

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
アザクタム注射用 1g (アズトレナム) 注:1g/V 薬価 1,374 エーザイ	【効】 敗血症、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、尿道炎、子宮頸管炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、中耳炎、副鼻腔炎 【用】 1日1～2g を2回に分割筋・静・点滴静注 淋菌感染症・子宮頸管炎:1日1回1～2g 筋・静注 重症:1日4g 迄 小児 1日40～80mg/Kg を2～4回に分割静注・点滴 重症:1日150mg/Kg 迄 3～4回に分割 未熟児・新生児:1回20mg/kg を生後3日までは1日2回4日以降1日2～3回静注・点滴	【禁】 本剤成分ショックの既往歴	AZT
スルペラゾンキット静注用 1g (スルパクタムNa・セフォペラゾンNa) 注:キット1g 合剤 薬価 1,351 ファイザー ワイスタール配合静注用 1g 後発品 (スルパクタムNa・セフォペラゾンNa) 注:1g/V 合剤 薬価 358 ニプロファーマ	【効】 敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎 【用】 1日1～2g を2回に分割緩徐に静注 重症:1日4g 迄 小児 1日40～80mg/Kg を2～4回に分割緩徐に静注 重症:160mg/Kg 迄	【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 本剤成分・セフェム系抗生物質過敏症既往歴	SBT/CPZ
ユナシン-S 静注用 1.5g ユナシン-S キット静注用 3g (スルパクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム) 注:1.5g/V 合剤 薬価 845 キット3g 薬価 1,721 ファイザー	【効】 肺炎・肺膿症、腹膜炎 【用】 1日6g を2回に分け静注・点滴 重症感染症の場合は必要に応じて適宜増量可 1回3g 1日4回が上限 【効】 膀胱炎 【用】 1日3g を2回に分け静注・点滴 小児 1日60～150mg/kg を3～4回に分け静注・点滴	【禁】 1) 本剤成分ショックの既往歴 2) 伝染性単核症 【原・禁】 本剤成分・ペニシリン系抗生物質過敏症既往歴	SBT/ABPC

16-3 アミノグリコシド系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
アミカシン硫酸塩注射液 200mg (アミカシン硫酸塩) 注:200mg/2mL 薬価 627 日医工	【効】敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎 【用】 筋注:1回100～200mg 1日1～2回 小児:1日4～8mg/kg 1日1～2回 点滴:1回100～200mgを1日2回 小児:1日4～8mg/kg 1日2回 新生児(未熟児を含む):1回6mg/kgを1日2回(100～500mLの補液に100～200mgを溶解30分～1時間にて点滴)	【禁】 本剤成分並びにアミノグリコシド系抗生物質・バシラシン過敏症の既往歴 【原・禁】 本人・その血族がアミノグリコシド系抗生物質による難聴・その他の難聴のある患者	AMK
カナマイシンカプセル 250mg (カナマイシン硫酸塩) C:250mg 薬価 39.30 Meiji Seika ファルマ	【効】感染性腸炎 【用】 1日2～4gを4回に分服 小児:1日50～100mg/kgを4回に分服	【禁】 本剤成分並びにアミノグリコシド系抗生物質・バシラシン過敏症の既往歴 【原・禁】 本人・その血族がアミノグリコシド系抗生物質による難聴・その他の難聴のある患者 [懸濁]○ [脱カプ]○	KM
硫酸ストレプトマイシン注射用 1g (ストレプトマイシン硫酸塩) 注:1g/V 薬価 389 Meiji Seika ファルマ	【効】肺結核及びその他の結核症 【用】 1日1gを週2～3日、あるいははじめの1～3ヵ月は毎日、その後週2日 筋注 高齢者(60歳以上)には1回0.5～0.75g 【効】マイコバクテリウム・アブ・ウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症 【用】 1日0.75～1gを週2回または週3回筋肉注 【効】感染性心内膜炎(ペニシリン又はアンピシリンと併用の場合に限る)、ペスト、野兔病、ウイルス病 【用】 1日1～2gを1～2回に分割筋注	【禁】 【原・禁】 カナマイシンカプセル参照	SM
パニマイシン注射液 100mg (劇) (ジベカシン硫酸塩) 注:100mg/2mL 薬価 719 Meiji Seika ファルマ	【効】敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、中耳炎 筋注: 1日100mgを1～2回に分割 小児:1日1～2mg/kgを1～2回に分割 点滴: 1日100mgを2回に分割(100～300mLの補液に溶解30分～1時間かけて)	【禁】 【原・禁】 カナマイシンカプセル参照	DKB
ハベカシン注射液 100mg (劇) (アルベカシン硫酸塩) 注:100mg/2mL 薬価 4,543 Meiji Seika ファルマ	【効】メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染による敗血症、肺炎 【用】 1日1回150～200mgを30分～2時間かけて点滴(2回に分けて点滴も可) 静脈内投与が困難な場合:1日150～200mgを1回又は2回に分けて筋注も可 小児 1日4～6mg/kgを30分かけて点滴(2回に分けて点滴も可)	【禁】 本剤並びにアミノグリコシド系抗生物質・バシラシン過敏症の既往歴 【原・禁】 1)本人・その血族がアミノグリコシド系抗生物質による難聴又はその他の難聴のある患者 2)腎障害 3)肝障害	BK

16-4 テトラサイクリン系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 (ミノサイクリン塩酸塩) 100mg 後発品 注:100mg 薬価 182 テバ	【効】敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、炭疽、つつが虫病、オウム病 【用】 初回100～200mg投与以後12h又は24h毎に100mg 30分～2時間かけて点滴静注	【禁】 テトラサイクリン系過敏症の既往歴	MINO

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ミノマイシンカプセル 100mg (ミノサイクリン塩酸塩) C:100mg 薬価 51.00 ファイザー	【効】 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、淋菌感染症、梅毒、腹膜炎、感染性腸炎、外陰炎、細菌性膣炎、子宮内感染、涙嚢炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、上顎洞炎、顎炎、炭疽、つつが虫病、オウム病 【用】 初回 100～200mg 投与以後 12h 又は 24h 毎に 100mg	【禁】 テトラサイクリン系過敏症の既往歴 カプセル：〔懸濁〕○ 〔脱カプ〕○ 錠：〔懸濁〕× 〔粉碎〕○ 苦味あり	MINO

16-5 マクロライド系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
クラリス錠 200mg (クラリスロマイシン) 錠：200mg 薬価 83.20 大正富山	【効】 一般感染症：表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、感染性腸炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 【用】 1 日 2 錠を 2 回に分服 【効】 非結核性抗酸菌症：マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症 【用】 1 日 4 錠を 2 回に分服 【効】 ヘリコバクター・ヒリ感染症：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ヒリ感染症、ヘリコバクター・ヒリ感染胃炎 【用】 クラリスロマイシンとして 1 回 200mg、アモキシシリンとして 1 回 750mg 及びプロトンポンプインヒビターの 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間経口投与 クラリスロマイシンは、1 回 400mg 1 日 2 回を上限とする	【禁】 1) 本剤過敏症の既往歴 2) ヒモジト、エルゴタミン含有製剤、タラフィール（アトールシカ）、アスピレビル、バニプレビル、スボレキサントを投与中 3) 肝臓・腎臓に障害のある患者で、コルヒチンを投与中 〔懸濁〕○ 〔粉碎〕○ 苦味あり	CAM
ジスロマック錠 250mg ジスロマック SR 成人用 ドライシロップ 2g (アジスロマイシン水和物) 錠：250mg 薬価 264.40 成人用 DS：2g 薬価 2,088.50 ファイザー	【効】 深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 錠 ：500mg（力価）を 1 日 1 回、3 日間合計 1.5g（力価）を経口投与 尿道炎、子宮頸管炎：1000mg（力価）を 1 回経口投与 骨盤内炎症性疾患：アジスロマイシン注射剤による治療を行った後、250mg（力価）を 1 日 1 回経口投与 DS ：2g（力価）を用時水で懸濁し、空腹時に 1 回経口投与	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 〔懸濁〕○ 〔粉碎〕○	AZM

16-6 ホスホマイシン系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ホスミシン錠 500mg (ホスホマイシンカルシウム水和物) 錠:500mg 薬価 62.90 Meiji Seika ファルマ	【効】 深在性皮膚感染症、膀胱炎、腎盂腎炎、感染性腸炎、涙囊炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎 1日4～6錠を3～4回に分服 小児:1日40～120mg/kgを3～4回に分服	[懸濁] ○ [粉砕] ○	FOM
ホスミシンS 静注用 1g ホスミシンS 静注用 2g (ホスホマイシンナトリウム) 注:1g/V 薬価 576 2g/V 薬価 847 Meiji Seika ファルマ	【効】 敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合組織炎 点滴: 1日2～4g 小児:1日100～200mg/kgを2回に分割 補液100～500mLに溶解して、1～2時間かけて 静注: 1日2～4g 小児:1日100～200mg/kgを2～4回に分割 5分以上かけてゆっくり静注	【禁】 ホスホマイシン過敏症の既往歴	

16-7 リンコマイシン系

医薬品名・規格・成分・会社	用法・用量	備考	略号
ダラシンS 注射液 600mg (クリンダマイシンリン酸エステル) 注:600mg 薬価 601 ファイザー	【効】 敗血症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎 点滴: 1日600～1200mgを2～4回に分割 重症:1日2,400mgまで 小児:1日15～25mg/Kgを3～4回に分割 重症:1日40mg/Kgまで 筋注: 1日600～1200mgを2～4回に分割	【禁】 本剤成分・リンコマイシン系抗生物質過敏症の既往歴	CLDM

16-8 ニューキノロン・キノロン系

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ジェニナック錠 200mg (メル酸ガレノキサシン水和物) 錠:200mg 薬価 241.40 アステラス	【効】 咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎 【用】 1回400mgを1日1回経口投与	【禁】 1) 本剤成分・他のキノロン系抗菌剤に過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性婦人 3) 小児等 [懸濁] ○ [粉砕] ○ 苦味あり	GRNX
クラビット点滴静注バッグ 500mg (レボフロキサシン水和物) 注:500mg 薬価 5,478 第一三共	【効】 肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、腸チフス、パラチフス、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兔病、Q熱 【用】 1回500mgを1日1回、約60分間かけて点滴静注	【禁】 1) 本剤成分・フロキサシンに対し過敏症の既往歴 2) 妊婦・妊娠可能性婦人 3) 小児等 ただし、3) に対しては、炭疽等の重篤な疾患に限り、治療上の有益性を考慮して投与	LVFX

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
レボフロキサシン錠 250mg「DSEP」 レボフロキサシン錠 500mg「DSEP」 レボフロキサシン細粒 10%「DSEP」 (レボフロキサシン水和物) 後発品 錠:250mg 薬価 126.8 500mg 薬価 226.4 細粒:100mg/1g 薬価 70.1 第一三共エスファ	【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡(化膿性炎症を伴うもの)、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、コレラ、バルトロリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兔病、肺結核及びその他の結核症、Q熱 【用】250mg、500mg 錠・細粒: 1回500mgを1日1回経口投与 100mg 錠: 1回100mgを1日2～3回経口投与 重症・効果不十分時:1回200mgを1日3回経口投与 レボフロキサシン肺炎:1回200mgを1日3回経口投与 炭疽、ペスト、野兔病、ブルセラ症、Q熱:1回200mgを1日2～3回経口投与 肺結核及びその他の結核症は原則として他の抗結核薬と併用すること。 【効】腸チフス、パラチフス 【用】250mg、500mg 錠・細粒: 1回500mgを1日1回14日間経口投与 100mg 錠: 1回100mgを1日4回、14日間経口投与	【禁】 1)本剤成分・オフロキサシン過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)小児等 ただし、2)3)に対しては、炭疽等の重篤な疾患に限り、治療上の有益性を考慮して投与 錠:[懸濁]○ [粉碎] ○ 細粒:[懸濁]×	LVFX
シプロキサゾン注 300mg (シプロフロキサゾン) 注:300mg 薬価 2,404 富士フイルムファーマ	【効】敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、炭疽 【用】 1回300mgを1日2回点滴静注 生食、ブドウ糖・補液で希釈して、1時間かけて投与する (30分以内の点滴静注は避ける)	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)ナプロフェン(皮膚外用剤を除く)を投与中 3)塩酸ナリドキシリン投与中 4)妊婦・妊娠可能性婦人 5)小児等 ただし、4)5)に対しては、炭疽に限り、治療上の有益性を考慮して投与	CPFX
★グレースビット錠 50mg (シタフロキサゾン) 錠:50mg 薬価 232.6円 第一三共	【効】咽頭・喉頭炎、扁桃炎(扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む)、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、子宮頸管炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎 【用】 1回50mg(1錠)を1日2回又は1回100mg(2錠)を1日1回 効果不十分な場合は1回100mg(2錠)を1日2回経口投与可	【禁】 1)本剤成分又は他のキノロン系抗菌薬過敏症の既往歴 2)妊婦又は妊娠可能性婦人 3)小児等	STFX

16-9 その他の抗生物質

9-1 抗MRSA薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」 【後発品】 (バンコマイシン塩酸塩) 注:0.5g 薬価 2,783 Meiji Seika ファルマ	【効】1. MRSA:敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、腹膜炎、化膿性髄膜炎 2. MRCNS:敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、腹膜炎、化膿性髄膜炎 3. PRSP:敗血症、肺炎、化膿性髄膜炎 4. MRSA 又は MRCNS 感染が疑われる発熱性好中球減少症 【用】 1日2gを1回0.5g6時間ごと又は1回1g12h毎に分割して、60分以上かけて点滴 小児・乳児:1日40mg/Kgを2～4回に分割 新生児:1回10～15mg/Kgを生後1週までの新生児に対しては12h毎、生後1ヵ月までの新生児に対しては8h毎に60分以上かけて点滴 高齢者:1回0.5gを12h毎又は1回1gを24h毎に60分以上かけて点滴	【警告】 耐性菌の発現を防ぐため、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を熟読の上、適正使用に努める 【禁】 本剤成分ショックの既往歴 【原・禁】 1)本剤成分・テイコプラニン、ペプチド系抗生物質、アミノグリコシド系抗生物質に対し過敏症の既往歴 2)ペプチド系抗生物質、アミノグリコシド系抗生物質、テイコプラニンによる難聴又はその他の難聴	VCM
塩酸バンコマイシン散0.5 【後発品】 (バンコマイシン塩酸塩)「MEEK」 散:0.5g 薬価 1,513.30 Meiji Seika ファルマ	用時溶解して使用 【効】骨髄移植時の消化管内殺菌 【用】 1回0.5gを非吸収性抗菌剤・抗真菌剤と併用して1日4～6回経口投与 【効】MRSA、クロストリジウム・デフィシルによる感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む） 【用】 1回0.125～0.5を1日4回経口投与	【警告】 耐性菌の発現を防ぐため、「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を熟読の上、適正使用に努める 【禁】 本剤成分ショックの既往歴	VCM
タゴシッド200mg【注射用】 ㉞ (テイコプラニン) 注:200mg 薬価 5,512 サノフィ	【効】MRSAによる敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染 【用】 初日400mg又は800mgを2回に分け、以後1日1回200mg又は400mgを30分以上かけて点滴 敗血症には800mgを2回に分け以後1日1回400mgを30分以上かけて点滴 乳児、幼児又は小児:10mg/kgを12時間間隔で3回、以後6～10mg/kg 敗血症:10mg/kgを24時間ごとに30分以上かけて点滴 新生児（低出生体重児を含む）:初回のみ16mg/kgを、以後8mg/kgを24時間ごとに30分以上かけて点滴	【禁】 本剤成分過敏症既往歴 【原・禁】 1)アミノグリコシド系抗生物質、ペプチド系抗生物質・バンコマイシン類に対し過敏症の既往歴のある患者 2)アミノグリコシド系抗生物質、ペプチド系抗生物質・バンコマイシン類による難聴又はその他の難聴のある患者	TEIC
ザイボックス注射液600mg (リネゾリド) 注:600mg 薬価 18,287 ファイザー	【効】本剤感性のMRSAによる敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎 本剤感性のバンコマイシン耐性エンテロкокス・フェシウムによる各種感染症 【用】 成人・12歳以上の小児:1日1200mgを2回に分け、1回600mgを12時間ごとに、それぞれ30分～2時間かけて点滴静注 12歳未満の小児:1回10mg/kgを8時間ごとに、それぞれ30分～2時間かけて点滴静注 1回投与量として600mgを超えない	【警告】 本剤の耐性菌の発現を防ぐため、「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を熟読の上、適正使用に努めること 【禁】 本剤成分過敏症の既往歴	LZD

9-2 ヘリコバクター・ピロリ除菌薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ラベキュアパック 400 (ラベプラゾール、アモキシシリン、クラリスロマイシン) パリエット錠 10 2T サワシリン錠 250 6T クラリス錠 200 2T/1シート 薬価 544.2 エーザイ	【効】〈適応菌種〉アモキシシリン、クラリスロマイシンに感性のヘリコバクター・ピロリ 〈適応症〉胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃 MALT リンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎 【用】 ラベプラゾールナトリウムとして1回10mg、アモキシシリン水和物として1回750mg 及びクラリスロマイシンとして1回200mg の3剤を同時に1日2回、7日間経口投与する。	【禁忌】 1)パリエット、サワシリン及びクラリスの成分に過敏症の既往歴 2)アタザナビル硫酸塩、リルピヒドリン塩酸塩、ピモジド、エルゴタミン含有製剤、タダラフィル[アドシルカ]、アスナプレビル、バニプレビル、スフレキサントを投与中 3)肝臓又は腎臓に障害のある患者で、コルヒチンを投与中 4)伝染性単核症の患者 5)高度の腎障害 【原・禁】 ペニシリン系抗生物質に過敏症の既往歴	

17 化学療法剤

17-1 抗結核剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
イスコチン錠 100mg (イソニアジド) 錠:100mg 薬価 9.60 第一三共	【効】肺結核 その他の結核症 【用】 1日2～5錠(必要時1日10錠まで増量可)を1～3回に分服 毎日又は1週間に2回服用 13歳未満は20mg/kg まで 他の抗結核薬と併用が望ましい	【禁】 重篤な肝障害 [懸濁] ○ [粉碎] ○	INH
エブトール 250mg 錠 (劇) (エタンブトール塩酸塩) 錠:250mg 薬価 18.60 科研	【効】肺結核 その他の結核症 【用】 1日3～4錠を1～2回に分服 他の抗結核薬と併用が望ましい 【効】MAC 症を含む非結核性抗酸菌症 【用】 2～3錠を1日1回経口服用 1日量として4錠まで	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 【原・禁】 1)視神経炎 2)糖尿病、アルコール中毒 3)乳・幼児 [懸濁] × [粉碎] ○	EB
リファジンカプセル 150mg (リファンピシン) C:150mg 薬価 30.60 第一三共	【効】肺結核およびその他の結核症 【用】 1日3Cを1回(原則として朝食前)服用 感性併用剤がある場合には週2日投与でもよい 他の抗結核薬と併用が望ましい 【効】ハンセン病 【用】 1回4Cを1カ月に1～2回又は1回3Cを1日1回毎日(原則として朝食前)他の抗ハンセン病剤と併用 【効】MAC 症を含む非結核性抗酸菌症 【用】 1回3Cを1日1回(原則として朝食前)服用 1日最大量4Cまで	【禁】 1)胆道閉塞症・重篤な肝障害 2)HIV 感染症 治療薬(インジナビル硫酸塩エタノール付加物、サキナビルメシル酸塩、ネルフィナビルメシル酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リビロリン塩酸塩、エルビテグラビル・コビスタット、ダクラタスビル塩酸塩、アスナプレビル又はバニプレビルを含有する製剤)、ホリコナゾール、プラジカンテル又はタダラフィル(アシルカ)・テラプレビル又はシメプレビルナトリウムを投与中 3)本剤成分過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [脱カプ] ○	RFP

カナマイシンカプセル 250mg (KM)・・・P145

硫酸ストレプトマイシン注射用 1g (SM)・・・P145

17-2 抗真菌剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ジフルカンカプセル 100mg (フルコナゾール) C:100mg 薬価 918.20 ファイザー	【効】カンジダ属及びクリプトコッカス属による下記感染症:真菌血症 呼吸器真菌症 消化管真菌症 尿路真菌症 真菌髄膜炎 【用】 カンジダ症:1日1回50~100mg 小児:1日1回3mg/kg クリプトコッカス症:1日1回50~200mg 重症:1日400mgまで 小児:1日1回3~6mg/kg 重症・難治性真菌感染症の場合:1日量として12mg/kgまで増量可 【効】造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防 【用】 1日1回400mg 小児:1日1回12mg/kg 1日量として400mgまで *新生児:生後14日までの新生児には、小児と同じ用量を72時間毎に投与 生後15日以降の新生児には、小児と同じ用量を48時間毎に投与 【効】カンジダ属に起因する肺炎及び外陰腔炎 【用】 1日1回150mg	【禁】 1)本剤過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)トリアゾラム、エルゴタミン、ジヒドロエルゴタミン、キニジン、ピモジド投与中 [懸濁] × [脱カプ] ○ 苦味あり	FLCZ
プロジフ静注液 100 プロジフ静注液 200 (ホスフルコナゾール) 注:100mg 薬価 5,405 200mg 薬価 10,090 ファイザー	【効】カンジダ属及びクリプトコッカス属による下記感染症:真菌血症、呼吸器真菌症、真菌腹膜炎、消化管真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎 【用】 カンジダ症:50~100mgを維持用量として1日1回静脈内に投与 ただし、初日、2日目は維持用量の倍量として、100~200mgを投与 クリプトコッカス症:50~200mgを維持用量として1日1回静脈内に投与 ただし、初日、2日目は維持用量の倍量として、100~400mgを投与 重症・難治性真菌感染症の場合:400mgまで維持用量を増量可 ただし、初日、2日目は維持用量の倍量として、800mgまで投与できる	【禁】 1)次の薬剤を投与中の患者:トリアゾラム、エルゴタミンジヒドロエルゴタミン、キニジン、ピモジド 2)本剤成分・フルコナゾールに対して過敏症の既往歴 3)妊婦・妊娠可能性婦人	F-FLCZ
フロリードゲル経口用 2% (ミコナゾール) ゲル:20mg/1g 5g 薬価 508 持田	カンジダ属による下記感染症 【効】口腔カンジダ症 【用】 1日200~400mg(ゲルとして10~20g)を4回に分け、口腔内に塗布 病巣が広範囲に存在する場合には、口腔内にできるだけ長く含んだ後、嚥下する 【効】食道カンジダ症 【用】 1日200~400mgを4回に分け口腔内に含んだ後、少量ずつ嚥下する	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)ピモジド、キニジン、トリアゾラム、シンバスタチン、アゼルニジピン、ニサルジピン、プロナセリン、エルゴタミン酒石酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、リバーロキサパン、アスナプレビルを投与中 3)妊婦・妊娠可能性婦人 【備】 投与期間は原則14日間	MCZ

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
イトリゾールカプセル 50 (イトラコナゾール) C:50mg 薬価 394.80 ヤンセン ファーマ	皮膚糸状菌(トリコフィトン属、ミクロスポリウム属、エピデルモフィトン属)、カンジダ属、マラセチア属、アスペルギルス属、クリプトコックス属、スチリコトリックス属、ホセキア属による 【効】 内臓真菌症(深在性真菌症) 真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎 【用】 2～4C を 1 日 1 回食直後に服用 イトラコナゾール注射剤からの切り替えの場合、1 回 4C を 1 日 2 回(1 日用量 400mg) 食直後に服用 【効】 深在性皮膚真菌症スチリコトリックス、クロモミコトリックス 【用】 2～4C を 1 日 1 回食直後に服用 1 日最高用量は 200mg 【効】 表在性皮膚真菌症(1) 白癬: 体部白癬、股部白癬、手白癬、足白癬、頭部白癬、ケルアス禿瘡、白癬性毛瘡(2) カンジダ症: 口腔カンジダ症、皮膚カンジダ症、爪カンジダ症、カンジダ性爪囲爪炎、カンジダ性毛瘡、慢性皮膚粘膜カンジダ症(3) 癬風、マラセチア毛包炎 【用】 1～2C を 1 日 1 回食直後に服用 ただし、爪カンジダ症及びカンジダ性爪囲爪炎に対しては、2C を 1 日 1 回食直後に服用 1 日最高用量は 200mg 【効】 爪白癬 【用】 1 回 4C を 1 日 2 回(1 日量 400mg) 食直後に 1 週間経口投与し、その後 3 週間休薬。これを 1 サイクルとし、3 サイクル繰り返す 表在性皮膚真菌症に対しては、難治性あるいは汎発性の病型に使用	【禁】 1) ヒモジド、キノジロン、ベプロリゾール、トリアゾラム、シンバスタチン、アゼルニジピン、ニソルジピン、エルゴタミン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン、バルデナフィル、エプレレノン、フロナセリン、シルデナフィル(レバチオ)、タダラフィル(アドシルカ)、アリスクリン、タビガトラン、リバーロキサバン、リオングアトを投与中 2) 本剤成分過敏症の既往歴 3) 重篤な肝疾患の現症、既往歴 4) 妊婦・妊娠可能性 5) 肝臓・腎臓に障害のある患者で、コルヒチンを投与中 [懸濁] ○16Fr. [脱カプ] ○	ITCZ
★ファンガード点滴用 50mg (ミカファンギンナトリウム) 注:50mg 薬価 6,762 アステラス	【効】 アスペルギルス属及びカンジダ属による下記感染症 真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症 【用】 1. 成人 アスペルギルス症: 1 日 1 回 50～150mg 点滴静注 重症又は難治性には 1 日 300mg/を上限とする カンジダ症: 1 日 1 回 50mg を点滴静注 重症又は難治性には 1 日 300mg を上限とする 注意 点滴静注には、生食、ブドウ糖注射液又は補液に溶解し、75mg 以下では 30 分以上、75mg を超えて投与する場合は 1 時間以上かけて行う。 2. 小児 アスペルギルス症: 1 日 1 回 1～3mg/kg を点滴静注 重症又は難治性には 1 日 6mg/kg を上限とする カンジダ症: 1 日 1 回 1mg/kg を点滴静注する 重症又は難治性には 1 日 6mg/kg を上限とする 注意: 点滴静注に際しては、生理食塩液、ブドウ糖注射液又は補液に溶解し、1 時間以上かけて行う	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴	MCFG

17-3 抗ウイルス薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
ゾピラックス点滴静注用 250 (アシクロビル) 注:250mg/V 薬価 3,993 グラクソ・スミスクライン	【効】単純ヘルペスウイルス及び水痘・帯状疱疹ウイルスに起因する感染症:免疫機能の低下した患者(悪性腫瘍・自己免疫疾患など)に発症した単純疱疹・水痘・帯状疱疹 脳炎・髄膜炎 【用】 1回 5mg/kg を1日3回 8時間毎に1時間以上かけて7日間点滴 脳炎・髄膜炎は上限1回 10mg/kg まで 小児:上限は1回 20mg/kg まで 脳炎・髄膜炎においては、投与期間の延長もできる 【効】新生児単純ヘルペスウイルス感染症 【用】 1回 10mg/kg を1日3回 8時間毎に1時間以上かけて10日間点滴 上限1回 20mg/kg まで	【禁】 本剤成分あるいはアシクロビル塩酸塩過敏症の既往歴	ACV
バルトレックス錠 500 (バレンシクロビル塩酸塩) 錠:500mg 薬価 436.00 グラクソ・スミスクライン	【効】単純疱疹(5日間使用/ただし、初発型性器ヘルペス:10日間まで使用可) 【用】 成人・体重40kg以上の小児には1回1錠を1日2回経口投与 【効】造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制 【用】 成人・体重40kg以上の小児には1回500mgを1日2回造血幹細胞移植施行7日前より施行後35日まで経口投与 【効】帯状疱疹(原則として皮疹出現後5日以内に投与開始/7日間使用) 【用】 成人・体重40kg以上の小児には1回2錠を1日3回経口投与 【効】性器ヘルペスの再発抑制(性器ヘルペスの発症を繰り返す患者<免疫正常患者においては、おむね年6回以上の頻度で再発する者>) 【用】 成人・体重40kg以上の小児には1回1錠を1日1回経口投与 HIV感染症(CD4リンパ球数100/mm ³ 以上)の患者には1回1錠を1日2回経口投与 【効】水痘(原則として皮疹出現後2日以内に投与開始/成人5~7日間、小児5日間使用) 【用】 成人・体重40kg以上の小児には1回2錠を1日3回経口投与	【禁】 本剤成分あるいはアシクロビル過敏症の既往歴 [懸濁] × [粉碎] ○苦味あり	VACV

アラセナA軟膏・・・P97

17-4 その他の化学療法剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考	略号
バクタ配合錠 (スルファメトキサゾール・トリメトプリム) 錠:配合剤 薬価 74.60 塩野義	【効】他の薬剤が無効の場合、あるいは使用不能の場合下記適応症:肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス 【用】 1日4錠を2回に分服 【効】ニューモシスチス肺炎、ニューモシスチス肺炎の発症抑制 【用】 治療に用いる場合:1日9~12錠を3~4回に分服 小児は1日15~20mg/kgを3~4回に分服 発症抑制に用いる場合:1日1回1~2錠を連日又は週3日経口投与 小児は1日4~8mg/kgを2回に分服、連日又は週3日経口投与	【警告】 血液障害、ショック等の重篤な副作用 【禁】 1)本剤成分・サルファ剤過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠可能性婦人 3)低出生体重児、新生児 4)グルコース-6-リン酸脱水素酵素(G-6-PD)欠乏患者 【原・禁】 1)血液障害・その既往歴 2)本人・両親、兄弟が気管支喘息、発疹、蕁麻疹等のアレルギー症状を起こしやすい体質を有する患者・他の薬剤過敏症の既往歴 [懸濁] ○ [粉碎] ○苦味あり	ST

17-5 抗インフルエンザウイルス薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
タミフルカプセル 75 (オセルタミビルリン酸塩) C:75mg 薬価 317.90 中外	【効】A型又はB型インフルエンザウイルス感染症及びその予防 【用】 治療:成人・体重37.5kg以上の小児には1日2Cを2回に分服、5日間経口投与 予防:1)成人 1回1Cを1日1回、7～10日間経口投与 2)体重37.5kg以上の小児 1回1Cを1日1回、10日間経口投与 <予防に用いる場合、原則としてインフルエンザウイルス感染症を発症している患者の同居家族・共同生活者である次の者を対象とする。(1)高齢者(65歳以上)(2)慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患患者(3)代謝性疾患患者(糖尿病等)(4)腎機能障害患者>	【警告】 1)本剤の必要性を慎重に検討すること 2)10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるが、異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されているため、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控える。小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、治療が開始された後は、(1)異常行動の発現のおそれがある(2)自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮する等患者・家族に対し説明を行う。なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行う 3)インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、本剤の予防使用はワクチンによる予防に置き換わるものではない。 【禁】 本剤成分過敏症の既往歴 【備】 インフルエンザ様症状のは発現から2日以内に投与を開始 C型インフルエンザウイルス感染症・細菌感染症には効果がない [懸濁] ○ [脱カプ] ○
イナビル吸入粉末剤 20mg (ラニナミビルオクタン酸エステル水和物) 吸入:キット 薬価 2,139.90 第一三共	【効】A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防 【用】 治療:成人;40mgを単回吸入投与。 小児;10歳未満の場合、20mgを単回吸入投与。 10歳以上の場合、40mgを単回吸入投与。 予防:成人及び10歳以上の小児;20mgを1日1回、2日間吸入投与。	【警告】 1)本剤の使用にあたっては、本剤の必要性を慎重に検討すること。2)インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、本剤の予防使用はワクチンによる予防に置き換わるものではない。 【禁】 本剤成分過敏症 【備】 治療:症状発現後、可能な限り速やかに投与を開始することが望ましい。予防:インフルエンザ感染症患者に接触後2日以内に投与を開始する。
ラピアクタ点滴静注液バッグ 300mg (ペラミビル水和物) 注:300mg/バッグ 薬価 6,216 塩野義	【効】A型又はB型インフルエンザウイルス感染症 【用】 成人:300mgを15分以上かけて単回点滴静注。合併症等により重症化するおそれのある患者には、1日1回600mgを15分以上かけて単回点滴静注。症状に応じて連日反復投与できる 小児:1日1回10mg/kgを15分以上かけて単回点滴静注。症状に応じて連日反復投与できる。投与量の上限は、1回量として600mgまで	【警告】 1)本剤の投与にあたっては、本剤の必要性を慎重に検討すること 2)本剤の予防投与における有効性及び安全性は確立していない 【禁】 本剤成分過敏症 【備】 経口剤や吸入剤等の他の抗インフルエンザウイルス薬の使用を十分考慮した上で、本剤の投与の必要性を検討すること C型インフルエンザウイルス感染症・細菌感染症には効果がない。

シンメトレル錠 50mg・・・P20

★：臨時採用藥

18 血清トキソイド・ワクチン類

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
献血ヴェノグロブリン I H5%静注 2.5%/50mL (ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン) 注:2500mg/V 薬価 24,303 ベネクス	【効】無又は低ガンマグロブリン血症 【用】1回200～600mg/kgを3～4週間隔で点滴静注・直接静注 【効】重症感染症における抗生物質との併用 【用】1回に1～2V、小児では1回100～150mg/kgを点滴・緩徐に静注 【効】特発性血小板減少性紫斑病(他剤が無効で著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合) 【用】1日200～400mg/kgを投与、5日間投して効果が認められない場合は中止 【効】川崎病の急性期(重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合):発病後7日以内に投与を開始することが望ましい 【用】1日400mg/kgを5日間又は2,000mg/kgを1回点滴 【効】※多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限る) ※全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る) 【用】1日400mg/kgを5日間点滴静注 【効】慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善 【用】1日400mg/kgを5日間連日点滴静注・直接静注 【効】天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合) 【用】1日400mg(8mL)/kg体重を5日間連日点滴静注 【効】血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制(ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る) 【用】人免疫グロブリンGとして初回は300mg(6mL)/kg体重、2回目以降は200mg(4mL)/kgを投与。投与間隔は、通常、4週間	【禁】1)本剤成分ショック既往歴 2)遺伝性果糖不耐症 【原・禁】本剤成分過敏症既往歴
沈降破傷風トキソイド(丸) 注:0.5mL 薬価 424 化血研	【効】破傷風の予防 *接種不適当者:(1)明らかな発熱を呈している者(2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者(3)本剤の成分によってアレルギーを呈したことがあることが明らかな者(4)上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある 【用】初回免疫:1回0.5mLを3～8週間隔で2回筋・皮下注 追加免疫:初回免疫後6ヶ月以上間隔をおいて(12～18ヶ月の間に)0.5mLを1回筋・皮下注	【注意】予防接種実施規則、予防接種実施要領に準拠し使用
テタノブリンー I H静注 250単位 (ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン) 注:250国際単位 薬価 3,899 ベネクス	【効】破傷風の発症予防 破傷風発症後の症状軽減のための治療 【用】治療:軽～中等症例1,500～3,000国際単位 重症例3,000～4,500国際単位 予防:250国際単位 重症外傷例1,500国際単位 広汎な第II度熱傷などの場合は適宜反復投与本剤は点滴・直接静注する 直接静注する場合は、きわめて徐々に行う	【禁】本剤成分ショック既往歴 【原・禁】本剤成分過敏症既往歴

医 薬 品 名 ・ 規 格 ・ 成 分 ・ 会 社	効 能 ・ 効 果 ・ 用 法 ・ 用 量	備 考
ヘブスブリン I H 静注 1000 単位 (ホリエチレン gly コール処理抗 H B s 人免疫グロブリン) 注:1000 単位/V 薬価 35,322	【効】HBs 抗原陽性血液の汚染事故後の B 型肝炎発症予防 【用】 成人:1 回 1000~2000 単位 小児:1 回 32~48 単位/Kg 投与時期は事故発生後 7 日以内 48 時間以内が望ましい 【効】HBs 抗原陽性のレシピエントにおける肝移植後の B 型肝炎再発抑制 【用】 成人:無肝期に 5,000~10,000 単位, 術後初期に 2,000~10,000 単位/日を投与 小児:無肝期に 100~200 単位/kg, 術後初期に 40~200 単位/kg/日を投与術後初期の投与は 7 日間以内 その後, 状態に応じ血中 HBs 抗体価 200~1,000 単位/L 以上を維持するように投与 【効】HBc 抗体陽性ドナーからの肝移植後のレシピエントにおける B 型肝炎発症抑制 【用】 成人:無肝期に 10,000 単位, 術後初期に 10,000 単位/日を投与 小児:無肝期に 200 単位/kg, 術後初期に 200 単位/kg/日体重を投与 術後初期の投与は 7 日間以内 その後, 状態に応じ血中 HBs 抗体価 200 単位/L 以上を維持するように投与	【禁】 1)HBs 抗原陽性者 2)本剤成分ショック既往歴 【原・禁】 本剤成分過敏症既往歴 【備】 直接静注するか, 又は生食など中性に近い補液に混じて点滴静注 直接静注する場合は, きわめて徐々に行う

19 診断用薬・X線造影剤

19-1 診断用薬

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果	備考
アンチレクス静注 10mg (劇) (エトローホニウム塩化物) 注:10mg/1mL 薬価 117 杏林	重症筋無力症の診断 筋弛緩剤投与後の遷延性呼吸抑制の作用機序の鑑別診断	【禁】 消化管・尿路の器質的閉塞
グルカゴンGノボ注射用 1mg (劇) (グルカゴン) 注:1U. S. P. 単位/1V 薬価 2,308 ノボ	成長ホルモン分泌機能検査 肝糖原検査 低血糖時の救急処置 消化管のX線及び内視鏡検査の前処置 胃の内視鏡的治療の前処置	【禁】 1) 褐色細胞腫及びその疑いのある患者 2) 本剤成分過敏症の既往歴
精製ツベルクリン (劇) (精製ツベルクリン) 注:一般診断用 1μg 薬価 1,039 日本ビーズジー	結核の診断	【原・禁】 1) 明らかな発熱を呈している 2) 重篤な急性疾患 3) まん延性の皮膚病 4) ツ反検査で水ほう・懷死等の強い反応を示したことのある者 5) 副腎皮質ホルモン剤使用者 6) 上記の他ツ反に不適当な状態
トレーランG液 50g (ブドウ糖) 液:150mL 薬価 144.60 味の素	糖尿病診断時の糖負荷試験	
ヨウ素・ヨウ化カリウム液 (ヨウ素・ヨウ化カリウム) 院内製剤	組織染色	【備】 ヨウ素 1.2% ヨウ化カリウム 2.4%
ユービット錠 100mg (尿素 (¹³ C)) 錠:尿素 (13C) 100mg 薬価 3,192.70 大塚	ヘリコバクター・ピロリの感染診断	
インジゴカルミン注 20mg (インジゴカルミン) 注:20mg/5mL 薬価 241 第一三共	腎機能検査(分腎機能測定による) 乳癌、悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定	【禁】 本剤成分過敏症の既往歴

19-2 X線造影剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果	備考
イオパミロン注 300 (イオパミトール) 注:20mL 薬価 1,919 50mL 薬価 4,040 イオパミロン注 300 シリンジ (イオパミトール) 注:100mL シリンジ 薬価 7,916 イオパミロン注 370 シリンジ (イオパミトール) 注:50mL シリンジ 薬価 4,788 100mL シリンジ 薬価 9,109 バイエル	300: 脳血管・大動脈・選択的血管・四肢血管・デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影、デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影、コンピュータ断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、逆行性尿路撮影 370: 血管心臓撮影(肺動脈撮影を含む)、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、デジタルX線撮影法による静脈性血管撮影、デジタルX線撮影法による動脈性血管撮影、コンピュータ断層撮影における造影、静脈性尿路撮影	【警告】 1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤は尿路・血管用造影剤であるので、脳槽・脊髄造影には使用禁止 【禁】 1)ヨード・ヨート造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 【原・禁】 1)一般状態の極度に悪い患者 2)気管支喘息 3)重篤な心障害 4)重篤な肝障害 5)重篤な腎障害(無尿等) 6)マクログロブリン血症 7)多発性骨髄腫 8)テナー 9)褐色細胞腫及び疑い患者 【備】 非イオン性
イソピスト注 240 (イソピラン) 注:240mg/mL 10mL 薬価 6,413 バイエル	脊髄撮影 コンピュータ断層撮影における脳室、脳槽、脊髄造影 関節撮影	【警告】 ショック等の重篤な副作用 【禁】 脊髄撮影、コンピュータ断層撮影における脳室、脳槽、脊髄造影:1)ヨード・ヨート造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 3)既往歴を含め、痙攣、てんかん及びその素質のある患者 関節撮影:1)ヨード・ヨート造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 【原・禁】 イオパミロン参照 【備】 非イオン性
イソピスト注 300 (イソピラン) 注:300mg/mL 10mL 薬価 8,516 バイエル	子宮卵管撮影 関節撮影	【警告】 1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤は子宮卵管・関節用造影剤であるので、脳槽・脊髄造影には使用しない 【禁】 子宮卵管撮影:1)ヨード・ヨート造影剤過敏症の既往歴 2)妊婦・妊娠している可能性 3)骨盤腔内に急性炎症性疾患のある患者 関節撮影:1)ヨード・ヨート造影剤過敏症の既往歴 【備】 非イオン性
オムニパーク 240 注 10mL (イオヘキソール) 注:240mg/mL 10mL 薬価 936 第一三共	コンピュータ断層撮影による脳槽・脊髄造影、頸部脊髄撮影、胸部脊髄撮影、腰部脊髄撮影	【警告】 1)ショック等の重篤な副作用 【禁】 1)ヨード・ヨート造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 3)既往歴を含め、痙攣、てんかんおよびその素質がある患者 【原・禁】 イオパミロン参照 【備】 非イオン性
オムニパーク 300 注シリンジ 100mL オムニパーク 300 注シリンジ 150mL (イオヘキソール) 注:3%100mL シリンジ 薬価 8,108 150mL シリンジ 薬価 12,903 第一三共	脳血管撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、デジタルX線撮影法による動・静脈性血管撮影、コンピュータ断層撮影における造影、静脈性尿路撮影	【警告】 1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤は尿路・血管・CT用造影剤であり、特に高濃度製剤については、脳・脊髄腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髄造影には使用しないこと 【禁】 1)ヨード・ヨート造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 【原・禁】 イオパミロン参照 【備】 非イオン性

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果	備考
ガストログラフィン経口・注腸用 (アミドトリゾ酸ナトリウムメグルミン) 内用液:76%100mL 薬価 15.90 バイエル	消化管撮影、コンピュータ断層撮影における上部消化管造影	【禁】ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴
ウログラフィン注 60% (アミドトリゾ酸ナトリウムメグルミン) 注:60% 20mL 薬価 503 100mL 薬価 2,512 バイエル	逆行性尿路撮影、内視鏡的逆行性膵胆管撮影、経皮経肝胆道撮影、関節撮影	【警告】1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤を脳・脊髓腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髓造影には使用しない 【禁】1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 【原・禁】イパミロン参照
オプチレイ 240 注シリンジ 100mL オプチレイ 320 注シリンジ 75mL オプチレイ 320 注シリンジ 100mL (イオヘールソール) 注:240 シリンジ 100mL 薬価 8,307 320 シリンジ 75mL 薬価 7,220 100mL 薬価 9,504 富士製薬工業	オプチレイ 240 シリンジ コンピューター断層撮影における造影 オプチレイ 320 シリンジ コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、脳血管撮影、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、デジタル X 線撮影法による動・静脈性血管撮影	【警告】1)ショック等の重篤な副作用 2)本剤を脳・脊髓腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髓造影には使用しない 【禁】1)ヨード・ヨード造影剤過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 【原・禁】イパミロン参照 【備】非イオン性
リピオドール 480 注 (ヨード化ケン油脂肪酸エチルエステル) 注:10mL 薬価 4,947 富士製薬工業	リンパ系撮影、子宮卵管撮影、医薬品又は医療機器の調製	【警告】1)ショック等の重篤な副作用 2)医薬品又は医療機器の調製:標的とする部位以外への流入で、重篤な胃穿孔、消化管出血、胃・十二指腸潰瘍、脳塞栓、肺塞栓、急性呼吸窮迫症候群、脊髄梗塞等が起こるおそれがあるため、投与に際しては標的とする部位以外への流入に注意するとともに、投与後は患者の状態を十分に観察すること。3)注射用エピルビシン塩酸塩の調製:緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法及び肝細胞癌に対する局所療法(経皮的エタノール注入療法、ラジオ波熱凝固療法、マイクロ波凝固療法、肝動脈塞栓療法・肝動脈化学塞栓療法、放射線療法等)に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤が適切と判断される症例にのみ使用すること。治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。4)ヒスタクリルの調製:(1)胃静脈瘤の塞栓療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、胃静脈瘤の内視鏡治療に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。(2)胃静脈瘤の塞栓療法後に、壊死/潰瘍による出血、菌血症、発熱、慢性的癒痕食道狭窄がまれに起こることがある。 【禁】1)本剤成分・ヨード過敏症の既往歴 2)重篤な甲状腺疾患 3)妊婦・妊娠している可能性婦人 【原・禁】1)呼吸機能の著しく低下している患者 2)リンパ管閉塞の明らかな患者、急性耳下腺炎・リンパ系に炎症のある患者 3)総ビリルビン値が3mg/dL以上の患者又は重度の肝障害(Child-Pugh 分類C)のある患者(注射用エピルビシン塩酸塩の調製) イパミロン 1)3)4)5)参照

硫酸バリウム製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果	備考
バリトップP 内用細粒：94.6% 200g 薬価 1.49/g カイゲンファーマ	消化管撮影	【禁】 経口・注腸 1) 消化管の穿孔又はその疑い 2) 消化管に急性出血のある患者 3) 全身衰弱の強い患者 4) 消化管の閉塞又はその疑い 5) 硫酸バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴
ネオダルムゾル 注腸専用：79% 400mL 薬価 1.35/mL カイゲンファーマ	消化管（大腸）撮影	
バムスターS100 水性懸濁液：100% 400mL 薬価 1.35/mL カイゲンファーマ	消化管撮影	
バリトゲン HD 内用末：98.6% 300g 薬価 1.46/g 伏見	消化管撮影	

19-3 MRI用造影剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果	備考
マグネビスト静注シリンジ (ガドリベント酸マグネシウム) 注：0.5mmol/mL 10mL シリンジ 薬価 6,286 15mL シリンジ 薬価 8,545 バイエル	磁気共鳴コンピュータ断層撮影における 脳・脊髄造影 躯幹部・四肢造影	【警告】 1) ショック、アナフィラキシー様症状等の重篤な副作用。特に気管支喘息の患者ではそれ以外の患者よりも高い頻度で重篤な副作用が発現するおそれがある。 2) 本剤の投与にあたっては、必ず救急処置の準備を行うこと。 3) 本剤を髄腔内に投与すると重篤な副作用を発現するおそれがあるので、髄腔内には投与しないこと。 4) 重篤な腎障害のある患者では、ガドリニウム造影剤による腎性全身性線維症の発現のリスクが上昇することが報告されているので、腎障害のある患者又は腎機能が低下しているおそれのある患者では、十分留意すること。 【禁】 1) 本剤成分・ガドリニウム系造影剤に対し過敏症の既往歴 2) 重篤な腎障害 【原・禁】 1) 一般状態の極度に悪い患者 2) 気管支喘息 3) 重篤な肝障害
リゾビスト注 (フェルカルボトラン) 注：44.6mg/1.6mL 薬価 17,418 富士フイルム RI ファーマ	磁気共鳴コンピュータ断層撮影における肝 腫瘍の局在診断のための肝臓造影	

19-4 造影補助剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果	備考
ガスコンドロップ内用液 2% (ジメチルポリシロキサン) 内用液：2%300mL 薬価 3.80 キッセイ	胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去 胃腸管内のガスに 起因する腹部症状の改善 腹部 X 線検査時における腸内ガスの駆除	

[illegible]

19-5 放射性医薬品

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP (クエン酸ガリウム(⁶⁷ Ga)) 注: 74MBq/mL 薬価 2,966/10MBq 日本メジファジックス	【効】 悪性腫瘍の診断 【用】 1. 11～1.48MBq/kg を静注し、24～72 時間後に、被検部をシンチレーションカメラ又はシンチレーションスキャンで撮影又は走査することによりシンチグラムをとる。 【効】 腹部膿瘍、肺炎、塵肺、サルコイドーシス、結核、骨髄炎、び慢性汎細気管支炎、肺線維症、胆のう炎、関節炎、などにおける炎症性病変の診断 【用】 1. 11～1.85MBq/kg を静注し、48～72 時間後に、被検部をシンチレーションカメラ又はシンチレーションスキャンで撮影又は走査することによりシンチグラムをとる。必要に応じて投与後 6 時間像をとることもできる。	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
テクネMDP注射液(740MBq) (メチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)) 注: 740MBq/2mL シリンジ 薬価 28,495 富士フイルム RI ファーマ	【効】骨シンチグラフィによる骨疾患の診断 【用】 370～740MBq を静注し、2 時間以後にシンチレーションカメラ又はシンチレーションカメラを用いてディテクタを体外より骨診断箇所に向けて走査又は撮影することにより骨シンチグラムを得る。 【効】脳シンチグラフィによる脳腫瘍及び脳血管障害の診断 【用】 740～925MBq を静注し、静注直後より速やかにディテクタを体外より頭部に向けて走査又は撮影することにより、RI アンギオグラムを得る。また、RI アンギオグラフィ終了後に撮影することにより、早期シンチグラムを得る。さらに静注 2 時間以後に撮影することにより遅延シンチグラムを得る。	
塩化タリウム(^{201}Tl)注NMP (塩化タリウム(^{201}Tl)) 注: 薬価 4,444/MBq 日本メジファジックス	【効】心筋シンチグラフィによる心臓疾患の診断 【用】 74MBq を肘静脈より投与し、投与後 5～10 分よりシンチレーションカメラで正面像、左前斜位像、左側面像を含む多方向におけるシンチグラムを得る。 【効】腫瘍シンチグラフィによる脳腫瘍、甲状腺腫瘍、肺腫瘍、骨・軟部腫瘍及び縦隔腫瘍の診断 【用】 脳腫瘍では 55.5～111MBq、甲状腺腫瘍、肺腫瘍、骨・軟部腫瘍及び縦隔腫瘍では 55.5～74MBq を静脈内に投与し、投与後 5～10 分よりシンチレーションカメラで被検部を撮像することによりシンチグラムを得る。必要に応じ、投与後約 3 時間に撮像を行う。 【効】副甲状腺シンチグラフィによる副甲状腺疾患の診断 【用】 74MBq を静脈内に投与し、投与後 5～10 分よりシンチレーションカメラで被検部を撮像することによりシンチグラムを得る。必要に応じ、甲状腺シンチグラフィによるサブトラクションを行う。	
テクネシンチ注-10M (過テクネチウム酸ナトリウム(^{99m}Tc)) 注: 370MBq/1mL 薬価 284 日本メジファジックス	【効】脳腫瘍及び脳血管障害の診断 【用】 74～740MBq を静注し、静注後 10～30 分までに(やむを得ず経口投与の場合は 1～2 時間後に)被検部のシンチグラムを得る。 【効】甲状腺疾患の診断 【用】 74～370MBq を静注し、静注後被検部のシンチグラムを得る。同時に甲状腺摂取率を測定する場合には、投与量のカウントと被検部のカウントの比から甲状腺摂取率を測定する。また、7.4～74MBq を静注することにより、甲状腺摂取率のみを測定することもできる。 【効】唾液腺疾患の診断 【用】 185～555MBq を静注し、静注後被検部のシンチグラムを得る。必要に応じ、唾液分泌刺激物による負荷を行い、負荷後のシンチグラムを得る。また、時間放射能曲線を作成することにより、RI シェッドグラムを得ることもできる。 【効】異所性胃粘膜疾患の診断 【用】 185～370MBq を静注し、静注後被検部のシンチグラムを得る。	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ミオミBG-1123 注射液 (3-ヨートベンジルゲアニジン(¹²³ I)) 注：111MBq/1.5mL シリンジ 薬価 3,963 富士フイルム RI ファーマ	【効】心シンチグラフィによる心臓疾患の診断 【用】 111MBq を静脈より投与し、約 15 分後以降にガンカメラを用いて心シンチグラムを得る。必要に応じて、3～6 時間後の心シンチグラムを得る。必要に応じて、運動負荷時投与の心シンチグラムを得る。 【効】腫瘍シンチグラフィによる下記疾患の診断 【用】 1) 神経芽腫：小児には、400MBq を最大用量として 200～400MBq/1.7m ² （体表面積）を静脈より投与し、6 時間後及び 24 時間後にガンカメラを用いて腫瘍シンチグラムを得る。必要に応じて、48 時間後の腫瘍シンチグラムを得る。成人への投与量は、200～400MBq とし、年齢、体重により適宜増減する。	
ニューロライト注射液 第一（〔N,N'-エチレンジーレート(3-)] オキソテクネウム (99mTc), シェルエステル) 注：600MBq/3mL シリンジ 薬価 43,506 富士フイルム RI ファーマ	【効】局所脳血流シンチグラフィ 【用】 400～800MBq を静脈内に投与し、投与 5 分以降より被検部にガンカメラ等の検出部を向け撮像もしくはデータを収録し、脳血流シンチグラムを得る。	
テクネMAAキット V：1mL 薬価 4,237 富士フイルム RI ファーマ	【効】肺シンチグラムによる肺血流分布異常部位の診断 【用】 テクネウム大凝集人血清アルブミン注射液を調整し（添付文書参照）、得られたテクネウム大凝集人血清アルブミン注射液をよく振り混ぜたのち注射筒にその 37～370MBq をとり被検者に静注する。静注 30 秒～3 分後にプローブ型シンチレーションスキャナー又はシンチカメラを用いてディテクターを体外より肺野部に向けて走査又は撮影することにより肺シンチグラムを得る。	
ダットスキャン静注 (イオフルパシ (¹²³ I)) 注：2.25mL/V 薬価 56,636 日本メジファジックス	【効】パーキンソン症候群・レビー小体型認知症の診断におけるドパミントランスポーターシンチグラフィ 【用】 1V(111～185MBq) を静脈内投与し、投与後 3～6 時間に頭部のシンチグラムを得る。	【禁】 本剤及び本剤成分過敏症
ラングシンチ Tc-99m 注 ^{後発品} (テクネウム大凝集人血清アルブミン (99mTc)) 注：2mL/1V 薬価 531 日本メジファジックス	【効】各種肺疾患並びに肺循環障害を併発する心疾患の肺血流分布異常部位の診断 【用】 よく振り混ぜた後、成人には 37～185MBq を肘静脈内に注射し、注射直後から被検部をガンカメラ又はスキャナで撮像することにより肺シンチグラムをとる。投与量は年齢、体重により適宜増減する。	【禁】 1) 右心側から左心側への血管シャントのあるチアノーゼを呈する患者 2) 肺血流に高度の抵抗がある患者（肺高血圧症、膠原病等）

19-6 ヨウ素製剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
ヨウ化カリウム丸 50mg (ヨウ化カリウム) 丸:50mg 薬価 5.60 日医工	【効】 甲状腺腫(甲状腺機能亢進症を伴うもの) 【用】 1日5～50mgを1～3回に分割経口投与。 【効】 慢性気管支炎、喘息に伴う喀痰喀出困難、第三期梅毒 【用】 1回0.1～0.5gを1日3～4回経口投与。 【効】 放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予防・低減 【用】 13歳以上には1回100mg、3歳以上13歳未満には1回50mg、生後1ヵ月以上3歳未満には1回32.5mg、新生児には1回16.3mgを経口投与。	【禁】 1)本剤成分又はヨウ素に対し過敏症の既往歴 2)肺結核

19-7 診断補助剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アデノスキャン注 60mg (アデノシン) 注:60mg/20mL 薬価 13,556 第一三共	【効】 十分に運動負荷をかけられない患者において心筋血流シンチグラフィによる心臓疾患の診断を行う場合の負荷誘導 【用】 1分間当たりアデノシンとして120 μ g/kgを6分間持続静脈内投与する(アデノシン総投与量0.72mg/kg)。	【警告】 1)本剤投与により下記の副作用等が発現するおそれがあるので、蘇生処置ができる準備をしておくこと。負荷試験中(本剤投与開始から心筋シンチグラフィ施行終了時まで)は血圧及び心電図の継続した監視を行い、注意深く患者を観察すること。検査の継続が困難と判断した場合には検査を中断し、本剤投与中であれば直ちに投与を中止すること。(1)致死的心停止、心室頻拍、心室細動、非致死性心筋梗塞を発現することがある。特に不安定狭心症患者は、その危険性が増大するおそれがあるので、薬物治療によっても安定化しない不安定狭心症の患者には投与しないこと。(2)房室ブロックが発現することがある。特に房室ブロックを有している患者では、症状が増悪するおそれがある。(3)過度の血圧低下を起こすことがある。特に交感神経機能異常、狭窄性心臓弁疾患、心膜炎や心膜滲出、脳血流不全を伴う狭窄性頸動脈疾患、未処置の循環血液量減少等の患者では症状が増悪するおそれがある。(4)呼吸困難が発現することがある。特に慢性閉塞性肺疾患(肺気腫、慢性気管支炎等)のある患者ではその危険性が増大するおそれがあり、負荷試験後の回復期間も含め、注意深く観察すること。2)喘息等の気管支攣縮性肺疾患のある患者、その既往のある患者あるいはその疑いのある患者に本剤が投与された場合、呼吸停止を含む重篤な呼吸障害を発症することがあるので、これらの疾患に関する病歴調査を必ず行い、疑わしい場合は本剤を投与しないこと。 【禁】 1)薬物治療によっても安定化しない不安定狭心症 2)II度又はIII度房室ブロック 3)洞不全症候群又は症候性の著しい洞性徐脈のある患者(人工ペースメーカーが装着されている患者を除く) 4)QT延長症候群 5)高度な低血圧 6)代償不全状態にある心不全の患者 7)喘息等の気管支攣縮性肺疾患のある患者、その既往のある患者あるいはその疑いのある患者 8)アデノシンに過敏症の既往歴

20 漢方製剤

20-1 ツムラ

用法・用量

1) 1日 7.5g を 2～3 回食前又は食間に分服

2) 次の品目は 1日 9.0g を 2～3 回食前又は食間に分服

No. 19 ツムラ 小青竜湯

No. 29 ツムラ 麦門冬湯

No. 90 ツムラ 清肺湯

No. 114 ツムラ 柴苓湯

3) 次の品目は 1日 15.0g を 2～3 回食前又は食間に分服

No. 99 ツムラ 小建中湯

No. 100 ツムラ 大建中湯

※規格 1) 1包 2.5g (1包 2.5g でないものは医薬品名の欄に 1包の g 数を記す)

No.	医薬品名	薬価/g	効能効果	備考
1	ツムラ 葛根湯	薬価 9.00	感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患（結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎）、肩こり、上半身の神経痛、じんましん	
3	ツムラ 乙字湯	薬価 16.50	札痔、休痔	
5	ツムラ 安中散	薬価 7.70	神経性胃炎、慢性胃炎、胃アトニー	
7	ツムラ 八味地黄丸	薬価 10.70	腎炎、糖尿病、陰萎、坐骨神経痛、腰痛、脚気、膀胱がん、前立腺肥大、高血圧	
8	ツムラ 大柴胡湯	薬価 24.00	胆石症、胆嚢炎、黄疸、肝機能障害、高血圧症、脳溢血、じんましん、胃酸過多症、急性胃腸がん、悪心、嘔吐、食欲不振、痔疾、糖尿病、ノイローゼ、不眠症	
9	ツムラ 小柴胡湯	薬価 31.50	諸種の急性熱性病、肺炎、気管支炎、気管支喘息、感冒、リンパ腺炎、慢性胃腸障害、産後回復不全、慢性肝炎における肝機能障害の改善	【警告】間質性肺炎【禁】1) インターフェロン投与中 2) 肝硬変、肝癌 3) 慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が 10 万/mm ³ 以下
10	ツムラ 柴胡桂枝湯	薬価 26.10	感冒・流感・肺炎・肺結核などの熱性疾患、胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胆のう炎・胆石・肝機能障害・脾臓炎などの心下部緊張疼痛	
12	ツムラ 柴胡加竜骨牡蛎湯	薬価 22.40	高血圧症、動脈硬化症、慢性腎臓病、神経衰弱症、神経性心悸亢進症、てんかん、ヒステリー、小児夜啼症、陰萎	
14	ツムラ 半夏瀉心湯	薬価 24.30	急・慢性胃腸がん、醗酵性下痢、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症	【禁】1) アルドステロン症 2) ミオパシー 3) 低カリウム血症
15	ツムラ 黄連解毒湯	薬価 15.30	鼻出血、高血圧、不眠症、ノイローゼ、胃炎、二日酔、血の道症、めまい、動悸、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症	
16	ツムラ 半夏厚朴湯	薬価 10.20	不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、神経性食道狭窄症、不眠症	
17	ツムラ 五苓散	薬価 15.10	浮腫、ノイローゼ、二日酔い、急性胃腸がん、下痢、悪心、嘔吐、めまい、胃内停水、頭痛、尿毒症、暑気あたり、糖尿病	
18	ツムラ 桂枝加朮附湯	薬価 10.70	関節痛、神経痛	
19	ツムラ 小青竜湯 (1包 3g)	薬価 14.10	気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、感冒	【禁】1) アルドステロン症 2) ミオパシー 3) 低カリウム血症
20	ツムラ 防己黄耆湯	薬価 10.50	腎炎、ノイローゼ、妊娠腎、陰嚢水腫、肥満症、関節炎、癰、せつ、筋炎、浮腫、皮膚病、多汗症、月経不順	

No.	医薬品名	効能効果	備考
22	ツムラ 消風散 薬価 13.30	分泌物が多く、かゆみの強い慢性の皮膚病(湿疹、蕁麻疹、水虫、あせも、皮膚掻痒症)	
25	ツムラ 桂枝茯苓丸 薬価 9.20	子宮並びにその付属器の炎症、子宮内膜炎、月経不順、月経困難、帯下、更年期障害(頭痛、めまい、のぼせ、肩こり等)、冷え性、腹膜炎、打撲症、痔疾患、睾丸炎	
27	ツムラ 麻黄湯 薬価 8.10	感冒、インフルエンザ(初期のもの)、関節リウマチ、喘息、乳児の鼻閉塞哺乳困難	
28	ツムラ 越婢加朮湯 薬価 11.60	腎炎、ネフローゼ、脚気、関節リウマチ、夜尿症、湿疹	
29	ツムラ 麦門冬湯(1包3g) 薬価 18.30	痰のきれにくい咳、気管支炎、気管支喘息	
30	ツムラ 真武湯 薬価 9.40	胃腸疾患、胃腸虚弱症、慢性腸炎、消化不良、胃アトニー症、胃下垂症、ネフローゼ、腹膜炎、脳溢血、脊髄疾患による運動ならびに知覚麻痺、神経衰弱、高血圧症、心臓弁膜症、心不全で心悸亢進、半身不随、リウマチ、老人性掻痒症	
32	ツムラ 人參湯 薬価 15.00	急性・慢性胃腸カタル、胃アトニー症、胃拡張、悪阻(つわり)、萎縮腎	【禁】1)アルドステロン症 2)ミオパシー 3)低カリウム血症
35	ツムラ 四逆散 薬価 18.20	胆嚢炎、胆石症、胃炎、胃酸過多、胃潰瘍、鼻カタル、気管支炎、神経質、ヒステリー	
37	ツムラ 半夏白朮天麻湯 薬価 25.20	胃腸虚弱で下肢が冷え、めまい、頭痛などがあるもの	
38	ツムラ 当帰四逆加呉茱萸生姜湯 薬価 11.3	しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛	
39	ツムラ 苓桂朮甘湯 薬価 7.30	神経質、ノイローゼ、めまい、動悸、息切れ、頭痛	
40	ツムラ 猪苓湯 薬価 15.10	尿道炎、腎臓炎、腎石症、淋炎、排尿痛、血尿、腰以下の浮腫、残尿感、下痢	
41	ツムラ 補中益気湯 薬価 25.00	夏やせ、病後の体力増強、結核症、食欲不振、胃下垂、感冒、痔、脱肛、子宮下垂、陰萎、半身不随、多汗症	
43	ツムラ 六君子湯 薬価 20.00	胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐	
47	ツムラ 釣藤散 薬価 15.50	慢性に続く頭痛で中年以降、または高血圧の傾向のあるもの	
48	ツムラ 十全大補湯 薬価 20.20	病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血	
51	ツムラ 潤腸湯 薬価 9.30	便秘	
52	ツムラ ヨク苡仁湯 薬価 10.20	関節痛、筋肉痛	
53	ツムラ 疎経活血湯 薬価 10.40	関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛	
54	ツムラ 抑肝散 薬価 11.80	神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症	
60	ツムラ 桂枝加芍薬湯 薬価 8.30	しぶり腹、腹痛	
61	ツムラ 桃核承気湯 薬価 9.10	月経不順、月経困難症、月経時や産後の精神不安、腰痛、高血圧の随伴症状(頭痛、めまい、肩こり)、便秘	
62	ツムラ 防風通聖散 薬価 9.10	高血圧の随伴症状(どうき、肩こり、のぼせ)、肥満症、むくみ、便秘	
63	ツムラ 五積散 薬価 9.60	胃腸炎、腰痛、神経痛、関節痛、月経痛、頭痛、冷え性、更年期障害、感冒	
68	ツムラ 芍薬甘草湯 薬価 7.40	急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉・関節痛、胃痛、腹痛	【禁】1)アルドステロン症 2)ミオパシー 3)低カリウム血症
73	ツムラ 柴陷湯 薬価 34.90	咳、咳による胸痛	

No.	医薬品名		効能効果	備考	
84	ツムラ 大黃甘草湯	薬価 5.30	便秘		
86	ツムラ 当帰飲子	薬価 13.50	慢性湿疹(分泌物の少ないもの)、かゆみ		
88	ツムラ 二朮湯	薬価 12.20	五十肩		
90	ツムラ 清肺湯 (1包 3g)	薬価 11.10	痰の多く出る咳		
99	ツムラ 小建中湯	薬価 5.30	小児虚弱体質、疲労倦怠、神経質、慢性胃腸炎、小児夜尿症、夜なき		
100	ツムラ 大建中湯	薬価 9.60	腹が冷えて痛み、腹部膨満感のあるもの		
104	ツムラ 辛夷清肺湯	薬価 17.00	鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症		
107	ツムラ 牛車腎気丸	薬価 11.80	下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ		
108	ツムラ 人參養栄湯 (1包 3g)	薬価 21.80	病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血		
112	ツムラ 猪苓湯合四物湯	薬価 24.80	排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿		
113	ツムラ 三黄瀉心湯	薬価 14.10	高血圧の随伴症状(のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安)、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症		
114	ツムラ 柴苓湯 (1包 3g)	薬価 49.20	水瀉性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ		
126	ツムラ 麻子仁丸	薬価 7.10	便秘		
134	ツムラ 桂枝加芍薬大黃湯	薬価 9.30	1) 急性腸炎、大腸カタル 2) 常習便秘、宿便、しぶり腹		

21 麻薬

統・禁：1) 重篤な呼吸抑制・肝障害 2) 気管支喘息発作中 3) 慢性肺疾患に続発する心不全 4) 痙攣状態 5) 急性アルコール中毒

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
モルヒネ塩酸塩水和物「タケダ」 (劇) 散：10% 薬価 2,203.00 武田	【効】 激しい疼痛時における鎮痛・鎮静 激しい咳嗽発作における鎮咳 激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動運動の抑制 硬膜外及びくも膜下投与の場合：激しい疼痛時における鎮痛 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【用】 1回 5～10mg 1日 15mg を服用	【警告】 注射のみ 本剤の硬膜外・くも膜下投与は、これらの投与法に習熟した医師のみにより、本剤の投与が適切と判断される患者についてのみ実施すること。 【禁】 末・注 統・禁 1) 2) 3) 4) 5) アヘン酩酊 [®] に対し過敏症 出血性大腸炎 注射のみ 硬膜外投与：(1) 注射部位・その周辺に炎症 (2) 敗血症 くも膜下投与：(1) 注射部位・その周辺に炎症 (2) 敗血症 (3) 中枢神経系疾患(髄膜炎、灰白脊髄炎、脊髄瘍等) (4) 脊髄・脊椎に結核、脊椎炎及び転移性腫瘍等の活動性疾患 坐 統・禁 1) 2) 3) 4) 5) 本剤成分・アヘン酩酊 [®] に対し過敏症 【原・禁】 末・注 細菌性下痢症
モルヒネ塩酸塩注射液 10mg (劇) モルヒネ塩酸塩注射液 50mg (劇) (モルヒネ塩酸塩水和物) 注：10mg/1mL 薬価 299 50mg/5mL 薬価 1,346 武田	【効】 激しい疼痛時における鎮痛・鎮静 激しい咳嗽発作における鎮咳 激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動運動の抑制 麻酔前投薬 麻酔の補助 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【用】 1回 5～10mg を皮下 〈中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛〉：1回 50～200mg を持続点滴・皮下注 〈硬膜外〉：1回 2～6mg を硬膜外腔に注入 持続注入する場合は1日量 2～10mg 〈くも膜下〉：1回 0.1～0.5mg をくも膜下腔に注入	
アンペック坐剤 10mg (劇) アンペック坐剤 20mg (劇) (モルヒネ塩酸塩水和物) 坐：10mg 薬価 322.10 20mg 薬価 612.30 大日本住友	【効】 激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【用】 1日 20～120mg を2～4回に分割し直腸内に投与 モルヒネ製剤として初めて投与する際は10mgより開始適宜増減	
オプソ内服液 5mg (劇) (モルヒネ塩酸塩) 液：5mg/2.5mL 薬価 121.20 10mg/5mL 薬価 224.90 大日本住友	【効】 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【用】 1日 30～120mg を6回に分服	【禁】 統・禁 1) 2) 3) 4) 5) 本剤成分・アヘン酩酊 [®] に対し過敏症 出血性大腸炎 【原・禁】 細菌性下痢症

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
MSコンチン錠 10mg (劇) MSコンチン錠 30mg (劇) MSコンチン錠 60mg (劇) (モルヒネ硫酸塩水和物) 錠:10mg 薬価 241.10 30mg 薬価 700.50 60mg 薬価 1,264.70 塩野義	【効】 激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【用】 1日 20～120mg を2回に分服 初回量は10mg とすることが望ましい	【禁】 統・禁 1)2)3)4)5) 出血性大腸炎 アヘン酩酊中毒過敏症 【原・禁】 細菌性下痢症
オキシコンチン錠 5mg (劇) オキシコンチン錠 10mg (劇) (オキシコドン塩酸塩水和物) 錠:5mg 薬価 144.30 10mg 薬価 270.30 塩野義	【効】 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【用】 1日 10～80mg を2回に分服	【禁】 統・禁 2)3)4)6) 重篤な呼吸抑制・慢性閉塞性肺疾患 麻痺性イレウス アヘン酩酊中毒過敏症 出血性大腸炎 【原・禁】 細菌性下痢症
オキノーム散 2.5mg (劇) (オキシコドン塩酸塩水和物) 散:2.5mg/0.5g (包) 薬価 67.10 塩野義	【効】 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛 【用】 1日 10～80mg を4回に分服	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
フェンタニル注射液 0.1mg ㉔ (フェンタニルケエン酸塩) 注:0.1mg/2mL 薬価 302 第一三共	【効】全身麻酔、全身麻酔における鎮痛 【用】 バランス麻酔:麻酔導入時 0.03～0.16mL/Kg を緩徐に静注・点滴 麻酔維持ブドウ糖などに希釈して、1. 間欠投与 0.5～1mL ずつ静注 2. 持続投与 0.01～0.1mL/kg/h の速さで点滴 大量フェンタニル麻酔 :麻酔導入時 0.4～3mL/kg を緩徐に静注・点滴 麻酔維持 0.4～0.8mL/kg/h の速さで点滴 小児 :バランス麻酔・大量フェンタニル麻酔・・・麻酔導入時 0.02～0.1mL/kg を緩徐に静注・ブドウ糖などに希釈して点滴 大量フェンタニル麻酔に用いる場合は、2mL/kg まで投与できる。麻酔維持 0.02～0.1mL/kg ずつ間欠的に静注・ブドウ糖などに希釈して点滴 【効】局所麻酔における鎮痛の補助 【用】 0.02～0.06mL/kg を静注 【効】激しい疼痛(術後疼痛、癌性疼痛など)に対する鎮痛 【用】 静脈内投与:0.02～0.04mL/kg を緩徐に静注後、0.02～0.04mL/kg/h の速さで点滴 癌性疼痛に対して点滴する場合は、1 日 2～6mL から開始硬膜外投与:単回投与法 1 回 0.5～2mL を硬膜外腔に注入 持続注入法 0.5～2mL/h の速さで硬膜外腔に持続注入 くも膜下投与:単回投与法 1 回 0.1～0.5mL をくも膜下腔に注入	【警告】 本剤の硬膜外・くも膜下投与は、これらの投与法に習熟した医師のみにより、本剤の投与が適切と判断される患者についてのみ実施すること。 【禁】 1) 注射部位・その周辺に炎症 投与方法○硬膜外投与○くも膜下投与 2) 敗血症 投与方法○硬膜外投与○くも膜下投与 3) 中枢神経系疾患 (髄膜炎、灰白脊髄炎、脊髄瘍等) 投与方法○くも膜下投与 4) 脊髄・脊椎に結核、脊椎炎及び転移性腫瘍等の活動性疾患 投与方法○くも膜下投与 5) 筋弛緩剤使用が禁忌 投与方法○静脈内投与○硬膜外投与○くも膜下投与 6) 本剤成分過敏症の既往歴 投与方法○静脈内投与○硬膜外投与○くも膜下投与 7) 頭部外傷、脳腫瘍等による昏睡状態のような呼吸抑制を起こしやすい 投与方法○静脈内投与○硬膜外投与○くも膜下投与 8) 痙攣発作の既往歴 投与方法○静脈内投与○硬膜外投与○くも膜下投与 9) 喘息 投与方法○静脈内投与○硬膜外投与○くも膜下投与
デュロテップMTパッチ 2.1mg ㉔ デュロテップMTパッチ 4.2mg ㉔ デュロテップMTパッチ 8.4mg ㉔ (フェンタニル) 貼付剤:2.1mg 薬価 1,879.00 4.2mg 薬価 3,381.30 8.4mg 薬価 6,362.70 ヤンセンファーマ	【効】非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な中等度から高度の疼痛を伴う各種癌、中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛 (ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る。) 【用】 胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、3 日毎(約 72 時間)に貼り替えて使用 初回貼付用量は本剤投与前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、2.1mg (12.5 µg/hr)、4.2mg (25 µg/hr)、8.4mg (50 µg/hr)、12.6mg (75 µg/hr) のいずれかの用量を選択 その後適宜増減可	【警告】 本剤の温度が上昇するとフェンタニルの吸収量が増加し、過量投与になり、死に至るおそれがある。本剤貼付中は、外部熱源への接触、熱い温度での入浴等を避けること。発熱時には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に注意すること。 【禁】 1) 本剤成分過敏症 【備】 モルヒネ製剤から切り替えて使用

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
イーフェンバツカル錠 50μg (劇) ★イーフェンバツカル錠 200μg (劇) (フェンタニルクエン酸塩) バツカル錠: 50 μ g 薬価 514.80 200 μ g 薬価 1,002.1 大鵬薬品工業	【効】強力オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛 【用】 1回の突出痛に対して、50又は100 μ gを開始用量とし、上顎臼歯の歯茎と頬の間で溶解させる。用量調節期に、症状に応じ、1回50、100、200、400、600、800 μ gの順に一段階ずつ適宜調節し、至適用量を決定する。なお、用量調節期に1回の突出痛に対して1回50～600 μ gのいずれかの用量で十分な鎮痛効果が得られない場合には、投与から30分後以降に同一用量までの本剤を1回のみ追加投与可。 維持期には、1回の突出痛に対して至適用量を1回投与することとし、1回用量の上限は800 μ gとする。 ただし、用量調節期の追加投与を除き、前回の投与から4時間以上の投与間隔をあげ、1日当たり4回以下の突出痛に対する投与にとどめること。	【警告】 小児が誤って口に入れた場合、過量投与となり死に至るおそれがあることを患者等に説明し、必ず本剤を小児の手の届かないところに保管するよう指導すること。 【禁】 本剤成分過敏症 【備】 癌における突出痛の鎮痛以外の管理に使用しないこと。
コデインリン酸塩散 10% (劇) (コデインリン酸塩水和物) 散:10% (10倍散) 薬価 147.10 武田	【効】各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静 疼痛時における鎮痛 激しい下痢症状の改善 【用】 1日0.6gを3回に分服	【禁】 統・禁 1)2)3)4)5) 出血性大腸炎 アヘンalkaloid過敏症 【原・禁】 細菌性下痢症
ケタラール静注用 200mg (劇) (ケタミン塩酸塩) 注:200mg/20mL 薬価 718 第一三共	【効】手術、検査および処置時の全身麻酔および吸入麻酔の導入 【用】 初回量1～2mg/Kg 緩徐 (1分間以上) に静注	【禁】 1)本剤成分過敏症の既往歴 2)脳血管障害、高血圧、脳圧亢進症、重症心代償不全 3)痙攣発作の既往歴 4)外来患者

22 殺菌消毒剤

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
アクリノール 0.1%液 (アクリノール) 液:0.1% 500mL 薬価 0.72/mL ヨシダ	【効】化膿局所の消毒 泌尿器・産婦人科術中術後、化膿性疾患（せつ、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎）口腔領域 【用】化膿局所 0.05～0.2% 含嗽 0.05～0.1%	滅菌済
イソジン液 10% (ポピドンヨード) 液:10% 薬価 2.78/mL Meiji Seika ファルマ	【効】手術部位(手術野)の皮膚の消毒、手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚、粘膜の創傷部位の消毒、熱傷皮膚面の消毒、感染皮膚面の消毒 【用】そのまま塗布	【禁】本剤・ヨウ素過敏症の既往歴
オキシドール (過酸化水素) 液:3% 薬価 0.74/mL 局	【効】創傷・潰瘍の殺菌・消毒 【用】原液・2～3 倍希釈 【効】外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎等の粘膜の炎症 【用】原液・2～10 倍希釈 【効】口腔粘膜の消毒、齦窩・根管の清掃・消毒 歯の洗浄 【用】原液・2 倍希釈 【効】口内炎の洗口 【用】10 倍希釈	【禁】瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位
エコ消エタ消毒液 (エタノール) 液:76.9～81.4% 薬価 0.63/mL 吉田	【効】手指・皮膚の消毒 手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療用具の消毒 【用】そのまま消毒部位に塗布	【禁】損傷皮膚・粘膜
オスバン消毒液 10% (ベンザルコニウム塩化物) 液:10% 500mL 薬価 0.66/mL 日本製薬	【効】手指・皮膚の消毒 【用】0.05～0.1%に浸して洗い清拭する 術前の手洗いには5～10 分間ブラッシング 【効】手術部位（手術野）の皮膚の消毒(0.05%ザルコニウムを除く) 【用】0.1%で5 分間洗いその後0.2%を塗布	
ザルコニン液 0.05 (ベンザルコニウム塩化物) 液:0.05% 500mL 薬価 0.56/mL 健栄	【効】手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒 【用】0.01～0.025% 【効】腔洗浄 【用】0.02～0.05% 【効】結膜囊の洗浄・消毒 【用】0.01～0.05% 【効】手術室・病室・家具・器具・物品等の消毒 【用】0.05～0.2%を塗布・清拭・噴霧 【効】医療用具の消毒(0.05%ザルコニウムを除く) 【用】0.1%に10 分間浸漬 厳密な消毒では器具を予め2%炭酸ナトリウムで洗い0.1%で15 分間煮沸 【効】感染皮膚面の消毒 【用】0.01%を用いる	

医薬品名・規格・成分・会社	効能・効果・用法・用量	備考
グリセリンＢＣ液 0.025%塩化ベンザルコニウム添加グリセリン溶液 100mL 吉田	【効】 浣腸液の調剤に用いる。溶剤、軟膏基剤、湿潤・粘滑剤として調剤に用いる。 ＜導尿セットの消毒＞	
テゴー５１消毒液 10% (アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩) 液：10% 3L 薬価 0.80/mL アルフレッサファーマ	【効】①医療用具の消毒 ②手術室・病室・家具・器具・物品等の消毒 ③手指・皮膚の消毒 【用】0.05～0.2%(200～50倍) 【効】 手術部位(手術野)の皮膚の消毒 【用】0.1%(100倍)で約5分間洗った後、0.2%(50倍) 【効】 手術部位(手術野)の粘膜 皮膚・粘膜創傷部位の消毒 【用】0.01～0.05%(1000～200倍)に希釈して使用	結核領域において①②に用いる場合は0.2～0.5%(50～20倍)溶液を用いる
マスキンスクラブ (クロルヘキシジングルコン酸塩) 液：4% 500mL 丸石	【効】 術前、術後の術者の手指消毒 【用】手指・前腕部を5mLで1分間洗浄後流水で水洗し、さらに5mLで2分間洗浄後水洗 【効】 上記以外の医療従事者の手指消毒 【用】2.5mLで1分間洗浄後流水で洗い流す	【禁】クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴
ヒビテン液[5%] (クロルヘキシジングルコン酸塩) 液：5% 500mL 薬価 1.91/mL 大日本住友	【効】 手指・皮膚の消毒 手術部位(手術野)の皮膚の消毒 【用】0.1～0.5%(50～10倍) 【効】 皮膚の創傷部位の消毒 手術室・病室・家具・器具・物品等の消毒 【用】0.05%(100倍) 【効】 医療用具の消毒 【用】0.1～0.5%(50～10倍)又は0.5%エタノール溶液(10倍)に希釈して使用	【禁】1)クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴 2)脳・脊髄・耳(内耳・中耳・外耳) 3)膣・膀胱・口腔等の粘膜面 4)眼
ヘキサック水W[0.05%] 後発品 (クロルヘキシジングルコン酸塩) 液：0.05% 500mL 薬価 0.57/mL 吉田	【効】 皮膚の創傷部位の消毒 手術室・病室・家具・器具・物品等の消毒 【用】0.05% 【効】 結膜囊の洗浄・消毒 【用】0.05%以下 【効】 産婦人科・泌尿器科における外陰・外性器の皮膚消毒 【用】0.02%(2.5倍)に希釈して使用	【禁】1)クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴 2)脳・脊髄・耳(内耳・中耳・外耳) 3)膣・膀胱・口腔等の粘膜面
ステリクロンＢエタノール液 0.5 後発品 (クロルヘキシジングルコン酸塩) 後発品 液：0.5%500mL 薬価 0.63/mL 建栄	【効】 手術部位(手術野)の皮膚の消毒 医療機器の消毒 【用】そのまま消毒部位、医療機器に用いる	【禁】1)クロルヘキシジン製剤過敏症の既往歴 2)脳・脊髄・耳(内耳・中耳・外耳) 3)膣・膀胱・口腔等の粘膜面 4)眼 5)損傷皮膚・粘膜
ピューラックス (次亜塩素酸 Na) 液：6% 5L オーヤラックス	【用】0.01～1%(600～6倍)で使用 HBウイルス汚染時：1%(6倍) 疑汚染：0.1～0.5%(60～12倍)	
ハイポアルコール液 2% 後発品 液：500mL 丸石	【用】そのまま使用	【備】ヨウ素の脱色

23 臨時採用薬

H27. 09 月 現在

★が今月の追加です

内服

品 目	薬 効
アコファイド錠 100mg	機能性ディスペプシア (FD) 治療剤
アサコール錠 400mg	潰瘍性大腸炎治療剤
アロチノロール塩酸塩錠 5mg	高血圧症・狭心症・不整脈治療剤・本態性振戦治療剤
イーフェンバツカル錠 200 µg	(麻) 口腔粘膜吸収癌性疼痛治療剤
イソバイド 70% 30mL	経口浸透圧利尿・メニエール病改善剤
ES ポリタミン配合顆粒(2g/1 包)	必須アミノ酸製剤
イムラン錠 50mg	
ヴォリブリス錠 2.5mg	エンドセリン受容体拮抗薬
エストラサイトカプセル 156.7mg	前立腺癌治療剤
エストリール錠 1mg	卵胞ホルモン製剤
エリキウス錠 5mg	経口 FXa 阻害剤
エレンタール配合内用剤	成分栄養剤
オダイン錠 125mg	前立腺癌治療剤
オキシコンチン錠 20mg	(麻) 持続性癌疼痛治療剤
オキノーム散 10mg	(麻) 癌疼痛治療用散剤
クラリスドライシロップ 10%小児用	マクロライド系抗生物質製剤
グレースビット錠 50mg	広範囲経口抗菌製剤
コスパノン錠 40mg	肝胆道疾患:胆道ジスキネジー、胆石症、胆のう炎、胆管炎、胆のう剔除後遺症 膀胱疾患:膀胱炎 尿路結石
5mcg チロナミン錠	甲状腺ホルモン製剤

品 目	薬 効
コルヒチン錠 0.5mg	痛風治療剤
ザイザル錠 5mg	持続性選択 H1 受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤
ザイティガ錠 250mg	前立腺癌治療剤(CYP17 阻害剤)
サリグレンカプセル 30mg	口腔乾燥症状改善薬
シベノール 50mg	不整脈治療剤
スーグラ錠 50mg	選択的 SGLT2 阻害剤 - 2 型糖尿病治療剤 -
ストミンA配合錠	耳鳴緩和剤
スピロペント錠 10 µg	持続性気管支拡張剤・腹圧性尿失禁治療剤
スンベプラカプセル 100mg	抗ウイルス剤/HCV NS3/4A プロテアーゼ阻害剤
セディール錠 10	セロトニン作動性抗不安薬
セパゾン錠 2mg	マイナートランキライザー
セルセプトカプセル 250	免疫抑制剤
ソブリアードカプセル 100mg	抗ウイルス剤
タウリン散 98%(1.02g/包)	肝・循環機能改善剤
ダクルインザ 60mg	抗ウイルス剤/HCV NS5A 複製複合体阻害剤
タナドーパ顆粒 75%	経口ドパミンプロドラッグ
ダントリウムカプセル 25mg	痙性麻痺緩解剤・悪性症候群治療剤
チガゾンカプセル 10	角化症治療剤
ツムラ 36 木防已湯(2.5g/包)	漢方製剤
ツムラ 91 竹じょ温胆湯(2.5g/包)	漢方製剤
ツムラ 117 茵陳五苓散(2.5g/包)	漢方製剤
ティーエスワン配合OD錠 T25	代謝拮抗剤
ティーエスワン配合 OD 錠 T20	代謝拮抗剤
デノタスチュアブル配合錠	カルシウム／天然型ビタミン D3／マグネシウム配合剤

品 目	薬 効
デパケンR錠 100mg	抗てんかん剤、躁病・躁状態治療剤、片頭痛治療剤
トピナ錠 50mg	抗てんかん剤
トレドミン錠 25mg	セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤 (SNRI)
ナイキサン錠 100mg	鎮痛・抗炎症剤
ナゼア OD 錠 0.1mg	5-HT ₃ 受容体拮抗型制吐剤 (ラモセトロン塩酸塩口腔内崩壊錠)
バイアグラ錠 50mg	勃起不全治療剤
バラクルード錠 0.5mg	抗ウイルス化学療法剤
ピドキサル錠 10mg	活性型ビタミン B6 製剤
ピラマイド原末	結核化学療法剤
ピレスパ錠 200mg	抗線維化剤
プラザキサカプセル 75mg	直接トロンビン阻害剤
プリミドン錠 250mg	抗てんかん剤
ブレディニン錠 25	免疫抑制剤
プロセキソール錠 0.5mg	エチニルエストラジオール錠
ベタニス錠 50mg	選択的 β アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤
ベプリコール錠 50mg	頻脈性不整脈・狭心症治療剤
ペンタサ錠 250mg	潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤
ポルトラック原末	高アンモニア血症治療剤
ミコブティンカプセル 150mg	抗酸菌症治療薬
ユニシア配合錠LD	持続性アンジオテンシン II 受容体拮抗薬/持続性 Ca 拮抗薬配合剤
ユリノーム錠 25mg	尿酸排泄薬
ラコール NF 配合経腸用半固形剤	たん白アミノ酸製剤
ラコールNF配合経腸用(400mL)	たん白アミノ酸製剤
ラミクタール錠 25mg	抗てんかん剤、双極性障害治療薬

品 目	薬 効
ラミシール錠 125mg	アリルアミン系経口抗真菌剤
リザベンカプセル 100mg	アレルギー性疾患 ケロイド・肥厚性瘢痕治療剤
レボトールカプセル 200mg	抗ウイルス剤
ロトリガ粒状カプセル 2g	EPA・DHA 製剤

注射

品 目	薬 効
イミグランキット皮下注 3mg	5-HT _{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤
イノレット 30R 注	インスリン製剤
注射用エラスポール 100	好中球エラスターゼ阻害剤
注射用エンドキサン 100mg	アルキル化剤
カイトリル注 3mg	5-HT ₃ 受容体拮抗型制吐剤
カルチコール注射液 8.5%5ml	カルシウム補給剤
ジアグノグリーン注射用 25mg	肝・循環機能検査用薬
ダントリウム注射用 20mg	痙性麻痺緩解剤・悪性症候群治療剤
テリボン皮下注用 56.5 µg	骨粗鬆症治療剤
ニコリン注射液 500mg	頭部外傷並びに脳手術に伴う意識障害・脳梗塞急性期意識障害・脳卒中片麻痺・膵炎 次の疾患に対する蛋白分解酵素阻害剤との併用療法① 急性膵炎 ② 慢性再発性膵炎の急性増悪期 ③ 術後の急性膵炎
ヒアルロン酸 Na 関節注 25mg シリンジ	関節機能改善剤
ヒューマログミックス 50 注ミリオペン	抗糖尿病剤
ファンガード点滴用 50mg	キャンディン系抗真菌剤
5-FU 注 250mg	抗悪性腫瘍剤
フィルグラスチム BS 注 75 µgシリンジ「NK」	G-CSF 製剤

品 目	薬 効
ヘルベッサー注 50mg	Ca 拮抗剤
ボナロン点滴静注バッグ 900 μ g	骨粗鬆症治療剤
マイトマイシン注 2mg	抗悪性腫瘍剤
ミラクリッド注射液 10 万単位	多価・酵素阻害剤
モリヘパミン点滴静注(500mL)	肝不全用アミノ酸注射液
モルヒネ塩酸塩注射液 200mg	(麻) モルヒネ塩酸塩注射液

外用

品 目	薬 効
アドエア 100 ディスカス 60 吸入用	喘息治療配合剤
アドエア 250 エアゾール 120 吸入用	喘息治療配合剤
イミグラン点鼻液 20	5-HT _{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤
クレナフィン爪外用液 10%	皮膚糸状菌(トリコフィトン属) 爪白癬
クロマイ腫錠 100mg	抗生物質製剤
スピリーバ 2.5 μ gレスピマット 60 吸入	長時間作用性吸入気管支拡張剤
デュロテップMTパッチ 12.6mg	(麻)経皮吸収型 持続性疼痛治療剤
ナゾネックス点鼻液 50 μ g 56 噴霧用	定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤
ノルスパンテープ 5mg	経皮吸収型 持続性疼痛治療剤
ミオコールスプレー0.3mg	定量噴霧式・ニトログリセリン舌下スプレー剤
ムコフィリン吸入液 20%	気道粘液溶解剤

☆ピレスパ錠 200mg 薬価 695.7 円

効能又は効果… 特発性肺線維症

用法又は用量… 通常、成人にはピルフェニドンとして初期用量 1 回 200mg を 1 日 3 回(1 日 600mg) 食後に経口投与し、患者の状態を観察しながら 1 回量を 200mg ずつ漸増し、1 回 600mg(1 日 1800mg) まで増量する。なお、症状により適宜増減する。

警告… 1. 本剤の使用にあたっては、光遺伝毒性試験において染色体構造異常を示し、光曝露に伴う皮膚の発がんの可能性のあることを患者に十分に説明し、理解したことを確認した上で投与を開始すること。
2. 本剤の使用は、特発性肺線維症の治療に精通している医師のもとで行うこと。

禁忌… 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

☆イレッサ錠 250 薬価 6,712.7 円

効能又は効果… EGFR 遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌

用法又は用量… 通常、成人にはゲフィチニブとして 250mg を 1 日 1 回、経口投与する。

警告… 1. 本剤による治療を開始するにあたり、患者に本剤の有効性・安全性、息切れ等の副作用の初期症状、非小細胞肺癌の治療法、致命的となる症例があること等について十分に説明し、同意を得た上で投与すること。
2. 本剤の投与により急性肺障害、間質性肺炎があらわれることがあるので、胸部 X 線検査等を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、急性肺障害や間質性肺炎が本剤の投与初期に発生し、致死的な転帰をたどる例が多いため、少なくとも投与開始後 4 週間は入院またはそれに準ずる管理の下で、間質性肺炎等の重篤な副作用発現に関する観察を十分に行うこと。
3. 特発性肺線維症、間質性肺炎、じん肺症、放射線肺炎、薬剤性肺炎の合併は、本剤投与中に発現した急性肺障害、間質性肺炎発症後の転帰において、死亡につながる重要な危険因子である。このため、本剤による治療を開始するにあたり、特発性肺線維症、間質性肺炎、じん肺症、放射線肺炎、薬剤性肺炎の合併の有無を確認し、これらの合併症を有する患者に使用する場合には特に注意すること。
4. 急性肺障害、間質性肺炎による致死的な転帰をたどる例は全身状態の良悪にかかわらず報告されているが、特に全身状態の悪い患者ほど、その発現率及び死亡率が上昇する傾向がある。本剤の投与に際しては患者の状態を慎重に観察するなど、十分に注意すること。

5. 本剤は、肺癌化学療法に十分な経験をもつ医師が使用するとともに、投与に際しては緊急時に十分に措置できる医療機関で行うこと。

禁忌… 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

☆5mcg チロナミン錠 薬価 9.6 円

効能又は効果… 粘液水腫、クレチン症、甲状腺機能低下症（原発性及び下垂体性）、慢性甲状腺炎、甲状腺腫

用法又は用量… リオチロニンナトリウムとして、通常成人初回量は1日5～25 μ gとし、1～2週間間隔で少しずつ増量する。維持量は1日25～75 μ gとする。なお、年齢、症状により適宜増減する。

禁忌… 新鮮な心筋梗塞のある患者

☆イムラン錠 50mg 薬価 148.5 円

効能又は効果… 1. 下記の臓器移植における拒絶反応の抑制

腎移植、肝移植、心移植、肺移植

2. ステロイド依存性のクローン病の緩解導入及び緩解維持並びにステロイド依存性の潰瘍性大腸炎の緩解維持

3. 治療抵抗性の下記リウマチ性疾患

全身性血管炎（顕微鏡的多発血管炎、ヴェゲナ肉芽腫症、結節性多発動脈炎、

Churg-Strauss 症候群、大動脈炎症候群等）、全身性エリテマトーデス（SLE）、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、及び難治性リウマチ性疾患

用法又は用量… 1. 移植の場合通常、成人及び小児において、下記量を1日量として経口投与する。しかし、本剤の耐薬量及び有効量は患者によって異なるので、最適の治療効果を得るために用量の注意深い増減が必要である。

(1) 腎移植の場合

初期量としてアザチオプリン 2～3mg/kg 相当量

維持量としてアザチオプリン 0.5～1mg/kg 相当量

(2) 肝、心及び肺移植の場合

初期量としてアザチオプリン 2～3mg/kg 相当量

維持量としてアザチオプリン 1～2mg/kg 相当量

2. ステロイド依存性のクローン病の緩解導入及び緩解維持並びにステロイド依存性の潰瘍性大腸炎の緩解維持の場合通常、成人及び小児には、1 日量としてアザチオプリン 1～2mg/kg 相当量（通常、成人には 50～100mg）を経口投与する。
3. 全身性血管炎（顕微鏡的多発血管炎、ヴェゲナ肉芽腫症、結節性多発動脈炎、Churg-Strauss 症候群、大動脈炎症候群等）、全身性エリテマトーデス（SLE）、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、及び難治性リウマチ性疾患の場合通常、成人及び小児には、1 日量として 1～2mg/kg 相当量を経口投与する。
なお、症状により適宜増減可能であるが 1 日量として 3mg/kg を超えないこと。

警告・・・ 1. 臓器移植における本剤の投与は、免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。
2. 治療抵抗性のリウマチ性疾患に本剤を投与する場合には、緊急時に十分対応できる医療施設において、本剤についての十分な知識と治療抵抗性のリウマチ性疾患治療の経験を持つ医師のもとで行うこと。

禁忌・・・ 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 白血球数 3000/mm³ 以下の患者
3. フェブキシostat を投与中の患者
4. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

☆ザイティガ錠 250mg 薬価 3,690.9 円

効能又は効果・・・ 去勢抵抗性前立腺癌

用法又は用量・・・ プレドニゾロンとの併用において、通常、成人にはアビラテロン酢酸エステルとして 1 日 1 回 1,000mg を空腹時に経口投与する。

注意：本剤は食事の影響により C_{max} 及び AUC が上昇するため、食事の 1 時間前から食後 2 時間までの間の服用は避けること。

禁忌・・・ 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 重度の肝機能障害患者（Child-Pugh スコア C）

☆グレースビット錠 50mg 薬価 232.6 円

効能又は効果… 〈適応菌種〉 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、緑膿菌、レジオネラ・ニューモフィラ、ペプトストレプトコッカス属、プレボテラ属、ポルフィロモナス属、フソバクテリウム属、トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス）、肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ）、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

〈適応症〉

○咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染

○膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎 ○子宮頸管炎

○中耳炎、副鼻腔炎 ○歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎

用法又は用量… 通常、成人に対してシタフロキサシンとして1回 50mg（1錠）を1日2回又は1回 100mg（2錠）を1日1回経口投与する。なお、効果不十分と思われる症例には、シタフロキサシンとして1回 100mg（2錠）を1日2回経口投与することができる。

禁忌… 1. 本剤の成分又は他のキノロン系抗菌薬に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
3. 小児等

☆デノタスチュアブル配合錠 薬価 20.9 円

効能又は効果… RANKL 阻害剤（デノスマブ（遺伝子組換え）等）投与に伴う低カルシウム血症の治療及び予防

用法又は用量… 通常、1日1回2錠を経口投与する。なお、患者の状態又は臨床検査値に応じて適宜増減する。

禁忌… 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 高カルシウム血症の患者

☆エストラサイトカプセル 156.7mg 薬価 370.8 円

効能又は効果… 前立腺癌

用法又は用量… 通常、1日1回2錠を経口投与する。なお、患者の状態又は臨床検査値に応じて適宜増減する。

- 禁忌・・・ 1. 本剤、エストラジオール又はナイトロジェンマスタードに過敏症の既往歴のある患者
2. 血栓性静脈炎、脳血栓、肺塞栓等の血栓塞栓性障害、虚血等の重篤な冠血管疾患、又はその既往歴のある患者
3. 重篤な肝障害のある患者
4. 重篤な血液障害のある患者
5. 消化性潰瘍のある患者

☆ピラマイド原末 薬価 30.1/g 円

効能又は効果・・・ 〈適応菌種〉 本剤に感性の結核菌 〈適応症〉 肺結核及びその他の結核症

用法又は用量・・・通常、成人は、ピラジナミドとして、1日量 1.5～2.0g を 1～3 回に分けて経口投与する。

年齢、症状により適宜増減する。なお、他の抗結核薬と併用すること。

禁忌・・・ 肝障害のある患者

☆イノレット 30R 注 薬価 1,997 円

効能又は効果・・・ インスリン療法が適応となる糖尿病

本剤は速効型インスリンと中間型インスリンを 3：7 の割合で含有する混合製剤である。

用法又は用量・・・ 成人では通常 1 回 4～20 単位を 1 日 2 回、朝食前と夕食前 30 分以内に皮下注射する。なお、1 日 1 回投与のときは朝食前に皮下注射する。投与量は症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、維持量は通常 1 日 4～80 単位である。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。

- 禁忌・・・ 1. 低血糖症状を呈している患者
2. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 肝障害のある患者

☆クロマイ腔錠 100mg 薬価 73.7 円

効能又は効果・・・ 〈適応菌種〉 クロラムフェニコール感性菌 〈適応症〉 細菌性腔炎

用法又は用量・・・ 1 回 1 錠 1 日 1 回局所に挿入する。

禁忌・・・ 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

☆ザイザル錠 5mg 薬価 105.8 円

効能又は効果… 成人：アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症

小児：アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒

用法又は用量… 成人：通常、成人にはレボセチリジン塩酸塩として1回5mgを1日1回、就寝前に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は1日10mgとする。

小児：通常、7歳以上15歳未満の小児にはレボセチリジン塩酸塩として1回2.5mgを1日2回、朝食後及び就寝前に経口投与する。

禁忌… 1. 本剤の成分又はピペラジン誘導体(セチリジン、ヒドロキシジンを含む)に対し過敏症の既往歴のある患者

2. 重度の腎障害（クレアチニンクリアランス10mL/min未満）のある患者重篤な肝障害のある患者

☆モリヘパミン点滴静注 500mL 薬価 901 円/袋

効能又は効果… 慢性肝障害時における脳症の改善

用法又は用量… 通常、成人1回500mLを点滴静注する。投与速度は、通常、成人500mLあたり180分以上を基準とする。経中心静脈輸液法を用いる場合は、本品の500mLを糖質輸液等に混和し、24時間かけて中心静脈内に持続注入する。なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。

禁忌… 1. 重篤な腎障害のある患者

2. 肝障害以外のアミノ酸代謝異常のある患者

☆ベタニス錠 50mg 薬価 195.2 円/錠

効能又は効果… 過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

用法又は用量… 通常、成人にはミラベグロンとして50mgを1日1回食後に経口投与する。

警告… 生殖可能な年齢の患者への本剤の投与はできる限り避けること。

禁忌… 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

2. 重篤な心疾患を有する患者

3. 妊婦及び妊娠している可能性のある婦人

4. 授乳婦

5. 重度の肝機能障害患者（Child-Pugh スコア 10 以上）
6. フレカイニド酢酸塩あるいはプロパフェノン塩酸塩投与中の患者

☆テリボン皮下注 56.5 μ g (溶解液付き) 薬価 13,342 円/シリンジ

効能又は効果… 骨折の危険性の高い骨粗鬆症

用法又は用量… 通常、成人には、テリパラチドとして 56.5 μ g を 1 週間に 1 回皮下注射する。なお、本剤の投与は 72 週間までとすること。

禁忌… 1. 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者

- (1) 骨ページェット病
 - (2) 原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す患者
 - (3) 小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者
 - (4) 過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者
2. 高カルシウム血症の患者〔高カルシウム血症を悪化させるおそれがある。〕
 3. 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者
 4. 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者（副甲状腺機能亢進症等）
 5. 本剤の成分又は他のテリパラチド製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
 6. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

☆ザイボックス錠 600mg 薬価 13,305.5 円/錠

効能又は効果… 1. <適応菌種> 本剤に感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）

<適応症> 敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎

2. <適応菌種> 本剤に感性のバンコマイシン耐性エンテロコッカス・フェシウム

<適応症> 各種感染症

用法又は用量… 通常、成人及び 12 歳以上の小児にはリネゾリドとして 1 日 1200mg を 2 回に分け、1 回 600mg を 12 時間ごとに経口投与する。

通常、12 歳未満の小児にはリネゾリドとして 1 回 10mg/kg を 8 時間ごとに経口投与する。なお、1 回投与量として 600mg を超えないこと。

警告… 本剤の耐性菌の発現を防ぐため、「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を熟読の上、適正使用に努めること。

禁忌… 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

☆プロセキソール錠 0.50mg 薬価 38.1 円/錠

効能又は効果… 前立腺癌、閉経後の末期乳癌（男性ホルモン療法に抵抗を示す場合）

用法又は用量… 前立腺癌、乳癌には、通常 1 回 1～2 錠を 1 日 3 回経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。なお、原体の再評価結果の用法及び用量は、前立腺癌、乳癌にはエチニルエストラジオールとして、通常成人 1 回 0.05～1.0mg を 1 日 3 回経口投与である。

禁忌… 1. エストロゲン依存性悪性腫瘍（例えば、乳癌、子宮内膜癌）及びその疑いのある患者（治療の目的で投与する場合を除く）
2. 未治療の子宮内膜増殖症のある患者
3. 血栓性静脈炎、肺塞栓症又はその既往歴のある患者本剤の成分に対し過敏症のある患者

☆エリキュース錠 5mg 薬価 272.8 円/錠

効能又は効果… 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制

用法又は用量… 通常、成人にはアピキサバンとして 1 回 5mg を 1 日 2 回経口投与する。なお、年齢、体重、腎機能に応じて、アピキサバンとして 1 回 2.5mg 1 日 2 回投与へ減量する。

用法又は用量に関連する使用上の注意…

次の基準の 2 つ以上に該当する患者は、出血のリスクが高く、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため、1 回 2.5mg 1 日 2 回経口投与する。
・ 80 歳以上 ・ 体重 60kg 以下 ・ 血清クレアチニン 1.5mg/dL 以上

警告… 本剤の投与により出血が発現し、重篤な出血の場合には、死亡に至るおそれがある。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤投与の適否を慎重に判断すること。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されておらず、本剤の抗凝固作用を中和する薬剤はないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察すること。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行うこと。

禁忌… 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 臨床的に問題となる出血症状のある患者
3. 血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者
4. 腎不全（クレアチニンクリアランス 15mL/min 未満）の患者

☆イーフェンバツカル錠・200 μ g 薬価 200 μ g 1,002.1 円/錠

効能又は効果・・・ 強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛

効能又は効果に関連する使用上の注意・・・

1. 本剤は、他のオピオイド鎮痛剤が一定期間投与され、忍容性が確認された患者で、かつ強オピオイド鎮痛剤（モルヒネ製剤、オキシコドン製剤及びフェンタニル製剤）の定時投与により持続性疼痛が適切に管理されている癌患者における突出痛（一時的にあらわれる強い痛み）に対してのみ投与すること。
2. 定時投与されている強オピオイド鎮痛剤が低用量の患者（モルヒネ経口剤 30mg/日未満又は同等の鎮痛効果を示す用量の他のオピオイド鎮痛剤を定時投与中の患者）における本剤の使用経験は限られているため、本剤の必要性を慎重に検討した上で、副作用の発現に十分注意すること。

用法又は用量・・・ 通常、成人には1回の突出痛に対して、フェンタニルとして 50 又は 100 μ g を開始用量とし、上顎臼歯の歯茎と頬の間で溶解させる。

用量調節期に、症状に応じて、フェンタニルとして 1 回 50、100、200、400、600、800 μ g の順に一段階ずつ適宜調節し、至適用量を決定する。なお、用量調節期に 1 回の突出痛に対してフェンタニルとして 1 回 50～600 μ g のいずれかの用量で十分な鎮痛効果が得られない場合には、投与から 30 分後以降に同一用量までの本剤を 1 回のみ追加投与できる。

至適用量決定後の維持期には、1 回の突出痛に対して至適用量を 1 回投与することとし、1 回用量の上限はフェンタニルとして 800 μ g とする。

ただし、用量調節期の追加投与を除き、前回の投与から 4 時間以上の投与間隔をあけ、1 日当たり 4 回以下の突出痛に対する投与にとどめること。 強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛

用法又は用量に関連する使用上の注意・・・

1. 処方時

- (1) 突出痛の回数や受診可能な頻度等を考慮して、必要最小限の錠数を処方すること。
- (2) 誤用防止のため、用量の異なる本剤を同時に処方しないこと。

2. 投与方法

本剤は口腔粘膜から吸収させる製剤であるため、嚙んだり、舐めたりせずに使用すること（口腔粘膜からの吸収が低下し、バイオア

ベイルビリティが低下する可能性がある)。

3. 開始用量

- (1) 定時投与中の強オピオイド鎮痛剤としてモルヒネ経口剤 30mg/日以上 60mg/日未満又は同等の鎮痛効果を示す用量の他の強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の患者では、1 回の突出痛に対してフェンタニルとして 50 μ g から投与を開始することが望ましい。
- (2) すべての患者において開始用量は 1 回の突出痛に対してフェンタニルとして 50 又は 100 μ g であり、他のフェンタニル速放性製剤から本剤に変更する場合でも、必ずフェンタニルとして 1 回 50 又は 100 μ g から投与を開始すること（フェンタニルの含量が同じであっても本剤と吸収が異なるため）。

4. 用量調節と維持

- (1) 1 回の突出痛に対して 1 回の本剤投与で十分な鎮痛効果が得られるよう、一段階ずつ漸増して、患者毎に用量調節を行うこと。
- (2) 1 回の突出痛に対して本剤の追加投与を必要とする状態が複数回続く場合には、本剤の 1 回用量の増量を検討すること。
- (3) 1 回あたりの投与錠数は 4 錠（左右の上顎臼歯の歯茎と頬との間に 2 錠ずつ）までとすること。また、用量調節後は同じ用量の規格に切り替えて 1 回 1 錠を投与することが望ましい。
- (4) 定時投与中のオピオイド鎮痛剤を増量する場合や種類を変更する場合には、副作用に十分注意し、必要に応じて本剤の減量を考慮すること。
- (5) 1 回の突出痛に対してフェンタニルとして 1 回 800 μ g で十分な鎮痛効果が得られない場合には、他の治療法への変更を考慮すること。
- (6) 1 日に 4 回を超える突出痛の発現が続く場合には、定時投与中の強オピオイド鎮痛剤の増量を検討すること。

【警告】 … 小児が誤って口に入れた場合、過量投与となり死に至るおそれがあることを患者等に説明し、必ず本剤を小児の手の届かないところに保管するよう指導すること。

【禁忌】 … 本剤の成分に対し過敏症のある患者